

一般社団法人
京都私立病院協会

55周年記念誌



会 員 憲 章

- われわれは患者さま中心の医療を行います
- われわれは社会の発展と健康増進に貢献します
- われわれは環境に配慮した医療活動を行います
- われわれは法律を順守し適正な経営を継続します
- われわれは医療人としてのモラルの向上に努めます

病 院 綱 領

- われわれ病院人は、人々の平等と権利を尊重し、個人のプライバシーを保護します
- われわれ病院人は、人々の生命にかかわる者として、医療の安全に最善の努力を払います
- われわれ病院人は、常に教養を高め、質の良い医療を提供するために研鑽に励みます
- われわれ病院人は、医療サービスの安定的提供のため、健全な病院経営に努めます
- われわれ病院人は、地域の医療連携システムの要となって、人々の健康増進を図ります
- われわれ病院人は、社会活動の実践者として、地域づくりに貢献します



一般社団法人 京都私立病院協会

病院綱領	2	看護人材早期復職支援事業	
創立55周年を迎えて(会長 清水 鴻一郎)	5	(看護職確保プロジェクトチーム含む)	62
記念座談会「地域医療の持続に向けて！」	12	京都市離職看護師能力再開発事業	66
1. 協会組織のうごき		これからの社会保障を考えるセミナー	67
京都私立病院協会 組織図	15	医療従事者勤務環境改善体制整備事業	68
役員体制	16	医療従事者確保強化事業	74
総会	16	無料職業紹介ネットワークセンター事業	78
理事会・幹事会・政策委員会	17	5. 他団体との連携・交流	
会員のうごき	18	近畿病院団体連合会	80
2. 会員相互の連携と組織強化		中央における病院団体	82
表彰	19	京都における医療・介護関係団体	83
事務長会	20	京都私立病院協会関係団体	84
教育・研修部会の主な活動	25	6. 行政・政党への対応	
総務・企画部会の主な活動	26	行政への対応	85
調査・研究部会の主な活動	27	政党への対応	85
北部地区事務長会の活動	28	7. 医療保険制度への対応	
南部地区事務長会の活動	29	医療保険をとりまく情勢	86
看護部長会	29	医療保険をめぐる日常活動	86
薬剤師部会	35	診療報酬委員会	87
放射線技師部会	37	8. 介護保険制度への対応	
臨床検査部会	38	介護保険をとりまく情勢	88
栄養士部会	40	介護保険をめぐる日常活動	89
リハビリテーション部会	42	介護保険委員会	89
臨床工学技士部会	44	介護サービス第三者評価事業	91
部会連携	45	京都市新規介護認定調査事業	92
全体会議	45	9. 地域医療構想への取組み	
創立記念式典	46	地域医療構想をめぐる状況	93
新春会員懇親会	47	京都府地域医療介護総合確保基金	94
創立55周年記念事業	47	地域医療構想検討委員会	95
3. 広報と情報提供		10. 救急医療体制の確保と推進	
京都私立病院報	53	京都府における二次病院群輪番体制	97
私病協ホームページ	53	京都府内の救急医療システム	98
ファックス・メール通信	54	救急医療をめぐる諸問題への対応	99
4. 病院職員の確保対策		救急医療検討委員会	100
医療従事者の養成	55	京都救急医療研究会	100
京都府医療勤務環境改善支援センター	55		
医療労務管理支援事業	60		

11. 感染症対策への対応 感染症対策委員会 …………… 102	18. 税制問題への取り組み 税制 …………… 152
12. 医療安全対策への対応 医療安全対策委員会 …………… 104	19. 福利厚生活動 京都府知事杯争奪病院対抗野球大会 …………… 153 京都府知事杯争奪 病院対抗女子バレーボール大会 …………… 153 京都私立病院協会会長杯争奪 病院対抗フットサル大会 …………… 154 京都私立病院協会会長杯争奪 会員親睦ゴルフコンペ …………… 154
13. 京都式地域包括ケアシステムの推進 在宅療養あんしん病院登録システム …………… 106 府民リハビリテーション啓発支援事業 …………… 107 病院医療従事者認知症対応力向上事業 …………… 111 病院地域包括ケアシステム強化事業 …………… 122 地域連携型在宅医療支援病院事業 …………… 130	20. 事務局体制 事務局体制 …………… 156
14. 京都病院学会の開催 京都病院学会 …………… 131	21. 新型コロナウイルスの影響により中止・延期となつた研修会等の催し(2020(令和2)年) …………… 158
15. 教育・研修活動 教育研修基礎コース …………… 133 中堅幹部職員研修 …………… 134 看護卒後教育 …………… 135 看護中間管理者研修Ⅰ(主任コース) …………… 135 看護中間管理者研修Ⅱ(師長コース) …………… 136 看護リーダーシップ研修 …………… 137 准看護師研修 …………… 138 看護補助者研修 …………… 138 看護新人研修(シミュレーション研修) …………… 139 看護過程研修 …………… 139 看護管理実践報告会(フォローアップ研修) …………… 140 看護研究研修 …………… 140 保健医療管理者養成講座 …………… 141 医師臨床研修・専門医制度 …………… 143	●関係団体の事業 京都保健衛生専門学校 …………… 160 京都府病院協同組合 …………… 162 京都府病院厚生年金基金 …………… 164 (専)京都中央看護保健大学校 …………… 165
16. 病院経営に関する取組み 民間病院に対する各種補助制度および 融資制度 …………… 144 京都府救急告示病院等運転資金融資制度 …………… 146	●年表 (協会のあゆみ・医療界と社会の主なできごと) …………… 167
17. 病院管理に関する取り組み 環境問題委員会 …………… 147 病院機能向上委員会 …………… 148	●京都私立病院協会 役員の変遷と業務分担 …………… 170
	●関連諸機関・団体への推薦/派遣委員 …………… 172
	●各委員会委員名簿 …………… 178

創立55周年を迎えて

一般社団法人 京都私立病院協会 会長 清水 鴻一郎

京都私立病院協会は、京都の私立病院の向上発展と社会福祉の増進をめざして昭和39年10月に44施設で発足し、令和元年10月16日に143施設のもと、創立55周年を迎えました。長年に亘り当協会・会員施設の発展と京都の医療を支えるために日々努力を重ねられた役員の皆様、当協会の活動に格別のご理解・ご支援を賜りました会員施設、行政機関、医療・介護・福祉関係団体の皆様に心より御礼を申し上げます。

当協会の創立51周年から55周年の足跡を振り返り、明日への飛躍の糧として創立55周年記念誌を発行できますことは、この上ない喜びであり、今後も京都を代表する病院団体としての重責をしっかりと果たしていく決意を新たにしております。

さて、創立50周年記念誌発刊以降の5年間は、人口構造・疾病構造の変化に伴う医療のパラダイムシフト、即ち「治す医療」から「治し支える医療」へ、「病院完結型」から「地域完結型」の医療への転換が始まり、病院は病院にしかできない機能に特化し、医療・介護を一体的に地域全体で提供していく体制の構築に向けて進み出しました。

その中で、地域医療構想の実現、働き方改革、医師の偏在対策は、今後の医療提供体制を考える上で特に重要な課題となっています。平成29年3月に策定された京都府の地域医療構想は、地域包括ケアシステムと一体として「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）」となりました。構想は当協会の職種別・課題別の研修会・会議で周知し、病院職員が一丸となって地域に必要な病床機能、地域連携を進めていくことへの意識づけや理解を深めました。構想の実現に向けては、京都独自の在宅療養あんしん病院登録システムの推進、病院の認知症対応力向上、地域連携機能の強化、在宅医療・介護を担う人材の育成等に取り組みました。とりわけ、当協会が平成3年より毎年開講している「保健医療管理者養成講座」では、職種を問わず1年間のスパンで豊富な講師陣により病院運営・経営に必要な知識と実践力を徹底して養っています。修講生は「保健医療管理士」の認定を受け、将来を担う人材として自院で活躍しており、更に地域医療構想をはじめ様々な課題を乗り越えていく力となることを期待しています。

働き方改革では、当協会が京都府から受託運営する「京都府医療勤務環境改善支援センター」で、医療勤務環境改善マネジメントシステムの普及促進のために、平成29年から全国で初の取組となる「京都いきいき働く医療機関認定制度」を開始し、病院全体で勤務環境改善を図る仕組みを推進した結果、公立・公的病院も含め、府内半数以上の病院が取り組むまでに至りました。また、「医師事務作業補助者」の養成を平成27年度から開始し、勤務医の負担軽減を図る人材育成にも努めています。

医師不足・偏在問題に対しては、京都府医療対策協議会においてその施策や方策、京都府地域医療支援センターでは医師の確保・定着に向けたキャリア形成支援等について協議が行われており、当協会が参画し、民間病院における医師不足・偏在が解消されるよう意見・提言を行ってきました。医師以外では離職看護職・薬剤師の登録制による復職支援等を継続して実施しており、



登録者・病院への復職ともに少しずつ着実に実績を上げています。

今後、地域医療構想では診療実績データも踏まえ、各病院が地域でどのような医療機能を担うべきか、地域医療構想調整会議で議論が進んでいくことになります。働き方改革では、令和6年4月から医師の時間外労働規制が適用されます。医師偏在対策では、令和2年度から医師確保計画及び外来医療計画が実行されるとともに、医師臨床研修病院の指定権限及び研修医定員の決定権限が都道府県に移譲される等、更なる難しい課題に対応していかなばなりません。更には、この5年の間にも地震・台風・豪雨による被災が相次ぎ、新型コロナウイルスの脅威に晒された経験からも、こうした自然災害や未知の感染症等、不測の事態への対応策や体制を整えておく必要もあります。

創立55周年は、記念事業として「みんないきいき明るい病院」をテーマに各種記念事業を行いました。メイン事業として、中学生に病院の多種多様な職種や病院で働く魅力を知ってもらい、将来の職業選択の一つになるよう、映画制作や中学校を訪問しての特別授業を実施しました。映画鑑賞、特別授業での医療職との触れ合いを通じて、中学生は医師・看護師以外にも多種多様な魅力ある職種がチーム医療で一人ひとりの患者の治療に全力を尽くしていることへの気づき、病院の役割やシステムの理解促進に繋がりました。記念座談会では西脇隆俊京都府知事と車いすバスケットボール日本代表で京都市在住の柳本あまね選手をお招きし、当協会と京都府の健康福祉行政、障がい者との関わりから、協会の取組や民間病院の役割を京都新聞紙面で広く発信いたしました。こうした将来を見据えた種も蒔いており、やがて成果として大きな花が開くことを期待しています。

山積する医療を取り巻く課題に対し、我々は萎縮・悲観することなく常に前向きに真摯に会員施設と共に一つ一つの課題に取り組み、行政当局や関係機関への働きかけ・連携も密接に行い、会員施設の安定運営と機能向上、地域の人々の安心・安全に繋がるよう各種事業に鋭意取り組んでまいります。

次の節目となる創立60周年に向けましても、会員施設をはじめ関係各位の多大なるご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

祝 辞

京都府知事 西脇 隆俊

一般社団法人京都私立病院協会が、創立55周年という記念すべき年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

京都私立病院協会の皆様におかれましては、創立以来、高度経済成長期から高齢化が進展し続ける現代まで、病院事業の向上・発展に御尽力され、変わりゆく医療需要に応じ、府民の皆様の健康保持・増進に多大な御貢献をいただいておりますことに厚くお礼申し上げますとともに、清水会長をはじめ歴代会長、会員並びに関係者の皆様方の御尽力に対し、深く敬意を表する次第であります。

さて、去年は、新天皇陛下が御即位され、平成から令和という、新たな時代の幕が開きました。新しい時代は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催など、明るい出来事が数多く予定されている一方で、経験したことのない少子高齢化と人口減少社会という大きな課題が横たわる時代でもあります。

人口動態統計によりますと、昨年誕生した子どもの数は86万4千人で、統計開始以来、初めて90万人を割り込むなど、想定を上回るスピードで出生数の減少が進み、今後ますますの人材不足に直面することが予想されます。一方で、全ての府民が共に支え合い、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしていくことができる社会をつくるためには、各地域において医療・介護を総合的に確保することが喫緊の課題となっております。

このような状況の中、貴協会におかれましては、「みんないきいき明るい病院」を創立55周年記念事業のメインテーマとされ、病院が働きがいのある明るい職場であることを周知し、子ども達が将来目指す職業として興味を持つきっかけとなるよう、中学生向けのオリジナル映画を作成されるなど、先を見据えた取組を実施していただいているところです。

また、医療従事者の離職防止や従事者確保には、働きやすい職場環境の整備が必要不可欠ですが、貴協会におかれましては、平成27年から「京都府医療勤務環境改善支援センター」を運営していただき、専門的な知見により府内医療機関に対し御助言をいただくほか、「京都いきいき働く医療機関認定制度」の推進や、社会保険労務士や公認会計士などの専門職による研修の実施など勤務環境改善に取り組む病院に対し多岐にわたって御支援をいただいておりますことに、深く感謝と敬意を表しますとともに、大変心強く感じております。

京都府におきましても、人生100年時代を迎えるにあたり、全ての地域で質の高い医療体制が確保されることを目指し、昨年10月に京都府総合計画「京都夢実現プラン」を策定いたしました。一人ひとりの夢や希望が全ての地域で実現できる京都府の実現のために、様々な取組を通して課題解決に努めてまいりたいと考えておりますので、皆様方の一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

結びに当たりまして、一般社団法人京都私立病院協会が、55年に及ぶ輝かしい歴史と伝統を礎に、今後ますます御発展されますことを心からお祈りいたしまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。



祝 辞

京都市長 門川 大作

2015年9月、持続可能な社会の実現を目指す国際目標「SDGs」が国連において掲げられました。「誰一人取り残さない」を理念とするこの目標は、この数年間で、我が国でも急速に浸透してきています。

全ての人に寄り添う社会への転換が望まれている中、長きにわたり医療の向上・発展に取り組まれ、市民の皆様の健やかな暮らしを支え続けてこられた一般社団法人京都私立病院協会が、創立55周年の節目を迎えられましたこと、そして、この5年間の歩みをまとめた記念誌を発行されますことを心からお慶び申し上げます。

貴会では、近年の雇用・労働環境の変化に合わせ、離職看護師の復帰支援事業や、医療従事者の無料職業紹介・育成事業など、医療・介護の担い手をしっかりと確保するお取組を進めておられます。

さらに、本市の輪番制病院運営事業では、昼夜・休日を問わず救急患者の皆様を受け入れていただき、救急医療体制の確保に多大な御尽力をいただいております。

また、京都マラソンなどのスポーツ大会等でも、救護所へのスタッフ派遣などを通じて、イベントの安全で円滑な運営に多大なお力添えをいただいております。

台風による大規模な停電が発生し、病院にも大きな影響が出た際にも、病院職員の皆様の御尽力により迅速な復旧を果たされるなど、緊急時にもしっかりと医療を守っておられます。

皆様のこのような御活動の数々は、「すべての人に健康と福祉を」「住み続けられるまちづくりを」など、17の目標から成る「SDGs」の達成に向けても大きな力となります。清水鴻一郎会長をはじめとする貴会の皆様に、改めて深く敬意と感謝の意を表します。

団塊の世代が後期高齢者となる2025年を見据え、国では現在、社会保障制度改革に関連する法整備が進められていますが、高齢者数は今後も増え続けていくことが予想されています。このような状況の中、市民の皆様の健康の維持・増進を担っておられる貴会の果たされる役割は、ますます大きくなっていきます。

本市といたしましても、人生100年時代に、市民の皆様の「いのち」と「暮らし」を守る保健医療・福祉・介護の更なる充実を図り、貴会の皆様と手を携えて、京都のまちの「安心」を創ってまいります。さらに、昨年3月に策定した「京都市レジリエンス戦略」に基づき、あらゆる危機をしなやかに乗り越える持続可能な京都のまちを目指し、「SDGs」の達成にも貢献してまいります。笑顔あふれる京都の未来に向け、共々に力を尽くしてまいりましょう。

結びに、一般社団法人京都私立病院協会が、新たな令和の時代にもますますの発展を遂げられますこと、並びに貴会の皆様の御健勝と御多幸を祈念いたします。



祝 辞

一般社団法人 京都府医師会 会長 松井 道宣

一般社団法人京都私立病院協会が、令和元年10月16日に創立55周年を迎えられ、この度記念誌を発刊されますことを心からお慶び申し上げます。

貴会は、昭和39年の創立以来、高度経済成長期における人口増加や、ここ近年の少子高齢化など医療を取り巻く環境が厳しく変化する中で、京都府内の地域医療の発展にご尽力されてこられました。発足当時は44医療機関で構成されていた貴会も、現在は143施設を擁する名実共に京都の病院団体をリードする組織に発展してこられましたのは、協会のリーダーとして会務に携わってこられました清水鴻一郎会長を始めとする歴代の会長・役員の皆様、諸先生方、関係各位の献身的なご尽力、ご労苦の賜であり、深甚なる敬意を表する次第であります。



さて、医療業界におきましては、「地域医療構想」「医師の働き方改革」「医師偏在対策」の三つの施策を性急に進めようとしておりますが、それぞれの施策は関連しているものの、実現に向けては医療提供体制を崩壊させないように十分かつ慎重な議論が必要であります。

「地域医療構想」では、各構想区域にて「地域医療構想調整会議」が開催され、機能分化、連携体制、在宅医療の体制整備等について協議が行われておりますが、それぞれの医療圏の特性に合った医療提供体制の構築に向けて、ニーズの把握やお互いの役割をそれぞれの医療機関が認識しながら、建設的な議論を行うことが重要であります。

また、医師の確保と偏在の問題は、全国一律に論じられるものではなく、それぞれの地域の実情を十分に考慮する必要があります。単なる数合わせではなく、京都府全域で「必要な時に必要な医療が受けられる」医療提供体制を構築することが大切であります。

このように医師の確保が困難な状況の中で、医師の働き方改革についても進めなければなりません。現行では、医師の勤務時間についてはこれまで無制限といっても過言でなかったものにとりあえずは制限が設定され、改善の方向性が示されました。医師の健康維持のためにも「医師の働き方改革」について検討していくことが重要ですが、「医師の偏在対策」によって医師数の確保が危ぶまれる中、これらの制限に対して、それぞれバランスよく考慮しつつ、今後の対策や方向性を検討しなければなりません。

さらに、「新専門医制度」では、制度内容が不明瞭なまま複雑化しており、現場に混乱をきたしております。「新専門医制度」は「医師偏在対策」の一環として活用されることとなったため、従来よりも若手医師の進路の選択肢が制限され、自身の進路希望を完全に実現することが難しい可能性があることから、今後、若手医師支援の重要性が更に高まってまいります。

京都府医師会といたしましても、各課題に対して真摯に取り組む所存でありますので、より一層のご協力と緊密な連携をお願いする次第であります。

結びにあたりまして、一般社団法人京都私立病院協会が60周年、70周年、更にその先の未来へとますますの御発展を遂げられますこと、並びに会員の皆様の御健勝と御多幸を心から祈念いたします。

京都私立病院協会創立55周年記念誌発行にあたり

一般社団法人 京都府病院協会 会長 森本 泰介

一般社団法人京都私立病院協会創立55周年、おめでとうございます。令和時代の幕開けと共に、55周年を迎えられたことを、心からお慶び申し上げます。

さて、私は貴協会設立50周年にあたる平成27年に、京都府病院協会（府病協）の理事に就任し、平成29年の副会長就任を経て、令和元年6月に会長を拝命しましたので、今回の設立55周年の祝辞は、私が貴協会と一緒に仕事をさせて頂いた、直近の3年間を中心に述べさせていただきます。

副会長就任の年、貴協会と府病協との合同会議に初めて出席した際に、貴協会の活発で幅広い活動に正直驚きました。京都府医療勤務環境改善支援センターにおいて、京都いきいき働く医療機関認定事業、保健医療管理者養成講座などの医療人材育成事業は、我々府病協から見ますと、大変頼もしく、将来必要とされる医療人材の育成に力を入れておられる事業方針は、先見性と実用性が非常に高いと感心いたしました。府病協会員病院の中にも、貴協会の研修事業で資格を取得した職員も数多くおります。この場を借りまして、御礼申し上げます。



また、京都府の地域医療構想において、高度急性期、急性期、回復期病床の線引きという課題に対して、京都府からの依頼を受け、貴協会、府病協、京都府医師会の3者で検討ワーキングを行いました。その結果、二次医療圏と病床規模、重症度、医療・看護必要度を基本的指標とし、また施設基準が明確なものはその基準が定める区分とし、残る高度急性期病床と急性期病床を取って分けずに、回復期と区分した「京都方式」を策定したことは、検討ワーキングの成果だと思います。その後、令和元年9月26日に、厚生労働省は、再編・統合の必要性を再検討する医療機関として、公立・公的病院424病院を突然公表し、対象病院から猛烈な反発と、地域から不安の声が上がりました。同時に、地域の民間病院のデータ公表を求める声が上がりましたが、私はこれを敢えてマイナス材料とするのではなく、真の意味での機能分化と、効率的連携の材料にすべきであると考えます。その後厚生労働省は、民間病院のデータを都道府県に参考情報として通知しました。府病協が独自に行った対象病院への聞き取り調査でも、「実際に民間医療機関と協力しているので、民間病院のデータを資料として提供してもらえれば連携が強まる」との声が上がっています。この問題は、次回の近畿病院団体連合会の提案議題にもなっており、令和元年9月の厚生労働省への回答の足掛かりとなり、調整会議の活性化につながるものと思います。虚心坦懐、データに基づく調整が行われることを願っています。

いずれにせよ、昨今の厳しい医療環境においては、公立・公的、民間を問わず、情報交換とお互いの機能補完による協力体制が、地域医療を守る病院団体の使命であると考えます。貴協会と府病協が合同会議などで意見交換をしながら、地域医療構想調整会議の活性化を図る意義は非常に大きいと考えます。府病協は貴協会に何かとお世話になってばかりですが、今後ともご指導を頂きながら、京都府の健全な医療確保のために、努力していく所存です。

末尾に当たりまして、貴協会の益々のご発展と貴協会会員の更なるご健勝を祈念いたしまして、はなはだ措辞ではありますが、55周年記念誌発行の祝辞に代えさせていただきます。



地域医療の持続に向けて！

出席者 西脇 隆俊氏（京都府知事）・柳本あまね氏（車いすバスケットボール日本代表・京都市在住）
清水鴻一郎氏（京都私立病院協会会長）

京都府内の143施設が加盟する一般社団法人京都私立病院協会は、今年創立55周年を迎えました。協会が取り組む活動について広く知っていただくため、西脇知事と柳本選手を迎えて座談会が行われました。

清水：京都私立病院協会（私病協）は創立55周年を迎え、「みんないきいき明るい病院」を基本テーマに、記念事業として「ありがとうの重さ～チームで守るいのちと健康～」という映像を制作しました。バスケットボールの練習中にけがをして入院した中学生が、多くの病院スタッフの支援でリハビリテーションを重ね生活復帰する姿が描かれています。病院は医師や看護師のほかに、患者さんからは見えない、多様な専門家が関わり合うチームで成り立っています。命を左右する現場において、「ありがとう」の一言が、いかに心の支えとなるかを理解していただけるような映像づくりを心掛けました。車いすバスケットチーム・カクテルの主力として活躍中の柳本さん

は、幼いころに原因不明の下肢障害を負われました。病院との長いお付き合いの中でどんなことを感じられましたか。



柳本あまね氏

柳本：発病した2歳のころは正直言うとあまり覚えていませんが、障害のある生活を送る中で嫌な気持ちになったことは少なからずあり、一時は寝たきり

医療における
チームワークは
車いすバスケットでも同じ



の時期も経験しました。その中でも、物心がついてから病院に対して怖い印象がないのは、スタッフの皆さんにいつも優しく接していただいたからだと思います。ボランティアの方が本を読み聞かせてくださったり、病院内の遊べるスペースを利用しながら友達ができたりしたので、むしろ楽しかった記憶があります。特にリハビリの先生は長い間、私の成長をずっと見守り続けてくださっていて、私にとっては家族と同様の存在であり、病院は「第2の家」のような感覚を持っています。

清水：車いすバスケットに出会ったのはいつごろでしょうか。

柳本：親から聞いた話では、もともと私は病気を患う前から動き回ることが大好きだったようです。ある日、姉とハリウッド映画を見て、バスケットに打ち込みながら学校生活を送ったり、恋愛などをしていく主人公をカッコいいと思ったのがバスケットに興味を持つきっかけとなりました。そこで病院の先生に相談し、車いすバスケットの存在を知りました。以前から参加していた車いす駅伝のスタッフに偶然、車いすバスケット関係の方がおられて、カクテルの試合を見学す

る機会を頂きました。当初は、ぶつかり合う音、転がる選手、怒号が飛び交うコートの様子に圧倒されましたが、やがて試合で活躍する先輩方のプレーに憧れるようになり、小学校6年生のとき、やってみようと思いを決意しました。



西脇 隆俊氏

医療・介護・福祉で
バランスよい体制整備を

西脇：1988年、全国身体障害者スポーツ大会の公開競技として京都で初めて行われたのが、現在まで続く天皇盃全国車いす駅伝競走大会で、当時出場して優勝に導いたのは車いすバスケットの選手だったようですね。ドイツの神経医学者グットマンは、脊髄損傷のリハビリを目的として1960年、ローマで第1回パラリンピック大会を開催しました。グットマンの思想を学んだ中村裕医学博士は障害者の自立を目指す「太陽の家」を創設、その考え方に共鳴したオムロン創業者立石一真氏は1972年、現オムロン太陽を別府市で創立し、さらに1986年には現オムロン京都太陽を設立して障害者雇用を積極的に進められています。また京都府では1972年に、島津アリーナ京都（京都府立体育館）で障害者スポーツのつどいを初めて開催、丹波自然運動公園には障害者も利用できるトレーニングセンターを併設するなど障害者のスポーツ参加を促すだけでなく、健全者との共生社会を目指すさまざまな施策を進めています。

清水：いま政府は人手不足に備え、長時間労働を抑制する働き方改革を進めています。医療現場でも喫緊の課題で、医師から看護師、看護師から看護助手へ、仕事の一部を移管するようにしていますが、効果は限定的です。私病協は2015年より、京都府医療勤務環境改善支援センターの運営を京都府より受託し、働きやすい職場の実現に取り組んでいます。同時に京都いきいき働く医療機関認定制度による認定

病院を公表し、24時間365日勤務のイメージがある中でも介護休暇や育児休暇を取得しやすい環境を整え、担い手確保ができるよう努めています。病院経営経験者や社会保険労務士による実践的アドバイスも好評です。また、一度離職した看護師や薬剤師などの復職支援も行っています。

西脇：清水会長のおっしゃるように、私自身も復興庁事務次官就任時、医師以外のスタッフがそろわず運営に支障を来す状況を幾度も経験しました。府の人口当たりの医師数は全国上位ですが、地域や診療科により偏在しているのも事実です。質の高い高齢者の在宅生活を支援するため、2010年に総合リハビリテーション推進プランを策定、京都府立医科大学附属病院を総合拠点として、2次医療圏ごとに拠点を設ける医療体制を敷いています。ただ、セラピスト（理学・作業療法士、言語聴覚士）、特に若い人材が不足しがちなのが現状です。



清水鴻一郎氏

最大の医療の持続が

清水：私どもも現在、地域医療の持続が最大の課題と考えています。これまでは、一つの病院で一つの医療が完結していましたが、今後は、地域内で完結する地域包括ケア体制の構築が重要で、おおよそ中学校区を想定しています。住み慣れた地で一生を送るためには、現場でスタッフが患者さんと直接触れ合う重要性が増すと同時に、緊急事態では頼りになる身近な病院も欠かせません。核となる病院として最後のとりでの役割も担えるように取り組んでいく覚悟でおります。加えて、認知症予防や健康増進も課題で、医療・介護人材が集中する病院の総合チーム力をいかに地域に融合させていくかも大きなテーマです。行政と連携を密にしながらアイデアを出し合っていきたいと考えています。

西脇：少子高齢化が加速する中、安心・安全が何事にも勝ると考えています。医療・介護・福祉分野でバランスよい体制整備が重要ですが、地域によって抱えている問題も異なるので、2017年に地域包括ケア構想をつくり、翌年、構想を具体化するため保健医療計画を策定しました。在宅医療等は二次医療圏内で提供体制を整えますが、緊急を要する疾患については、特定の医療施設に集中させることも大事で、私病協とも相談しながら地域医療機関で役割分担することも必要となるでしょう。医療だけでなく、災害への備えも今後、充足させていかなければなりません。例えば千葉県で起こった台風被害による停電は、教訓として学ぶべき点は多いのではないのでしょうか。机上想定ではミスマッチが起きやすいことを常に念頭に置き、均衡の取れた対応力強化を目指していきます。

清水：最後に、柳本さんの今後の目標や、医療への要望などがあればお聞かせください。

柳本：私の障害の病因はいまだに分からないままなので、原因不明の病気が一つでも多くなるとはほしいと思います。医療はチームワークが大切とお話は、私たち車いすバスケのチームに置き換えてもよく理解できます。車いすバスケでは、重い障害者でも対等に試合に出場できるように、障害の程度によってポイントが定められており、コート上の5人それぞれのポイント数の合計に制限が設けられています。また、障害の重いプレーヤーがシュート体勢に入ると味方が周りをガードすることで相手側を近づけなくするなどの戦術が必要になってきます。5月に行われた25歳以下の世界選手権では、これまでで最高の4位の成績を収めることができ、より上位を狙える位置に来ました。東京2020パラリンピック競技大会では銅メダル獲得が目標です。高校生のときに頂いた京都府スポーツ賞もずっと励みになっており、パラリンピックでは前回のリオ大会で逃した日本代表入りを目指して、ベストを尽くしていきます。

清水：本日はお忙しい中、創立55周年記念座談会にご出席いただき、ありがとうございました。



1 協会組織のうごき

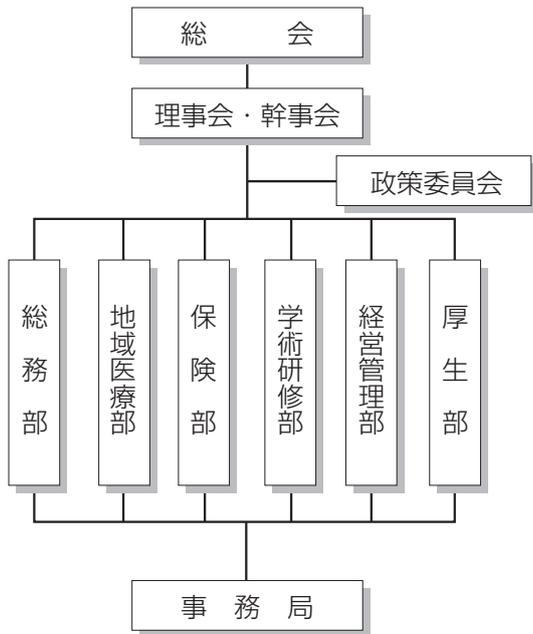
京都私立病院協会は、2019（令和元）年に創立55周年を迎えた。正会員数は132施設で、特別会員は11施設となっている。病床数は2020年3月末で、一般病床13,533床、療養病床4,009床、精神科病床5,206床、結核病床12床となっている。また、新設された、介護医療院への移行は1,705床となっている。

事務局は、2010（平成22）年に、旧医師会館から現在の「COCON烏丸」に移転した。組織としては、2013（平成25）年に「社団法人」から「一般社団法人」へ移行した。これにより、役員構成は理事・幹事・監事で構成され、現在は24名体制となっている。一般社団法人に移行後の2013年4月から幹事会は理事・幹事・監事で構成され、基本的に毎月第1、第3水曜日に定例開催している。理事会は、理事会の承認事項である法人の業務執行状況、事業報告及び決算、事業計画・予算、その他重要案件を審議するため開催している。

2025年に向けた「地域医療構想」や「働き方改革」など民間病院が直面している医療・介護制度の問題や事案に対し、京都府・京都市、厚生労働省、医師会等に対して積極的に意見、提言、要望等を行っている。

（副会長 武田隆久）

京都私立病院協会 組織図



総会・理事会・幹事会のもとにある6つの部会に所属する組織として、以下の委員会・事業を有している。（2020（令和2）年3月31日現在）
この他、創立55周年記念事業の実施のためのプロジェクトチームも時限的に設置した。

〈総務部〉

理事長・院長会、事務長会、看護部長会、薬剤師部会、放射線技師部会、臨床検査部会、臨床工学技士部会、栄養士部会、リハビリテーション部会、全体会議、部会連携会議、メディワークセンター事業運営委員会、新春会員懇親会、創立記念式典、協会ホームページ、近畿病院団体連合会委員会、近畿病院団体連合会事務長会、四病院団体協議会

〈地域医療部〉

地域医療構想検討委員会、救急医療検討委員会、京都市域二次病院群輪番制、山城北二次病院群輪番制、医療安全対策委員会、感染症対策委員会、在宅療養あんしん病院登録システム、府民リハビリテーション啓発支援事業検討委員会、看護人材早期復職支援事業検討委員会、きょうと介護・福祉ジョブネット看護職確保プロジェクトチーム、京都市離職看護師能力再開発事業、病院認知症対応力向上事業検討委員会、京都府医療勤務環境改善支援センター、医療労務管理支援事業、医療従事者確保強化事業検討委員会
医療従事者勤務環境改善促進事業 (H27.4~H30.3*①)
病床機能転換に向けた医療従事者キャリア向上事業 (H30.4~*②)
看護職員資質向上事業 (H27.4~H28.3*③)
看護職員離職防止定着・確保事業 (H27.4~H28.3*④)
看護補助者資質向上・確保事業 (H27.4~H28.3*⑤)
医療従事者勤務環境改善体制整備事業 (H27.4~)
在宅医療・介護連携体制支援事業検討委員会 (H26.4~H28.3*⑥)
在宅医療・介護人材育成事業検討委員会 (H27.4~H28.3*⑦)
病院在宅医療・介護体制強化事業検討委員会 (H28.4~H30.3*⑧)
病院地域包括ケアシステム強化事業 (H30.4~*⑨)
地域連携型在宅医療支援病院事業 (H30.4~)

*①はH30.4より②へ移行

*③~④はH28.4より①へ吸収、⑤はH28.4より医療従事者確保強化事業へ吸収

*⑥~⑦はH28.4より⑧へ吸収、⑧はH30.4より⑨へ移行

〈保険部〉



第3回通常総会（2015年）



第5回通常総会（2017年）

診療報酬委員会、介護保険委員会、介護サービス第三者評価審査委員会、京都市新規要介護認定調査事業

〈学術研修部〉

京都病院学会理事会、京都病院学会実行委員会、看護卒後教育、幹部教育（中堅幹部職員研修）、初級教育（教育研修基礎コース）、保健医療管理者養成講座運営委員会、医師臨床研修

〈経営管理部〉

環境問題委員会、病院機能向上委員会、融資斡旋、税制・補助金、危機管理

〈厚生部〉

私病報編集委員会、野球大会実行委員会、バレーボール大会実行委員会、フットサル大会実行委員会、会員親睦ゴルフコンペ実行委員会

〈創立55周年記念事業〉

創立55周年記念事業検討委員会（政策委員会で検討）、次代の医療の担い手育成事業検討委員会、ボウリング大会実行委員会

役員体制

2015（平成27）年度、2016（平成28）年度は、清水鴻一郎（京都伏見しみず病院＝現 京都リハビリテーション病院）会長体制の2期目であり、2015（平成27）年度は役員改選で副会長のうち岡本豊洋（第二岡本総合病院＝現：京都岡本記念病院）が退任、理事は有馬成紀（醍醐病院）から畑典男（長岡病院）に交代し、石丸庸介（田辺中央病院）、藤澤明生（賀茂病院）が新たに就任した。幹事は、清水幸夫（シミズ病院）、中谷泰幸（なぎ辻病院）、松井道宣（京都九条病院）、八木利之（洛和会音羽病院）が退任し、新たに明石純（明石病院）、清水史記（シミズ病院）、水落美知明（第二岡本総合病院）が就任し、理事・幹事・監事合わせて24名の体制となった。

2017（平成29）年度、2018（平成30）年度は、清水鴻一郎会長の3期目に入り、2017（平成29）年度の役員改選で、副会長に新しく小森直之（なぎ辻病院）、石丸庸介、藤澤明生が就任した。理事は中井

洋一（京都桂病院）から茨木孝二（亀岡病院）に交代し、新しく近藤泰正（堀川病院）、菅知行（愛生会山科病院）が就任した。幹事は水落美知明から仲田昌司（三菱京都病院）に交代し、新しく真鍋由美（八幡中央病院）、吉川拓宏（吉川病院）が就任した。監事は真鍋克次郎（八幡中央病院）が退任し、25名の体制となったが、2017（平成29）年6月に河端一也幹事がご逝去のため、残りの期間を24名の体制で協会の運営にあたった。また、2018（平成30）年5月の総会で会員に「私立介護医療院」を加えるための定款変更が承認された。

2019（令和元）年度は、清水鴻一郎会長の4期目となり、2019（令和元）年度の役員改選で、幹事は吉川拓宏が退任し、新たに武田敏也（京都武田病院）が就任した。

総会

総会は会員の総意に基づき、事業決算の承認、理事及び監事の選任等の重要事項を議決する最高議決機関である。（2013（平成25）年からの一般社団法人への移行後は、事業報告、事業計画・予算は報告事項となっている）

2015（平成27）年度以降2019（令和元）年度まで計5回の通常総会を開催した。

2018（平成30）年5月の一般社団法人京都私立病院協会第6回通常総会において、会員に私立介護医療院を加えるための定款変更が可決された。

◆第3回通常総会 2015（平成27）年5月27日

リーガロイヤルホテル京都
事業決算、第2期役員を選出、第2期会長及び副会長候補者の選出を審議し可決した。



総会号



幹事会

事業報告、公益目的支出計画実施報告、監査報告、事業計画・予算を報告した。

- ◆第4回通常総会 2016(平成28)年5月25日
ANAクラウンプラザホテル京都
事業決算を審議し可決した。

事業報告、公益目的支出計画実施報告、監査報告、事業計画・予算を報告した。

- ◆第5回通常総会 2017(平成29)年5月24日
京都ブライトンホテル
事業決算、第3期役員を選出、第3期会長及び副会長候補者の選出を審議し可決した。

事業報告、公益目的支出計画実施報告、監査報告、事業計画・予算を報告した。

- ◆第6回通常総会 2018(平成30)年5月23日
京都ホテルオークラ
事業決算、定款変更を審議し可決した。
事業報告、公益目的支出計画実施報告、監査報告、事業計画・予算を報告した。

- ◆第7回通常総会 2019(令和元)年5月22日
リーガロイヤルホテル京都
事業決算、第4期役員を選出、第4期会長及び副会長候補者の選出を審議し可決した。
事業報告、公益目的支出計画実施報告、監査報告、事業計画・予算を報告した。

理事会

理事会は、理事、監事で構成し、協会の定款に基づき、理事会の承認事項である法人の業務執行、事業報告及び決算、事業計画・予算、その他協会の重要案件を審議する際に開催した。

- ◆第1期 (50周年記念誌掲載以降)
第12回理事会(2015(平成27)年4月22日)
- ◆第2期 第1回理事会(2015(平成27)年5月27日)
～第8回理事会(2017(平成29)年4月26日)
- ◆第3期 第1回理事会(2017(平成29)年5月24日)
～第8回理事会(2019(平成31)年4月24日)
- ◆第4期 第1回理事会(2019(令和元)年5月22日)
～

幹事会・政策委員会

幹事会は理事、幹事、監事で構成し、原則、毎月第1、第3水曜日に定例開催している。協会の定款に基づき、協会の各委員会等が提案する意見・報告、会務に関する事項を審議した。また、民間病院に関わる医療・介護制度の問題、京都府・京都市予算等への要望、その他関係する事案について幹事会で協議し、厚生労働省、京都府・京都市等に対して積極的に意見・提言を行った。

- ◆第1期 (50周年記念誌掲載以降)
第39回幹事会(2015(平成27)年4月1日)
～第42回幹事会(2015(平成27)年5月13日)
- ◆第2期 第1回幹事会(2015(平成27)年6月3日)
～第40回理事会(2017(平成29)年5月10日)
- ◆第3期 第1回幹事会(2017(平成29)年6月7日)
～第40回理事会(2019(令和元)年5月8日)
- ◆第4期 第1回幹事会(2019(令和元)年6月5日)
～

政策委員会は、会長・副会長の構成で幹事会終了後を基本に開催し、幹事会で一任された案件の審議や協会運営の重要案件について基本方針の検討など



納涼幹事会



年末幹事会

を行った。

会員のうごき

2015（平成27）年度末（2016（平成28）年3月31日）より2019（令和元）年度末（2020（令和2）年3月31日）までの会員数および病床数の動きは以下の通りである。

		2015(平成27)年度末	2016(平成28)年度末	2017(平成29)年度末	2018(平成30)年度末	2019(令和元)年度末
会員数	会 員	136	136	136	132	132
	特別会員	12	12	11	9	11
	計	148	148	147	141	143
病床数	会 員	25,225	25,038	24,930	24,608	24,476
	特別会員	28	28	9	9	9
	計	25,253	25,066	24,939	24,617	24,485

2015（平成27）年度末（2016（平成28）年3月31日）より2019（令和元）年度末（2020（令和2）年3月31日）までの種別病床数の動きは以下の通りである。

		2015(平成27)年度末	2016(平成28)年度末	2017(平成29)年度末	2018(平成30)年度末	2019(令和元)年度末
会 員	一 般	13,520	13,500	13,567	13,516	13,544
	療 養	5,961	5,919	5,849	5,358	4,009
	精 神	5,484	5,359	5,354	5,208	5,206
	結 核	60	60	60	60	12
	老 健	200	200	100	0	0
	介 護 医 療 院	—	—	0	466	1,705
特別会員	一 般	12	12	9	9	9
	療 養	16	16	0	0	0
計		25,253	25,066	24,939	24,617	24,485



2 会員相互の連携と組織強化

京都私立病院協会は理事会・幹事会を中心に、事務長会、看護部長会、薬剤師部会、放射線技師部会、臨床検査部会、リハビリテーション部会、栄養士部会に加えて、新たに臨床工学士部会を発足し、各部会が活発に活動している。

また、医療の分野で顕著な功労があったものに対して当協会から推薦を行い多くの会員関係が表彰されている。

安全で安心な医療・介護の提供を、安定して提供できるよう、病院職員の質の向上、経営の質の向上を図るべく研修や情報交換、会員相互の連携の場を設けて組織の強化を図っている。

(副会長 武田隆久)

表彰

国や地方自治体では、医療の分野で顕著な功績のあった者に対し表彰の場を設けているが、その表彰事業の被表彰者の選出にあたり当協会から推薦を行っている。この間、会員関係では以下の方々が表彰された。(所属・職名は表彰日現在、当協会からの推薦者のみ掲載)

〈叙勲・瑞宝双光章〉

2018(平成30)年 岡本豊洋(社会医療法人岡本病院(財団)会長)

〈救急医療功労者・厚生労働大臣表彰〉

※京都府医師会、京都府病院協会との合同推薦
2015(平成27)年 清水幸夫(医療法人清仁会会長)
2018(平成30)年 清水 聡(新京都南病院理事長)

〈公衆衛生事業功労者・厚生労働大臣表彰〉

2016(平成28)年 清水鴻一郎(京都リハビリテーション病院理事長)
2017(平成29)年 菅 知行(愛生会山科病院理事長)
2018(平成30)年 武田隆久(医仁会武田総合病院理事長)
2019(令和元)年 富田哲也(富田病院理事長)

〈産科医療功労者・厚生労働大臣表彰〉

2015(平成27)年 都倉 隆(都倉病院理事長・院長)
2018(平成30)年 伴 千秋(医仁会武田総合病院産婦人科部長)

〈精神科看護業務功労者・厚生労働大臣表彰〉

※京都精神病院協会との合同推薦
2015(平成27)年 井川一枝(医療法人三幸会)

〈優良看護職職員・厚生労働大臣表彰〉

2017(平成29)年 林千鶴子(京都桂病院看護部長)

〈京都府救急医療功労者表彰〉

2015(平成27)年 武田隆久(医仁会武田総合病院理事長)
学研都市病院
2016(平成28)年 清水 聡(新京都南病院理事長)
亀岡シミズ病院
2017(平成29)年 四方實彦(学研都市病院院長)
京都岡本記念病院
2018(平成30)年 河端博也(新河端病院理事長)
洛西ニュータウン病院
2019(令和元)年 石丸庸介(田辺中央病院理事長)
十条武田リハビリテーション病院

〈京都府保健医療功労者表彰〉

2015(平成27)年 地域保健医療部門/小森直之



京都府保健医療功労者表彰



叙勲伝達式（岡本豊洋氏）

（なぎ辻病院理事長）
地域保健医療部門／綾部ルネス
病院

2016(平成28)年 地域保健医療部門／石丸庸介
（田辺中央病院理事長）

2017(平成29)年 地域保健医療部門／賀茂病院
地域保健医療部門／伴 千秋
（医仁会武田総合病院産婦人科
部長）

2018(平成30)年 地域保健医療部門／松ヶ崎記念
病院
地域保健医療部門／大槻克一
（亀岡病院理事長）

2019(令和元)年 精神保健部門／いわくら病院
地域保健医療部門／清水鴻一郎
（京都市リハビリテーション病院
理事長）

地域保健医療部門／京都久野病
院

〈京都府看護功労者表彰〉

2015(平成27)年 藤田都司（医療法人三幸会看護
介護統括部長）

2016(平成28)年 塚本美晴（医仁会武田総合病院
看護部長）

2017(平成29)年 中島美代子（西陣病院看護部長）

2018(平成30)年 加藤泰子（京都南西病院看護部
長）

2019(令和元)年 眞澄八恵子（伏見桃山総合病院
看護部長）

〈公衆衛生事業功労者・一般財団法人日本公衆衛生
協会会長表彰〉

2015(平成27)年 岡田 純（脳神経リハビリ北大

路病院理事長）

2016(平成28)年 畑 典男（長岡病院院長）

2017(平成29)年 寺澤義充（綾部ルネス病院院長）

2018(平成30)年 上田陽彦（賀茂病院院長）

〈雇用均等行政関係者厚生労働大臣感謝状〉

2016(平成28)年 津崎桂子（京都私立病院協会事
務局長）

〈京都労働局長表彰〉

2016(平成28)年 津崎桂子（京都私立病院協会事
務局長）

 **事務長会**

事務長会では常任委員会を中心に、事務長会独自の事業展開はもとより、理事会・幹事会の方針に基づいた各種事業にも積極的に参画し、また協会内各部会・委員会からの要請事項に対応するなど活発な活動をおこなっている。

病院医療を取り巻く状況が厳しさを増すなか、事務長会では医療情勢の動向把握とそのための情報収集に努めるとともに、会員が直面する諸問題を事務的側面から捉え、その解決に尽力してきた。さらに、私病協の各委員会への事務長会代表委員派遣を通して各種事業に参画し、協会の基本方針に対し全面的な協力体制をとっている。

常任委員会では3つの部会を構成し、2015（平成27）年度には部会体制を教育・研修部会、総務・企画部会、調査・研究部会に組み直し、それぞれの専門能力を活かしながら、有機的な連携のもと数多くの事業を企画している。

2018（平成30）年度は、京都が近畿2府4県の病院団体によって組織される近畿病院団体連合会事務



事務長会総会



事務長会全体会議

長会の主催となり、第1回目は医師の労務管理について意見交換を実施、第2回目は京都府立医科大学永守記念最先端がん治療研究センターの施設見学を実施した。

事務長会活動に求められる役割と期待は大きく、激動の医療情勢のもと、病院経営の安定化と効率化をめざす事務長会の取り組みは、今後益々多岐にわたるものと思われる。

5年間の主な事務長会活動を以下に記す。

※以降、開催場所の記載のないものは京都私立病院協会会議室での開催。

◆歴代常任委員長

- 中井洋一 2012(平成24)年6月～2017(平成29)年5月 (京都桂病院)
- 茨木孝二 2017(平成29)年6月～ (亀岡病院)

◆事務長会総会(毎年5月に開催し、前年度の事業報告と次年度の事業方針、役員を選出などを決定しているほか、研修会を隔年で行っている。研修テーマについては後述)

- 2015(平成27)年 5月8日
京都ブライトンホテル
- 2016(平成28)年 5月13日
ホテル日航プリンセス京都
- 2017(平成29)年 5月12日
リーガロイヤルホテル京都
- 2018(平成30)年 5月11日
リーガロイヤルホテル京都
- 2019(令和元)年 5月10日
京都ブライトンホテル

◆事務長会全体会議(毎年12月に開催し、上半期の事業報告と経営管理講演会を行っている。講演会テーマについては後述)

- 2015(平成27)年 12月11日
リーガロイヤルホテル京都
- 2016(平成28)年 12月9日
ハイアットリージェンシー京都
- 2017(平成29)年 12月8日
ウェスティン都ホテル京都
- 2018(平成30)年 12月14日 ホテルモントレ京都
- 2019(令和元)年 12月13日
ウェスティン都ホテル京都

◆研修会・拡大常任委員会

- 2015(平成27)年度
 - ・7月30日 メルパルク京都 (労務研修会)
「社会保障・税番号(マイナンバー)制度について」
講師/田岡成基(株式会社だいこう証券ビジネス執行役員)
 - ・10月10日 (拡大常任委員会)
「改正労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度について」
講師/高木芳夫(京都労働局労働基準部健康安全課地方労働衛生専門官)
 - ・12月11日 リーガロイヤルホテル京都 (事務長会全体会議)
「経営トップの健康管理～運動のすすめ～」
講師/森谷敏夫(京都大学大学院人間・環境学研究科教授)
 - ・2月28日 からすま京都ホテル (事務長会研修会)



事務長会研修会

「平成28年度診療報酬改定について」

講師／宮崎雅則(厚生労働省保険局医療課長)

2016(平成28)年度

- ・ 5月13日 ホテル日航プリンセス京都(事務長会総会)

「金閣炎上と感謝について」

講師／江上泰山(臨濟宗相国寺派真如寺長老)

- ・ 7月15日 TKP京都四条烏丸カンファレンスセンター(労務研修会)

「病院活性化のためのコーチング流マネジメント」

講師／畑埜義雄(畑埜クロスマネジメント代表)

- ・ 10月14日(拡大常任委員会)
「最近の労務管理事情～ずれてませんか？あなたの感覚～」
講師／岸川 守(関西ステート経営労務事務所代表・特定社会保険労務士)

- ・ 10月17日 登録会館(労務研修会)
「伝統文化産業の人材育成に学ぶ—京都花街「舞妓」の事例—」

講師／西尾久美子(京都女子大学現代社会学部教授)

- ・ 12月9日 ハイアットリージェンシー京都(事務長会全体会議)

「リオデジャネイロで日本と京都を考える」

講師／井上章一(国際日本文化研究センター教授)

- ・ 2月22日 登録会館(労務研修会)
「人生は片道切符～へこたれない人材育成～」
講師／松久ミユキ(花園大学名誉教授・元オリンピック選手)

- ・ 3月14日(労務研修会)

「なるほど 京都のお酒はこれだ！？—異業種の経営から病院経営を考える—」

講師／増田徳兵衛(株式会社増田徳兵衛商店代表取締役)

2017(平成29)年度

- ・ 6月27日 登録会館(労務研修会)

「これから求められる労働時間管理～労働時間適正把握ガイドラインのポイントと労働時間上限規制への対応実務～」

講師／岸川 守

- ・ 7月27日 登録会館(労務研修会)

「働き方改革における今後の人事管理～同一労働同一賃金と非正規職員の処遇について～」

講師／岸川 守

- ・ 11月10日(拡大常任委員会)

「個人情報保護の重要性と実践～改正個人情報保護法への対応におけるポイントとは～」

講師／松下 健(東京海上日動リスクコンサルティング株式会社ビジネスリスク本部リスクコンサルタント)

「京都府自転車の安全な利用の促進に関する条例の一部改正について」

講師／堀 正明(東京海上日動火災保険株式会社京都支店営業課課長代理)

- ・ 12月8日 ウェスティン都ホテル京都(事務長会全体会議)

「ロボットの医療分野での今後の活用～ロボットとAIが未来を変える～」

講師／宮下敬宏(株式会社国際電気通信基礎技術研究所知能ロボティクス研究所室長)



事務長会労務研修会



事務長会研修会・これからの社会保障を考えるセミナー合同開催

- ・ 2月5日 登録会館（労務研修会）
「有期労働契約法制と無期転換申し込み制度への対応策～経営側から見た特に留意すべきポイント～」
講師：岸川 守
 - ・ 2月24日 からすま京都ホテル（事務長会研修会・これからの社会保障を考えるセミナーPart 3 合同開催）
「平成30年度介護報酬改定について」
講師：鈴木健彦（厚生労働省老健局老人保健課長）
「平成30年度診療報酬改定について」
講師：迫井正深（厚生労働省保険局医療課長）
- 2018(平成30)年度
- ・ 5月11日 リーガロイヤルホテル京都（事務長会全体会議）
「京都府地域包括ケア構想について」
講師／京都府健康福祉部医療課
「熊本地震の経験から～大規模災害への備え～」
講師／犬飼邦明（社会医療法人ましき会益城病院理事長）
 - ・ 7月5日 登録会館（労務研修会）
「地域医療構想について」
講師／京都府健康福祉部医療課
「同一労働同一賃金の改正法案と今後進めべき実務対応～関連する最高裁判例を踏まえて～」
講師／岸川 守
 - ・ 10月4日 登録会館（労務研修会）
「地域医療構想について」
講師／京都府健康福祉部医療課
- 「働き方改革に伴う医療機関の労務管理～課題となる医師の労働時間管理～」
講師／岸川 守
 - ・ 10月12日（拡大常任委員会）
「労働基準法における労働時間制度について」
講師／黒川仁晴（京都労働局労働基準部監督課）
「働き方改革に対応するための中小企業・小規模事業者支援について」
講師／大谷真弓（京都労働局雇用環境・均等室）
「医療機関において安心・安全に電波を利用するために」
講師／田中秀人（総務省近畿総合通信局電波監理部電波利用環境課課長）
藤本孝史（総務省近畿総合通信局電波監理部電波利用環境課上席）
「病院経営動向調査モニター募集について」
講師／独立行政法人福祉医療機構
 - ・ 12月14日 ホテルモンテレ京都（事務長会全体会議）
「京都府地域包括ケア構想について」
講師／京都府健康福祉部医療課
「人材育成について」
講師／淀川隆顕（西山浄土宗長福寺住職）
- 2019(令和元)年度
- ・ 4月12日（拡大常任委員会）
「労働基準監督署への内部告発を防ぐ現場マネジメントのポイント」
講師／植田なつき（株式会社日本経営組織人事コンサルティングチームリーダー）
 - ・ 11月8日（拡大常任委員会）



事務長会研修旅行



近畿病院団体連合会事務長会

「サイバー攻撃の未然防止、被害拡大の防止に向けた対策について」

講師／京都府情報通信部情報技術解析課、京都府警察サイバー攻撃特別捜査隊、京都府下京警察署

- ・12月13日 ウェスティン都ホテル京都（事務長会全体会議）

「事務長が知っておくべき労働法～パート・有期労働法と労働者派遣法（同一労働同一賃金）への具体的な対応策について～」

講師／岸川 守

- ・1月10日（拡大常任委員会）

「同一労働同一賃金への対応方法」

講師／飯田哲哉（株式会社日本経営組織人事コンサルティング部課長代理）

◆外部研修(研修旅行)

先進的な病院運営や取り組みを実施している医療機関の見学を通しての研修と、会員事務長間の親睦を図ることを目的に実施している。

2015(平成27)年／社会医療法人明石医療センター（兵庫県明石市）

2016(平成28)年／公益財団法人白浜医療福祉財団 白浜はまゆう病院（和歌山県白浜町）

2017(平成29)年／社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院（岐阜県羽島郡）

2018(平成30)年／社会福祉法人聖隷福祉事業団総合病院聖隷浜松病院（静岡県浜松市）

2019(令和元)年／公益財団法人操風会岡山旭東病院（岡山県岡山市）

◆他府県病院協会事務長会との交流

1) 近畿病院団体連合会との交流

- ・2015(平成27)年度

9月5日 ホテルグランヴィア和歌山（和歌山県）

各府県の諸問題についての情報交換と講演会

3月18日 ホテルグランヴィア和歌山（和歌山県）

各府県の諸問題についての情報交換と講演会

- ・2016(平成28)年度

9月2日 ホテル日航奈良（奈良県）

各府県の諸問題についての情報交換と講演会

3月16日 南和広域医療企業団奈良総合医療センター（奈良県）

講演および施設見学

- ・2017(平成29)年度

9月8日 琵琶湖ホテル（滋賀県）

各府県の諸問題についての情報交換と講演会

3月16日 琵琶湖汽船ビアンカ船上（滋賀県）

各府県の諸問題についてのグループワークおよび情報交換

- ・2018(平成30)年度

9月14日 京都タワーホテル（京都府）

医師の労務管理についてグループワークを実施および「健康寿命を延伸させる運動と栄養」をテーマに森谷敏夫京都大学名誉教授・京都産業大学客員教授が講演。

3月8日 施設見学会／京都府立医科大学永守記念最先端がん治療研究センター（京都府）

京都府内で初めてとなる陽子線治療施設に訪問し施設見学を実施。

懇親会／ホテルグランヴィア京都（京都府）



施設見学（京都市立医科大学永守
記念最先端がん治療研究センター）

- ・ 2019(令和元)年度
- 10月11日 社会医療法人愛仁会愛仁会リハビリ
テーション病院（大阪府）
講演および施設見学

◆教育・研修部会の主な活動

- ・ 2015(平成27)年度
 - 1) 事務長研修会「社会保障・税番号（マイナンバー）制度について」の企画を行った。
 - 2) 10月拡大常任委員会「改正労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度について」の企画を行った。
 - 3) 事務長会全体会議「経営トップの健康管理～運動のすすめ～」の企画を行った。
 - 4) 事務長会研修会「平成28年度診療報酬改定について」の企画を行った。
 - 5) 病院事務職員向けのタイムリーな内容をテーマとした研修会の検討を行った。
- ・ 2016(平成28)年度
 - 1) 事務長研修会「病院活性化のためのコーチング流マネジメント」「伝統文化産業の人材育成に学ぶ—京都花街「舞妓」の事例—」「人生は片道切符～へこたれない人材育成～」(計3回)の企画を行った。
 - 2) 事務長会研修会「なるほど 京都のお酒はこれだ!?!—異業種の経営から病院経営を考える—」の企画を行った。
 - 3) 事務長会総会研修会「金閣炎上と感謝について」の企画を行った。
 - 4) 事務長会全体会議「リオデジャネイロで日本と京都を考える」の企画を行った。
 - 5) 10月拡大常任委員会「最近の労務管理事情

～ずれてませんか？あなたの感覚～」の企画を行った。

- ・ 2017(平成29)年度
 - 1) 事務長労務研修会「これから求められる労働時間管理～労働時間適正把握ガイドラインのポイントと労働時間上限規制への対応実務～」「働き方改革における今後の人事管理～同一労働同一賃金と非正規職員の処遇について～」(計2回)の企画を行った。
 - 2) 事務長会研修会「有期労働契約法制と無期転換申し込み制度への対応策～経営側から見た特に留意すべきポイント～」の企画を行った。
 - 3) 事務長会研修会・これからの社会保障を考えるセミナーPart 3 合同開催「平成30年度診療報酬・介護報酬同時改定説明会」の企画を行った。
 - 4) 11月拡大常任委員会①「個人情報保護の重要性と実践～改正個人情報保護法への対応におけるポイントとは～」②「京都府自転車の安全な利用の促進に関する条例の一部改正について」の企画を行った。
 - 5) その他、職員教育及び労務に関する諸問題について情報交換を行い、あわせて分析・検討を行った。
- ・ 2018(平成30)年度
 - 1) 事務長労務研修会「同一労働同一賃金の改正法案と今後進めるべき実務対応～関連する最高裁判例を踏まえて～」「働き方改革に伴う医療機関の労務管理～課題となる医師の労働時間管理～」(計2回)の企画を行った。

2) 10月拡大常任委員会①「労働基準法における労働時間制度について」②「働き方改革に対応するための中小企業・小規模事業者支援について」③「医療機関において安心・安全に電波を利用するために」の企画を行った。

3) その他、職員教育及び労務に関する諸問題について情報交換を行い、あわせて分析・検討を行った。

・2019(令和元)年度

1) 事務長会全体会議「事務長が知っておくべき労働法～パート・有期労働法と労働者派遣法（同一労働同一賃金）への具体的な対応策について～」の企画を行った。

2) 事務長会研修会・これからの社会保障を考えるセミナーPart 3 合同開催「令和2年度診療報酬改定説明会」の企画を行った。

3) 11月拡大常任委員会「サイバー攻撃の未然防止、被害拡大の防止に向けた対策について」の企画を行った。

4) その他、職員教育及び労務に関する諸問題について情報交換を行い、あわせて分析・検討を行った。

4) 教育・研修部会、調査・研究部会に対し、必要に応じて意見提言する等のサポートに努めた。

・2016(平成28)年度

1) 事務長会総会の運営全般について検討を行った。

2) 事務長会研修旅行の見学先及び行程について検討を行った。

3) 事務長会全体会議の運営全般について検討を行った。

4) その他事務長会常任委員会におけるイベント企画・運営について検討を行った。

5) 教育・研修部会、調査・研究部会に対し、必要に応じて意見提言する等のサポートに努めた。

・2017(平成29)年度

1) 事務長会総会、事務長会全体会議・年末懇親会の講師・テーマ及び運営全般について企画・検討を行った。

2) 事務長会研修旅行の見学先及び行程について検討を行った。

3) 日常業務等に関わる各種調査（以下8件）を実施し、会員施設に必要な情報提供を行った。

・今春の賃金改定及び夏期賞与の支給状況について（7～8月実施）

・退職金制度について（7～8月実施）

・年棒給与の医師に対する超過勤務手当支給制度等の実態について（7～8月実施）

・定年制度について（8～9月実施）

・職員に対する自院受診の際の医療費減免制度の有無について（8～9月実施）

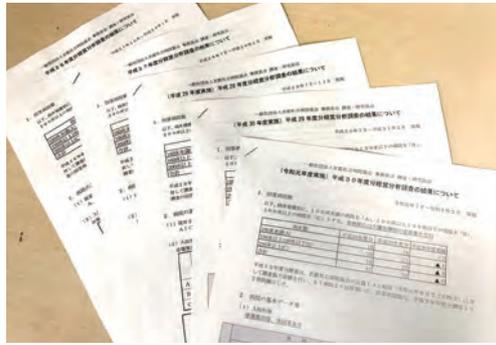
◆総務・企画部会の主な活動

・2015(平成27)年度

1) 事務長会総会の運営全般について検討を行った。

2) 事務長会研修旅行の見学先及び行程について検討を行った。

3) 事務長会全体会議の運営全般について検討を行った。



経営分析調査



賃金労働条件等実態調査

- ・冬期賞与の支給状況について(1月実施)
- ・院内保育の現状について(1月実施)
- ・事務長会研修旅行のアンケート調査(2～3月実施)
- ・2018(平成30)年度
 - 1) 事務長会総会、事務長会全体会議・年末懇親会の講師・テーマ及び運営全般について企画・検討を行った。
 - 2) 事務長会外部研修の見学先及び行程について検討を行った。
 - 3) 日常業務等に関わる各種調査(以下6件)を実施し、会員施設に必要な情報提供を行った。
 - ・今春の賃金改定及び夏期賞与の支給状況について(7～8月実施)
 - ・冬期賞与の支給状況について(1月実施)
 - ・2019年ゴールデンウィークに伴う診療体制について(1月実施)
 - ・職員の出退勤の管理方法について(2～3月実施)
 - ・障害者雇用の現状について(2～3月実施)
 - ・年間休日日数および年次有給休暇について(2～3月実施)
- ・2019(令和元)年度
 - 1) 事務長会総会、事務長会全体会議・年末懇親会の講師・テーマ及び運営全般について企画・検討を行った。
 - 2) 事務長会外部研修の見学先及び行程について検討を行った。
 - 3) 日常業務等に関わる各種調査(以下3件)を実施し、会員施設に必要な情報提供を行

- った。
- ・今春の賃金改定及び夏期賞与の支給状況について(7～8月実施)
- ・職員に対する健康診断の実施内容について(7～8月実施)
- ・冬期賞与の支給状況について(1月実施)

◆調査・研究部会の主な活動

- ・2015(平成27)年度
 - 1) 平成26年度分経営分析調査の実施とその集計。集計結果には解説を添付した。
 - 2) 平成27年度賃金労働条件等実態調査の実施とその集計
 - 3) 平成27年度賃金実在者全数調査の実施とその集計
 - 4) 日常業務等に関わる各種調査(以下1件)を実施し、会員施設に必要な情報提供を行った。
 - ・清掃委託費と京都府最低賃金の値上げについて(1～2月実施)
- ・2016(平成28)年度
 - 1) 平成27年度分経営分析調査の実施とその集計。集計結果には解説を添付した。
 - 2) 平成28年度賃金労働条件等実態調査の実施とその集計
 - 3) 日常業務等に関わる各種調査(以下7件)を実施し、会員施設に必要な情報提供を行った。
 - ・雇用延長後の給与・賞与について(6～7月実施)
 - ・紹介業者の利用に関する職種別採用状況について(6～7月実施)



医事業務研修会

- ・ 今春の賃金改定及び夏期賞与の支給状況について（8～9月実施）
- ・ 訪問看護師の労働条件等について（8～9月実施）
- ・ 管理職（管理監督者）について（12～1月実施）
- ・ 慶弔休暇について（1～2月実施）
- ・ 冬期賞与の支給状況について（1～2月実施）
- ・ 2017(平成29)年度
 - 1) 平成28年度分経営分析調査の実施とその集計。集計結果には解説を添付した。
 - 2) 平成29年度賃金労働条件等実態調査の実施とその集計
 - 3) 日常業務等に関わる各種調査（以下1件）を実施し、会員施設に必要な情報提供を行った。（6月より、本調査は、総務・企画部会が担当。）
 - ・ 税務顧問料等について（4月実施）
- ・ 2018(平成30)年度
 - 1) 平成29年度分経営分析調査の実施とその集計。集計結果には解説を添付した。
 - 2) 平成30年度賃金労働条件等実態調査の実施とその集計
 - 3) 平成30年度賃金実在者全数調査の実施とその集計
- ・ 2019(令和元)年度
 - 1) 平成30年度分経営分析調査の実施とその集計。集計結果には解説を添付した。
 - 2) 令和元年度賃金労働条件等実態調査の実施とその集計
 - 3) 同一労働同一賃金に係る自主点検表の作成

◆医事業務研修会(旧・医療事務勉強会)プロジェクトチーム会議

これまで診療報酬委員会の主催で事務長会は運営のサポートをする立場であったが、近年の医療事務に求められる資質が請求業務だけでなくより幅広くなっていることから、プロジェクトチームを立ち上げカリキュラムの見直しを行い、平成27年度からは本会議で決定した新カリキュラムに沿った講師を招き、研修会を開催している。

- 2015(平成27)年 10月29日・30日 京都・烟河(亀岡市)
- 2016(平成28)年 11月24日・25日 京都・烟河
- 2017(平成29)年 10月26日・27日 京都・烟河
- 2018(平成30)年 10月18日・19日 京都・烟河
- 2019(令和元)年 10月17日・18日 京都・烟河

◆地区活動

◆北部地区事務長会の活動

中丹、丹後地区の会員を対象とする北部地区事務長会が、経営管理に関する情報交換や北部地区固有の問題について協議・情報交換を行った。

- ・ 2015(平成27)年度
 - 9月30日 ホテルロイヤルヒル福知山(福知山市)
 - 2月26日 とと屋(京丹後市)
- ・ 2016(平成28)年度
 - 10月28日 ホテルロイヤルヒル福知山
 - 2月17日 とと屋
- ・ 2017(平成29)年度
 - 10月6日 ホテルロイヤルヒル福知山
 - 2月2日 とと屋



看護部長会総会

- ・ 2018(平成30)年度
 - 10月26日 ホテルロイヤルヒル福知山
 - 2月1日 とと屋
- ・ 2019(令和元)年度
 - 10月25日 ホテルロイヤルヒル福知山
 - 2月7日 とと屋

◆南部地区事務長会の活動

宇治・城陽・八幡・京田辺・久御山・精華地区の会員を対象とする南部地区事務長会が地域固有の話題をはじめ、病院経営に関わる様々な問題について協議・情報交換を行った。

- ・ 2015(平成27)年度
 - 6月24日 宇治市産業会館（宇治市）
 - 11月25日 宇治市産業会館
- ・ 2016(平成28)年度
 - 6月22日 宇治市産業会館
 - 11月30日 宇治市産業会館
- ・ 2017(平成29)年度
 - 6月28日 宇治市産業会館
 - 11月29日 宇治市産業会館
- ・ 2018(平成30)年度
 - 6月27日 宇治市産業会館
 - 11月28日 宇治市生涯学習センター（宇治市）
- ・ 2019(令和元)年度
 - 6月26日 宇治市産業会館
 - 11月27日 宇治市産業会館

看護部長会

当部会では原則、毎月1回定例会を開催している。会員病院の看護管理者であれば誰でも参加出来るオープン参加形式をとり、毎回平均60名前後の参加を

得ている。

定例会では、各委員会および研修会、関連事業所からの報告と日常業務などの疑問に即対応できるような情報交換を行っている。また定例会後に実施する相互研修では、議題に基づいての全体情報交換やグループ討議、各方面から講師を招いての講義と様々な形式を取り入れ実施している。

◆総会

看護部長会の総会は毎年5月に開催し、前年度の事業報告と次年度の事業方針、役員・委員の選出などを決定している。

- 2015(平成27)年度
 - 5月22日 京都センチュリーホテル
- 2016(平成28)年度
 - 5月27日 ホテルモントレ京都
- 2017(平成29)年度
 - 5月26日 リーガロイヤルホテル京都
- 2018(平成30)年度
 - 5月25日 InStyle Wedding KYOTO
- 2019(令和元)年度
 - 5月24日 京都ホテルオークラ

◆相互研修

- 2015(平成27)年度
 - 4月「平成26年度診療報酬改定を受けての取り組み～地域包括ケア病棟・病床～」(事例発表)
 - 発表者／矢田貴子（堀川病院看護部長）
 - 竹永百合子（吉祥院病院看護部長）
 - 寺前八重（京都民医連中央病院看護部長）
 - 6月「看護部長が抱える諸問題」（グループワ



看護部長会相互研修

ーク)

7月「医療看護のハラスメントについて～事例をもとに～」(講演)

講師／伊藤 健氏(伊藤経営労務管理事務所)

9月「病院での取り組み」(事例発表)

発表者／出雲幸美(シミズ病院看護部長)

井川玲子(京都大原記念病院看護部長)

10月「看護管理～看護管理者の育成について～」(講演)

講師／大島敏子氏(NPO法人看護職キャリアサポート顧問)

2月「適時調査について」(事例発表)

3月「看護部長のナラティブ」(発表)

発表者／中澤美知子(なぎ辻病院看護部長)

小野典子(三菱京都病院看護部長)

畑田宏美(洛西ニュータウン病院看護部長)

2016(平成28)年度

4月「診療報酬改定」(講演)

講師／五十川 優(日医工株式会社 営業本部オンコロジー広域病院部支店病院担当グループ大阪第一チーム)

6月「看護部長が抱える諸問題」(グループワーク)

7月「看護部長のメディエーション」(講演)

講師／出森智子(京都桂病院TQMセンター 医療メディエーター)

9月「看護部長に必要な経営的視点」(講演)

講師／山田正明(堀川病院事務長)

10月「病棟・外来・手術室の部署の評価の方法」(講演)

講師／大島敏子氏

2月「適時調査について」(事例発表)

3月「看護部長のナラティブ」(発表)

発表者／真澄八恵子(伏見桃山総合病院看護部長)

清水真理(薬師山病院看護部長)

春日かほる(田辺記念病院看護部長)

2017(平成29)年度

4月「平成28年度診療報酬改定を受けての取り組み」(事例発表)

発表者／門真由美(京都回生病院看護部長)

塚本美晴(医仁会武田総合病院看護部長)

浦野貴子(洛西シミズ病院看護部長)

中島美代子(西陣病院看護部長)

6月「看護部長が抱える諸問題」(グループワーク)

7月「医療事故対策」(講演)

講師／橋本京三(京都府医師会医療事故処理室副室長・橋本医院院長)

9月「社会人基礎力を高める人材育成・人材活用の方法」(講演)

講師／野崎治子(株式会社堀場製作所理事)

10月「保健医療2035」(講演)

講師／大島敏子氏(NPO法人看護職キャリアサポートフリージア・ナースの会会長)

2月「適時調査について」(事例発表)

3月「看護部長のナラティブ」(発表)

発表者／林千鶴子(京都桂病院看護部長)

林陸美(十条武田リハビリテーション病院看護部長)

河村美緒(愛寿会同仁病院看護部長)

2018(平成30)年度

4月「看護部として理解すべき2018年度改定の意味—経営的観点から—」(講演)

講師/濱中洋平(メディキャスト株式会社NKアカデミー事業部統括マネージャー)

6月「クリニカルラダー」(情報提供・グループワーク)

講師/高野佳子(堀川病院副看護部長)

8月「看護におけるリフレクションの意義と活用」(講演)

講師/池西悦子(大阪医科大学看護学部看護学科教授)

9月「診療報酬改定を踏まえ看護部で取り組んだこと」(事例発表)

発表者/南田喜久美(京都九条病院看護部長)
堤恵子(京都南病院看護部長)
福島朋樹(新河端病院看護部長)

11月「働き方改革と看護管理」(講演)

講師/大島敏子氏

2月「適時調査を受けて」(事例発表)

3月「看護部長のナラティブ」(発表)

発表者/中島美代子(西陣病院看護部長)
海老成子(金井病院看護部長)
高橋鈴子(相馬病院看護部長)

2019(令和元)年度

4月「労働基準法における労働時間制度について～労働時間の考え方～」(講演)

講師/黒川仁晴(京都労働局労働基準部監督課)

6月「労務管理の成功事例」(事例発表)

発表者/杉村洋子(宇治病院看護部長)

坂井加津美(北山病院看護部長)

谷中淑恵(長岡京病院看護部長)

松本旗江(明石病院看護部長)

7月「裁判例に学ぶ看護師の法的責任」(講演)

講師/頼政忠(頼法律事務所弁護士)

9月「適時調査を受けて」(事例発表)

11月「人生100年時代の看護師の役割」(講演)

講師/大島敏子氏

2月「地域包括ケアシステムの推進について」(講演)

講師/京都府健康福祉部医療課

◆総務委員会

看護部長会運営の全般企画、調整を行い部会長と副部会長などで構成されている。主な活動としては定例会での相互研修の企画・運営を行い、事例発表、講演会など研修形式についても検討している。その他、平成27年度からは看護補助者の確保を目的とし、一般市民を対象とした「看護補助者説明会」の企画運営(※平成30年度より医療従事者確保強化事業の看護補助者確保推進事業として実施)、平成28年度からは新たに「看護管理者研修」の開催、平成29年度からは看護中間管理者研修Ⅰ(主任コース)またはⅡ(師長コース)の中の2回を公開講座とする等、中間管理者育成のためにより多くの研修受講の機会を提供するべく、企画・運営を行った。また、当委員は教育委員会・福利厚生委員会の委員も兼ねており、各委員会の企画・運営に関しても当委員会で検討している。



看護補助者説明会

〈看護補助者確保研修〉

2015(平成27)年度

11月14日

京都烏丸コンベンションホール

テーマ／「看護補助者と行うチーム活動～看護補助者教育～」

講師／松浦真理子(社会福祉法人恩賜財団島根県済生会江津総合病院看護部長)

長谷川寿子(京都博愛会病院看護部長)

村野春美(西京病院)

戸川勇樹(伏見桃山総合病院)

黒田駿佑(京都博愛会病院)

南雲順子(大島病院)

11月26日

文化パルク城陽

講師／真澄八恵子(伏見桃山総合病院看護部長)

小河陽子(京都きづ川病院看護部長)

植村ひかる(田辺中央病院看護部長)

春日かほる(田辺記念病院看護部長)

田口沙紀(京都きづ川病院)

小松文子(田辺中央病院)

西岡孝記(田辺記念病院)

〈看護補助者説明会〉

2015(平成27)年度

11月7日

京都私立病院協会会議室

テーマ／「病院で働いてみませんか～資格がなくても大丈夫～」

講師／林千鶴子(京都桂病院看護部長)

矢田貴子(堀川病院看護部長)

南 京子(新京都南病院看護部長)

2月22日

講師／林千鶴子(京都桂病院看護部長)

矢田貴子(堀川病院看護部長)

南 京子(新京都南病院看護部長)

山田和正(京都桂病院)

佐々木宮子(堀川病院)

梅田京子(新京都南病院)

2月27日

※以下、前回とテーマ同じ。場所が異なる場合のみ記載。

講師／林千鶴子(京都桂病院看護部長)

矢田貴子(堀川病院看護部長)

南 京子(新京都南病院看護部長)

谷口 岬(京都桂病院)

三橋千晶(堀川病院)

西窪 章(新京都南病院)

2017(平成29)年度

4月22日

市民交流プラザふくちやま

講師／長谷川寿子(京都博愛会病院看護部長)

真澄八恵子(伏見桃山総合病院看護部長)

岩田和子(京都ルネス病院看護部長)

大槻善子(京都ルネス病院)

大槻聡子(京都ルネス病院)

廣瀬雅尚(京都ルネス病院)

2016(平成28)年度

7月30日

講師／須川裕子(西京病院看護部長)

真澄八恵子(伏見桃山総合病院看護部長)



看護管理者研修

6月27日

講師／南 京子（新京都南病院看護部長）
中島美代子（西陣病院看護部長）
原田聡美（京都八幡病院看護部長）
上信昌代（西陣病院）
上村真莉（西陣病院）
梅田京子（新京都南病院）

2月22日

講師／矢田貴子（堀川病院看護部長）
塚本美晴（医仁会武田総合病院看護部長）
稲田祐美子（がくさい病院看護部長）
橋 真美（医仁会武田総合病院）
中山 泰（がくさい病院）
西浦千尋（堀川病院）

2018(平成30)年度

4月27日

講師／南 京子（新京都南病院看護部長）
小村裕子（医仁会武田総合病院）
江森千恵子（京都博愛会病院）
佐々木香澄（西陣病院）

9月7日

文化パルク城陽

講師／中島美代子（西陣病院看護部長）
好田絵美（宇治武田病院）
板野京子（京都きづ川病院）
福田 優（田辺中央病院）

2月22日

メルパルク京都

講師／長谷川寿子（京都博愛会病院看護部長）
濱野由美子（京都九条病院）
吉本裕美（京都武田病院）

大島かなえ（武田病院）

2019(令和元)年度

4月23日

講師／塚本美晴（医仁会武田総合病院看護部長）
山北イク子（稲荷山武田病院）
千頭あすか（京都桂病院）
潮見佳苗（相馬病院）

9月13日

市民交流プラザふくちやま

講師／小河陽子（京都きづ川病院看護部長）
井根千寿子（宮津武田病院）
高畑晋子（もみじが丘病院）
北野奈々（京都ルネス病院）

2月17日

講師／矢田貴子（堀川病院看護部長）
呉山好子（京都回生病院）
吉原智子（三菱京都病院）
名田泰子（新河端病院）

〈看護管理者研修〉

2016(平成28)年度

6月30日

登録会館

テーマ／「看護補助者の活用と成長支援」

内容／①看護補助者活用に関する制度等の概要

②看護職員との連携と業務整理

③看護補助者の育成・研修・能力評価

④看護補助者の雇用形態と処遇

講師／①濱中洋平（メデイキャスト（株）企画営業部統括マネージャー）



公開講座

- ②真澄八恵子（伏見桃山総合病院看護部長）
- ③鳴海あゆみ（堀川病院看護師長）
- ④中野翔太（㈱日本経営戦略人事コンサルティング 主任）

2017(平成29)年度

6月28日

メルパルク京都

テーマ／「看護補助者の活用と成長支援」

内 容／①看護補助者活用に関する制度等の概要

- ②看護補助者の雇用形態と処遇
- ③看護職員との連携と業務整理
- ④看護補助者の育成・研修・能力評価

講 師／①濱中洋平（メディキャスト（株）企画営業部統括マネージャー）

- ②中野翔太（㈱日本経営戦略人事コンサルティング主任）
- ③矢田貴子（堀川病院看護部長）
- ④高野佳子（堀川病院副看護部長）

2018(平成30)年度

6月30日

メルパルク京都

※前年度とテーマ・内容②～④・講師同じ

※内容①のみ変更

内 容／①看護補助者活用に関する制度等の概要

—看護補助者の活用と業務改善から地域医療構想に対応する—

2019(令和元)年度

6月21日

コープ.イン.京都

※前年度とテーマ・内容・講師同じ

〈看護中間管理者研修公開講座〉

2017(平成29)年度

11月7日

登録会館

看護中間管理者研修Ⅱ（師長コース）第5回

テーマ／「師長のリーダーシップ」

講 師／大島敏子（NPO法人 看護職キャリアサポート フリージア・ナースの会 会長）

1月29日

登録会館

看護中間管理者研修Ⅱ（師長コース）第8回

テーマ／「医療情勢と病院運営」

講 師／山田正明（堀川病院事務長）

2018(平成30)年度

10月31日

登録会館

看護中間管理者研修Ⅱ（師長コース）第4回

テーマ／「看護サービス」

講 師／豊田久美子（京都看護大学学長）

1月18日

※前年度1月29日と場所・テーマ・講師同じ

2019(令和元)年度

4月26日

登録会館

看護中間管理者研修Ⅰ（主任コース）第1回

テーマ／「いのちへの問いかけ」

講 師／西沢いづみ（立命館大学生存学研究センター客員研究員）

1月22日



看護部長会新春懇親会



看護部長会研修旅行



看護部長会見学研修

コープ.イン.京都

テーマ／「グループ・ダイナミックスの理論と方法～災害ボランティアの視点を交えて」

講師／渥美公秀（大阪大学大学院人間科学研究科教授）

（兵庫県神戸市）

2018(平成30)年10月 森之宮病院(大阪府大阪市)

2019(令和元)年10月 株式会社三笑堂

（京都市南区）

薬剤師部会

◆教育委員会

看護職員の教育の役割を担っており、看護主任や師長などを対象とした看護卒後教育に関する研修を中心に看護職員を対象とする様々な研修会の企画・運営を行っている。

◆福利厚生委員会

看護部長相互の親睦を深めることを目的とし、活動している。毎年1月に開催する新春懇親会や5月開催の総会での懇親会などの企画を担当している。また、毎年1度開催する研修旅行（平成30年より見学研修）の企画も行なっている。

〈新春懇親会〉

2015(平成27)年1月	リーガロイヤルホテル京都
2016(平成28)年1月	老香港酒家京都
2017(平成29)年1月	ザ ソウドウ東山
2018(平成30)年1月	KOTOWA京都八坂
2019(令和元)年1月	ホテルモントレ京都

〈研修旅行(平成30年より見学研修)〉

2015(平成27)年10月	豊郷病院（滋賀県犬山郡）
2016(平成28)年10月	佐久医療センター （長野県佐久市）
2017(平成29)年10月	六甲アイランド甲南病院

当部会は、医薬品の品質や薬剤師の日常業務改善のための情報交換、学術研修活動、医療制度の検討を目的として1982（昭和57）年に薬局長会として発足し、2002（平成14）年10月からは薬局長のみならず薬剤師も委員会に参加するようになり、薬剤師部会と名称を改めて現在に至っている。

薬剤師の技能向上を図るための取り組みの一環として日頃の日常業務に役立つ研修を毎年開催している。この5年間に限っては、100回目となる講演会を101回目と合わせて記念講演とし、薬剤師だけではなく多職種に向けた内容で開催した。他にも第一部で災害医療支援に関する講演、第二部で避難所運営訓練をするなど、チーム医療が重要とされている中、薬剤師の役割を確認しながら薬剤師以外の職種の参加につながる内容の研修会を実施した。

また、医療従事者確保強化事業の「きょうと薬剤師サポートネット」と連携し、委員・講師の派遣やプロジェクト充実のため、全面的な協力を行った。

◆講演会

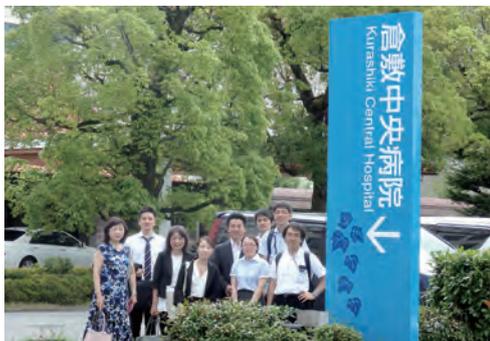
※第93～94回、96～99回まで京都私立病院協会会議室で開催

※第95回、100回、101回はメルパルク京都で開催
第93回 2015(平成27)年7月6日

テーマ／「薬物依存症の動向と治療」



薬剤師部会講演会



薬剤師部会施設見学

講師／川畑俊貴（京都府立洛南病院副院長）

第94回 2016(平成28)年2月24日

テーマ／「薬剤師のための糖尿病コーチング活用術」

講師／①佐藤和生（日本パプテスト病院薬剤部主任）

②大石まり子（大石内科クリニック院長）

③井上里絵（大石内科クリニック看護師）

第95回 第1部 2016(平成28)年11月8日

テーマ／「熊本地震における災害医療支援の経験から薬剤師の役割を考える」

講師／田淵祐輔（京都府立医科大学附属病院薬剤部）

第95回 第2部 2016(平成28)年11月22日

テーマ／「避難所運営訓練（HUG）」

講師／安原智久（摂南大学薬学部准教授）

第96回 2017(平成29)年6月23日

テーマ／「薬の形を楽しもう！～仕事に使える？構造式≠有機化学の世界へ～」

講師／清水忠（兵庫医療大学薬学部医療薬学科講師）

第97回 2017(平成29)年11月8日

テーマ／「麻薬の取扱い管理、事例等について」

講師／岩城紘幸（京都府健康福祉部薬務課薬物対策・企画担当副主査）

情報提供／佐藤和生（日本パプテスト病院薬局長代行）

第98回 2018(平成30)年5月16日

テーマ／「京都府地域包括ケア構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

テーマ／「DI業務のためのPMDA活用法～副作用報告はどのように活かされるのか～」

講師／①岩崎麻美（独立行政法人医薬品医療機器総合機構健康被害救済部調査第二課長）

②杉山肇（独立行政法人医薬品医療機器総合機構安全第一部情報管理課）

第99回 2019(平成31)年1月30日

テーマ／「京都府地域包括ケア構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

テーマ／「医薬品の安全使用のための業務手順書」改訂についての情報交換会」

講師／土屋文人（国際医療福祉大学薬学部特任教授）

第100回 2019(令和元)年7月10日

テーマ／「地域医療構想等の実現に備えて今しておかなくてはならないこと—AIの進展を見据えて各職種に求められること—」

講師／土屋文人（国際医療福祉大学薬学部特任教授）

第101回 2019(令和元)年10月11日

テーマ／「地域包括ケアシステムにおける中小病院の役割」

講師／荒木隆一（市立敦賀病院医療支援部医療支援部長）

◆施設見学

2015年9月 ニプロ 医療研修施設iMEP

2016年8月 小林化工株式会社 清間第一工場

2017年8月 倉敷中央病院

2018年9月 大阪国際がんセンター



放射線技師部会講演会

放射線技師部会

1989（平成元）年にそれまで当協会の事業のひとつであったが活動を休止していた放射線技術研究会が名称変更を行い、放射線技師部会として発足した。従来からの活動を継承し、主に会員施設における放射線部門の業務の効率化を図るとともに、会員間で相互に親睦・交流を深めることを目的に活動を続けている。

当委員会の活動は講演会の企画・開催を主としており、講演会では広範囲のテーマを扱い、対象者を放射線技師に限定せず幅広い内容で開催している。その他、必要に応じて各種アンケート調査を実施するとともに、講演会の内容やアンケート結果、会員施設からの研究発表などを取りまとめた「放射線技師部会誌」を発行し、現在までに第10号の発行に至っている。

画像診断部門の技術は日進月歩であり、放射線技師には日々技術向上のための努力が求められている。そうした放射線技師のスキルアップと放射線部門における課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。

◆講演会

第74回 2015(平成27)年9月4日

メルパルク京都

テーマ／「診療放射線技師法改正に伴う診療放射線技師の業務範囲の拡大等について」

講師／轟英彦（公益社団法人京都府放射線技師会会長・京都府立医科大学附属病院放射線部副技師長）

第75回 2016(平成28)年2月19日

島津製作所研修センター

テーマ／①「X線画像の画像処理とモニタ面診断」

②「医用画像表示モニタの動作原理と品質管理の重要性～民生機器と医療モニタでは何が違うか」及び「モニタ品質管理の実践」

講師／①田中修二（株式会社島津製作所グローバルマーケティング部部長）

②清水健介（株式会社EIZO営業一部大阪営業所メディカルグループ係長）

第76回 2016(平成28)年9月30日

メルパルク京都

テーマ／「マンモグラフィの基礎～デジタルマンモグラフィ品質管理マニュアルより～」

講師／梶原万里子（富士フイルムメディカル株式会社販売統括本部モダリティソリューション部）

第77回 2017(平成29)年2月3日

島津製作所本社・三条工場

テーマ／①「進化するX線撮影・トモシンセシス技術」

②「整形外科医が求める人工股関節（THA）撮影～インプラント周辺骨におこる生死のドラマを描出する」

講師／①田中修二

②安藤英次（奈良県立医科大学附属病院中央放射線部副技師長）

第78回 2017(平成29)年9月14日

メルパルク京都

テーマ／「整形外科医が求める人工膝関節（TKA）撮影～インプラントを接線描



放射線技師部会施設見学



放射線技師部会誌

出することの有用性について～

講師／安藤英次

第79回 2018(平成30)年3月2日
島津製作所本社・三条工場

テーマ／①「最新アプリケーションによる島津ソリューションのご紹介」
②「平成30年度診療報酬改定のポイント」

講師／①田中修二

②寺岡秀男（蘇生会総合病院参事・医事部長）

第80回 2018(平成30)年11月9日
メルパルク京都

テーマ／「京都府地域ケア構想について」
説明／京都私立病院協会事務局
テーマ／「リウマチ疾患撮影に求められるX線撮影法と画像読影」

講師／安藤英次

第81回 2019(平成31)年2月15日
島津製作所本社・三条工場

テーマ／「京都府での地域医療構想の進捗状況」
説明／京都私立病院協会事務局
テーマ／「医療被ばく低減施設認定への取り組みと認定取得のための注意点」

講師／西谷勝弘（京都民医連中央病院放射線技術課課長）

第82回 2019(令和元)年7月11日
京都私立病院協会会議室

テーマ／「京都府地域ケア構想について」
説明／京都私立病院協会事務局
テーマ／「〈新人研修会〉MRの基礎について」
講師／栃本剛（株式会社フィリップス・ジャ

パンMRアプリケーションスペシャリスト)

第83回 2019(令和元)年10月17日
メルパルク京都

テーマ／「京都府地域ケア構想について」
説明／京都私立病院協会事務局
テーマ／「下垂位を基本とした肩撮影法について」

講師／安藤英次（大阪滋慶学園大阪ハイテクノロジー専門学院診療放射線技師学科専任教員）

◆施設見学

2015(平成27)年9月10日 宇治徳洲会病院
2016(平成28)年11月10日 京都岡本記念病院
2019(平成31)年1月10日 日本メジフィジックス株式会社京都ラボ

◆アンケート調査

2017(平成29)年9月「放射線部門の動向調査」

◆その他

2018(平成30)年8月「放射線技師部会誌第10号」発行

臨床検査部会

臨床検査技師として幅広い知識・技術を習得することにより、更なる資質の向上を図るための活動を行っている。

これまでに、数多くの講演会や研修会を開催し、日常の検査業務に求められる専門知識の習得や検査



臨床検査部会講演会

部門運営において重要な情報交換を行ってきた。また、会員病院検査部門の交流にとどまらず、京都府臨床検査技師会の情報システム研究班とも連携しながら、全職種を対象に医療統計講習会等の企画を行っている。近年では、認知症予防や、最新の検査方法等をテーマにした取り組みを中心に運営している。その他、感染症、血液製剤、検体の取り扱いなど、他職種との連携を必要とする問題についても積極的に取り組んでいる。

運営委員会は隔月で開催し、ますます厳しさを増す医療環境や検査部門運営等について討議し、業務の改善に向けた啓発活動を行いつつ、京都府臨床検査技師会との連携に努めている。また、委員会で検討した議事については、その内容を「臨床検査部会FAX通信」として取りまとめ、会員病院の検査室宛に送信している。

◆講演会

※全てメルパルク京都で開催

第49回 2016(平成28)年2月25日

テーマ／「iPS細胞が切り開く未来の治療法—筋疾患治療研究所の最前線」

講師／櫻井英俊（京都大学iPS細胞研究所臨床応用研究部門准教授）

第50回 2017(平成29)年1月24日

テーマ／「iPS細胞の医学応用へ向けた研究の状況について」

講師／齊藤潤（京都大学iPS細胞研究所臨床応用研究部門准教授）

第51回 2018(平成30)年2月22日

テーマ／「軽度認知障害（MCI）を発見・予防するための血液検査」

講師／内田和彦（筑波大学准教授・株式会社MCBI代表取締役）

第52回 2019(平成31)年2月21日

テーマ／「地域医療構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

テーマ／「血液検査でがんを発見～血液中のアミノ酸でがんのリスクを評価する～」

講師／萩原麻美（味の素株式会社バイオファイン研究所アミノインデックスグループ）

第53回 2020(令和2)年2月20日

テーマ／「地域医療構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

テーマ／「認知症予防に役立つポジティブ睡眠～今日始めれば、明日が変わる～」

講師／宮崎総一郎（中部大学生命健康科学研究所特任教授）

◆医療統計講習会(パソコン講習会)

※全て京都保健衛生専門学校で開催

2015(平成27)年6月25日

テーマ／「Excel初級編」

講師／増田健太（京都大学医学部附属病院検査部・一般社団法人京都府臨床検査技師会情報システム分野）

2016(平成28)年6月30日

テーマ／「Excel初級編」

講師／増田健太

2016(平成28)年10月27日

テーマ／「Power Point初級編」

講師／増田健太

2017(平成29)年6月29日



臨床検査部会医療統計講習会



臨床検査部会施設見学

テーマ／「Excel初級編」

講師／増田健太

2017(平成29)年12月21日

テーマ／「Power Point初級編」

講師／増田健太

2018(平成30)年6月21日

テーマ／「地域医療構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

テーマ／「Excel初級編」

講師／増田健太

2018(平成30)年12月20日

テーマ／「地域医療構想について」

説明／京都府健康福祉部医療課

テーマ／「Power Point初級編」

講師／増田健太

2019(令和元)年6月20日

テーマ／「地域医療構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

テーマ／「Excel初級編」

講師／増田健太

2019(令和元)年12月19日

テーマ／「地域医療構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

テーマ／「Power Point初級編」

講師／増田健太

◆施設見学

2016(平成28)年3月 株式会社京都科学

2017(平成29)年3月 宇治徳洲会病院

2018(平成30)年3月 医療研修施設 ニプロ
iMEP

2018(平成30)年10月 京都大学iPS細胞研究所

(CiRA)

2020(令和2)年1月 京都民医連中央病院

◆FAX通信

2015(平成27)年度 No.125～No.130

2016(平成28)年度 No.131～No.136

2017(平成29)年度 No.137～No.142

2018(平成30)年度 No.143～No.148

2019(令和元)年度 No.149～No.153

栄養士部会

当部会は1986(昭和61)年に設置された。病院入院中の食事療養が疾病治療の直接的手段の一部であることを常に意識しながら、管理栄養士・栄養士・調理師の質的向上と安全かつ良質な食事の提供、栄養管理業務のさらなる効率化と改善に向けた活動を展開している。

臨床栄養に関するタイムリーなテーマを取り上げた講演会や調理実習形式の研修を定期的に開催して実践的なスキルアップを図っており、毎回多くの参加を得ている。また、研修会ではグループワークを積極的に行うことで、会員職員間での情報交換の場としても機能するよう心がけている。

病院栄養士の業務は、患者に提供する食事の献立作成や食材発注、厨房での業務などの給食管理とあわせ、チーム医療の一員として多職種と協同して栄養管理や栄養指導を行うほか、近年は病棟に栄養士を配置する病院もみられるなど、病院栄養士の専門性が評価されてきているとともに、医療の場で栄養士に期待される役割と求められるスキルはますます大きくなっているといえる。



栄養士部会全体会議（講演会）



栄養士部会全体会議（調理実習）

こうした病院栄養士業務の捉え方の変化を踏まえ、当部会では運営委員会の活動の中で、研修会の企画・開催に加え、栄養管理帳票マニュアル等の改訂・発行やアンケート調査、その他必要な取り組みを検討し実施している。さらに委員同士の相互学習会や情報交換を行うほか、年1回の施設見学を実施するなど、栄養部門を取り巻く状況を的確に把握し、会員に有用な情報提供ができるよう研鑽に努めている。

◆講演会

※開催場所の記載のないものは京都私立病院協会会議室で開催

第71回 2015(平成27)年10月15日

メルパルク京都

テーマ／「知っておきたい食中毒の基礎知識」

講師／植田伸二（第一岡本病院臨床検査技師長）

第72回 2016(平成28)年6月16日

あじわい館

テーマ／「つくってみよう嚥下機能食～簡単にできるレシピの紹介～」

講師／高嶋典子（甲南病院管理栄養部課長）

第73回 2016(平成28)年10月20日

テーマ／「平成28年度診療報酬改定（栄養関係）と在宅栄養療法を始めるための基礎知識について」

講師／下田充啓（株式会社大塚製薬工場学術部学術担当専任課長）

第74回 2017(平成29)年5月18日

テーマ／「リハビリテーションの効果を上げる栄養管理について」

講師／下野智弘（株式会社クリニコ企画情報

部臨床学術担当）

第75回 2017(平成29)年11月2日

あじわい館

テーマ／「肉、魚介、根菜類をさらにおいしく食べやすく～品質改良剤を使った調理法～」

講師／稲置布美子（医療法人整友会管理栄養士）

堀田昌治（医療法人整友会介護付有料老人ホームBLISSぶらくり施設長）

松本 健（有限会社宮（医療法人整友会給食委託会社）料理長）

新家晴基（医療法人整友会生活相談員）

第76回 2018(平成30)年6月21日

テーマ／「京都府地域包括ケア構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

テーマ／「平成30年度診療報酬・介護報酬改定について」

講師／澤田弘子（株式会社クリニコクリニカルマーケティング部臨床学術チーム管理栄養士）

第77回 2018(平成30)年10月18日

テーマ／「京都府地域包括ケア構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

テーマ／「管理栄養士の病棟配置について～京都桂病院の取り組み～」

講師／筒井未季（京都桂病院栄養科主任）

第78回 2019(令和元)年9月19日

テーマ／「京都府地域包括ケア構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

テーマ／「これからの時代の栄養士に求められる認知症に関する知識について」



栄養士部会施設見学



栄養管理帳票マニュアル



嚥下食一覧表（京都私立病院協会ホームページで公開）

講師／辰巳弥生(宇治おうばく病院看護師長・
認知症看護認定看護師)

第79回 2020(令和2)年1月23日

テーマ／「京都府地域包括ケア構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

テーマ／「たべて！くらべて！嚥下食！～嚥下調整食を学ぼう～」（嚥下調整食試食会）

◆施設見学

- 2015(平成27)年11月 宇治徳洲会病院
- 2017(平成29)年2月 京都岡本記念病院
- 2018(平成30)年2月 医療法人整友会介護付き有料老人ホームBLISSぶらくり
- 2018(平成30)年12月 なぎ辻病院
- 2019(令和元)年11月 株式会社松井商店

◆栄養管理帳票マニュアル

- 2017(平成29)年2月
「栄養管理帳票マニュアル2016年度版」の発行

◆京都私立病院協会嚥下食一覧表

- 2018(平成30)年11月～2019(平成31)年1月
「京都私立病院協会嚥下食一覧表」作成のための調査実施
- 2019(令和元)年7月
京都私立病院協会ホームページ内に「京都私立病院協会嚥下食一覧表」の閲覧ページを開設

リハビリテーション部会

当部会は2004（平成16）年11月に発足し、会員施設に勤務する理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等のリハビリ職員が専門職としての資質の向上を図ること及びリハビリ関連の医療保険・介護保険等に関する情報を迅速に収集・分析し、会員へ提供することを目的に現在まで活発な活動を展開している。

部会では日頃の業務の充実を図るための講演会と施設見学を毎年企画・開催している。

また、2005（平成17）年に作成した「リハビリテーション帳票マニュアル」を診療報酬改定に対応するため、2016年（平成28）年、2018（平成30）年に改訂を行い、会員施設が日常業務において活用できるよう当協会のホームページに掲載している。

さらに2011（平成23）年度より始まった京都地域包括ケア推進機構の団体交付金事業である府民リハビリテーション啓発支援事業の企画・運営にも関わっている。

◆講演会

- 第12回 2016(平成28)年2月13日
テーマ／「府立医大リハビリテーション医学教室の取り組み～立ち上げからロボットリハまで～」
講師／三上靖夫（京都府立医科大学リハビリテーション医学教室病院教授）

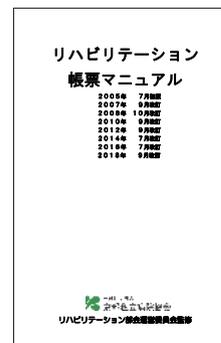
- 第13回 2016(平成28)年10月15日
テーマ／「リハビリテーション栄養とサルコペニア」



リハビリテーション部会講演会



リハビリテーション部会施設見学



リハビリテーション
帳票マニュアル

講師／若林秀隆（横浜市立大学附属市民総合医療センターリハビリテーション科診療講師）

第14回 2017(平成29)年1月28日

テーマ／「回復期リハ病棟の現状と課題」

講師／石川 誠(医療法人社団輝生会理事長)

第15回 2017(平成29)年10月14日

テーマ／「認知機能と自動車運転」

講師／藤田佳男（千葉県立保健医療大学健康科学部リハビリテーション学科准教授）

第16回 2018(平成30)年1月20日

テーマ／「実用的リハビリテーション医学」

講師／才藤栄一（藤田保健衛生大学副学長）

第17回 2018(平成30)年9月21日

テーマ／「地域医療構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

テーマ／「急性期・回復期・生活期 各期リハビリテーションにおけるリスク管理」

講師／宮越浩一（亀田総合病院リハビリテーション科部長）

第18回 2018(平成30)年12月1日

テーマ／「地域医療構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

テーマ／「平成30年度同時改定を踏まえたリハビリの方向性」

講師／近藤国嗣（東京湾岸リハビリテーション病院院長）

第19回 2019(令和元)年10月12日

【※台風接近に伴い、中止】

テーマ／「地域医療構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

テーマ／「リハビリテーション栄養とサルコペ

ニアの最新の動向」

講師／若林秀隆（横浜市立大学附属市民総合医療センターリハビリテーション科准教授）

第20回 2020(令和2)年2月1日

テーマ／「地域医療構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

テーマ／「宇宙医学とリハビリテーション」

講師／山田 深（杏林大学医学部リハビリテーション医学教室准教授）

◆施設見学

2015(平成27)年11月

京都府立医科大学リハビリテーション医学教室

2016(平成28)年11月

京都岡本記念病院

2017(平成29)年11月

社会福祉法人太陽の家京都事業本部

2019(平成31)年1月

社会医療法人愛仁会愛仁会リハビリテーション病院・高槻病院

2019(令和元)年9月

京都近衛リハビリテーション病院

◆その他

リハビリテーション帳票マニュアルの改訂

2016(平成28)年7月

2018(平成30)年9月



臨床工学技士部会講演会

臨床工学技士部会

医療機器の適切かつ安全な使用・管理の推進など、病院での医療安全対策強化等において、臨床工学技士の担う役割は重要であり、当協会においても会員病院に勤務する臨床工学技士の更なる質の向上等を図るべく、2014（平成26）年10月に当部会が発足した。

臨床工学技士の知識やスキルの向上を図るとともに、臨床工学技士の配置の有無にかかわらず、会員施設において適切かつ安全な医療機器の使用・管理が実施できるよう、他の職種への啓発・支援も含め様々な内容の研修会や調査等を企画・実施している。

◆講演会

第2回 2016(平成28)年3月19日

メルパルク京都

テーマ／①「呼吸療法の安全管理」

②「手術室の安全管理」

講師／①相嶋一登（横浜市立市民病院臨床工
学部担当係長）

②高倉照彦（亀田総合病院医療技術部
ME室室長）

第3回 2016(平成28)年11月26日

メルパルク京都

テーマ／①「医療用ガスの適切な使用方法～酸
素ボンベの取扱いと医療用ガス供給
設備」

②「東日本大震災から5年を迎えて」

③「災害発生時の機器管理に関して総
合的な対応方法」

講師／①家高武司（株式会社Kist営業推進事

業部）

②榎昭弘（独立行政法人地域医療機能
推進機構仙台病院臨床工学部技士長）

③明石尚樹（日立総合病院臨床工学科
主任）

第4回 2017(平成29)年2月3日

TKP京都駅前カンファレンスセンター

テーマ／①「病院内における電波環境の整備と
安全管理」

②「在宅で使用される医療機器の安全
管理と災害対策～人工呼吸器を中心
として～」

講師／①加納隆（滋慶医療科学大学院大学医
療管理学研究科医療安全管理学専攻
教授）

②井上勝哉（京都ルネス病院臨床工学
科長）

第5回 2018(平成30)年11月17日

TKP京都駅前カンファレンスセンター

テーマ／「地域医療構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

テーマ／「臨床工学技士からの提案～医療機器
の管理方法を一緒に考えませんか～」

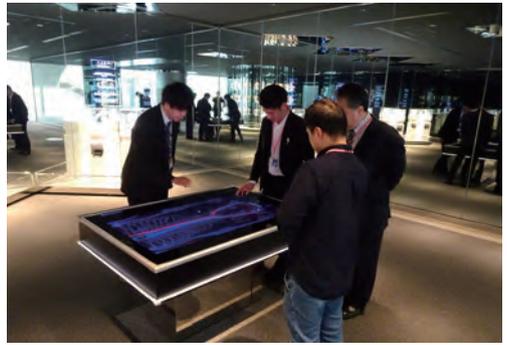
講師／①木村信介（医仁会武田総合病院臨床
工学科）

②加藤知子（宇治徳洲会病院臨床工学
救急管理室）

③川畑綾平（京都岡本記念病院臨床工
学科）

④永田陽一（京都民医連第二中央病院
臨床工学課）

⑤徳永幸子（西陣病院医療技術部臨床



臨床工学技士部会施設見学

工学科)

- ⑥岩佐知樹（洛和会音羽記念病院CE部副係長）

第6回 2019(令和元)年11月30日

登録会館

テーマ／「地域医療構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

テーマ／「臨床工学技士からの提案～医療安全を一緒に考えませんか～」

講師／①長谷川湧士（医仁会武田総合病院臨床工学科）

- ②石塚雄介（宇治徳洲会病院臨床工学救急管理室）

- ③古谷仁志（京都民医連あすかい病院臨床工学科）

- ④吉川元将（西陣病院臨床工学科）

- ⑤馬場宏貴（洛和会音羽記念病院CE部）

◆施設見学

- 2015(平成27)年10月 宇治徳洲会病院
 2016(平成28)年9月 京都岡本記念病院
 2017(平成29)年11月 洛和会音羽病院アイセンター
 2019(平成31)年2月 ニプロiMEP医療研修施設
 2020(令和2)年2月 京都民医連中央病院

◆アンケート調査

- 2015(平成27)年2月
 医療機器の安全管理に関する調査
 2016(平成28)年7月
 医療事故調査制度実施後の対応に関するアンケート調査

部会連携

当協会の会員施設は多種多様な専門職で成り立っており、当協会の取組は病院に従事する全ての職員に通ずる。職種のみを取組にとどまらず、全ての職種が連携して協会の目的を達成するべく、2018（平成30）年度より職能別部会が一堂に会する部会連携会議を設置し、当協会役員・各職能別部会が顔の見える関係を築き、意見交換や課題の共有等を行い、役員・各部会の連携を更に強化して協会の各種事業を推進している。

◆連携会議

- 第1回 2018(平成30)年6月6日 私病協会議室
 テーマ／①各部会の取組状況・課題について
 ②今後の連携等について
 第2回 2019(令和元)年7月17日 私病協会議室
 テーマ／①各部会の取組状況・今年度の計画について
 ②今後の連携等について

全体会議

医療・介護に関する国の政策や動向等を会員に説明するとともに、協会の取り組みを報告し、執行部と会員、会員相互での情報交換や連帯を深める目的で年1回開催している。

全体会議には理事長、院長、事務長などの管理者が出席し、執行部から当協会の各種事業の執行状況や取組を説明・報告するとともに、直近の医療・介護情報から地域固有の問題や課題も取り上げ、意見交換をおこなった。



全体会議



特別講演会



創立記念式典

全体会議終了後は、行政のトップ・幹部を講師に迎え、医療・介護制度の動向や今後の方向性等病院運営に重要な事項をテーマに、特別講演会を開催した。

2015(平成27)年度

9月19日 キャンパスプラザ京都

全体会議「平成27年度上半期京都私立病院協会の事業活動について（医療・介護情勢を含めて）」

「医療を取り巻く諸問題について」

特別講演会「地域医療構想について」

特別講師／北波 孝（厚生労働省医政局地域医療計画課長）

2016(平成28)年度

10月8日 登録会館

全体会議「平成28年度上半期京都私立病院協会の事業活動について（医療・介護情勢を含めて）」

「医療を取り巻く諸問題について」

特別講演会「平成30年医療・介護同時改定 toward & beyond」

特別講師／鈴木康裕（厚生労働省保険局長）

* これからの社会保障を考えるセミナーを兼ねて開催

2017(平成29)年度

9月16日 京都烏丸コンベンションホール

全体会議「平成29年度上半期京都私立病院協会の事業活動について（医療・介護情勢を含めて）」

「医療を取り巻く諸問題について」

特別講演会「これからの医療と社会保障」

特別講師／鈴木俊彦（厚生労働省保険局長）

* これからの社会保障を考えるセミナーを兼ねて開催

2018(平成30)年度

10月20日 ホテルグランヴィア京都

全体会議「平成30年度上半期京都私立病院協会の事業活動について（医療・介護情勢を含めて）」

「医療を取り巻く諸問題について」

特別講演会「次代を担う子どもたちが希望の持てる「新たな京都」へ」

特別講師／西脇隆俊（京都府知事）

2019(令和元)年度

10月19日 TKP京都四条駅前カンファレンスセンター

全体会議「令和元年度上半期京都私立病院協会の事業活動について（医療・介護情勢を含めて）」

「医療を取り巻く諸問題について」

特別講演会「2040年を見据えた社会保障の課題と展望～全世代型社会保障の今後～」

特別講師／伊原和人（厚生労働省政策統括官（総合政策担当））

* これからの社会保障を考えるセミナーを兼ねて開催

創立記念式典

1964（昭和39）年10月16日に京都府内44病院が参加して京都私立病院協会が設立されたことを記念し、毎年11月に式典を開催している。

式典には京都府知事、京都市長をはじめ府市行政、議員、医療関係団体等の臨席のもと、会員とともに



創立記念祝賀会



新春講演会



新春会員懇親会

協会の活動を振り返りながら、今後のさらなる発展を祈念している。式典では、会員施設で功績のあった優良職員・永年勤続の職員の表彰を行うとともに、当協会が養成している保健医療管理士の認定式を行っている。創立55周年記念式典では、創立55周年記念事業の中間報告を行った。

創立51周年記念式典 2015(平成27)年11月20日

京都ホテルオークラ

優良職員・永年勤続職員表彰 224名

創立52周年記念式典 2016(平成28)年11月18日

リーガロイヤルホテル京都

優良職員・永年勤続職員表彰 242名

創立53周年記念式典 2017(平成29)年11月17日

京都ホテルオークラ

優良職員・永年勤続職員表彰 268名

創立54周年記念式典 2018(平成30)年11月16日

ウェスティン都ホテル京都

優良職員・永年勤続職員表彰 291名

創立55周年記念式典 2019(令和元)年11月15日

京都ホテルオークラ

優良職員・永年勤続職員表彰 271名

第33回 2016(平成28)年1月16日

京都ブライトンホテル

中国琵琶の演奏 宗ティンティン

第34回 2017(平成29)年1月21日

京都ブライトンホテル

新春華やぎコンサート 清水信貴、呉山平煥、

西脇小百合

第35回 2018(平成30)年1月20日

京都ブライトンホテル

講演会「どうなる！？今後の社会保障 ～政策決定のプロセスは？～」

二川一男前厚生労働事務次官と清水鴻一郎会長の対談

第36回 2019(平成31)年1月19日

京都ブライトンホテル

講演会「共生への道、知事時代を振り返って」

山田啓二前京都府知事と清水鴻一郎会長の対談

第37回 2020(令和2)年1月18日

京都ブライトンホテル

春を呼ぶクラシックの調べ

京都市立芸術大学在学学生によるソプラノと弦楽四重奏

新春会員懇親会

1984(昭和59)年に「名刺交換会」として始まった年頭行事も今では「新春会員懇親会」として定着し、会員病院と関係団体、医療と関係の深い行政担当者との新年の挨拶を交わすことで、さらに親睦を深める場となっている。また、懇親会の前には幅広いテーマで専門家や著名人を招いて講演会や演奏会も開催しており、趣向を凝らした内容として毎年多数の参加を得ている。

創立55周年記念事業

1964(昭和39)年10月16日に発足した当協会は2019(令和元)年に創立55周年を迎え、同年に創立55周年記念事業として、病院はやりがいがあって働きやすい職場であり、患者さんも働くスタッフも明るくするところであることを広く周知し、病院が地域で果たしている役割の理解促進とイメージ向上に繋げるべく、「みんないきいき明るい病院」をテー



創立55周年記念 映画撮影



創立55周年記念 映画撮影



特別授業（京都市立中京中学校）

マに各種記念事業を実施した。

(1) 創立55周年記念事業検討委員会

当協会会長・副会長により構成し、政策委員会と同時開催し、各種記念事業の企画・立案を行った。

委員：清水鴻一郎、久野成人、富士原正人、武田隆久、富田哲也、岡田純、小森直之、石丸庸介、藤澤明生

(2) 中学生向け次代の医療の担い手育成事業

少子化（人口減少）、働き方改革により、将来の病院医療の担い手の確保が喫緊の課題となっている中、病院では様々な疾患や怪我等に対し、多種多様な職種が各々の専門性を発揮しチーム医療で人々のいのちを救い、健康の維持・増進に寄与していることを中学生に知ってもらい、病院医療の仕事が将来の職業選択の一つになるよう、仕事理解の促進を図ることを目的に以下の事業を実施した。

1) 病院の多種多様な職種、チーム医療の現場を紹介する映画制作

病院では、どんな職種が、どのように関わっているのか、どんなやりがいがあるのか、実際の医療現場を想定したドラマ仕立てによる中学生向けの映画を、京都市教育委員会、京都府教育委員会の監修の下で制作した。制作した映画の記録媒体（DVD）は京都府内の全中学校に寄贈し、中学生が病院とそこで働く医療職の役割を知るとともに、チーム医療の現場を見ることで仲間と力を合わせることの大切さを感じるきっかけづくりとしての活用を依頼した。

・次代の医療の担い手

育成事業プロジェクトチーム：

- 清水鴻一郎、久野成人、武田隆久、仲田昌司
- ・台本作成協力：
 - 矢田貴子（看護部長会）、友沢明德（薬剤師部会）、渡里 弘（放射線技師部会）、小澤優（臨床検査部会）、赤尾 志（栄養士部会）、田後裕之（リハビリテーション部会）、泉田洋志（臨床工学技士部会）

・撮影協力：

医仁会武田総合病院 2019（令和元）年8月24日・25日

京都市リハビリテーション病院 2019（令和元）年8月24日・31日

・映画タイトル：

『「ありがとう」の重さ～チームで守るいのちと健康～』

（2019年10月完成：本編約35分）



特別授業



特別授業（城陽市立西城陽中学校）



特別授業（京都市立九条中学校）



特別授業（宮津市立宮津中学校）

2) 中学校での特別授業

『ありがとう』の重さ～チームで守るいのちと健康～の映画鑑賞、現職の医療従事者との交流等の授業を通して中学生が病院医療の現場を知り、病院で働く多種多様な職種の仕事の魅力・やりがいに触れることで、将来目指す職業の一つとして興味・関心を持つきっかけづくりをした。

特別授業実施校

2019（令和元）年12月9日

京都市立中京中学校

2年生・3クラス73名

2020（令和2）年1月21日

城陽市立西城陽中学校

1年生・3クラス82名

2020（令和2）年1月30日

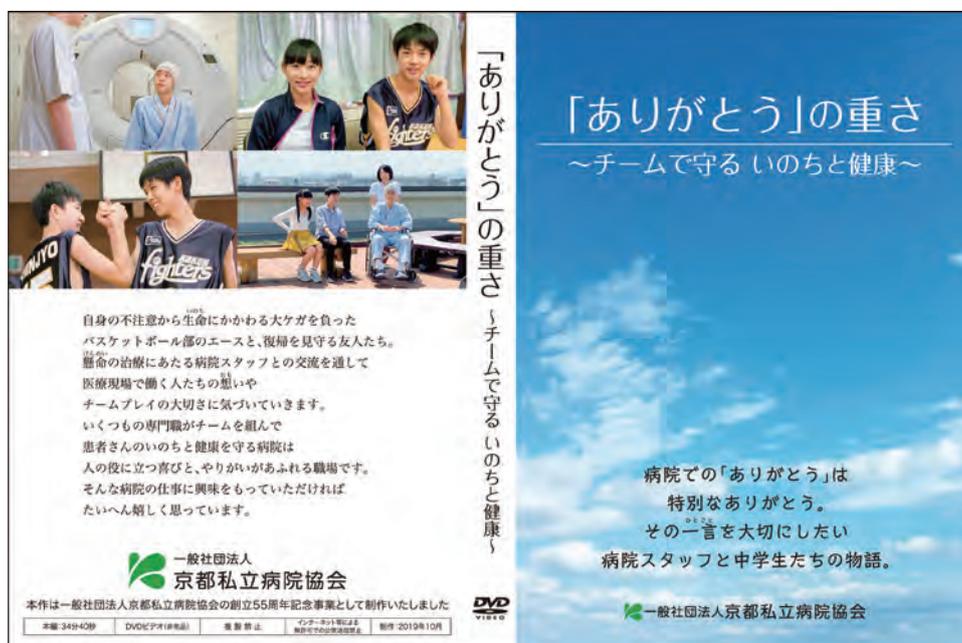
京都市立九条中学校

2年生・2クラス44名

2020（令和2）年2月4日

宮津市立宮津中学校

2年生・2クラス72名



DVDジャケット

(3) オーストリア・オランダ医療・介護事情視察旅行

当協会の会員がオーストリア・オランダの医療介護制度ならびに医療機関、介護施設を見聞して、提供する医療・介護の質の向上を図るべく視察を行った。

期 間：2019(令和元)年9月22日～29日

全8日間

参加者：25名

視察先：オーストリア：Krankenhaus Hiezing

(ヒーツィング) 病院

Pflegewohnhaus Baumgarten

(バウムガルテン・高齢者施設)

Dr. Rainer Brandl

(ライナー・ブランドル家庭医)

オランダ：Crataegus

(クラテグス・小規模住宅群)

Meander Medical Center

(ミアンダー) 病院



医療・介護事情視察旅行（オーストリア）



医療・介護事情視察旅行（オランダ）



医療・介護事情視察旅行（オーストリア）



医療・介護事情視察旅行（オランダ）

(4) 創立55周年記念座談会

京都府の健康福祉行政、医療との関わりから、病院はチームで人々のいのちと健康を守っているところであること、患者さんからの「ありがとう」に特別な喜びとやりがいを感じられるところであることを広く発信した。

開催：2019(令和元)年10月1日

場所：京都ブライトンホテル

内容：「地域医療の持続に向けて！」

座談会出席者：

西脇隆俊（京都府知事）

柳本あまね(車いすバスケット日本代表)

清水鴻一郎（京都私立病院協会会長）

座談会内容の掲載：

京都新聞特集紙面（2019（平成元）年11月15日）及び京都私立病院協会創立55周年記念誌

(5) 創立55周年記念式典・祝賀会

開催：2019(令和元)年11月15日

記念式典 16：00～17：30

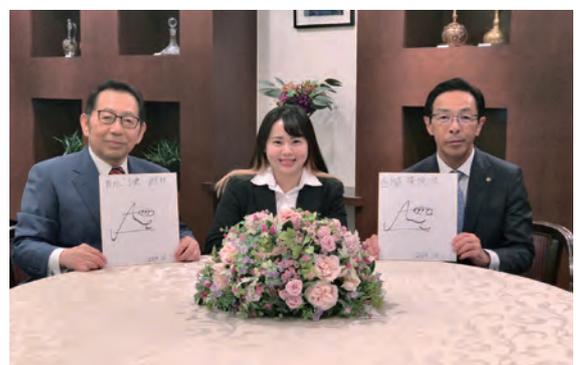
祝賀会 17：30～19：30

場所：京都ホテルオークラ

内容：優良・永年勤続職員表彰271名、保健医療管理士認定23名（第28期生）、創立55周年記念事業中間報告



創立55周年記念 座談会



創立55周年記念 座談会



創立55周年記念式典



創立55周年記念祝賀会

(6) 創立55周年記念 病院対抗ボウリング大会

[京都市域・南部地区対象]

開催：2019(令和元)年11月10日

場所：MKボウル上賀茂(京都市)

参加チーム：35チーム(23施設)

団体の部：優勝 京都きづ川病院A

準優勝 京都回生病院B

第3位 宇治病院

個人の部：優勝 川崎久美子(京都回生病院B)

準優勝 杉本 薫(宇治病院)

第3位 河本光子(京都南西病院)

[北部地区対象]

日時：2019(令和元)年12月8日

場所：サンケイボウル(福知山市)

参加チーム：19チーム(6施設)

団体の部：優勝 京都ルネス病院A

準優勝 亀岡病院B

第3位 丹後中央病院B

個人の部：優勝 畑本雅康(京都ルネス病院A)

準優勝 土井敏行(もみじヶ丘病院A)

第3位 中原雄一郎(京都ルネス病院A)

協賛：京都府病院協同組合

*その他の創立55周年記念各種スポーツ大会は厚生部に詳記。

(7) 創立55周年記念誌

創立51周年から55周年まで、病院医療の向上と地域医療の充実のために当協会が取り組んできた各種事業をまとめた記念誌を編さんし、発行した。

発行数：500冊



病院対抗ボウリング大会
(京都市・南部地区)



病院対抗ボウリング大会(北部地区)

3 広報と情報提供

京都私立病院報（私病報）は、当協会の会報誌として協会創立以来毎月発行されており、2019（令和元）年で55年目を迎える。この間、色々と変化もあったが、基本的に協会事業の紹介、会員病院・施設の情報、医療情勢などの広報を行ってきた。現在、世をあげて、IT化・スピード化の時代となった。当私病報も今後もの確な情報をスピード感を持って、会員病院・施設に周知してゆきたい、と考えている。尚、55周年を迎えて、当紙も装蹄、紙面構成などのマイナーチェンジを行った。

（理事 近藤泰正）

京都私立病院報

『京都私立病院報』（私病報）は1964年（昭和39）年11月15日に第1号が創刊されて以来、当協会の基幹広報誌として役割を果たしている。定期号は毎月1回、1日付で発行しているほか、新年特別号、総会号などを臨時に増刊しており、2019（令和元）年3月31日現在で発行回数は698号を数える。

内容は医療・介護に関するニュース、私的病院をとりまく重要事項、当協会の各種研修会・委員会の報告、会員職員からの投稿記事・絵画作品・写真、会員の消息などを掲載している。2015（平成27）年から実施している京都府地域医療介護総合確保基金の各事業や、同年1月より京都府から受託運営している京都府医療勤務環境改善支援センターとして全国的に先駆けて京都府独自に実施している「京都市いきいき働く医療機関認定制度」のいきいき働く宣言病院、認定病院の紹介など、当協会の役割や事業がますます増える中、多様かつ充実した内容となるよう努めている。

編集には、担当役員のほか、事務長会・看護部長会からの委員で構成される「私病報編集委員会」があたり、編集会議を毎月開催している。

現在の発行部数は2,350部であり、会員施設には病床規模に応じた冊数を送付している（購読料は会費に含まれている）ほか、行政、関係諸団体、購読希望者に販売している。

毎月1日発行 2,350部

A4版 約40～70頁



京都私立病院報

私病協ホームページ

当協会ホームページでは、協会の活動や会員の情報を広く発信するとともに、会員に医療・介護に関する情報や重要事項などをタイムリーに提供している。

ホームページの構成は、協会の事業紹介、会員施設の紹介、医療・介護に関する新着情報、各種研修・催しの案内、行政からの通知、京都府医療勤務環境改善支援センター、無料職業紹介メディワークセンター、薬剤師・看護職の復職支援サイト（きょうと薬剤師サポートネット・看護職つながりネット）など、多岐にわたる内容となっている。

2015（平成27）年度は、円滑な入退院時の調整及

び在宅医療・介護の連携体制の強化に資するべく、京都府内全病院の地域連携室等の窓口情報を調査し、協会ホームページ（地域連携窓口情報のページ）で閲覧・検索を可能にした。また同時に、当協会が実施する各種研修等の受付システムをホームページ上に構築し、会員施設内で迅速且つ広く周知できるようになり、従来のFAXによる申込からWeb上での申込に移行して利便性を向上した。

さらには、当協会が京都府より受託運営する京都府医療勤務環境改善支援センターが推進する「京都市いきいき働く医療機関認定制度」のページを2017(平成29)年より開設し、いきいき働く医療機関宣言病院、認定病院を紹介し、勤務環境改善に取り組む病院が広く認知され、医療従事者の確保・定着に繋がるよう努めている。

ホームページのみならず、SNS (Facebook) でも協会の取組を紹介する等、更なる認知度の向上に取り組んでいる。

京都私立病院協会ホームページ

<https://www.khosp.or.jp/>



京都私立病院協会Facebookページ

ファックス・メール通信

当協会では、ファクシミリの専用回線を有しており、全会員に同報送信できるファックス通信網を敷いている。協会専用のメールアドレスも有しており、会員施設との連絡調整やデータによる提出が必要な調査票等はEmailを活用している。更なる利便性の向上を図るとともに、会員へより迅速に情報を発信するべく、ファクシミリからEmailへの移行も検討している。

京都私立病院協会事務局ファックス番号

075-354-8802

京都私立病院協会事務局メールアドレス

info@khosp.or.jp



京都私立病院協会ホームページ



4 病院職員の確保対策

医療費抑制政策によって医療制度は次々に変更され、それに伴って看護師を中心とした医療従事者の確保が困難な状況が深刻になってきている今日であるが、当協会においては55周年の「みんないきいき明るい病院」をテーマに将来を担う若者に医療職への啓発を行っている。2015年から設置された京都府医療勤務環境改善支援センターの事業では「京都いきいき働く医療機関認定制度」を創り、政府が始めた働き方改革を先取りした型で取り組みを進めてきた。2020（令和2）年3月末現在、認定病院は40に達している。関係団体の京都保健衛生専門学校、京都中央看護保健大学校による看護師、臨床検査技師、臨床工学技士の養成は会員病院の医療の質の向上に寄与していると考えている。医療労務管理支援事業や看護人材早期復職支援事業、主に薬剤師を対象とした医療従事者確保強化事業、京都市離職看護師能力再開発事業など地道な活動を展開している。

（副会長 富士原正人）

医療従事者の養成

1) 看護師の養成

1969（昭和44）年に堀川高等看護学院（現京都保健衛生専門学校の前身）の運営を開始し、1983（昭和58）年に京都中央看護専門学校を開校した。この間、両学校を卒業した数多くの看護師は、現在、会員施設の第一線で活躍しており、会員施設の看護の充実、技術の向上に寄与している。

京都保健衛生専門学校は、看護学科3年課程1クラス40名の定員で養成を行い、京都中央看護保健専門学校は、2012（平成24）年4月より学校名を（専）京都中央看護保健大学校に改め、統合カリキュラムによる看護保健学科4年課程2クラス80名、看護学科4年課程2クラス40名の合計80名定員で養成を行った。両学校ともに時代のニーズにあわせた教育を実践し、将来を見据えた学校運営を行ってきた。

少子化と併せて高学歴を求める社会環境において、看護学部を設置する大学が増加したことで学校運営はさらに厳しい状況が続いている。両学校ともに専門性の高い、実践力のある人材の育成が求められる。

2) 臨床検査技師・臨床工学技士の養成

1973（昭和48）年4月、京都保健衛生学院として

出発した臨床検査技師の養成は、夜間課程の第1期生31名の入学でスタートし、1986（昭和61）年9月に昼間部を新設し、現在は昼間・夜間を併せて80名の定員で養成を行ってきた。

2018（平成30）年に臨床検査技師を養成する大学が京都市内に1校開設されたことから、少子化とあわせて学校運営はさらに厳しい状況となった。

近年、現場におけるチーム医療に臨床検査技師が積極的に関わる機会が増えたこともあり、学校としては専門知識と技術の習得のみならず、医療人としての心も養い、社会に貢献する臨床検査技師の育成に力を注いだ。

臨床工学技士専攻科は定員24名と少数であるが、医用電気機器の保守点検、安全管理についての基礎知識、生命維持管理装置の操作、保守管理の基礎などの習得に重点をおいた教育を実践してきた。

両学科ともに、診療情報管理士、第2種ME技術者、健康食品管理士等の資格も取得できる特徴を活かしながら今後も質の高い教育が求められる。

京都府医療勤務環境改善支援センター

2014（平成26）年6月の医療法改正により、医療



京都府医療勤務環境改善支援センター・セミナー



医療従事者確保・定着のための経営・勤務環境改善研修



ワークショップ

機関の管理者が勤務環境改善の措置を講じることが求められ、都道府県で医療機関の勤務環境改善を促進するための支援をするべく、拠点機能を持つ医療勤務環境改善支援センターの設置が義務付けられた。これに伴い、京都府は2015（平成27）年1月に「京都府医療勤務環境改善支援センター」（以下、「センター」）を設置し、当協会がセンターの運営を受託した。センターの業務内容は、勤務環境改善に取り組む医療機関への個別支援・相談対応、勤務環境改善に関する研修会の実施、医療勤務環境改善マネジメントシステムの普及・啓発活動等が挙げられる。

京都府のセンターの特徴として配置している相談員は、医療労務管理アドバイザーである社労士を当協会職員として採用し、医業経営アドバイザーを会員施設の元事務長経験者を活用することで病院からも相談しやすい環境を構築した上で事業を実施している。

また、京都府独自の取り組みとして病院職員のモチベーション向上や人材確保・定着に資することを目的とし、府内の病院が雇用の質向上に取り組むことを宣言・公表して、勤務環境改善に取り組む病院をセンターが認定を行う「京都いきいき働く医療機関認定制度」を2017（平成29）年1月より運用を開始し、認定取得に向けての支援を行っている。

◆研修会

2015(平成27)年度

①セミナー（3回）

10月8日 日本精神科看護協会京都研修センター
 テーマ／「医療機関の働きやすい環境づくりに向けた取り組みについて～改正医療法の勤務環境改善システム～」

講師／中野孝浩（東京海上日動火災保険株式会社課長・前厚生労働省医療労働企画官）

11月12日 キャンパスプラザ京都

テーマ／①医療機関の勤務環境改善と医療勤務環境マネジメントシステムについて
 ②「『雇用の質』向上のための勤務環境改善をめぐる現状と今後の取り組み」

講師／①大原耕也（大原社労士事務所 代表・特定社会保険労務士・医療労務コンサルタント）

②中島美津子（広島大学大学院医歯薬学研究院特任教授）

1月14日 メルパルク京都

テーマ／①「勤務環境改善で笑顔あふれる職場に！～医療勤務環境マネジメントシステムの導入と活用方法について～」
 ②「医療勤務環境改善は経営戦略」

講師／①大原耕也

②伊藤雅史（社会医療法人社団慈生会等潤病院理事長・院長）

②ワークショップ（3回）

10月14日 私病協会議室

テーマ／「就業規則にみる労働関係法①」

講師／滝川和信（いわくら病院前事務長）

11月16日 私病協会議室

テーマ／「就業規則にみる労働関係法②」

講師／滝川和信

3月9日 私病協会議室

テーマ／「今日的医療機関の労務管理」

講師／石原智香子（石原事務所特定社会保険



イメージキャラクター
いきいきポップちゃん



私たちは、医療の質の向上のために、
職員一人ひとりがいきいきと輝ける
職場づくりに取り組んでいます。

京都府医療勤務環境改善支援センター

京都いきいき働く医療機関認定制度ポスター

ヘルスについて～ストレスチェックも
含めて～

講師／西村幸秀（杉本医院からすまメンタル
クリニック副院長）

2月2日 キャンパスプラザ京都

テーマ／「メンタルヘルス不調者の職場復帰支
援～再休職しないために～」

講師／片桐陽子（栄仁会京都駅前メンタルク
リニック復職トレーニング専門デイク
ア「バックアップセンター・きょうと」
栄仁会カウンセリングセンター京都駅
前ルームセンター長）

2017(平成29)年度

医療従事者確保・定着のための経営・勤務環境改
善研修（3回）

10月11日 メルパルク京都

テーマ／①「改正育児・介護休業法及びハラス
メント対策について

②「官邸、財務省、厚生労働省が考え
る医療・介護改革の確認 ～見える

化の徹底によりいよいよ適用か、診
療報酬特例規定～」

講師／①桐田 徹（京都労働局雇用環境改善・
均等推進指導官）

②石井孝宜

8月31日 メルパルク京都

テーマ／①「無期転換ルールの概要と多様な働
き方について」

②「気になる2つの法人制度を確認す
る～地域医療連携推進法人と“新”持
分なし移行認定制度～」

講師／①大谷真弓（京都労働局 雇用環境・
均等室）

②石井孝宜

1月23日 登録会館

テーマ／①「時間外労働削減に向けた動きにつ
いて」

②「財務専門家から見た診療報酬改定
と病院経営～私見：26、28年改定の
衝撃と30年同時改定で起きること～」

講師／①吉岡宏修（京都労働局労働基準部監督課課長）

②石井孝宜

2018(平成30)年度

医療従事者確保・定着のための経営・勤務環境改善研修（3回）

10月16日 登録会館

テーマ／①「医療機関における働き方改革」

②3つの革命的变化「需要構造、供給体制、世代交代観」…経営者にも働き方改革の波？

講師／①山中広嗣（京都労働局雇用環境・均等室室長補佐）

②石井孝宜

11月13日 登録会館

テーマ／①「医師の働き方改革検討会の方向性」

②もう一度考える「消費税、そして認定医療法人」…医療界が解決できない2つの悩みを考える

講師／①馬場武彦（社会医療法人ペガサス理事長・医師の働き方改革に関する検討会委員）

②石井孝宜

1月22日 メルパルク京都

テーマ／①「チーム医療からチーム経営へ～ここよく働く働き方改革～」

②しっかり確認「病院の経営状態、30年改定の影響」～今年の医療界、何が起きているのか確認する～

講師／①土井章弘（岡山旭東病院院長）

②石井孝宜

2019(令和元)年度

医療従事者確保・定着のための経営・勤務環境改善研修（3回）

9月19日 メルパルク京都

テーマ／①医師の働き方改革の概要について

②「労働時間法制の見直し等について」

③「地域医療構想調整会議の進捗状況及び医師偏在・医師確保について」

説明／①厚生労働省医政局医療経営支援課からの動画による解説

講師／②黒川仁晴（京都労働局労働基準監督課地方労働基準監察監督官）

③丸毛信樹（京都府健康福祉部医療課課長）

※「厚生労働省医政局医療経営支援課医療勤務環境改善推進室からの通知に基づく研修会」として開催

10月3日 登録会館

テーマ／「医療側からみた働き方改革について」

講師／馬場武彦（社会医療法人ペガサス理事長、医師の働き方改革の推進に関する検討会委員）

11月21日 登録会館

テーマ：『動き始めた2040年の展望、その手前の三位一体改革～「健康寿命延伸プラン」と「医療・福祉サービス改革プラン」が目指すもの～』

講師：石井孝宜

◆病院訪問

平成27年度 20病院

平成28年度 25病院

京都府医療勤務環境改善支援センター

Support Center News

October 2019 | Vol.46

パートタイム・有期雇用労働者法が施行されます

～正社員とパートタイム労働者・有期雇用労働者の間での不合理な待遇差が禁止されます！～

2020年4月1日施行

【中核企業・中小企業向け】労働時間短縮法は、2021年4月1日

改正のポイント

- 1 不合理な待遇差の禁止
同一企業において、正社員とパートタイム労働者・有期雇用労働者の間での不合理な待遇差を禁止する規定が施行されます。
- 2 労働者に対する待遇に関する透明性の確保
同一企業において、正社員とパートタイム労働者・有期雇用労働者の間での不合理な待遇差を禁止する規定が施行されます。
- 3 行先による差への対応・経理責任の明確化
同一企業において、正社員とパートタイム労働者・有期雇用労働者の間での不合理な待遇差を禁止する規定が施行されます。

女性活躍推進法が改正されました

一般企業主体計画の策定義務の対象や女性の活躍に関する情報公表が厳格化されます

事業主の取組が求められるのは、下記取組の取組を怠りません。新年度までに取組を進めたいです。

【改正】30人以上の事業主の取組が義務化されることになりました。
（施行：2020年10月1日）

【改正】30人以上の事業主の取組が義務化されることになりました。
（施行：2020年10月1日）

【改正】30人以上の事業主の取組が義務化されることになりました。
（施行：2020年10月1日）

【改正】30人以上の事業主の取組が義務化されることになりました。
（施行：2020年10月1日）

センターNEWS Vol.46

- 平成29年度 14病院
- 平成30年度 30病院
- 令和元年度 30病院

◆医療機関からの個別相談対応

- 平成27年度 15件
- 平成28年度 27件
- 平成29年度 27件
- 平成30年度 54件
- 令和元年度 54件

◆京都府医療勤務環境改善支援センターNEWS(月刊誌)の発刊

- 平成27年度 1号から3号
- 平成28年度 4号から15号
- 平成29年度 16号から27号
- 平成30年度 28号から39号
- 令和元年度 40号から51号

◆京都いきいき働く医療機関認定制度

- 平成28年度 宣言60病院
- 平成29年度 宣言12病院 基本認定16病院
- 平成30年度 宣言5病院 基本認定10病院
- 令和元年度 宣言8病院 基本認定14病院
- 計 宣言85病院 基本認定40病院

医療労務管理支援事業

当事業は労働局の委託事業となり、医療勤務環境改善支援センターにおいて医療勤務環境改善マネジメントシステムの導入を促進し、医療機関へ赴くなどアウトリーチ型の支援を強化し、医療機関における労務管理全般にわたる支援等を効果的に実施するため、京都府医療勤務環境改善支援センターを運営している当協会が2015（平成27）年より受託している。当事業では、医療従事者の勤務環境改善に係る取り組みを推進するため、医療労務管理相談コーナーを開設して医療労務管理アドバイザー及び医療経営アドバイザーを配置し、相談対応業務、個別支援業務、周知・広報業務等を行っている。

その他の取り組みとして、人事・労務管理の基礎的なポイントをテーマにした研修会を開催し、2016（平成28）年からは京都労働局、公益社団法人京都府看護協会との共催で開催している。

◆研修会

2015(平成27)年度

- 京都市内・南部地域開催 11月27日
メルパルク京都
- 北部地域開催 12月15日
市民交流プラザふくちやま
- ※両日とも同内容で開催

- テーマ／①「ストレスチェック制度について」
- ②「勤務環境改善はこう取り組む—中



医療勤務環境改善研修会（京都市内・南部地域）



医療勤務環境改善研修会（北部地域）



京都医療労務管理
相談コーナーパンフレット

小民間病院における労働環境改善への取り組み」

講師／①大原耕也

②高須久美子（社会医療法人美杉会佐藤病院理事・看護部長）

2016(平成28)年度

※2016(平成28)年より京都労働局、公益社団法人京都府看護協会との共催

北部地域開催 11月12日

京都府立中丹勤労者福祉会館

京都市内・南部地域開催 2月25日

からすま京都ホテル

※両日とも同内容で開催

テーマ／ワークライフバランス実践研修「医療従事者の確保・定着につながるワークライフバランスの取組」

基調講演／「「かち」残る組織づくりのための Social Capital（絆）—WLBと勤務環境改善は定着促進そのもの—」

講師／中島美津子（東京医療保健大学東が丘・立川看護学部看護学科／大学院看護学研究科教授）

2017(平成29)年度

北部地域開催 7月24日

市民交流プラザふくちやま

テーマ／医療勤務環境改善研修会「労働時間管理の工夫について」

基調講演／「労働時間の管理と工夫」

講師／大久保清子（福井県立大学看護福祉学部研究科教授学部長）

京都市内・南部地域開催 12月4日

メルパルク京都

テーマ／医療勤務環境改善研修会「労働時間管理の工夫について」

基調講演／「労働時間管理の工夫について～夜勤交代制勤務のマネジメント～」

講師／奥村元子（日本看護協会労働政策部看護労働課看護労働・確保対策担当専門職）

2018(平成30)年度

北部地域開催 7月24日

市民交流プラザふくちやま

テーマ／医療勤務環境改善研修会「働き方改革について」

①「医師の働き方改革について」

②「働き方改革と経営戦略を両立させる」

講師／①福島通子（塩原公認会計士事務所特定社会保険労務士）

②竹中君夫（社会医療法人明和会医療福祉センター法人本部人事主幹）

京都市内・南部地域開催 12月13日

メルパルク京都

テーマ／医療勤務環境改善研修会「働き方改革について」

①「医療従事者の働き方改革」

②「働き方改革と経営戦略を両立させる」

講師／①福島通子

②竹中君夫

2019(令和元)年度

北部地域開催 7月18日 サンプラザ万助

京都市内・南部地域開催 12月12日

メルパルク京都



看護職つながりネット復職支援セミナー



看護職つながりネット交流会

※両日とも同内容で開催

テーマ／医療勤務環境改善研修会「多職種の働き方改革について」

基調講演／「医療機関における働き方改革と勤務環境改善の取組み」

講師／深澤理香（深澤社会保険労務士事務所 特定社会保険労務士）

看護人材早期復職支援事業

看護職不足のひとつの要因となっている看護職員の潜在化に対し、京都府では現場を退職した看護職員の早期復帰を推進することにより就業看護職員を確保すべく、2012（平成24）年度に「看護人材確保支援事業」が策定され、当協会が事業運営を受託した。

看護現場を退職する看護職員及び未就業の看護職に対する登録制度の構築・普及、登録看護職員に対する支援、支援により就業意欲が高まった看護職を無料職業紹介機関に繋げるなど、看護職へのサポートをしながら早期復職を支援する「京都府看護職復職支援・キャリアサポート つながりネット（以下、つながりネット）」を推進している。

また、2009（平成21）年度より介護・福祉の関係機関・団体が介護・福祉人材の確保・定着に取り組んでいる「きょうと介護・福祉ジョブネット」の看護職確保プロジェクトチームの運営事務も2012（平成24）年度より受託しており、ジョブネットに参画する医療・介護・福祉の各団体、行政が協働してつながりネットの登録推進・再就業支援に取り組み、オール京都体制での看護職確保に取り組んでいる。

その結果、2019（令和元）年3月31日時点で935

名の看護職が登録し、そのうち264名が再就業を果たした。

◆登録看護職員に対する復職支援セミナー・交流会

※全て京都私立病院協会会議室で開催

2015（平成27）年度

第33回 2015（平成27）年4月9日

テーマ／「食事と栄養について」

講師／佐々木由美（洛和会音羽病院栄養科 主任 席 課長・管理栄養士）

第34回 2015（平成27）年5月16日

テーマ／「職場見学会・ホスピス」

講師／清水真理（薬師山病院看護部長）

第35回 2015（平成27）年6月18日

テーマ／「医療・介護の現場で期待されるロボット活用の現在と未来」

講師／サイバーダイナミクス株式会社

第36回 2015（平成27）年7月14日

テーマ／「認知症緩和ケア・タクティールケアとは？」

講師／上坂勝芳（株式会社日本スウェーデン福祉研究所）

第37回 2015（平成27）年8月18日

テーマ／「医療をめぐる変化と看護の動向」

講師／藪千津子（京都府健康福祉部医療課 医療事務看護担当課長）

第38回 2015（平成27）年9月17日

テーマ／「摂食えん下障害の基礎と臨床」

講師／三田村啓子（京都医健専門学校副校長・言語聴覚士）

第39回 2015（平成27）年10月16日

テーマ／「笑顔力アップ！表情筋レッスン！」



看護職つながりネットWebサイト
<https://www.khosp.or.jp/t-net/>



看護職つながりネット
 LINEアカウント

- 講師／山本春美 (be face表情筋トレーナー)
- 第40回 2015(平成27)年11月9日
 テーマ／「秋から冬へ、季節のアロマセラピー
 でケアしましょう！」
- 講師／齊藤国子 (稲荷山武田病院看護部長)
- 第41回 2015(平成27)年12月8日
 テーマ／「食べる楽しみを大切に、摂食回復支
 援食とは」
- 講師／イーエヌ大塚製薬株式会社
- 第42回 2016(平成28)年1月15日
 テーマ／「看護と日常生活に活かせる感染対策
 の基本」
- 講師／中村考志 (京都桂病院・感染管理認定
 看護師)
- 第43回 2016(平成28)年2月16日
 テーマ／「褥瘡対策の変化とスキンケアの重要
 性」
- 講師／加藤昌子 (京都駅前武田透析クリニッ
 ク・皮膚排泄ケア認定看護師)
- 第44回 2016(平成28)年3月1日
 テーマ／第1部「笑顔を引き立てる表情筋レッ
 スン」
 第2部「カラーコーディネートで自分
 らしさを表現しよう！」
- 講師／第1部 山本春美 (be face表情筋ト
 レイナー)
 第2部 草木裕子 (アトリエ for me
 カラーセラピスト)
- ※「福祉職場就職フェア京都2016」の併催イ
 ベント「医療職フェア京都2016」の看護職
 対象イベントとして実施。

- 2016(平成28)年度
- 第45回 2016(平成28)年4月25日
 テーマ／「看護職のための脳卒中リハビリテ
 ーション」
- 講師／関里恵子 (シミズ病院・脳卒中リハビ
 リテーション看護認定看護師)
- 第46回 2016(平成28)年5月20日
 テーマ／「看護職が知っておくべき医療の最新
 情報と看護の動向」
- 講師／藪千津子
- 第47回 2016(平成28)年6月28日
 テーマ／「スウェーデン発祥のタッチケア～タ
 クティールケアを学ぼう～」
- 講師／上坂勝芳
- 第48回 2016(平成28)年7月25日
 テーマ／「在宅医療に興味・関心のある方必見！
 ～訪問看護のお仕事を学ぼう！～」
- 講師／勝本孝子 (洛和会介護事業部教育採用
 課・訪問看護認定看護師)
- 第49回 2016(平成28)年8月23日
 テーマ／「すぐに役立つ！認知症看護の知識と
 実践」
- 講師／辰巳弥生 (宇治おうばく病院・認知症
 看護認定看護師)
- 第50回 2016(平成28)年9月6日
 テーマ／「摂食嚥下と食事介助について」
- 講師／株式会社三和化学研究所
- 第51回 2016(平成28)年10月20日
 テーマ／「看護実践に役立つボディメカニクス
 の基礎を学ぼう！」
- 講師／池田万喜子 (京都中央看護保健大学校
 看護保健学科副学科長)



看護学校での復職支援セミナー



看護現場での復職支援セミナー

第52回 2016(平成28)年11月21日

テーマ／「皮膚の健康のためにできるケア」

講師／伊藤貢江（京都桂病院・皮膚排泄ケア認定看護師）

第53回 2016(平成28)年12月13日

テーマ／「家庭でも役に立つ！冬季流行疾患と感染対策のはなし」

講師／谷山絵梨子（三菱京都病院・感染管理認定看護師）

第54回 2017(平成29)年1月24日

テーマ／「今日からできる香りを使ったセルフケア ～香りの魅力を、呼吸・睡眠に活かしましょう！」

講師／齋藤国子

第55回 2017(平成29)年2月20日

テーマ／「輸液・経腸栄養療法の基礎と実践」

講師／株式会社大塚製薬工場

第56回 2017(平成29)年3月14日

テーマ／「ストレスとうまくつきあっていますか？ ～こころのセルフケアを考えましょう」

講師／片桐陽子（栄仁会京都駅前メンタルクリニック・臨床心理士）

2017(平成29)年度

第57回 2017(平成29)年4月17日

テーマ／「医療安全について—安心・安全な看護を提供するために—」

講師／諫山富恵（京都府健康福祉部医療課医務・看護担当）

第58回 2017(平成29)年5月29日

テーマ／「心も身体もリフレッシュ！ナースのためのリフレッシュ体験」

講師／小池美香（日本フィットネス協会ADI REBI SEBI・看護師）

第59回 2017(平成29)年6月20日

テーマ／「知ってほしい乳がんのこと」

講師／村田梨絵（三菱京都病院・乳がん看護認定看護師）

第60回 2017(平成29)年7月18日

テーマ／「看護職が知っておきたい褥瘡ケアの現状」

講師／野口直美（洛西ニュータウン病院・皮膚・排泄ケア認定看護師）

第61回 2017(平成29)年8月22日

テーマ／「楽に痰を出すためにできること」

講師／秋本喜英（医仁会武田総合病院リハビリテーション科科长・理学療法士）

第62回 2017(平成29)年9月28日

テーマ／「看護実践に役立つボディメカニクスの基礎を学ぼう！」

講師／池田万喜子

第63回 2017(平成29)年10月20日

テーマ／「看護職が知っておきたい訪問看護」

講師／西井知代（訪問看護ステーションえいむ・訪問看護認定看護師）

第64回 2017(平成29)年11月20日

テーマ／「探検！臨床検査室の裏側～検査データを読む前の予備知識～」

講師／小森敏明（京都府立医科大学附属病院臨床検査部技師長・臨床検査技師）

第65回 2017(平成29)年12月20日

テーマ／「スウェーデン発祥の認知症緩和ケア～タクティールケアについて～」

講師／上坂勝芳



ブース出展（京都病院学会）



ブース出展（就職相談会）

第66回 2018(平成30)年1月18日

テーマ／「アロマセラピーの活用術と楽しみ方
～心の癒しと肩こりを緩和するアロマ
マッサージ～」

講師／齋藤国子（大島病院教育担当師長）

第67回 2018(平成30)年2月20日

テーマ／「医療機器を安全に使用するために～
トラブル事例の体験型研修～」

講師／テルモ株式会社

第68回 2018(平成30)年3月16日

テーマ／「嚥下障害看護の実際と連携」

講師／下條美佳（京都府立医科大学大学院医
学研究科 在宅チーム医療推進学総合
医療・医学教育学・摂食・嚥下障害看
護認定看護師）

2018(平成30)年度

第69回 2018(平成30)年4月23日

テーマ／「セルフケアと支援に生かす看護のため
の認知行動療法入門」

講師／山出健博（長岡病院医療社会事業部・
臨床心理士）

第70回 2018(平成30)年5月21日

テーマ／「職業感染対策～安心・安全に働くた
めに必要なこと」

講師／井内律子（洛和会音羽病院・感染管理
認定看護師）

第71回 2018(平成30)年6月14日

テーマ／「認知症を理解する」

講師／仕明真理子（京都岡本記念病院・認知
症看護認定看護師）

第72回 2018(平成30)年7月9日

テーマ／「排尿ケアとスキンケア」

講師／伊藤貢江

第73回 2018(平成30)年8月21日

テーマ／「腰痛対策～予防体操と生活のくふう
～」

講師／秋本喜英

第74回 2018(平成30)年9月18日

テーマ／「看護実践に役立つボディメカニクス
の基礎を学ぼう！」

講師／池田万喜子

第75回 2018(平成30)年10月19日

テーマ／「看護職が知っておきたい訪問看護」

講師／西井知代

第76回 2018(平成30)年11月12日

テーマ／「臨床検査室へ潜入調査～貴方の血液
で何がわかる？～」

講師／小森敏明（京都府立医科大学附属病院
臨床検査部技師長・臨床検査技師）

第77回 2018(平成30)年12月17日

テーマ／「救急現場で行う看護～救急看護師の
役割～」

講師／寺井千鶴（田辺中央病院・救急看護認
定看護師）

第78回 2019(平成31)年1月22日

テーマ／「アロマやハーブでできる手軽な冷え
対策—冷えを誘因するストレスを香
りでケア—」

講師／齋藤国子

第79回 2019(平成31)年2月13日

テーマ／「看取りについて～接し方のPOINT～」

講師／加藤小津恵（訪問看護ステーション西
陣・看護師）

第80回 2019(平成31)年3月12日

テーマ／「スウェーデン発祥の認知症緩和ケア
～タクティールケアについて～」

講師／上坂勝芳

2019(令和元)年度

第81回 2019(平成31)年4月15日

テーマ／「ちょっと気になる排泄支援とは？」

講師／山下和典(メディケア・リハビリ訪問
看護ステーション京都・作業療法士)

第82回 2019(令和元)年5月21日

テーマ／「ストレスとうまくつきあっていますか？
～こころのセルフケアを考えま
しょう～」

講師／片桐陽子

第83回 2019(令和元)年6月18日

テーマ／「症例から振り返る～褥瘡の予防ケ
ア～」

講師／植村陽子(三菱京都病院・皮膚排泄ケ
ア認定看護師)

第84回 2019(令和元)年7月9日

テーマ／「症例から振り返る～褥瘡治療につ
いて～」

講師／植村陽子

第85回 2019(令和元)年8月21日

テーマ／「緩和ケアを知ろう～ホスピスでの緩
和ケアについて～」

講師／石坂絵美(薬師山病院・緩和ケア看護
認定看護師)

第86回 2019(令和元)年9月18日

テーマ／「看護実践に役立つボディメカニクス
の基礎を学ぼう！」

講師／池田万喜子

第87回 2019(令和元)年10月17日

テーマ／「がん化学療法看護における意思決定
支援」

講師／小杉雅美(田辺中央病院・がん化学療
法看護認定看護師)

第88回 2019(令和元)年11月13日

テーマ／「訪問看護師が行う意思決定支援」

講師／山本かおり(訪問看護ステーションみ
なみ・訪問看護認定看護師)

第89回 2019(令和元)年12月19日

テーマ／「医療機器を安全に使用するために～
トラブル事例の体験型研修～」

講師／テルモ株式会社

第90回 2019(令和2)年1月23日

テーマ／「アロマオイルを美容から抗菌まで～
ライフスタイルに彩りを～」

講師／齋藤国子

京都市離職看護師能力再開発事業

離職看護師の再就業を支援して京都市内の医療機
関の看護師確保に資するため、京都市は2011(平成
23)年度に病院が実施した研修に要する経費の一部
を補助する「離職看護師能力再開発事業」を策定し
た。

事業実施にあたり、当協会看護部長会総務委員会
において、医療機関の選定基準、助成対象とする研
修内容・報告書の様式について検討し意見を述べ、
2011(平成23)年度より当協会が事業を受託し、離
職看護師能力再開発研修を実施した市内会員施設に
おける離職看護師の再就業への取り組みの支援に努
めた。

看護職員の資格を持ちながら仕事に就いていない



これからの社会保障を考えるセミナー

離職看護師の数は、厚生労働省によると全国で約70万人以上いると推測されている。子育てや家事との両立が難しい、ブランクがあり不安、看護内容や労働時間への不満など、看護師として働いていない理由はさまざまと予想されるが、近年ワークライフバランスの充実に取り組む病院もあり、離職看護師の再就業が期待されている。

◆事業実績

- 2015(平成27)年度対象施設 9施設
- 2016(平成28)年度対象施設 5施設
- 2017(平成29)年度対象施設 2施設
- 2018(平成30)年度対象施設 2施設
- 2019(令和元)年度対象施設 3施設

 これからの社会保障を考えるセミナー

2025年に向けての医療・介護提供体制の再編に対応し得る組織づくりと医療従事者の確保・定着は、病院経営者・経営に携わる管理職としての重要な役割であり、病院の理事長・院長・事務長・看護部長をはじめ、経営・労務の管理職を対象として、地域医療構想、地域包括ケアシステムの実現に必要な病床機能の充実・転換を図るために、医療政策の今後の方向性や経営改善を考えるとともに、医療従事者の確保・定着にも繋げるための研修を開催した。

◆2016(平成28)年度

- ・ 7月2日 登録会館
 テーマ／「医療分野を中心とする社会保障の展望」
 講師／二川一男（厚生労働省事務次官）

- ・ 10月8日 登録会館
 テーマ／「平成30年医療・介護同時改定 toward & beyond」
 講師／鈴木康裕（厚生労働省保険局長）
- ・ 10月12日 メルパルク京都
 テーマ／「制定された医療法人会計基準と今、注意すべき経営財務状況～診療・介護報酬のデフレ再来で注意すべき財務と資金」
 講師／石井孝宜（石井公認会計士事務所所長・公認会計士）
- ・ 2月16日 メルパルク京都
 テーマ／「地域医療構想を数量価格分析の目線で整理してみる～機能と質の管理が供給量に影響を及ぼす時代の到来～」
 講師／石井孝宜

◆2017(平成29)年度

- ・ 9月16日 京都烏丸コンベンションホール
 テーマ／「これからの医療と社会保障」
 講師／鈴木俊彦（厚生労働省保険局長）
- ・ 1月29日 からすま京都ホテル
 テーマ／「平成30年診療報酬・介護報酬同時改定を読み解く」
 講師／中林 梓（株式会社ASK 梓診療報酬研究所所長）
- ・ 2月24日 からすま京都ホテル
 テーマ／「平成30年度診療報酬・介護報酬同時改定説明会」
 （事務長会研修会としても合同開催）
 ①「平成30年度介護報酬改定について」
 ②「平成30年度診療報酬改定の概要」

- 講師／①鈴木健彦（厚生労働省老健局老人保健課長）
②迫井正深（厚生労働省保険局医療課長）
- ・ 3月16日 メルパルク京都
テーマ／「同時改定、医療・介護計画見直し施行と民間病院経営 ～当事者の視点から実施直前の整理を試みる～」
講師／石井孝宜

◆2018(平成30)年度

- ・ 6月30日 京都ホテルオークラ
テーマ／「我が国の医療政策の諸課題」
講師／武田俊彦（厚生労働省医政局長）
- ・ 7月30日 からすま京都ホテル
テーマ／「2018年診療報酬改定と病床機能再編への影響」
講師／中林 梓（株式会社ASK梓診療報酬研究所所長）
- ・ 2月16日 京都烏丸コンベンションホール
テーマ／「2040年を見据えた社会保障の課題と展望」
講師／榎本健太郎（厚生労働省参事官（社会保障担当））
- ・ 3月1日 メルパルク京都
テーマ／「同時改定による影響は？！～いますぐ病院が取り組むべき課題～」
講師／長面川さより（株式会社ウォームハーツ代表取締役）

◆2019(令和元)年度

- ・ 6月22日 TKP京都四条駅前カンファレンスセ

- ンター
テーマ／「働き方改革とこれからの医療提供体制」
講師／北波 孝(厚生労働省医政局総務課長)
- ・ 10月19日 TKP京都四条駅前カンファレンスセンター
テーマ／「2040年を見据えた社会保障の課題と展望～全世代型社会保障の今後～」
講師／伊原和人（厚生労働省政策統括官（総合政策担当））
 - ・ 3月8日 京都烏丸コンベンションホール
テーマ／「令和2年度診療報酬改定について」
講師／森光敬子(厚生労働省保険局医療課長)
 - ・ 3月27日 からすま京都ホテル
テーマ／「令和2年度診療報酬改定への対応について」
講師／中林 梓

 医療従事者勤務環境改善体制整備事業

医師が診療業務に専念できる勤務環境を確保し、医療の質向上を図るべく、医師が行う業務のうち、カルテの入力・診断書や退院サマリーの作成等の事務的作業を代行する医師事務作業補助者の養成を目的とした事業として2015（平成27）年度より「医師事務作業補助者研修会」を開催している。修了者には診療報酬上の医師事務作業補助体制加算の施設基準に定める32時間の研修要件を満たすことを証明する修了証を交付した。

なお、事業開始当初は日本病院会の協力を得て実施していたが、2016（平成28）年度からは当協会独自で企画・運営を行い、研修会を開催している。



2015年度医師事務作業補助者研修会

◆医師事務作業補助者研修会

病院勤務医の負担を軽減し、勤務環境の改善を図るため、各医療機関が医師の事務作業を代行する医師事務作業補助者を配置することができるように養成研修を実施した。

◆2015(平成27)年度

【第1回】修了者／103名

1日目 8月15日 京都烏丸コンベンションホール

研修内容 第1章「医師事務作業補助者のあり方と接遇・個人情報の保護」
講 師 須貝和則（国立国際医療研究センター診療情報管理室室長）

第6章「医学一般と感染対策」
講 師 高橋長裕（ちば県民保健予防財団総合健診センター顧問）

2日目 8月23日 京都烏丸コンベンションホール

研修内容 第4章「保険診療概要」
講 師 永易 卓（若草第一病院事務局長）

第10章「診断書・証明書等の実務」
講 師 中山和則（筑波メディカルセンター病院事務部長）

3日目 8月30日 京都烏丸コンベンションホール

研修内容 第2章「診療支援業務と配置部署における診療の流れ」

講 師 高橋勇二（浜松市リハビリ

テーション病院副院長）

第7章「医療安全」

講 師 高橋勇二

第9章「検査一般の知識」

講 師 井戸靖司（岐阜医療科学大学 保健科学部放射線技術学科教授）

4日目 9月6日 京都烏丸コンベンションホール

研修内容 第8章「薬剤の基礎知識（処方箋の知識）」

講 師 大槻憲吾（相澤病院がん集学治療センターがん登録・統計調査課課長）

第5章「医師法、医療法、薬事法、健康保険法等の関連法規の概要」

講 師 佐合茂樹（木沢記念病院事務長）

第3章「医療情報システムと電子カルテ（診療録の記載・管理・がん登録を含む）」

講 師 荒井康夫（北里大学病院医療支援部 診療情報管理室課長）

【第2回】修了者／92名

1日目 10月25日 登録会館

研修内容 第1章「医師事務作業補助者のあり方と接遇・個人情報の保護」

講 師 須貝和則

第6章「医学一般と感染対策」

講 師 吉住秀之（九州医療センタ



2016年度医師事務作業補助者研修会

ー医療情報センター部長)

2日目 11月1日 登録会館

研修内容 第5章「医師法、医療法、薬事法、健康保険法等の関連法規の概要」

講師 佐合茂樹

第8章「薬剤の基礎知識（処方箋の知識）」

講師 大槻憲吾

第2章「診療支援業務と配置部署における診療の流れ」

講師 高橋勇二

3日目 11月8日 登録会館

研修内容 第4章「保険診療概要」

講師 永易 卓

第10章「診断書・証明書等の実務」

講師 中山和則

4日目 11月15日 登録会館

研修内容 第7章「医療安全」

講師 高橋勇二

第3章「医療情報システムと電子カルテ（診療録の記載・管理・がん登録含む）」

講師 阿南 誠（九州医療センター医療情報管理センター実務統括管理者）

第9章「検査一般の知識」

講師 井戸靖司

研修内容 第7章「医療安全」

講師 高橋正行（京都岡本記念病院副院長）

第2章「診療支援業務と配置部署における診療の流れ」

講師 福本 淳（洛和会音羽病院心臓血管外科部長）

第8章「薬剤の基礎知識（処方箋の知識）」

講師 守谷まさ子（綾部ルネス病院薬剤科長）

2日目 6月26日 TKP京都四条烏丸カンファレンスセンター

研修内容 第6章「感染対策」

講師 清水 聡（京都南病院理事長）

第6章「医学一般」

講師 大西弘太郎（堀川病院内科医）

第4章「保険診療概要」

講師 仲田昌司（三菱京都病院事務長）

3日目 7月3日 ハートンホテル京都

研修内容 第3章「医療情報システムと電子カルテ（診療録の記載・管理・がん登録含む）」

講師 大槻俊知（武田病院グループ本部ICT管理部部長）

第9章「検査一般の知識①」

講師 菊元力也（洛和会音羽病院放射線部次長）

◆2016(平成28)年度

【第1回】修了者／82名

1日目 6月19日 TKP京都四条烏丸カンファ

第10章「診断書・証明書等の実務」
 講師 中山和則

4日目 7月10日 ハートンホテル京都

研修内容 第5章「医師法、医療法、薬事法、健康保険法等の関連法規の概要」
 講師 藪本恭明（大阪国際綜合法律事務所 弁護士・医師）

第9章「検査一般の知識②」
 講師 増田信弥（京都民医連中央病院臨床検査課課長）

第1章「医師事務作業補助者のあり方と接遇・個人情報の保護」
 講師 枝光尚美（大阪府母子保健総合医療センター診療情報管理室室長）

【第2回】修了者／40名

1日目 10月6日 登録会館

研修内容 第7章「医療安全」
 講師 高橋正行

第2章「診療支援業務と配置部署における診療の流れ」
 講師 福本 淳

第8章「薬剤の基礎知識（処方箋の知識）」
 講師 浅野育子（京都民医連第二中央病院薬剤課長）

2日目 10月13日 登録会館

研修内容 第4章「保険診療概要」
 講師 仲田昌司

第6章「感染対策」
 講師 清水 聡

第6章「医学一般」
 講師 富士原正人（京都ルネス病院理事長・院長）

3日目 10月20日 登録会館

研修内容 第3章「医療情報システムと電子カルテ（診療録の記載・管理・がん登録含む）」
 講師 大槻俊知

第9章「検査一般の知識①」
 講師 菊元力也

第9章「検査一般の知識②」
 講師 増田信弥

第5章「医師法、医療法、薬事法、健康保険法等の関連法規の概要」
 講師 藪本恭明

4日目 7月10日 ハートンホテル京都

研修内容 第10章「診断書・証明書等の実務」
 講師 中山和則

第1章「医師事務作業補助者のあり方と接遇・個人情報の保護」
 講師 枝光尚美

◆2017(平成29)年度

【第1回】修了者／99名

1日目 6月18日 京都烏丸コンベンションホール

研修内容 第3章「医療情報システムと電子カルテ（診療録の記載・管理・がん登録を含む）」
 講師 大槻俊知

第5章「医師法、医療法、薬事法、



2017年度医師事務作業補助者研修会

健康保険法等の関連法規の概要」
 講師 藪本恭明
 第6章「医学一般」
 講師 富士原正人（京都ルネス病院理事長・院長）

2日目 6月25日 TKP京都四条烏丸カンファレンスセンター
 研修内容 第7章「医療安全」
 講師 高橋正行
 第9章「検査一般の知識①」
 講師 茶谷和真（田辺中央病院放射線科科長代理）
 第1章「医師事務作業補助者のあり方と接遇・個人情報の保護」
 講師 枝光尚美

3日目 7月2日 登録会館
 研修内容 第6章「感染対策」
 講師 清水 聡
 第8章「薬剤の基礎知識（処方箋の知識）」
 講師 浅野育子
 第4章「保険診療概要」
 講師 仲田昌司

4日目 7月9日 登録会館
 研修内容 第10章「診断書・証明書等の実務」
 講師 中山和則
 第9章「検査一般の知識②」
 講師 増田信弥
 第2章「診療支援業務と配置部署における診療の流れ」
 講師 福本 淳

【第2回】修了者／52名

1日目 9月21日 登録会館
 研修内容 第3章「医療情報システムと電子カルテ（診療録の記載・管理・がん登録含む）」
 講師 大槻俊知
 第9章「検査一般の知識①」
 講師 増田信弥
 第2章「診療支援業務と配置部署における診療の流れ」
 講師 福本 淳
 第9章「検査一般の知識②」
 講師 茶谷和真

2日目 9月28日 登録会館
 研修内容 第7章「医療安全」
 講師 高橋正行
 第5章「医師法、医療法、薬事法、健康保険法等の関連法規の概要」
 講師 藪本恭明
 第6章「医学一般」
 講師 富士原正人

3日目 10月12日 登録会館
 研修内容 第4章「保険診療概要」
 講師 仲田昌司
 第1章「医師事務作業補助者のあり方と接遇・個人情報の保護」
 講師 枝光尚美

4日目 10月19日 登録会館
 研修内容 第10章「診断書・証明書等の実務」
 講師 中山和則
 第6章「感染対策」



2018年度医師事務作業補助者研修会

講師 清水 聡
 第8章「薬剤の基礎知識（処方箋の知識）」
 講師 友沢明德（京都九条病院薬剤部長）

研修内容 第10章「診断書・証明書等の実務」
 講師 中山和則（筑波メディカルセンター病院副院長・事務長）

第1章「医師事務作業補助者のあり方と接遇・個人情報の保護」

講師 枝光尚美

4日目 9月9日 登録会館

研修内容 第7章「医療安全」

講師 高橋正行

第3章「医療情報システムと電子カルテ（診療録の記載・管理・がん登録含む）」

講師 井關博喜（洛和会ヘルスケアシステム本部医療情報部次長）

第6章「感染対策」

講師 清水 聡

◆2018(平成30)年度

修了者／84名

1日目 8月25日 登録会館

研修内容 第4章「保険診療概要」

講師 仲田昌司

第2章「診療支援業務と配置部署における診療の流れ」

講師 北岡有喜（京都医療センター医療情報部部長）

第9章「検査一般の知識（臨床検査部門）」

講師 増田信弥

2日目 8月26日 登録会館

研修内容 第5章「医師法、医療法、薬事法、健康保険法等の関連法規の概要」

講師 藪本恭明

第9章「検査一般の知識（放射線部門）」

講師 茶谷和真

第8章「薬剤の基礎知識（処方箋の知識）」

講師 浅野育子

第6章「医学一般」

講師 富士原正人

3日目 9月8日 登録会館

◆2019(令和元)年度

修了者／69名

1日目 6月16日 メルパルク京都

研修内容 第4章「保険診療概要」

講師 仲田昌司

第1章「医師事務作業補助者のあり方と接遇・個人情報の保護」

講師 枝光尚美

2日目 6月23日 登録会館

第3章「医療情報システムと電子カルテ（診療録の記載・管理・がん登録含む）」

講師 井關博喜



2019年度医師事務作業補助者研修会

第7章「医療安全」

講師 南川哲寛（京都岡本記念病院副院長）

第6章「感染対策」

講師 清水 聡

3日目 6月30日 登録会館

研修内容 第5章「医師法、医療法、薬事法、健康保険法等の関連法規の概要」

講師 藪本恭明

第8章「薬剤の基礎知識（処方箋の知識）」

講師 守谷まさ子

第6章「医学一般」

講師 石丸庸介（田辺中央病院理事長）

第9章「検査一般の知識（放射線部門）」

講師 茶谷和真（田辺中央病院放射線科科長）

4日目 7月7日 登録会館

研修内容 第10章「診断書・証明書等の実務」

講師 中山和則

第9章「検査一般の知識（臨床検査部門）」

講師 増田信弥

第2章「診療支援業務と配置部署における診療の流れ」

講師 北岡有喜

医療従事者確保強化事業

不足する病院医療従事者（薬剤師等）の人材確保を図るべく、2015（平成27）年9月より医療従事者確保強化事業を実施している。病院薬剤師等医療人材育成・確保事業では、医療現場等を退職する薬剤師・未就業の薬剤師の登録制度を構築し、病院への復職支援を図る「きょうと薬剤師サポートネット（以下、サポートネット）」を推進している。薬剤師部会運営委員会と連携して、登録薬剤師のためのセミナーを定期開催するとともに、見学受入施設への見学を積極的に勧めて就業意欲を高めるなど、病院に薬剤師の魅力発信に取り組んでいる。結果、サポートネットでは2019（令和元年）3月31日時点で121名の薬剤師・薬学部学生が登録し、6名が病院への就業を果たした。

また、2018（平成30年）より、過去に看護補助者であった者や職種未経験者を対象とした看護補助者確保推進事業を開始。看護補助者の業務内容、魅力等を広く発信する講習会と、当該受講者に病院見学会を案内し、病院への就業を推進している。（看護補助者確保推進事業の実績についてはp30、31参照）

◆きょうと薬剤師サポートネットキャリア支援セミナー・交流会

2015(平成27)年度

第1回 2015(平成27)年10月20日

テーマ／「知っておきたい病院薬剤師の業務と知識」

講師／浅野育子（京都民医連第二中央病院薬剤課長）

沼田多重（西山病院薬局長）



薬剤師サポートネットセミナー



薬剤師サポートネット交流会

大津山裕美子（洛和会音羽リハビリテーション病院薬局部主席係長）

第2回 2015（平成27）年11月26日

テーマ／「病院薬剤師は処方箋をどのような観点から見ているか？」

講師／浅野育子
沼田多重

第3回 2015（平成27）年12月18日

テーマ／「実技・実習～注射の混合・ルートの説明など～」

講師／沼田多重
大津山裕美子
佐藤和生（日本バプテスト病院薬剤部主任）

第4回 2016（平成28）年1月19日

テーマ／「病棟薬剤師の仕事内容」

講師／浅野育子
沼田多重
佐藤和生

第5回 2016（平成28）年2月10日

テーマ／「症例検討から学ぶ、処方箋の見方」

講師／大津山裕美子
浅野育子
沼田多重

第6回 2016（平成28）年3月17日

テーマ／「注射液の混合（ミキシング）をやってみよう」

講師／沼田多重
浅野育子
大津山裕美子

2016（平成28）年度

第7回 2016（平成28）年5月30日

テーマ／「病院薬剤師の業務と知識—1時間でまるわかり解説！—」

講師／浅野育子
佐藤和生

第8回 2016（平成28）年6月12日

テーマ／「学会に参加してみよう！～京都病院学会～」

講師／浅野育子
大津山裕美子（洛和会音羽リハビリテーション病院薬剤部課長）

第9回 2016（平成28）年7月13日

テーマ／「医薬品の添付文書を読んでみましょう！」

講師／沼田多重
大津山裕美子

第10回 2016（平成28）年8月24日

テーマ／「参加型で学ぼう！精神科のお薬」

講師／沼田多重
佐藤和生（日本バプテスト病院薬局長代行）

第11回 2016（平成28）年9月13日

テーマ／「病院見学会」
（京都久野病院・洛和会音羽リハビリテーション病院・医仁会武田総合病院）

第12回 2016（平成28）年10月12日

テーマ／「薬剤師が担う栄養サポート～胃ろう・流動食あれこれ～」

講師／友沢明德（京都九条病院薬剤部長）
浅野育子

第13回 2016（平成28）年11月10日

テーマ／「病院薬剤師が担う病棟業務のあれこれ」



きょうと薬剤師サポートネットWebサイト
<https://www.khosp.or.jp/p-net/>



きょうと薬剤師サポートネット
 LINEアカウント

- | | |
|---|---|
| <p>講 師／白波瀬芳美（新河端病院薬剤科長）
 大津山裕美子</p> <p>第14回 2016(平成28)年12月14日
 テーマ／「注射液の混合（ミキシング）をやってみよう！」</p> <p>講 師／馬瀬久宜(医仁会武田総合病院薬局長)
 沼田多重</p> <p>第15回 2017(平成29)年1月20日
 テーマ／「臨床検査値を眺めてみよう！」</p> <p>講 師／橋元 誠（三菱京都病院薬剤部長）
 佐藤和生</p> <p>第16回 2017(平成29)年2月16日
 テーマ／「病院見学会」
 （嵯峨野病院・新河端病院）</p> <p>第17回 2017(平成29)年3月29日
 テーマ／「理解できる！抗生物質の使い分け」</p> <p>講 師／浅野育子
 沼田多重</p> <p>2017(平成29)年度</p> <p>第18回 2017(平成29)年6月5日
 テーマ／「脳脊髄外科と薬剤師」</p> <p>講 師／守谷まさ子(綾部ルネス病院薬剤科長)
 大津山裕美子</p> <p>第19回 2017(平成29)年7月20日
 テーマ／「最近の不眠治療について」</p> <p>講 師／沼田多重
 浅野育子</p> <p>第20回 2017(平成29)年8月9日
 テーマ／「高血圧症・脂質異常症の基礎知識～ガイドラインから～」</p> <p>講 師／橋元 誠
 浅野育子</p> | <p>第21回 2017(平成29)年9月14日
 テーマ／「薬剤師のための糖尿病講座」</p> <p>講 師／大津山裕美子
 佐藤和生</p> <p>第22回 2017(平成29)年10月17日
 テーマ／「病棟業務」</p> <p>講 師／友沢明徳
 益野秀樹（京都久野病院薬剤部長）</p> <p>第23回 2017(平成29)年11月24日
 テーマ／「抗生剤の適正使用について～薬剤耐性（AMR）対策の背景から成人肺炎診療ガイドライン2017と実際の肺炎治療まで～」</p> <p>講 師／沼田多重
 中山太一（蘇生会総合病院薬剤部）</p> <p>第24回 2017(平成29)年12月22日
 テーマ／「注射薬の混合について」</p> <p>講 師／馬瀬久宜
 佐藤和生</p> <p>第25回 2018(平成30)年1月25日
 テーマ／「始めようNST～薬剤師が行う栄養管理～」</p> <p>講 師／樋口眞宏(愛生会山科病院薬剤部主任)
 大津山裕美子</p> <p>第26回 2018(平成30)年2月23日
 テーマ／「添付文書の読み方」</p> <p>講 師／浅野育子
 橋元 誠</p> <p>第27回 2018(平成30)年3月14日
 テーマ／「ポリファーマシーに対して薬剤師ができること～症例をもとに処方再設計してみよう～」</p> |
|---|---|



薬剤師サポートネットセミナー



薬剤師サポートネット病院見学会

- 講 師／多胡和樹（洛和会丸太町病院薬剤部）
 沼田多重
- 2018(平成30)年度
- 第28回 2018(平成30)年5月16日
 テーマ／「病院薬剤師のお仕事全般に関するこ
 と」
 講 師／佐藤和生
 大津山裕美子（洛和会本部医療部門課
 長）
- 第29回 2018(平成30)年6月28日
 テーマ／「抗うつ薬の特徴と使い分け」
 講 師／沼田多重（西山病院薬局長）
 浅野育子
- 第30回 2018(平成30)年7月26日
 テーマ／「ミキシング」
 講 師／馬瀬久宜
 佐藤和生
- 第31回 2018(平成30)年9月21日
 テーマ／「抗菌薬について」
 講 師／友沢明徳
 浅野育子
- 第32回 2018(平成30)年11月8日
 テーマ／「薬剤師さんのための糖尿病講座」
 講 師／佐藤和生
 浅野育子
- 第33回 2018(平成30)年12月18日
 テーマ／「症例検討から学ぶ、処方箋の見方」
 講 師／浅野育子
 大津山裕美子
- 第34回 2019(平成31)年1月23日
 テーマ／「ミキシング」
 講 師／馬瀬久宜

- 守谷まさ子
- 第35回 2019(平成31)年2月21日
 テーマ／「最近の不眠治療について」
 講 師／橋元 誠
 沼田多重
- 第36回 2019(平成31)年3月19日
 テーマ／「ポリファーマシーに対して薬剤師が
 できること～症例をもとに処方再設計
 してみよう～」
 講 師／多胡和樹
 沼田多重
- 2019(令和元)年度
- 第37回 2019(令和元)年5月27日
 テーマ／「病棟業務について」
 講 師／益野秀樹
 中山太一（蘇生会総合病院薬剤部副主
 任）
- 第38回 2019(令和元)年6月21日
 テーマ／「がん治療における基礎知識と抗がん
 剤治療における薬剤師の役割」
 講 師／友沢明徳
 松本 剛（三菱京都病院薬剤部）
- 第39回 2019(令和元)年7月26日
 テーマ／「認知症の治療と薬物療法の注意点」
 講 師／沼田多重
 守谷まさ子
- 第40回 2019(令和元)年9月25日
 テーマ／「薬物動態・血中濃度」
 講 師／大津山裕美子（洛和会音羽病院薬剤部
 課長）
 守谷まさ子
- 第41回 2019(令和元)年10月24日



メディワークセンター登録会

テーマ／「薬剤師さんのための医療安全」

講師／佐藤和生

沼田多重

第42回 2019(令和元)年11月26日

テーマ／「大腸がん 入院から外来化学療法まで」

講師／堀 真紀(京都九条病院薬剤部課長)

橋元 誠

第43回 2019(令和元)年12月12日

テーマ／「ライフステージ別の薬剤師の関わり
～妊婦・小児・高齢者・終末期～」

講師／佐藤和生

浅野育子(京都民医連あすかい病院薬剤課)

第44回 2020(令和2)年1月29日

テーマ／「注射薬の混合(ミキシング)」

講師／馬瀬久宜

紺谷智子(武田病院薬局)

第45回 2020(令和2)年2月20日

テーマ／「感染対策について」

講師／浅野育子

中山太一

無料職業紹介メディワークセンター事業

会員を中心に京都府内の医療機関等の人材確保に寄与することを目的に、1988(昭和63)年1月に厚生労働大臣の認可を受けて、医療従事者・社会福祉の職種を取扱う無料職業紹介所として求人者と求職者を繋ぐ役割を担っている。2010(平成22)年9月には「医療従事者無料職業紹介所」から「無料職業紹介メディワークセンター(以下、センター)」に

名称を改めた。

センターは有料の人材紹介会社とは異なり、求人者にも紹介手数料は一切不要であることから、会員の期待は大きい。紹介事業の活性化にはセンターがさらに広く認知される必要があり、webの充実やリーフレット・ノベルティ等を使用しての普及促進等、広報活動にも取り組んでいる。

2012(平成24)年度より京都府から受託実施している看護人材確保支援事業、2015(平成27)年度から京都府医療介護総合確保基金事業として実施している医療従事者確保強化事業(各々詳細別記)と連携し、再就職を希望する登録看護職・薬剤師をメディワークセンターに引き継ぐ等の取り組みを行っており求職登録の増加に努めている。また、看護部長会にて企画・運営している一般市民向けの看護補助者説明会(2018(平成30)年度より医療従事者確保強化事業として実施)においてもメディワークセンターの紹介を実施することで看護補助者の登録・就業につながった。

2016(平成28)年度より「メディワークセンター登録会」を開催。リビング京都に告知を掲載するとともに、会員施設に求人登録を呼びかけることで求人・求職登録の増加につながっており、会員施設への見学や面接など、就職に向けてのアプローチを行っている。

事業者団体、職能団体、行政が連携して、介護・福祉の人材確保・定着等に関する取り組みを行っている「きょうと介護・福祉ジョブネット」には、当協会から役員を派遣するとともに、「看護職確保プロジェクトチーム」の事務局を京都府より受託(2012(平成24)年度～)し、介護・福祉における看護人材確保・定着事業も企画・実施している。

◆2015(平成27)年度～2019(令和元)年度(5年間)の実績

2015(平成27)年度	紹介件数26件	就職者数13件
2016(平成28)年度	紹介件数34件	就職者数14件
2017(平成29)年度	紹介件数29件	就職者数8件
2018(平成30)年度	紹介件数25件	就職者数0件
2019(令和元)年度	紹介件数13件	就職者数6件

◆メディワークセンター事業運営委員会

担当役員及び事務長会、看護部長会からの委員、事務局紹介責任者で運営委員会を構成している。また、当協会の職種別組織からは運営協力委員として協力を得て、職種別の需給状況や確保対策を意見交換しながらセンターの事業展開を企画・検討している。

◆メディワークセンター登録会の求職登録者の実績

2016(平成28)年度	求職登録23名
2017(平成29)年度	求職登録23名
2018(平成30)年度	求職登録19名
2019(令和元)年度	求職登録18名

メディワークセンターホームページ
(<https://www.khosp.or.jp/mwc/>)

5 他団体との連携・交流

医療費抑制政策が長年継続される中、民間医療機関は「働き方改革」を含め様々な課題を暗に突き付けられ、病院経営の困難さが増している現状である。京都私立病院協会は、府内全域に於ける幅広い問題に対して多角的に提言を行い、またこの提言を実働させるべく四病院団体協議会・日本病院団体協議会・日本慢性期医療協会即ち中央の病院団体への役員派遣、近畿病院団体連合会の各委員会への参加、そして地域医療構想についても関係各団体との情報交換、提言要望を行い、幅広く対応し活動している。

(副会長 小森直之)

近畿病院団体連合会

近畿病院団体連合会は近畿2府4県の病院団体で構成しており、1977（昭和52）年10月22日に第1回目が開催されて以降、今日に至っている。

近畿の病院団体が一堂に会して社会保障制度改革をはじめ病院に関わる諸問題を協議し、とりわけ改善・見直しが必要な課題は団結して要望等の行動を展開している。また、各々の団体での取組や各府県での状況について提供される情報を各々の活動に活用している。

近畿病院団体連合会は中核となる委員会とこれをサポートする事務長会からなり、委員会は年1回、事務長会は2年を1期とし、各府県が持ち回りで運営している。

◆委員会

◆2015(平成27)年度 主務／奈良県病院協会

第1回 7月24日 ホテル日航奈良

主な議題：

- ・地域医療介護総合確保基金を活用した事業の実施状況について
- ・地域医療構想策定に関して（進捗状況・対応）
- ・メディカル・スタッフの専門・認定資格取得及び待遇に関するアンケート調査（薬剤師・看護師）結果報告

- ・地域包括ケア病棟（病床）の運営状況について

講演：「医療と介護の連携について―地域包括ケアシステムの推進―」

吉田 学（厚生労働省大臣官房審議官〔医療介護連携担当〕）

第2回 2月19日 ホテル日航奈良

主な議題：

- ・医師事務作業補助者の配置状況等について
- ・控除対象外消費税問題への取り組みについて
- ・看護師特定行為研修の指定研修機関として（奈良医大での取り組み）
- ・地域医療構想策定について

講演：「地域医療構想（ビジョン）の策定と地域包括ケアについて」

今村知明（奈良県立医科大学健康政策医学講座教授）

◆2016(平成28)年度 主務／滋賀県病院協会

第1回 7月21日 琵琶湖ホテル

主な議題：

- ・地域医療構想の進捗状況について
- ・医療事故調査制度にかかる取り組みについて
- ・増加する女性医師への取り組みについて

講演：「医療政策の最近の動向について」

北澤 潤（社会保険診療支払基金審議役）

第2回 2月23日 琵琶湖ホテル



2017年度近畿病院団体連合会委員会（京都開催）



2017年度近畿病院団体連合会委員会懇親会（京都開催）

主な議題：

- ・地域包括ケアシステムの進捗状況について
- ・高額薬剤の功罪
- ・医療事故調査制度の1年を振り返って
- ・京滋ドクターヘリ（ゆりかもめ）の運航状況について

講演：「びわ湖メディカルネット・淡海あさがおネット（ICT）を活用した医療・介護連携の取り組み」

本田朋仁（滋賀県医師会理事）

◆2017(平成29)年度 主務／京都私立病院協会・京都府病院協会

第1回 7月11日 ホテルグランヴィア京都

主な議題：

- ・地域医療構想における各府県の進捗状況と課題

講演：「持続可能な医療・介護の提供体制の構築に向けて」

山田啓二（全国知事会会長・京都府知事）

第2回 2月23日 ホテルグランヴィア京都

主な議題：

- ・近畿病院団体連合会規約の改定について
- ・医師の働き方改革について（厚生労働大臣への要望を決議、3月20日付要望）
- ・抗がん剤廃棄量に関する実態調査

講演：「平成30年医療・介護同時改定 toward & beyond 変わるのは、今だっ！」

鈴木康裕（厚生労働省医務技監）

◆2018(平成30)年度 主務／大阪府病院協会

第1回 7月19日 大阪新阪急ホテル

主な議題：

- ・第7次医療計画に基づく地域医療構想の推

進

講演：「病院の未来を拓くのは今だ！—チャンスをつえ、イノベーションを図る—」

相澤孝夫（日本病院会会長）

第2回 2月27日 大阪新阪急ホテル

主な議題：

- ・2019年10連休への対応について
- ・地域医療構想の推進～2018年度の到達点と今後の展望について～
- ・新たな全県型医療情報ネットワークシステム「びわ湖あさがおネット」の稼働について
- ・新たな入院基本料等の評価体系の見直しの影響について

講演：「生命輝かそう近病連～地域包括医療・ケアの時代に～」

邊見公雄（NPO 地域医療介護研究会 JAPAN 会長・全国自治体病院協議会 名誉会長・赤穂市民病院名誉院長）

◆2019(令和元)年度 主務／兵庫県病院協会

第1回 7月31日 ホテルオークラ神戸

主な議題：

- ・地域医療構想の現状と課題について
- ・ITによる二次救急システム「h—Anshinむこねっと」の効果と今後の展望について

講演：「地域医療構想策定の進捗状況に関する見解や課題、今後の見通し」

鈴木健彦（厚生労働省医政局地域医療計画課長）



2018年度近畿病院団体連合会事務長会(京都開催)



2018年度近畿病院団体連合会事務長会懇親会(京都開催)

◆事務長会の主な活動

◆2015(平成27)年度 主務/和歌山県病院協会

第1回 9月5日 ホテルグランヴィア和歌山

主な議題:

・「地域医療構想(ビジョン)の策定について」

講演:「コーチング流リーダーシップと病院マネジメント」

畑埜義雄(畑埜クロスマネジメント代表)

第2回 3月18日 ホテルグランヴィア和歌山

主な議題:

・診療報酬改定の影響度について

講演:「和歌山県の世界遺産について」

辻林 浩(和歌山県世界遺産センターセンター長)

◆2016(平成28)年度 主務/奈良県病院協会

第1回 9月2日 ホテル日航奈良

主な議題:

・平成28年4月診療報酬改定の影響度調査について

講演:「卑弥呼は纏向にいたか?—邪馬台国の考古学—」

橋本輝彦(桜井市纏向学研究センター主任研究員)

第2回 3月16日 南和広域医療企業団南奈良総合医療センター

主な内容:

・講演「地域医療構想に向けての病院再編事業と南和広域医療企業団の目指す医療」

松本昌美(南奈良総合医療センター院長)

・病院の施設見学

◆2017(平成29)年度 主務/滋賀県病院協会

第1回 9月8日 琵琶湖ホテル

主な議題:

・「労働基準監督署による個別調査について」

講演:「医療機関における改正個人情報保護法への対応」

藪本恭明(経営コンサルタント弁護士・病院経営コンサルタント)

第2回 3月16日 琵琶湖汽船ビアンカ船上

主な議題:

・平成30年度診療報酬改定への対応

・病院給与・労働条件実態調査について

◆2018(平成30)年度 主務/京都私立病院協会

第1回 9月14日 京都タワーホテル

主な議題:

・医師の労務管理について

講演:「健康寿命を延伸させる運動と栄養」

森谷敏夫(京都大学名誉教授・京都産業大学客員教授)

第2回 3月8日 施設見学会/京都府立医科大学永守記念最先端がん治療研究センター

懇親会/ホテルグランヴィア京都

主な内容:

・施設見学

◆2019(令和元)年度 主務/大阪府私立病院協会

第1回 10月11日 社会医療法人愛仁会愛仁会リ

ハビリテーション病院

主な内容:

・病院の施設見学

中央における病院団体

2000(平成12)年7月に四病院団体協議会(四病協)が発足し、日本病院会、全日本病院協会、日本

医療法人協会、日本精神科病院協会による全国組織の病院団体の連合体として、全国の病院の意見集約をし、国の医療政策等に対して積極的に意見・提言をおこなっており、対外的にもその存在が認知されている。当協会からは、日本病院会、全日本病院協会、日本医療法人協会に役員を派遣し、情報収集や意見具申をしている。

2005（平成17）年4月には、上記病院団体を含む11団体による日本病院団体協議会（日病協）が発足し、国への要望活動や調査・研究活動を中心に活発な活動を展開している。

2010（平成22）年度からは、全日本病院協会京都府支部及び日本医療法人協会京都支部の事務局を京都私立病院協会事務局が引き受けている。

◆中央の病院団体への役員派遣

2020(令和2)年3月31日現在

日本病院会

役員派遣／常任理事：武田隆久

代議員：清水 紘（～R1.5）、
清水鴻一郎（R1.5～）、
久野成人

全日本病院協会

役員派遣／理事：清水 紘（～R1.6）、
清水鴻一郎（R1.6～）

京都府支部長：清水 紘（～R1.6）、
清水鴻一郎（R1.6～）

副支部長：久野成人（～R1.6）、
小森直之、
石丸庸介（R1.6～）

日本医療法人協会

役員派遣／副会長（ブロック推薦理事）

：小森直之

理事：富士原正人

京都支部長：武田隆久

京都における医療・介護関係団体

京都府医師会とは、医療介護に関わる様々な課題や諸問題について、日常より情報交換、意見交換を密にし、相互理解を図りながら協力・連携して活動をおこなっている。両会役員懇談会、病院長会議や医師会の各委員会への委員派遣を通じて、共通の認識に立って課題解決を図るよう努めている。また、会員施設の協力を得て、災害医療チーム（JMAT）への派遣登録や京都マラソンの医療救護体制に係る医師派遣も行っている。

京都府病院協会（府病協）とは、京都病院学会を年1回共同で開催している。年々演題数や参加者も増加しており、京都府内の病院の医療人が日頃の医療介護の実践や研究の成果を発表する場として定着している。また、京都市域二次病院群輪番体制では、府病協が土・日・祝の小児輪番、その他を当協会が担当し、両協会の病院が分担して休日・夜間等における救急患者への医療の確保に努めている。地域医療構想や働き方改革など、病院を取り巻く共通の課題には、役員懇談会を開催して協議し、協力して要望活動も行っている。

京都府慢性期医療協会とは、1998（平成10）年11月に京都介護療養型医療施設連絡協議会として設立された当初から2014（平成26）年3月に現在の協会名称に変更後も京都私立病院協会内に事務局を置き、互いに情報を共有しながら活動をおこなっている。慢性期医療の課題、診療報酬の施設基準（認知症ケ

ア加算2・排尿自立指導料)の該当研修、介護サービス第三者評価の推進、医療と介護の連携等、協力して取り組んでいる。

そのほか、医療職能団体や介護・福祉関連団体とも協力・連携関係を結び、オール京都体制で京都の医療・介護の充実に貢献できるよう努めている。

員の拠出金で運営されている。各団体より職員を派遣し、2年任期で共済会の役員を務め運営している。

京都私立病院協会関係団体

当協会には、京都保健衛生専門学校、京都中央看護保健大学の2つの学校と京都府病院協同組合、京都府病院厚生年金基金の4つの関係団体がある。

それぞれの団体は、協会活動のなかから必然的に生まれた組織であり、各団体には協会の会員が参加しており、5つの団体が十分連携をとりながら業務を進めていくことが重要であることから、これを念頭に置いた組織運営がなされている。

各団体の役員には私病協の執行部より役員派遣を行い、各団体の事務局責任者が私病協の役員会へ出席することにより相互の業務の理解が深まるよう運営が行われている。

また、5団体の職員の賃金及び労働条件については、人事評価制度を盛り込んだ独自の賃金体系を活用し、部分的には各団体の業態の違いからくる制約があるものの、基本的には共通体系で運用されている。

毎年、各団体の事務局責任者による会議を開催し、新たな制度設計により必要な各事業所共通の規程の整備や改定作業、職員の就業規則をはじめ、賃金規程等についても必要な見直しを行っている。

5つの団体の全職員で組織している共済会「銀の会」、親睦団体「銅の会」は事業所からの補助と職



6 行政・政党への対応

民間病院が府民により充実した医療、安心・安全な医療を提供するためには、医師・看護師等の人材確保や経営基盤の安定が不可欠であることより、行政に対してあらゆる機会を捉えて要望活動を行ってきた。

毎年の京都府および京都市の予算編成に際しては、公的・民間病院の隔たりなく、オール京都の体制で地域医療の安心と安全を守る必要性を謳い、民間病院に必要な財政措置等について要望活動を行ってきた。また民間病院の代表として京都府や京都市の審議会等さまざまな場に委員を派遣し意見を述べるとともに、連携・協力体制を強化してきた。また京都府・京都市のみならず、医療環境の変化とともに民間病院が直面する問題について厚生労働省をはじめその他の行政全般に対しても積極的に要望・提言等を行った。

政党への対応は毎年、公明党が実施する予算・税制要望並びに政策懇談会に出席し、京都府や京都市への予算要望内容を伝えるとともに、その他民間病院が抱える諸問題に対し理解を求めてきた。令和元年度には国会議員と働き方改革におけるタスクシフトを中心とした問題について意見交換を行うなど、国政に対しても積極的に働きかけを行った。

当協会としては常に政党にこだわることなく、民間病院への理解と京都府民の医療・介護を守ることに主眼を置き活動を行ってきた。

(副会長 久野成人)

行政への対応

民間病院が府民により充実した医療、安心・安全な医療を提供するためには、医師・看護師等の人材確保や経営基盤の安定が不可欠であることから、行政に対しあらゆる機会を捉えて要望活動を行ってきた。

毎年の京都府及び京都市の予算編成に際しては、公的・民間病院の隔たりなく、オール京都の体制で地域医療の安心と安全を守る必要を謳い、民間病院に必要な財政措置等について要望活動を行ってきた。また府内を代表する民間病院の代表として京都府や京都市の審議会等さまざまな場で意見を述べるとともに、京都府からは京都府地域医療介護総合確保基金を活用した事業、京都市からは受託事業等の実施を通じて、常に担当部局と話し合いや協議の場を持つことで、連携・協力体制を強化してきた。

また京都府・京都市のみならず、医療環境の変化

とともに民間病院が直面する問題について厚生労働省をはじめその他の行政全般に対しても積極的に要望・提言などを行った。

政党への対応

毎年、公明党が実施する予算・税制要望並びに政策懇談会に出席し、京都府や京都市への予算要望内容を伝えるとともに、その他民間病院が抱える諸問題に対して理解を求めてきた。

2019（令和元）年度には繁本護衆議院議員と働き方改革におけるタスクシフトを中心とした問題について意見交換を行うなど、国政に対しても積極的に働きかけを行った。

当協会としては常に政党にこだわることなく、京都府民の医療を守ることに主眼をおき活動を行ってきた。



7 医療保険制度への対応

医療保険制度を取り巻く環境は安倍政権の復活と共に大変に厳しい状況になってきている。財政再建は社会保障費を削ればすべて達成されると考えている人たちが大合唱を繰り返すなかで、我々に何ができるのか甚だ心細い現実である。そのような中で当協会では診療報酬委員会を中心に診療報酬改定毎に要望書を取り纏め厚生労働大臣に提出し、また2016年からは直接厚生労働省に提出するのではなく全日本病院協会や日本医療法人協会を通じて要望を上げる事を通じて我々の声を政府に届けるようにしている。

(副会長 富士原正人)

医療保険をとりまく情勢

当協会では会員施設が施設基準を適切に管理・運用することで、病院機能の強化および患者サービスなどに支障を来さぬよう、調査のあった施設から積極的に情報を集約し、会員に新しい情報を発信するようにしている。

近年、施設基準はその種類や算定要件が改定の度に複雑多様化し、かつ改定後に解釈が変更されるケースが見受けられる。それに加え、適時調査も施設基準に定められた要件に沿って確認される。

こうした状況の中で、当協会は医療保険制度への対応を重要な事業のひとつとして位置づけ、会員施設の施設基準の運用が円滑にできるよう努めてきた。具体的には、会員からの相談随時受付、近畿厚生局や京都府等の関係部局との連絡確認、適時調査指摘事項の情報提供等を行っている。

最近の診療報酬改定は、表向きはプラス改定であるが、実質はマイナス改定であり、とりわけ民間・中小病院の経営は益々厳しい状況となっている。今後、病院として存続していくためには各々の病院機能に合った施設基準の届出を選択することが病院を経営する上での重要な条件となってくる。その中でも多くの施設基準を届出することが安定的な病院経営に直結することから、当協会としても全ての会員に、医療保険全般にわたる効果的なアドバイスと有益な情報提供ができるようさらなる業務体制の充実

を図りたいと考えている。

《医療保険に関する主な事業》

- ・事務長会
- ・診療報酬委員会
- ・医事業務研修会
- ・診療報酬全般に係る相談対応及び情報提供
- ・実施状況報告書（月報）の点検
- ・生活保護法指定医療機関に対する個別指導への立ち合い

医療保険をめぐる日常活動

1 施設基準等に関する相談・情報提供

会員が届け出た施設基準等について、届出後の施設基準の日常管理における問題や疑義に対して助言・指導を行っている。また、診療報酬に関連する通知及び変更事項等の最新情報を入手し、協会のホームページを通じて会員に情報発信している。

2 適時調査に関する情報収集

近畿厚生局が施設基準の届出を行った医療機関を対象として施設基準の運用が適切に執り行われているかを確認することを目的に実施される適時調査に対応するべく、当協会は適時調査が入った会員病院から調査内容・結果を取りまとめるなどの情報収集に努め、その情報を積極的に提供することで、会員病院の適切な施設基準の管理・運用

に貢献している。

3 生活保護法指定医療機関に対する個別指導への立ち会い

2015(平成27)年度以降の5年間も京都府・京都市が実施する生保指定医療機関への個別指導の立ち会いにオブザーバーとして同席している。医師による立ち会いは府医または地区医師会担当理事が行い、当協会会員病院の調査には事務局担当者が立ち会っている。

診療報酬委員会

当委員会の主な活動としては医療保険に関する情報の収集及び会員への情報提供、関係諸機関への要望活動等が挙げられる。最近では平成28年度、平成30年度診療報酬改定に向けて、当協会の意向を汲んだ改定内容となるよう、全日本病院協会や日本医療法人協会に要望に対する意見書を作成し、提出する等の活動を展開してきた。また、平成28年度、平成30年度に実施された診療報酬改定後の会員施設における影響度調査を行い、改定後の運用状況や経営状況を確認し、その情報を会員施設に提供した。

厚生労働省では「地域医療構想」「医師偏在対策」「働き方改革」を三位一体で進めていく方針であり、令和2年度診療報酬改定では、医療従事者の負担軽減、医師等の働き方改革の推進が重点課題に組み込まれ、それに対応するべく医療機関が今後の方向性について協議を進めている。今後、会員施設は地域における自施設の立ち位置を見極め、それに見合った施設基準の届出を行い、病院経営・運営に取り組んでいくことが求められている。当協会では今回行った調査によるデータを要望活動等で活用するため

の基礎資料として集約しているところである。

◆主な活動

2015(平成27)年度

平成28年度診療報酬改定に係る要望書の提出

2016(平成28)年度

平成28年度診療報酬改定に関するアンケート調査の実施

2017(平成29)年度

平成30年度診療報酬改定に係る要望に対する意見書の提出

2018(平成30)年度

平成30年度診療報酬改定に関するアンケート調査の実施



8 介護保険制度への対応

2016年（平成28年）年度に「社会保障審議会・療養病床のあり方等に関する特別部会」が開催され介護療養型医療施設の今後の方針等が議論され、2018年度より6年間の経過措置の延長とともに、介護療養型医療施設に代わる「介護医療院」が創設されることになった。2018年度の介護報酬改定において介護医療院は概ね現行の介護療養型医療施設と同等の介護報酬・施設基準が設定され、さらに転換型においては従来の医療機関名を使用できるようになる等、安定した施設運営の継続を図る取り扱いになった。介護医療院は生活の場としての機能も担い、ますます地域包括ケアシステムにおいて重要な役割を果たす施設としてその存在意義を強く国にアピールしていく必要がある。

介護保険をめぐる日常活動として、会員からの施設基準等に関する質問・相談に対応するほか新たな通知や変更事項等の情報を発信している。その他、実施状況報告書の月報点検サービスも行っている。また、京都府や府内各保健所、京都市が定期的に行う実施指導に立ち会い、指摘事項等の情報を集約し会員施設へ情報提供している。

介護保険委員会は、京都府や京都市の行政当局および京都府医師会の担当者も交え、情報交換や討議を行い制度の適切な運用と安定的な運営が図られるよう努めている。2017年度は翌年度の介護報酬改定についての要望書を京都府慢性期医療協会との連名で厚生労働大臣・老健局長・老健局老人保健課長に提出した。また、毎年2回研修会を企画・開催している。

介護サービス第三者評価事業の取り組みは、当協会も評価機関としての認定を受け毎年10件以上の評価を行い、介護サービスの質の向上・改善を図っている。また、調査者の研修や新規調査者の養成にも力を入れている。

京都市新規介護認定調査事業は、京都府より指定市町村事務受託法人の指定を受け、年間4,000件を超える介護保険要介護認定調査を実施している。

（副会長 久野成人）

介護保険をとりまく情勢

介護保険制度施行から20年が経過し、この間、介護療養型医療施設に関しては、特に著しい動きがあった。

2015（平成27）年度介護報酬改定では、介護療養型医療施設に「療養機能強化型」という新たな報酬体系が創設され、重篤な疾患を有する高齢者及び身体合併症を有する認知症高齢者の受け入れ、経管栄養等の医療的ケア、ターミナルケアの実施等が算定要件となり、当協会が会員施設とともに国に対して

強くアピールし続けてきた介護療養型医療施設の機能が重点的に評価されることになった。

その後、2016（平成28）年度に開催された「社会保障審議会・療養病床の在り方等に関する特別部会」で、介護療養型医療施設の今後の方向性等について議論され、2017（平成29）年度5月に改正介護保険法（地域包括ケアシステムの強化のための介護保険等の一部を改正する法律）が成立し、2018（平成30）年度より、現行の介護療養型医療施設の経過措置の期間がさらに6年間延長されるとともに、介護療養型医療施設に代わる要介護高齢者の長期療養・



介護保険委員会研修会



介護保険委員会研修会

生活を担う新たな施設として「介護医療院」が創設されることになった。

また、2018（平成30）年度介護報酬改定において、介護療養型医療施設は概ね現状維持の評価となり、介護医療院については、概ね現行の介護療養型医療施設と同等の介護報酬・施設基準が設定され、さらに施設の一部を転換する場合は従来の医療機関名を継続して使用できるようになる等、安定した施設運営の継続を図る取り扱いになった。

今後、介護医療院も介護療養型医療施設と同様に医療必要度の高い要介護高齢者に対応し、さらに生活の場としての機能も担う、地域包括ケアシステムにおいて重要な役割を果たす施設として、その存在意義を国に対して強く発信していく必要がある。

介護療養型医療施設、介護医療院のみならず、居宅サービス等も含め、依然として介護保険に関して解決すべき課題は山積しているが、当協会では今後も介護保険制度および関連事業が会員にとってより良いものとなるよう、情報収集や要望活動等を行っていく。

するため、制度発足当初から事務局員が立ち会いを行っている。

また、適切な事業運営に資するよう、調査での指摘事項等の情報を集約し会員施設へ情報提供している。

介護保険委員会

当委員会は、介護と医療の密接な関係を重視する観点から、介護保険制度が医療に及ぼす影響を的確に把握・予測するとともに、介護保険制度下における問題点を検討し、制度の改善に向け提言しながら、介護サービス事業を行う会員が円滑に事業運営できるよう活動を行っている。2007（平成19）年にはケアマネジャー委員会を、2009（平成21）年に介護報酬委員会を統合し、介護保険に関わる幅広い活動を展開する場として、重要な役割を担っている。

委員会では行政当局（京都府・京都市）及び京都府医師会の担当者も交え、現行の介護保険制度や介護制度改革の諸問題について情報交換や討議を行い、それぞれの立場から意見・要望を取り交わしていく中で、制度の適切な運用と安定的な運営が図られるよう努めている。

この間の主な活動としては、介護保険制度や介護報酬改定に関する情報収集や実態調査を実施し、会員に有用な情報提供が行えるよう努めたほか、2017（平成29）年度は、翌年度に控えた平成30年度介護報酬改定についての対応を重点的に検討し、その意見を集約した要望書を京都府慢性期医療協会との連名で厚生労働大臣・厚生省老健局長・厚生省老健局老人保健課長に提出した。会員施設の全職種を対象とした研修会の開催や、介護サービス第三者評価事

介護保険をめぐる日常活動

1 施設基準等に関する相談・情報提供

会員からの施設基準等に関する質問・相談に対応している。新たに出された通知や変更事項等の情報を文書等で通知するほか、ホームページにも掲載している。その他、実施状況報告書の月報点検サービスも行っている。

2 実地指導への立ち会い

京都府や府内各保健所、京都市が定期的に行う実地指導には、調査が適切に行われているか確認

業における課題の分析・提言等についても継続して行っている。

◆研修会

※すべて京都府慢性期医療協会との共催

2015(平成27)年度

2月20日 キャンパスプラザ京都

テーマ／「平成28年度診療報酬改定と慢性期医療の今後について」

講師／鈴木邦彦（日本医師会常任理事・志村大宮病院理事長）

3月14日 メルパルク京都

テーマ／「介護療養型医療施設の人員・設備・運営基準・介護報酬について」

講師／高見雄（京都市保健福祉局保健福祉部監査適正給付推進課障害福祉・介護サービス担当課長）

粟嶋美絵（京都市保健福祉局保健福祉部監査適正給付推進課主任）

2016(平成28)年度

12月5日 登録会館

テーマ／「最大で最強の地域包括ケア病棟」

講師／仲井培雄（地域包括ケア病棟協会会長・芳珠記念病院理事長）

3月17日 キャンパスプラザ京都

テーマ／「介護療養型医療施設の人員・設備・運営基準・介護報酬について」

講師／高見雄

野村美茄（京都市保健福祉局保健福祉部監査適正給付推進課）

2017(平成29)年度

12月5日 キャンパスプラザ京都

テーマ／「古武術の身体運用と発想に学ぶ介助技術」

講師／岡田慎一郎（理学療法士・介護福祉士・介護支援専門員）

2018(平成30)年3月22日 キャンパスプラザ京都

テーマ／「介護療養型医療施設及び介護医療院の人員・設備・運営基準・介護報酬について」

講師／高見雄（京都市保健福祉局保健福祉部監査指導課障害福祉・介護サービス担当課長）

野村美茄（京都市保健福祉局保健福祉部監査指導課）

和田幸司（京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室介護ケア推進課担当課長）

2018(平成30)年度

10月1日 メルパルク京都

テーマ／「地域医療構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

テーマ／「身体拘束の廃止に向けて」

講師／眞鍋馨（厚生労働省老健局老人保健課長）

2019(平成31)年度

3月18日 メルパルク京都

テーマ／「地域包括ケア構想と地域医療構想調整会議について—具体的な施策を推進するために—」

講師／京都府健康福祉部医療課

テーマ／「介護療養型医療施設及び介護医療院の人員・設備・運営基準・介護報酬について」

講師／澤井秀生（京都市保健福祉局保健福祉部

監査指導課障害福祉・介護サービス担当
課長)
野村美茄
和田幸司（京都市保健福祉局健康長寿の
まち・京都推進室介護ケア推進課施設支
援・指定担当課長）

◆その他の活動

2015(平成27)年度

- ・平成27年度介護報酬改定に係る影響度調査の実施

2017(平成29)年度

- ・平成30年度介護報酬改定への対応の検討および要望書の提出

2018(平成30)年度

- ・平成30年度介護報酬改定に係る影響度調査の実施

介護サービス第三者評価事業

事業者による介護サービスの質の向上・改善を促進し、同時にサービスを受ける利用者の選択の利便を図るために有効である介護サービス第三者評価は、京都府で2002（平成14）年度から全国に先駆けて試行実施事業が行われ、2005（平成17）年10月には、関係団体、行政等で組織する「京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構」が発足し、福祉サービスも含めた第三者評価への本格実施へと移行した。

京都府では、現在介護分野で18機関が評価機関として認定を受けており、当協会も試行期間の2004（平成16）年9月に介護サービス第三者評価機関の認定を受けた。

調査は当協会所属の調査者が行い、評価の最終決定機関として設置されている評価審査委員会では、当協会以外の団体の関係者等も交え、公平且つ適正な評価になるよう努めている。また、調査者の質の向上を図るため、各種研修への参加や新規調査者の養成にも力を入れている。

◆評価実施施設・事業所

2015(平成27)年度／サテライト老健桃寿苑、ヘルパー

ーステーションくるみ、葵会総合ケアステーション、荒木クリニック訪問看護ステーション、西陣病院介護保険相談室、大宅診療所、第二久野病院介護支援センター、長老苑在宅介護支援センター、特別養護老人ホームサンフラワーガーデン、長老苑デイサービスセンター、特別養護老人ホームゆりのき、特別養護老人ホーム楽生苑、老人保健施設桃寿苑、訪問看護ステーションひまわり、京都福祉サービス協会夜間対応型訪問介護事業所南、老人保健施設第二アールそせい

計16事業所

2016(平成28)年度／デイサービスセンター楽生苑、ほっとステーションきぼう、介護老人保健施設とちのき、医療法人亀岡病院けやきショートステイセンター、京都南病院（訪問リハビリテーション）、五木田病院、上賀茂デイサービス、長老苑在宅介護支援センター、東山診療所通所リハビリテーション、福祉用具貸与事業所やすらぎ、訪問介護センターやすらぎ、訪問看護ステーションこもれび、訪問看護ステーションそうま、訪問看護ステーションたんぼぼ、訪問看護ステーションふかくさ、訪問看護ステーションみなみ、老人保健施設アールそせい



認定調査員研修

計17事業所

2017(平成29)年度／加茂の里デイサービスセンター、介護老人保健施設フェアウインドきの、介護老人保健施設やすらぎ苑、居宅介護支援マムステーション、京都福祉サービス協会小川事務所、田辺中央病院居宅介護支援センター、特別養護老人ホームまほろば、特別養護老人ホーム山城ぬくもりの里、特別養護老人ホーム長老苑、訪問看護ステーションあじさい、訪問看護ステーションやすらぎ

計11事業所

2018(平成30)年度／葵会総合ケアステーション、京都南西病院、嵯峨野病院居宅介護支援事業所、西陣病院介護保険相談室、長老苑デイサービスセンター、長老苑在宅介護支援センター、特別養護老人ホームサンフラワーガーデン、特別養護老人ホームゆりのき、木津屋橋武田病院、老人保健施設桃寿苑

計10事業所

2019(令和元)年度／あやべ協立診療所、介護老人保健施設ケアコミュニティ淀、介護老人保健施設ぬくもりの里、嵯峨野病院、桃仁会居宅介護支援事業所、訪問介護センターやすらぎ

計6事業所

っている。

認定調査員には、京都市が実施する認定調査員対象の研修会への参加と併せ、当協会独自で毎年研修会を開催し、調査員としての基本姿勢、各調査項目の判断基準、特記事項の記入方法等の再確認を行い、調査の質の向上に努めている。

◆認定調査実績

2015(平成27)年度	4,084件
2016(平成28)年度	4,257件
2017(平成29)年度	4,361件
2018(平成30)年度	4,377件
2019(令和元)年度	4,571件

京都市新規介護認定調査事業

当協会では、2007(平成19)年11月1日付で京都府から介護保険法第24条に規定する指定市町村事務受託法人の指定を受け、京都市をはじめとする市町村からの委託による介護保険要介護(要支援)認定調査を実施している。会員施設等の介護支援専門員の協力を得て、年間4,000件を超える認定調査を担



地域医療構想への取り組み

少子高齢化が進み、人口減少社会を迎えた現在の日本において、医療政策としての「地域医療構想の策定」は最重要課題であるとされています。地域医療構想については、皆様ご承知の通り「働き方改革」および「医師の偏在対策」と合わせた三位一体で進められており、特にここ数年、各都道府県・医療圏単位での議論が活発化しているところです。これらの課題はそれぞれに難しい論点を含んでいる面がありますが、まず各構想区域での地域医療構想を地域の実情に合わせた形で具体化していくことが糸口となり、働き方改革・医師偏在対策も解決への扉が開かれていくのではないのでしょうか。

京都・大阪・神戸を含む関西圏は、全国的に見れば人口減少の波も緩やかではあります。しかしながら、人口減少は将来的に必ず進行するものであるとともに、京都府について見てみると京都市域・北部地域・南部地域の間でその度合いに大きな差があり、地域ごとの課題を有している状況です。

それぞれの地域に暮らす住民が、それぞれの街で安心して幸せに暮らすことができるように、地域事情の精緻な分析と、それに見合った医療体制の構築・整備が必要であると考えます。そのような中で私たち京都私立病院協会は、民間病院の立場で、民間ならではの役割を果たしていくことが今後より一層求められていると言えるでしょう。

(副会長 石丸庸介)

地域医療構想をめぐる状況

平成26年6月に成立した「医療介護総合確保推進法」により、都道府県は、団塊の世代が75歳以上を迎える2025年に向け、病床の機能分化・連携を進めるため、「地域医療構想」を医療計画において策定することが定められた。

地域医療構想は、二次医療圏を基本とした構想区域ごとに、具体的な診療内容等のデータに基づいて2025年の医療需要と病床の必要量(「高度急性期」「急性期」「回復期」「慢性期」)を推計し、それぞれの機能に必要な病床の整備や機能分化を行うものであり、各構想区域の地域医療構想調整会議で将来の病床数の必要量を達成するための方策等を協議し地域医療構想の達成を目指すものである。

京都府における地域医療構想は、2017(平成29)年3月に地域包括ケアシステムの一環として地域医療構想を位置付けた「京都府地域包括ケア構想」が

策定され、2018(平成30)年4月からの京都府保健医療計画に盛り込まれた。構想策定には、京都府医療審議会地域医療構想策定部会に当協会長が参画した。病床機能別の必要病床数は、他の都道府県とは異なり、京都府では、京都府全体として高度急性期と急性期を合わせて12,000~13,000床、回復期は8,000~9,000床、慢性期は8,000~9,000床という幅を持たせた目標値が設定された。病院側も京都府も各病床機能を明確に区分することは現実的ではなく、医療の進歩・疾病構造の変化等により必要な機能も変化するという共通認識の下で協議した結果となった。

2025年の京都府全体の必要病床数(29,957床)は現状(H28.5.1=29,690床)とほぼ同様となるが、病院による病床機能報告では、2025年の必要病床数に比べ、回復期機能が大幅に不足する結果となった。こうした全国的な傾向を踏まえ、厚生労働省は2018(平成30)年8月に、病床機能報告の各病棟の医療

機能の選択の参考になる基準（定量的基準）を、2018（平成30）年度中に医療関係者と協議して策定することを求める通知を発出した。これを受け、京都府では、2018（平成30）年10月に京都私立病院協会、京都府病院協会、京都府医師会で構成する「京都府医療審議会病床機能区分検討ワーキング」を設置して協議が行われ、診療報酬基準に基づく重症度及び大規模病院の病棟構成の特徴を配慮した定量的分析を採用し、これを京都方式として一般病床を急性期機能と回復期機能に区分した結果、必要病床数の割合とほぼ一致することとなった。但し、構想区域によるばらつき等の課題もあり、必要に応じて見直すこととなっている。

京都府内の各構想区域の地域医療構想調整会議では、2018（平成30）年度より京都府地域包括ケア構想の達成に向けた協議が始まり、各調整会議には地域の病院が主体的に参加している。特に病院数の多い京都市域地域医療構想調整会議には当協会から会長・副会長3名が参画するとともに、京都市域を4ブロックに分けて病院が参加する意見交換会が開催されている。

特に公立病院・公的医療機関等の見直し論議が先行しており、それぞれ「新公立病院改革プラン」「公的医療機関等2025プラン」を策定し、民間医療機関との役割分担を踏まえ、公立病院・公的医療機関等でなければ担えない分野へ重点化することが求められたが、見直しが十分に進んでいないとされ、2019（令和元）年9月に2025年に担う役割や機能別病床数の再検証を要請する424の公立・公的医療機関が公表されるに至った。今後、民間病院の診療実績データ等の公表も控えており、民間病院にも再編・統合の議論が波及することが予想される。

当協会では京都府、京都市、医療関係団体との連携を密にしながら京都府における医療提供体制が後退することのないよう地域医療構想の課題に取り組んでいる。

地域医療介護総合確保基金

国は、団塊の世代が75歳以上となる2025年を展望し、病床の機能分化・連携、在宅医療・介護の推進、医療・介護従事者の確保・勤務環境の改善等、「効率的かつ質の高い医療提供体制の構築」と「地域包括ケアシステムの構築」を図るべく、2014（平成26）年度から消費税増収分等を活用した財政支援制度（地域医療介護総合確保基金）を創設し、各都道府県に設置した。各都道府県は、都道府県計画を作成し、当該計画に基づき事業（*）を実施している。

京都府でも、京都府地域医療介護総合確保基金が設けられ、当協会からの事業提案により、基金対象事業として各種事業を実施している。

- *事業区分Ⅰ．地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業
- 事業区分Ⅱ．居宅等における医療の提供に関する事業
- 事業区分Ⅲ．医療従事者の確保に関する事業

◆2015(平成27)年度の基金事業

1 医療従事者勤務環境改善促進事業

- (1) 病院幹部・管理職等を対象とした医療従事者の確保・定着のための経営・勤務環境に係る意識改革のための事業
- (2) 医療従事者の定着を図るための知識・技術向上及びモチベーションアップのための研修

- ① 専門知識・技術の定着確認・向上研修等（職種別、テーマ別研修）
- ② 将来の病院運営を担う医療従事者のリーダー養成研修（保健医療管理者養成講座）
- ③ 専門知識及び技術向上のための成果発表及び普及啓発（京都病院学会）
- ④ 各種研修受付システムの構築
- 2 京都府医療勤務環境改善支援センター事業
- 3 医療従事者勤務環境改善体制整備事業
- 4 医療従事者確保強化事業
- 5 看護職員資質向上事業
- 6 看護職員離職防止、定着・確保事業
- 7 看護補助者資質向上・確保事業
- 8 在宅医療・介護連携体制支援事業
- 9 在宅医療・介護連携体制支援事業

◆2016(平成28)年度の基金事業

- 1 医療従事者勤務環境改善促進事業
- 2 京都府医療勤務環境改善支援センター事業
- 3 医療従事者勤務環境改善体制整備事業
- 4 医療従事者確保強化事業
- 5 病院在宅医療・介護連携体制強化事業

◆2017(平成29)年度の基金事業

- 1 医療従事者勤務環境改善促進事業
- 2 京都府医療勤務環境改善支援センター事業
- 3 医療従事者勤務環境改善体制整備事業
- 4 医療従事者確保強化事業
- 5 病院在宅医療・介護連携体制強化事業

◆2018(平成30)年度の基金事業

- 1 病床転換促進事業（病床機能転換に向けた医療

従事者キャリア向上事業）

- (1) 病院幹部・管理職等に対する病床転換意識向上事業
- (2) 病院医療従事者に対する病床転換を見据えてのキャリア及びモチベーション向上事業
 - ① 将来の病床転換を見据えた部門別、職種別、全職種対象の専門知識・技術向上研修等（職種別、テーマ別研修）
 - ② 地域包括ケア実現のために必要な病床の管理・運営を担う医療従事者のリーダー養成研修（保健医療管理者養成講座）
 - ③ 病床連携推進事業（京都病院学会）
- 2 京都府医療勤務環境改善支援センター事業
- 3 医療従事者勤務環境改善体制整備事業
- 4 医療従事者確保強化事業
- 5 病院地域包括ケアシステム強化事業
- 6 地域連携型在宅医療支援病院事業

◆2019(令和元)年度の基金事業

- 1 病床転換促進事業（病床機能転換に向けた医療従事者キャリア向上事業）
- 2 京都府医療勤務環境改善支援センター事業
- 3 医療従事者勤務環境改善体制整備事業
- 4 医療従事者確保強化事業
- 5 病院地域包括ケアシステム強化事業
- 6 地域連携型在宅医療支援病院事業

 地域医療構想検討委員会

地域医療構想は、病院、地域医療の将来に大きく影響する極めて重要な課題であり、当協会は2015(平成27)年6月に協会執行部の役員による政策委員会

と同様の構成で地域医療構想検討委員会を設置した。委員会では国の動き、京都府医療審議会地域医療構想策定部会・各圏域の地域医療構想調整会議等における検討状況を把握して対応を協議し、共通認識のもとで京都府等に意見具申している。

また、各病院がそれぞれの有する医療資源と地域の医療需要を的確に捉え、将来の方向性を検討する必要から、厚生労働省幹部・有識者を招いての講演会、厚生労働省主催の地域医療構想に関する研修会への参加、各種研修会・委員会、会報誌・ホームページ等を通じて会員施設への情報提供を行っている。

◆地域医療構想に係る審議会への参画

- ・京都府医療審議会地域医療構想策定部会（清水鴻一郎）
- ・京都府医療審議会病床機能区分検討ワーキング（富士原正人、武田隆久、石丸庸介）
- ・京都市域地域医療構想調整会議（清水鴻一郎、久野成人、武田隆久）

◆厚生労働省主催研修会への参加

- ・平成27年度地域医療構想策定研修
2015(平成27)年7月13日～14日 国立保健医療科学院
- ・平成29年度第1回医療計画策定研修会
2017(平成29)年5月19日 TKPガーデンシティ永田町
- ・平成29年度第3回医療計画策定研修会
2017(平成30)年2月9日 ベルサール神田
- ・平成30年度第1回医療政策研修会
2018(平成30)年6月1日 TKP市ヶ谷カンフ

ァレンスセンター

- ・平成30年度第2回医療政策研修会
2018(平成30)年8月31日 ベルサール神田
- ・平成30年度第3回医療政策研修会
2019(平成31)年2月15日 ベルサール新宿セントラルパーク
- ・令和元年度第1回医療政策研修会
2019(令和元)年6月7日 TKP市ヶ谷カンファレンスセンター
- ・令和元年度第2回医療政策研修会
2019(令和元)年8月30日 ベルサール新宿
- ・令和元年度第3回医療政策研修会
2020(令和2)年2月14日 ベルサール半蔵門

◆講演会

- ・全体会議特別講演会、これからの社会保障を考えるセミナーとして開催（別掲）

◆その他

- ・地域医療構想策定支援ツールの入手・分析
- ・各種研修会・委員会、会報誌・ホームページ等での情報提供

10 救急医療体制の確保と推進

近年、医療費抑制政策やマンパワー不足のために地域の救急医療体制が崩壊の危機に瀕している。

一方で、京都府の救急医療体制は当協会の会員病院の尽力と、行政や医師会、京都府病院協会等との協力により他府県に比べて安定した体制が確保されている。これは、京都市域二次病院輪番制度、山城北二次病院輪番制度により二次救急の受入れ体制が確立されていることも大きく寄与していると思われる。

しかし、今後、働き方改革が進む中で、救急にかかわる医師の確保が一層困難になり二次救急を行う医療機関が減少していくことが想定される。引き続き、二次救急にかかわる医療機関の実態調査を実施するとともに、適切な評価を求めていく。

また、救急業務が高度化するのに伴って、救急救命士の特定行為が拡大してきているが、当協会会員病院としても実習受け入れなどで救急救命士の養成に協力している。

(副会長 武田隆久)

京都市における二次病院群輪番体制

京都市（乙訓2市1町含む）の二次病院群輪番制度は、初期救急医療機関から転送された主に入院治療を必要とする重症患者の診療を協力病院が交代で担う制度である。制度開始当初にあった様々な問題も今は克服され、協力病院が輪番制方式による平日の夜間・休日における急患発生時の対応に高い効果を上げてきた。協力病院数は若干減少してはいるが、日頃からの協力病院の地域医療を守るという強い使命感に支えられて運営を維持しており、年2回開催の当番編成会議も滞りなく実施されている。

病院群輪番制事業は、1979（昭和54）年に国庫補助金制度として創設された。京都市の二次病院群輪番制度については制度発足時から取り組まれている。

一方、山城北医療圏においては、1992（平成4）年に策定された京都府保健医療計画に、病院群輪番制事業が整備されていない地域へ拡充する旨の記載がなされ、山城北医療圏の行政機関からの要請もあり、関係医療機関も交えた協議の結果、1995（平成7）年より山城北医療圏（宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、宇治田原町）を対象

とした山城北二次病院群輪番制度が発足した。現在、山城北医療圏の輪番制度は休日や年末年始における救急医療体制の確保と充実に努め、山城北医療圏の救急医療に大きく貢献している。

◆京都市域の二次輪番制度最近の推移

当協会協力病院数

年	一般協力病院	小児協力病院
2015(平成27)年	63	11
2016(平成28)年	59	11
2017(平成29)年	58	11
2018(平成30)年	58	11
2019(令和元)年	58	11

搬送患者数

年	入院	外来
2015(平成27)年	1,158	4,989
2016(平成28)年	1,210	4,788
2017(平成29)年	1,337	4,522
2018(平成30)年	1,216	4,326
2019(令和元)年	1,226	4,100

補助金の推移(当協会会員協力病院分)

2015(平成27)年	¥63,508,000
2016(平成28)年	¥63,444,000
2017(平成29)年	¥63,256,000
2018(平成30)年	¥63,648,000
2019(令和元)年	¥65,080,000

◆山城北の二次輪番制度最近の推移

協力病院数

年	会員協力病院	会員外協力病院
2015(平成27)年	11	1
2016(平成28)年	11	1
2017(平成29)年	11	1
2018(平成30)年	10	1
2019(令和元)年	9	1

搬送患者数

年	入院	外来
2015(平成27)年	81	746
2016(平成28)年	99	826
2017(平成29)年	132	922
2018(平成30)年	98	347
2019(令和元)年	137	335

補助金の推移(当協会会員協力病院分)

2015(平成27)年	¥9,706,240
2016(平成28)年	¥9,817,280
2017(平成29)年	¥9,675,200
2018(平成30)年	¥9,888,320
2019(令和元)年	¥10,101,440

 京都市内の救急医療システム

京都府では、病院や診療所、薬局等に関する各種情報を収集し、府民に健康で充実した生活を送ることができるよう、総合的な健康医療情報を提供するホームページとして、「京都健康医療よろずネット」を開設している。救急医療情報システムも一体的に運用しており、休日等に受診することができる身近な医療機関情報等も検索・閲覧可能としている。

府民のアクセス別利用状況は173,026件（令和元年度実績）、関係者（消防機関・医療機関）の検索状況は142,614件（同）で、利用件数はその年月によって増減している。同システムは救急搬送先の減少による患者受け入れ困難が懸念されるなか、今後有効な手段のひとつとして期待される。

京都府では、周産期医療情報を24時間体制で一元管理し、妊産婦や新生児の生命を守る周産期医療情報システムが稼働している。2018（平成30）年には、周産期医療体制を強化するため、京都府、京都第一赤十字病院、京都府立医科大学附属病院、京都大学医学部附属病院の四者間で「京都府周産期医療体制強化に関する協定」が締結された。

精神科救急では夜間休日に対応するために、救急情報センターが京都市こころの増進センターに設置され、専門の職員が電話相談に対応する体制が整備されている。2013（平成25）年11月からは精神科救急医療連携強化事業が開始され、山城北医療圏において、身体疾患と精神疾患を有する患者に対する一般救急病院と精神科病院との連携強化が図られている。

小児救急については、夜間の子供の急な病気に対する保護者の不安等から、軽症の場合でも直ぐに救



急医療機関を受診される傾向にあり、その対策として2005（平成17）年1月より京都府が小児救急医療電話相談事業当該事業を開始した。当事業では毎夜間（午後7時から翌朝8時※土曜日【祝日・年末年始を除く】は午後3時から翌朝8時）の電話対応可能な体制を整備し、対象である京府内在住の15歳未満の子供とその家族等からの相談を受け付けている。京都府内の固定電話からダイヤル#8000で相談窓口につながる。

救急医療をめぐる諸問題への対応

慢性期的な医師・看護師不足が続く中、近年大都市圏においても救急患者の受入困難事例が発生し、マスメディアで報道されるなど、救急医療の崩壊が一般市民の間にも社会問題として認識されるようになってきている。

全国的に少子高齢社会が進む中、とりわけ高齢者に対する救急の割合が圧倒的な増加傾向にあり、今後は有病率の高い癌の治療及びそのターミナルの問題と、脳卒中、骨折、肺炎など、高齢者の急病変化に対する高齢者救急への対応が喫緊の課題となっている。

こうした中でも京都府下の救急医療体制は各医療圏にある会員病院の協力により他府県と比べても安定した体制を維持している。しかし、安定的な救急医療体制の確保には行政からの支援策（補助金）が必須であるが厳しい財政状況を理由に、今後見直される可能性もありうる。実際に、京都府では京都市

域、山城北圏域において病院群輪番制が稼働しており、当協会の会員病院を中心に2次救急医療を担っているが、京都市では、2009（平成21）年度に輪番協力病院への補助金の減額措置が執られ、2次救急医療の後退が懸念された。救急医療体制には、医師・看護師等の医療スタッフの充実が不可欠であり、その配置に要する人件費等の大半は病院の負担となっている。これまでの救急医療は、地域住民の生命と安全を守るといふ地域の民間病院の使命感により成り立ってきたが、もはや限界に達しつつあり、将来にわたり救急医療体制が維持できるよう、京都府・京都市に支援を求め続けている。

また、近年、日本を観光などで訪れる外国人旅行者が増加し、医療現場においては外国人患者との言語コミュニケーションや医療費等に関するトラブルが問題となっており、外国人への救急対応も今後の課題となっている。

その他、近年、全国各地で頻回に発生している大地震、台風による災害発生時における避難所・救護所等での医療や健康管理、被災地病院・診療所への支援等を行うために、2013（平成25）年にJMAT京都在府が発足され、2016（平成28）年の熊本地震、2018（平成30）年の西日本豪雨災害では、現地に赴き支援を行った。自賠償保険をめぐっては、京都府医師会（京都私立病院協会、京都府病院協会含む）と日

本損害保険協会近畿支部、損害保険料率算出機構京都調査事務所三者による京都府交通事故医療連絡協議会での協議が進み、2003（平成15）年4月から自賠責保険診療費算定基準（ガイドライン）実施要項に基づいた請求が各病院で選択できるようになり、定着に向けた継続的な取り組みが行われている。

救急医療検討委員会

協会において救急医療問題を全般的に担当する当委員会は、担当理事と会員医師、事務長会代表および看護部長会代表によって構成されており、救急医療に関連する問題について検討を行う場となっている。

委員会では、当協会から数名の委員推薦を行っている京都府医師会の救急・災害委員会の協議内容を確認しているほか、京都府市等が設置する救急関係の各協議会の進捗状況について報告している。

また、府内の救急医療に携わる者が一同に集まり、学術研鑽の場とする趣旨で「京都救急医療研究会」（当協会、府医師会、府病院協会との共催）が毎年開催されているが、開催テーマなどについて検討を行っている。

2015（平成27）年からの5年間では、京都市内の年末年始診療体制に係るアンケート調査の実施、JMAT京都への病院窓口及び医師登録等の活動に対する協力、京都府における民間病院の救急受け入れ状況や抱えている問題等を把握するため「救急医療に関する実態調査」を実施、また、増加する外国人旅行者について受け入れ状況を把握するため「外国人旅行者の診療に関する実態調査」を実施した。

◆主な事業

2015(平成27)年

京都市内の始診療体制に係るアンケート調査の実施

2017(平成29)年

「救急医療に関する実態調査」の実施

2018(平成30)年

「外国人旅行者の診療に関する実態調査」の実施

京都救急医療研究会

京都で救急医療を担う方々のための生涯教育の場となるよう2002（平成14）年に京都救急医療研究会が発足した。毎年、京都府医師会、京都府病院協会、京都私立病院協会、京都小児科医会が共催で開催している。また、後援団体として、京都府消防長会、京都市消防局、京都府救急救命士会、京都府看護協会の協力を得ている。

第14回 2015(平成27)年 11月7日

- ・シンポジウム「妊婦・褥婦におこる超緊急事態と地域の救急体制」
- ・特別講演「高次施設における周産期救急～死線期帝王切開2症例を経験して～」
講師／荻田和秀（りんくう総合医療センター産婦人科部長兼泉州広域母子センター長）

第15回 2016(平成28)年 11月12日

- ・シンポジウム「小児救急診療における初期対応」
- ・特別講演「入門！発達バイタルサイン病態学」
講師／神菌淳司（北九州市立八幡病院小児科主任部長小児救急センター長）

第16回 2017(平成29)年 11月18日

- ・シンポジウム「感染症」



京都救急医療研究会

- ・特別講演「かぜとかぜのように見える重症疾患～救急車内で気をつけること、救急室での落とし穴、集中治療室で忘れてはならないこと～」
講師／山本舜悟（京都大学医学部附属病院総合臨床教育・研修センター臨床研究教育・研修部特定助教）

第17回 2018(平成30)年 12月15日

- ・シンポジウム「CBRNEについて」
- ・特別講演「特殊災害対応として我々に求められている変革～CBRNE（化学・生物・放射線・爆発等）災害において本当に人命を救うための方策～」
講師／阿南英明（藤沢市民病院診療部長・救命救急センター長）

11 感染症対策への対応

京都私立病院協会の感染症対策委員会では感染対策研修会、感染対策に関連した各種マニュアルの作成と更新、感染対策に係る相談窓口の設置、感染症対策に係るアンケートの実施などの活動を行ってまいりました。また平成29年度からは、褥瘡対策にも活動を広げ、褥瘡対策研修会、褥瘡対策に係る相談窓口の設置、褥瘡対策に係る実態調査などの活動も始めました。

感染症は今も昔も人類にとって脅威であり、また最近のグローバル化に伴い地球規模で感染症が流行したり、薬剤耐性菌の出現に伴う抗菌薬の適正使用などが問題となってきました。私たち医療従事者は感染対策の最前線で、感染症の予防から治療まで日々努力しています。その医療活動の下支えになれるように心がけて活動しています。

また褥瘡対策も大変重要な医療活動であり、予防から治療まで、私たちは日々健闘しています。褥瘡は作らないことが最も重要なポイントであり、またできてしまった褥瘡をいかに速やかに治していくかが問題となります。これらの医療活動に少しでもお役に立てられるようにと当委員会は活動しております。病院間、診療所間、病診間での横のつながりを大切にし、会員全体の感染症及び褥瘡対策のレベルの向上に努めていきたいと思っています。会員皆様のご理解とご協力を今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(幹事 清水 聡)

感染症対策委員会

1998(平成10)年より「感染症対策委員会」を設置し、感染症に係る諸問題への対応と院内感染防止の諸対策に向けて取り組んできた。

委員会は理事会・看護部長会・薬剤師部会・臨床検査部会、会員内の専門医師による構成で開催している。

近年の取組としては、抗菌薬の適切な選択と使用の促進、院内感染の防止を資することを目的として「抗菌薬適正使用マニュアル」を2019(令和元)年9月に発行。また、毎年感染症に係るテーマで研修会を開催するとともに、当協会会報誌「京都私立病院報」で毎月の感染症情報を掲載し、会員施設における感染予防対策の普及・啓発に努めてきた。

また、2017(平成29)年度より、皮膚排泄ケア認定看護師を感染症対策委員として召喚し、会員施設における褥瘡対策にも着手。褥瘡対策に関する研修

会の開催に加え、院内褥瘡対策個別相談窓口を開設して、随時の相談にも対応している。

調査活動も積極的に行っており、2015(平成27)年には医療関係者へのワクチン接種に関する調査、2017(平成29)年にはカテーテル関連感染対策に係る実態調査など、会員施設における状況の把握と情報提供を行った。

◆主な活動

2015(平成27)年度

- ・12月16日 感染対策研修会

テーマ／「環境感染対策について」

講師／藤田直久(京都府立医科大学感染制御検査医学病院教授・同附属病院臨床検査部・感染対策部部长)

野路加奈子(蘇生会総合病院感染制御室室長・感染管理認定看護師)

- ・ICT設置・活動支援の実施



抗菌薬適正使用マニュアル



感染対策研修会



褥瘡対策研修会

- ・感染対策に係る相談窓口の設置
- ・医療従事者へのワクチン接種に関するアンケート調査の実施

2016(平成28)年度

- ・10月26日 感染対策研修会
テーマ／「患者・医療従事者を守る環境感染対策」
講師／神谷 亨（洛和会音羽病院総合内科・感染症科部長）
井上通人（洛和会丸太町病院看護部長室主任・感染管理認定看護師）

- ・ICT設置・活動支援の実施
- ・感染対策に係る相談窓口の設置
- ・オムツ交換（感染症を含む）に関するアンケート調査の実施

2017(平成29)年度

- ・11月22日 感染対策研修会
テーマ／「環境感染対策～ワクワクするICTラウンド～」
講師／井内律子（洛和会音羽病院感染管理認定看護師・看護師長）

- ・2月27日 感染対策研修会
テーマ／「結核の基礎知識と院内感染対策」
講師／佐藤敦夫（南京都病院診療部長）

- ・感染対策に係る相談窓口の設置
- ・褥瘡対策に係る実態調査の実施
- ・静脈カテーテル関連感染対策に係る実態調査の実施

2018(平成30)年度

- ・10月11日 褥瘡対策研修会
テーマ／「京都地域包括ケア構想の概要」
説明／京都府健康福祉部医療課
テーマ／「褥瘡リスクアセスメントからはじめ

- る予防ケア 2018」
講師／植村陽子（三菱京都病院・皮膚・排泄ケア認定看護師／京都私立病院協会感染症対策委員）

- ・3月7日 感染対策研修会
テーマ／「地域包括ケア構想と地域医療構想調整会議について」
説明／京都府健康福祉部医療課

- テーマ／「動物由来感染症—ダニや蚊などの昆虫が媒介する感染症を中心に—」
講師／前田秋彦（京都産業大学総合生命科学部動物生命医科学科・教授）

- ・感染対策に係る相談窓口の設置
- ・褥瘡対策に係る相談窓口の設置
- ・医療廃棄物に係るアンケート調査の実施

2019(令和元)年度

- ・9月12日 感染対策研修会
テーマ／「京都地域包括ケア構想の概要」
説明／京都府健康福祉部医療課

- テーマ／「草の根レベルでAMR対策について考える—一人ひとりに何ができるか」
講師／山田 豊（京都民医連中央病院 感染症科科長・ICD／京都私立病院協会感染症対策委員）



感染対策・褥瘡対策に係る相談窓口

12 医療安全対策への対応

2019年、「働き方改革」が本格的に始動し、今まで残業業務に対して何等違和感の無かった大多数の医療機関においては、安全性を保持（担保）した上で、この改革を進めていかなければならなくなった。

当協会の医療安全対策委員会においては、新入職員向けに医療安全対策の基礎的な内容、中堅職員向けに「Team STEPPS」等をテーマにした、より実践的な内容の研修会を行っている。また、2020年3月に医療安全対策マニュアルを刷新し、協会会員施設に配布した。加えて災害に対する啓発活動、地域医療に於ける民間病院の医療安全に取り組んでいく活動を行っている。

（副会長 小森直之）

医療安全対策委員会

医療の質・安全に対する社会的ニーズが高まっていることから、2000（平成12）年に医療安全対策委員会を立ち上げ、委員会を中心に、先進的な医療安全対策の推進に向けた取り組みや情報発信を行い、会員病院における医療安全の意識向上や医療安全管理体制の強化・充実を図っている。

医療法施行規則が2002（平成14）年に一部改正されたことに伴い、全ての病院及び有床診療所について4項目の医療安全管理体制の確保が義務付けられ、その中の1つに医療に係る安全管理のための職員研修の実施が挙げられており、当委員会としても会員施設の職員を対象とした研修会を毎年企画開催している。研修会では、実際に発生した事例をもとにした具体的な対策方法等について学習し、各施設での医療安全対策の取り組みにつながるような内容としている。また、2015（平成27）年に医療安全の確保と医療事故の再発防止を目的とした医療事故調査制度が施行されたことに伴い、医療機関が本制度の報告の対象となる医療事故やその判断プロセス、報告・調査の方法、順序等について制度を理解するために研修会を開催した。

その他にも、2017（平成29）年には会員施設における電子システムの導入状況の実態を把握するため、

「電子システムに関するアンケート調査」を実施し、2019（令和元）年には2014（平成26）年に改訂した医療安全対策マニュアルの一部改訂を行った。

◆講演会

2015（平成27）年度

7月31日 京都烏丸コンベンションホール

テーマ／「医療事故調査制度について」

講師／大坪寛子（厚生労働省医政局総務課医療安全推進室室長）

9月28日 京都リサーチパーク

テーマ／「医療事故調施行に備えて実務上注意すべき点」

講師／小田原良治（医療法人尚愛会小田原病院理事長）

山崎祥光（井上法律事務所弁護士・医師）

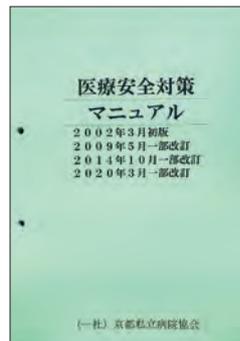
12月8日 登録会館

テーマ／「医療の組織人として知っておきたい医療安全の基礎知識」

講師／有山真智子（京都桂病院医療安全管理室室長）

2016（平成28）年度

9月30日 日本精神看護技術協会京都セミナー
ルーム



医療安全対策研修会

医療安全対策マニュアル
(2020年3月一部改訂版)

テーマ／「医療機器を安全に使うには」
 講師／青木郁香（公益財団法人医療機器センター医療機器産業研究所上級研究員）
 3月13日 登録会館
 テーマ／「医療現場のトラブル対応から考える組織の安全管理」
 講師／有山真智子

2017(平成29)年度
 12月18日 メルパルク京都
 テーマ／「医療安全のためのチームコミュニケーションスキル」
 講師／守屋文貴（株式会社アクリート・ワークス代表取締役）
 3月14日 メルパルク京都
 テーマ／「反社会的勢力から病院を守る（応召義務との関係を中心に）」
 講師／加古尊温（三木・伊原法律特許事務所 弁護士・薬剤師）

2018(平成30)年度
 11月12日 登録会館
 テーマ／「京都地域包括ケア構想の概要」
 説明／京都府健康福祉部医療課
 テーマ／「医療機関の全ての職種に求められる安全対策」
 講師／有山真智子
 3月4日 メルパルク京都
 テーマ／「地域包括ケア構想と地域医療構想調整会議について」
 説明／京都府健康福祉部医療課
 テーマ／「TeamSTEPPSはチーム医療の処方箋—心理的安全性獲得をめざして—」
 講師／辰巳陽一（近畿大学医学部附属病院安

全管理部・医療安全対策室教授）

2019(令和元)年度

12月16日 メルパルク京都

テーマ／「京都府地域包括ケア構想の概要」

説明／京都府健康福祉部医療課

テーマ／「医療の組織人として知っておきたい医療安全の基礎知識」

講師／有山真智子

3月2日 メルパルク京都

テーマ／「京都府地域包括ケア構想の概要」

説明／京都府健康福祉部医療課

テーマ／「チームトレーニングの結果を現場で出そう！—HOW TO BE Team STEPPS—」

*新型コロナウイルスの影響により中止

講師／辰巳陽一

◆その他

2017(平成29)年度

「電子システムに関するアンケート調査」の実施

2019(令和元)年度

医療安全対策マニュアル(2020年3月一部改訂)の発行 500部

13 京都式地域包括ケアシステムの推進

京都式地域包括ケアシステムは団塊の世代が75歳以上を迎える2025年の超高齢社会に対して、高齢者の方が介護や療養が必要になっても、住み慣れた地域で、365日安心して暮らせるために行政、医療、介護、福祉の連携を強化し高齢者を中心に捉え、各関係機関が一丸となり「オール京都体制」で地域包括ケアの実現を目指している。京都私立病院協会では、在宅療養あんしん病院登録システム、府民リハビリテーション啓発支援事業、病院認知症対応力向上事業、病院地域包括ケアシステム強化事業（以前の病院在宅医療・介護体制強化事業）を継続して協力し行ってきた。

在宅療養あんしん病院登録システムは在宅で療養生活を送る高齢者に対して体調を崩し在宅での対応が困難になった時にかかりつけ医の協力により事前に必要な情報を登録しておくことで必要に応じて入院できるシステムであり平成24年1月より運用され登録患者は順調に増えている。

府民リハビリテーション啓発支援事業は平成23年度より京都府からの委託事業としてリハビリの専門職の少ない京都府北部や南部の地域にリハビリを啓発する専門職からなるキャラバン隊を派遣する事業である。平成27年からの5年間に延べ64ヶ所、延べ1,305名の府民に啓発事業を実施した。また継続した支援を行うために啓発DVDを作成し活用した。

病院認知症対応力向上事業は京都式オレンジプランの事業の一環として「一般病院に入院しても途切れずに認知症治療が受けられる体制の充実」の課題に対して平成25年度から京都府より、平成28年度からは京都市からも委託を受け、病院の全職種が認知症患者・家族への対応の基本的知識やスキルを身につけることを目標とした、病院認知症対応力向上研修（集合研修、病院への訪問研修）を実施してきた。平成30年度より集合研修、訪問研修に加え、過去に訪問研修した病院に対するフォローアップ研修や医療・介護関係者同士の連携強化を図るための研修を新たに実施している。

病院地域包括ケアシステム強化事業は地域における病病、病診、医療、介護、多職種連携の強化や、幅広い視点で地域包括ケアを担う事のできる病院関係者を育成する事を目的に多職種による講義や他施設、他職種で行うグループディスカッション等を盛り込んだ研修を実施している。名称は平成29年度は「病院在宅医療・介護体制強化事業」として実施し平成30年度からはより広範囲な内容を取り扱い、「病院地域包括ケアシステム強化事業」に改称し事業を実施している。

（副会長 富田哲也）

在宅療養あんしん病院登録システム

京都府における地域包括ケアの柱の一つである「在宅療養あんしん病院登録システム」は、在宅で

療養生活を送る高齢者が、体調を崩し在宅での対応が困難になった時に、かかりつけ医の協力により事前に必要な情報を登録しておくことで、円滑に病院を受診し、必要に応じて入院ができるシステムであ



2015年度府民リハビリテーション啓発支援事業
(福知山市)

る。2012（平成24）年1月より運用が開始され、現在に至っている。

早期の対応により、病状の悪化や身体の働きの低下を可能な限り防ぎ、早期退院の実現につなげることで在宅生活を続けることを支援する全国初の取組であり、当協会がシステムの運用に関わり、あんしん病院及び在宅高齢者の登録を推進している。

かかりつけ医療機関は、2018（平成30）年3月末時点で、あんしん病院からの登録は104病院7,036人、開業医からの登録は666医院7,366人（重複登録者含む）であり、登録医療機関、登録者ともに年々増えているが、超高齢化社会において更なる登録推進が必要となっている。

これを踏まえ、2017（平成29）年7月より、これまで登録申請書の配架が在宅療養あんしん病院と開業医であったのを、居宅介護支援事業所、訪問看護事業所、地域包括支援センター・在宅介護支援センターにも配架され、利用者への制度説明・登録支援の機会がより多く提供されることとなった。

2019（平成31）年3月末現在で134病院が在宅療養あんしん病院の指定を受け、その大半を占める会員施設の協力のもとで、京都府内の在宅高齢者の安心に寄与している。なお、あんしん病院には平成31年3月末現在で13,649人が登録している。

当協会では、あんしん病院への登録推進の他、毎年、京都地域包括ケア推進機構の委託を受け、在宅療養あんしん病院登録システムに係る利用状況調査を実施しており、本システムの登録者の入院等の利用状況、退院時の患者へのシステムの紹介や院内でのシステムの周知の状況等を把握し、システムの普及や改善に結び付けている。

府民リハビリテーション啓発支援事業

当協会では、2011（平成23）年度より「府民リハビリテーション啓発支援事業」を実施している。本事業は、医療機関やリハビリの専門職の少ない京都府内北部や南部の地域にリハビリを啓発するキャラバン隊を派遣する事業である。キャラバン隊メンバーとして、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士で構成している。

2015（平成27）年度からの5年間で、延べ64ヶ所、延べ1,305名の府民に集団啓発を実施し、地域住民から好評を得ている。

また、地域で継続した支援を行えるよう標準プログラムを集録した啓発DVDも活用し、介護予防事業で活用頂くための伝達講習を、延べ164名の地域の担当者に対して実施している。

◆訪問実績

◆啓発キャラバン隊の派遣

2015(平成27)年度 延べ12ヶ所 271人への啓発

9月25日 福知山市

於：下六人部会館

参加者／26名

於：畑中公会堂

参加者／36名

キャラバン隊派遣／13名

10月29日 宮津市

於：宮津市保健センター

参加者／18名

於：府中公民館

参加者／5名

キャラバン隊派遣／15名



2015年度府民リハビリテーション啓発支援事業
(与謝野町)



2016年度府民リハビリテーション啓発支援事業
(宮津市)

- | | |
|---|--|
| <p>11月11日 綾部市
於：中上林公民館
参加者／20名
於：保健福祉センター
参加者／17名
キャラバン隊派遣／14名</p> <p>12月9日 与謝野町・舞鶴市
於：野田川わーくぱる
参加者／32名
於：大浦会館
参加者／24名
キャラバン隊派遣／14名</p> <p>1月29日 木津川市・和束町
於：曾根山会館
参加者／29名
於：別所区公民館
参加者／29名
キャラバン隊派遣／17名</p> <p>2月25日 笠置町・南山城村
於：笠置産業振興会館
参加者／14名
於：高尾公民館
参加者／21名
キャラバン隊派遣／14名</p> <p>2016(平成28)年度 延べ12ヶ所 205人への啓発</p> <p>9月29日 宮津市
於：栗田区民センター
参加者／9名
於：由良の里センター
参加者／6名
キャラバン隊派遣／13名</p> | <p>10月26日 福知山市
於：野花公会堂
参加者／19名
於：奥榎原公会堂
参加者／21名
キャラバン隊派遣／13名</p> <p>11月30日 綾部市
於：保健福祉センター
参加者／24名
於：高津コミュニティーセンター
参加者／16名
キャラバン隊派遣／14名</p> <p>12月13日 与謝野町
於：野田川わーくぱる
参加者／16名
キャラバン隊派遣／12名</p> <p>12月21日 京丹波町
於：中央公民館（午前）
参加者／29名
於：中央公民館（午後）
参加者／6名
キャラバン隊派遣／15名</p> <p>1月16日 笠置町・南山城村
於：産業振興会館
参加者／21名
於：童仙房公民館
参加者／18名
キャラバン隊派遣／13名</p> <p>2月16日 木津川市
於：アスピーア山城
参加者／20名
キャラバン隊派遣／12名</p> |
|---|--|



2017年度府民リハビリテーション
啓発支援事業（精華町）



2017年度府民リハビリテーション
啓発支援事業（木津川市）



2018年度府民リハビリテーション
啓発支援事業（南丹市）

2017(平成29)年度 延べ11ヶ所 183人への啓発

9月26日 井手町

於：山城勤労者福祉会館（午前）

参加者／19名

於：同上（午後）

参加者／16名

キャラバン隊派遣／13名

10月23日 福知山市 ※台風のため中止

11月7日 宮津市

於：畑婆爺ニアセンター

参加者／7名

於：養老地区公民館

参加者／6名

キャラバン隊派遣／15名

11月24日 与謝野町

於：岩滝保健センター

参加者／24名

キャラバン隊派遣／14名

12月13日 南丹市

於：東胡麻区会議所

参加者／24名

キャラバン隊派遣／12名

1月26日 精華町・木津川市

於：かしのき苑

参加者／12名

於：市坂集会場

参加者／19名

キャラバン隊派遣／15名

2月8日 和束町

於：老人福祉センター

参加者／16名

キャラバン隊派遣／11名

2月19日 笠置町・南山城村

於：笠置産業振興会館

参加者／15名

於：今山公民館

参加者／25名

キャラバン隊派遣／17名

2018(平成30)年度 延べ15ヶ所 326人への啓発

10月9日 福知山市

於：高齢者支援施設きらら

参加者／37名

於：三岳会館

参加者／15名

キャラバン隊派遣／13名

10月29日 福知山市・綾部市

於：芦洲集落センター

参加者／18名

於：農業振興センター

参加者／23名

キャラバン隊派遣／12名

11月14日 宮津市・与謝野町

於：福祉・教育総合プラザ

参加者／23名

於：加悦保健センター

参加者／19名

キャラバン隊派遣／14名

11月27日 綾部市

於：豊里コミュニティーセンター

参加者／24名

於：いこいの村聴覚言語センター

参加者／32名

キャラバン隊派遣／14名



2019年度府民リハビリテーション啓発支援事業
(綾部市)



2019年度府民リハビリテーション啓発支援事業
(南山城村)

- | | | |
|-----------------------------|-----------------|------------------|
| 12月11日 | 南丹市 | 於：菟原下一公民館 |
| | 於：畑郷区民会館 | 参加者／22名 |
| | 参加者／26名 | キャラバン隊派遣／14名 |
| | キャラバン隊派遣／12名 | |
| 12月13日 | 南丹市 | 10月21日 宮津市 |
| | 於：ふれあいセンター刑部 | 於：日置浜公民館 |
| | 参加者／21名 | 参加者／22名 |
| | 於：上平屋公民館 | 於：宮津市地域ささえあいセンター |
| | 参加者／18名 | 参加者／23名 |
| | キャラバン隊派遣／15名 | キャラバン隊派遣／13名 |
| 1月28日 | 笠置町・南山城村 | 11月11日 福知山市 |
| | 於：つむぎてらす | 於：堀会館 |
| | 参加者／14名 | 参加者／21名 |
| | 於：野殿公民館 | 於：成和コミュニティーセンター |
| | 参加者／16名 | 参加者／24名 |
| | キャラバン隊派遣／13名 | キャラバン隊派遣／13名 |
| 2月15日 | 宮津市 | 11月25日 綾部市 |
| | 於：府中地区公民館 | 於：志賀郷公民館 |
| | 参加者／12名 | 参加者／34名 |
| | 於：青嵐荘 | 於：綾部市健康ファミリーセンター |
| | 参加者／28名 | 参加者／10名 |
| | キャラバン隊派遣／14名 | キャラバン隊派遣／13名 |
| 2019(令和元)年度 延べ14ヶ所 320人への啓発 | | 12月11日 南丹市 |
| 9月24日 | 京丹波町・綾部市 | 於：生畑地区生活改善センター |
| | 於：JA京都瑞穂支店会議室 | 参加者／18名 |
| | 参加者／29名 | 於：八木町野条公民館 |
| | 於：宮代コミュニティーセンター | 参加者／18名 |
| | 参加者／28名 | キャラバン隊派遣／14名 |
| | キャラバン隊派遣／13名 | 1月29日 笠置町・南山城村 |
| 10月10日 | 福知山市 | 於：つむぎてらす |
| | 於：多保市公会堂 | 参加者／34名 |
| | 参加者／26名 | 於：月ヶ瀬ニュータウン集会場 |
| | | 参加者／11名 |

キャラバン隊派遣／14名

病院認知症対応力向上事業

認知症高齢者の今後ますますの増加が予測される中で、京都府における2013（平成25）年度から2017（平成29）年度までの認知症高齢者対策の指針として、2013（平成25）年に「京都市式オレンジプラン」が策定された。同計画における「一般病院に入院してもとぎれずに認知症治療が受けられる体制の充実」という課題に対し、当協会では2013（平成25）年度から京都府より、2016（平成28）年度からは京都市からも委託を受け、病院の全職種が認知症患者・家族への対応の基本的知識やスキル等を身に付けることを目的とした、病院認知症対応力向上研修（集合研修・訪問研修）を実施している。

また、2018（平成30）年度には、2018（平成30）年度から2023（令和5）年度までの京都府の認知症対策の指針として「新・京都市式オレンジプラン」が策定され、同計画の「すべての人が認知症を正しく理解し適切に対応できる環境づくり」の課題に対し、2018（平成30）年度より、集合研修・訪問研修に加え、過去に訪問研修を実施した病院に対するフォロー

アップ研修や、病院の医療従事者が地域の介護関係者の認知症ケアに対する考え方を学ぶとともに、医療・介護関係者同士の連携強化を図るための研修を新たに実施している。

なお、病院認知症対応力向上事業検討委員会を設置し、各種研修事業をより効果的に実施できるよう、認知症サポート医や認知症看護認定看護師等の認知症対応に造詣が深い多職種で検討を行っている。

◆病院認知症対応力向上研修

【集合研修】

認知症専門医（認知症サポート医）1名と看護師や介護支援専門員・精神保健福祉士等2名の計3名が講師となり、厚生労働省の定めるカリキュラムに基づく講義（認知症に関する知識、認知症患者への対応、医療・介護、多職種連携の基礎知識等）と、演習（合併症を有する認知症患者の退院支援やBPSDの強い患者への対応等に関する事例を用いたグループワーク）を合わせた180分の研修を京都市域・南部地域・北部地域で実施。研修の修了者には京都府より修了証が交付される。

2015(平成27)年度

開催地域	開催日	場所	講師	受講者数
京都市域・南部地域	7月15日	メルパルク京都	澤田親男（北山病院院長代行・認知症サポート医） 辰巳弥生（宇治おうばく病院看護係長・認知症看護認定看護師） 保田美幸（いわくら病院医療福祉相談室係長・精神保健福祉士）	104
	9月16日	同上	澤田親男、辰巳弥生、杉森悟子（長岡病院臨床心理士）	131

開催地域	開催日	場所	講師	受講者数
京都市域・南部地域	11月17日	メルパルク京都	澤田親男、辰巳弥生、杉森悟子	138
	12月14日	同上	澤田親男、辰巳弥生、梅原久活（宇治おうばく病院作業療法士）	115
	1月17日	同上	成木 迅（京都府立医科大学医学研究科 精神機能病態学講師・認知症サポート医） 坂井加津美（北山病院看護介護部長・看護師） 川添チエミ（嵯峨野病院在宅事業部長・主任介護支援専門員）	118
北部地域	10月4日	ホテル北野屋	成木 迅、西岡さおり（綾部市立病院認知症看護認定看護師） 川添チエミ	33

2016(平成28)年度

開催地域	開催日	場所	講師	受講者数
京都市域・南部地域	7月13日	メルパルク京都	澤田親男（北山病院院長・認知症サポート医） 辰巳弥生、保田美幸	133
	9月1日	同上	松岡照之（京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学学内講師・認知症サポート医） 山田亜由美（京都民医連中央病院病棟看護師長・認知症看護認定看護師） 保田美幸	123
	11月15日	同上	西村伊三男（川越病院副院長・認知症サポート医） 辰巳弥生、川添チエミ（一般財団法人仁風会財団本部介護保険・企画・教育・研修担当部長主任介護支援専門員）	110
	12月7日	同上	澤田親男、山田亜由美、梅原久活（宇治おうばく病院精神科作業療法室主任・認定作業療法士）	115
	1月26日	同上	松岡照之、辰巳弥生、梅原久活	111
	北部地域	10月21日	サンプラザ万助	西村幸秀（杉本医院からすまメンタルクリニック副院長・認知症サポート医） 西岡さおり、杉森悟子



京都市域集合研修



北部地域集合研修



南部地域集合研修

2017(平成29)年度

開催地域	開催日	場所	講師	受講者数
京都市域・南部地域	7月26日	メルパルク京都	澤田親男、辰巳弥生、梅原久活	59
	9月12日	同上	西村伊三男、辰巳弥生、矢田部信行（いわくら病院地域連携室長・精神保健福祉士）	107
	11月2日	同上	松岡照之、山田亜由美、矢田部信行	104
	12月12日	同上	西村伊三男、辰巳弥生、川添チエミ	78
	1月25日	同上	西村幸秀、山田亜由美、梅原久活	62
	2月22日	同上	松岡照之、山田亜由美、杉森悟子	63
北部地域	10月20日	ホテル北野屋	西村幸秀、西岡さおり、杉森悟子	33

2018(平成30)年度

開催地域	開催日	場所	講師	受講者数
京都市域	8月22日	メルパルク京都	澤田親男、辰巳弥生（宇治おうばく病院看護師長・認知症看護認定看護師） 矢田部信行	68
	9月12日	同上	西村幸秀（京都九条病院認知症サポート医） 山田亜由美、川添チエミ	90
	11月5日	同上	松岡照之、山田亜由美、山出健博（長岡病院臨床心理士）	116
	1月17日	同上	澤田親男、辰巳弥生、山出健博	76
	2月7日	同上	松岡照之、山田亜由美、竹内嘉代（宇治おうばく病院作業療法士）	69
北部地域	10月5日	サンプラザ万助	西村伊三男、西岡さおり、矢田部信行	50
南部地域	12月12日	文化パルク城陽	西村幸秀、辰巳弥生、竹内嘉代	32

2019(令和元)年度

開催地域	開催日	場所	講師	受講者数
京都市域	7月31日	メルパルク京都	澤田親男、坂井加津美、川添チエミ	44
	9月30日	同上	松岡照之、山田亜由美、矢田部信行	99
	11月5日	同上	西村伊三男、辰巳弥生、矢田部信行	82
	1月9日	同上	西村伊三男、山田亜由美、竹内嘉代	56
	2月12日	同上	澤田親男、坂井加津美、山出健博（長岡病院心理課主任補佐・臨床心理士）	52

開催地域	開催日	場所	講師	受講者数
北部地域	10月25日	サンプラザ万助	西村幸秀（京都九条病院介護事業部長統括医師・ 認知症サポート医） 西岡さおり、山出健博	24
南部地域	12月9日	宇治市産業会館	松岡照之、辰巳弥生、竹内嘉代	18

【訪問研修】

認知症専門医（認知症サポート医）と看護師、
介護支援専門員・臨床心理士等の計3名で構成さ
れたチームが、京都府下の病院を訪問し、認知症
対応力向上を図るための研修や演習を行う。集合

研修と同様の厚生労働省の定めるカリキュラムに
基づく講義90分と事例検討等の演習90分の研修を
2回に分けて実施し、研修の修了者に対して京都
府または京都市より修了証が交付される。

2015(平成27)年度

病院名	1日目	講師	受講者数	2日目	講師	受講者数
丹後ふるさと病院	10月5日	安原正博（京丹后市立弥栄病院名誉 院長・医師） 西岡さおり、川添チエミ	29	12月7日	同左	26
綾部ルネス病院	10月16日	賀川玄一郎（介護老人保健施設さく ら苑施設長・認知症サポート医） 西岡さおり、保田美幸	64	1月15日	同左	50
園部丹医会病院	9月10日	松岡照之（京都府立医科大学大学院 医学研究科精神機能病態学講師・医師） 坂井加津美（北山病院看護介護部長・ 認知症ケア専門士） 杉森悟子	20	11月5日	同左	20
長岡京病院	10月8日	澤田親男、坂井加津美、森田倫子（北 山病院相談室主任・精神保健福祉士）	12	11月12日	同左	12
ほうゆう病院	9月28日	澤田親男、辰巳弥生、梅原久活	60	11月30日	同左	59
京都八幡病院	10月29日	菅沼拓哉（すがぬま医院院長・認知 症サポート医） 辰巳弥生、杉森悟子	25	11月26日	同左	24

2016(平成28)年度

病院名	1日目	講師	受講者数	2日目	講師	受講者数
京丹後市立 久美浜病院	10月14日	大矢 希（京都府立医科大学附属北 部医療センター助教・認知症サポ ート医） 西岡さおり、杉森悟子	62	11月11日	同左	54
市立福知山市民病院 大江分院	9月7日	賀川玄一郎（もみじヶ丘病院・老人 保健施設さくら苑施設長・認知症サ ポート医） 西岡さおり、川添チエミ	28	12月14日	同左	23
亀岡市立病院	9月23日	賀川玄一郎、坂井加津美、保田美幸	27	11月22日	同左	14
六地藏総合病院	10月5日	樋川 毅（宇治おうばく病院認知症 疾患医療センター長・認知症サポ ート医） 辰巳弥生、梅原久活	30	11月2日	同左	21
男山病院	9月17日	田中和宏（長岡病院・認知症サポ ート医） 木下大作（長岡病院看護部副部長・ 看護師） 杉森悟子	32	10月29日	同左	31
相馬病院	10月13日	松岡照之、山田亜由美、加藤佑佳（京 都府立医科大学大学院医学研究科精 神機能病態学助教・臨床心理士）	36	11月28日	同左	32
日本パプテスト病院	10月19日	澤田親男、坂井加津美、森田倫子（北 山病院相談室課長補佐・精神保健福 祉士）	86	11月16日	同左	40
久野病院	10月12日	澤田親男、辰巳弥生、梅原久活	56	11月9日	同左	44
なぎ辻病院	9月26日	西村幸秀、山田亜由美、保田美幸	19	1月30日	同左	19

病院名	1日目	講師	受講者数	2日目	講師	受講者数
京都市立京北病院	8月18日	西村幸秀、佐藤明美（老人保健施設 桃寿苑看護主任・認知症看護認定 看護師） 舘澤謙蔵（いわくら病院医療福祉相 談室副主任・精神保健福祉士）	48	11月10日	同左	42
伏見岡本病院	9月9日	西村伊三男、辰巳弥生、杉森悟子	34	12月9日	同左	31

2017(平成29)年度

病院名	1日目	講師	受講者数	2日目	講師	受講者数
舞鶴共済病院	10月28日	山野純弘（舞鶴医療センター精神科 部長・認知症サポート医） 西岡さおり、平野千尋（舞鶴医療セ ンター精神保健福祉士）	57	12月2日	同左	54
みのやま病院	10月11日	田中和宏、木下大作（長岡病院・看 護師） 杉森悟子	19	11月29日	同左	18
八幡中央病院	12月15日	久寶真一（長岡病院・医師） 木下大作、杉森悟子	20	1月12日	同左	19
京都きづ川病院	11月21日	樋川 毅、辰巳弥生、梅原久活	55	11月28日	同左	55
京都警察病院	9月22日	澤田親男、坂井加津美、森田倫子	18	11月15日	同左	17
堀川病院	9月21日	西村伊三男、田中雅子（川越病院看 護部長・看護師） 西村睦美（川越病院・精神保健福祉士）	51	11月16日	同左	42
明石病院	9月27日	澤田親男、坂井加津美、立川昌子（北 山病院相談室副主任・精神保健福祉士）	17	10月25日	同左	14
共和病院	10月5日	松岡照之、辰巳弥生、加藤佑佳	41	11月30日	同左	27
伏見桃山総合病院	9月29日	西村伊三男、辰巳弥生、矢田部信行	38	11月29日	同左	38
西京都病院	10月18日	西村幸秀、山田亜由美、梅原久活	26	11月1日	同左	26



訪問研修



訪問研修フォローアップ

2018(平成30)年度

病院名	1日目	講師	受講者数	2日目	講師	受講者数
洛陽病院	10月19日	松岡照之、辰巳弥生、矢田部信行	47	1月25日	同左	40
京都市立病院	10月2日	澤田親男、坂井加津美、井上 基（北山病院相談室部長・精神保健福祉士）	45	11月30日	同左	35
京都南病院	9月7日	澤田親男、坂井加津美、井上 基	35	11月2日	同左	31
十條武田リハビリテーション病院	9月14日	西村幸秀、山田亜由美、川添チエミ	41	11月14日	同左	30
加藤山科病院	9月18日	西村伊三男、田中雅子、西村睦美	33	10月19日	同左	32
泉谷病院	9月6日	西村伊三男、辰巳弥生、竹内嘉代	13	11月8日	同左	11

2019(令和元)年度

病院名	1日目	講師	受講者数	2日目	講師	受講者数
北山武田病院	10月1日	澤田親男、坂井加津美、井上 基	21	11月5日	同左	18
京都大原記念病院	9月5日	西村幸秀、山田亜由美、竹内嘉代	22	10月11日	同左	19
西陣病院	10月31日	松岡照之、辰巳弥生、矢田部信行	51	11月29日	同左	47
内田病院	10月1日	澤田親男、坂井加津美、井上 基	15	11月5日	同左	10
洛西ニュータウン病院	10月10日	西村伊三男、川瀬美奈子（川越病院・看護師） 西村睦美	77	12月12日	同左	57
京都リハビリテーション病院	9月12日	西村伊三男、田中雅子、西村睦美	33	1月16日	同左	28

【訪問研修フォローアップ】

2018(平成30)年度より、過去に訪問研修を実施した京都市以外の病院に対してフォローアップ研修を実施している。各病院とも1日目は認知症対応に関する個別の課題等を抽出するためのヒアリングやグループワーク等を実施し、2日目は1日目で把握した課題等を踏まえた病院ごとの個別具体的な内容（病院での実際の困難事例を用いたグループディスカッションや、講師の施設で使用しているマニュアルの活用方法、認知症患者に対するリハビリテーションや食事における効果的な対

応方法の講義等）の研修を行い、病院の更なる認知症対応力向上を図っている。

2018(平成30)年度

病院名	1日目	講師	受講者数	2日目	講師	受講者数
学研都市病院	10月31日	西村伊三男、辰巳弥生、竹内嘉代	30	11月22日	同左	38
国保京丹波町病院	11月14日	澤田親男、坂井加津美、井上 基	29	12月12日	同左	28
宮津武田病院	11月29日	西村幸秀、西岡さおり、矢田部信行	10	1月31日	同左	11

2019(令和元)年度

病院名	1日目	講師	受講者数	2日目	講師	受講者数
亀岡病院	9月5日	西村伊三男、田中雅子、矢田部信行	27	12月5日	同左	35
舞鶴共済病院	11月9日	松岡照之、辰巳弥生、竹内嘉代	27	1月11日	同左	23

【認知症対応に関わる医療・介護連携強化研修】

病院関係者のみならず介護サービスの関係者等も交えて研修会を開催している。研修会の開催に向けては、事前に打ち合わせ会議を実施し、当協会の検討委員が、地域の病院や介護サービスの関係者、保健所の認知症施策担当者等にヒアリングを行い、地域における認知症患者の入退院時等の医療・介護連携における課題等を把握し、把握した課題等を踏まえて、研修会の内容を決定している。

研修会では、地域において病院と介護関係者が連携して認知症高齢者を支援した事例について、当該事例にかかわった病院・介護関係者からの報告、認知症への対応に関して、病院、介護サービス事業所、行政機関それぞれの立場で日頃より課題と感じていることや、他の職種や事業所に対して期待すること等について活発に意見交換を行い、地域全体で早期より認知症の方を支援するととも

に、サービスを切れ目なく提供する体制を構築するべく、医療・介護関係者の共通認識や相互の連携をより深める場となっている。



2018年度認知症対応に関わる医療・介護連携強化研修（京丹後）



2018年度認知症対応に関わる医療・介護連携強化研修（綴喜）



2019年度認知症対応に関わる医療・介護連携強化研修（綾部）

2018(平成30)年度

開催地域	事前打合せ	研修会開催日	場所	講師・ファシリテーター	受講者数
京丹後市域	10月25日	12月15日	丹後中央病院	【講師】 竹内歩巳（京丹後市地域包括支援センター 認知症初期集中支援チーム・主任保健師） 野村澄子（丹後中央病院副看護部長・看護師） 山尾百代（京丹後市地域包括支援センター・保健師） 戸石和子（いちがお園在宅介護支援センター副センター長・主任介護支援専門員） 【ファシリテーター】 川添チエミ、矢田部信行	51
綴喜地域	12月25日	3月9日	田辺記念病院	【講師】 北村菜穂子（京田辺市地域包括支援センターあんあん常磐苑 認知症初期集中支援チーム・保健師） 掛川奈美（介護老人保健施設やすらぎ苑支援相談員・社会福祉士） 蒲まどか（京田辺市地域包括支援センターあんあん市役所・社会福祉士） 【ファシリテーター】 矢田部信行、辰巳弥生	34

2019(令和元)年度

開催地域	事前打合せ	研修会開催日	場所	講師・ファシリテーター	受講者数
綾部市域	10月9日	2月8日	綾部市立病院	【講師】 大島けい子（綾部市福祉保健部高齢者支援課課長補佐） 河合教子（京都協立病院リハビリテーション課主任・理学療法士） 大槻 亘（京都協立病院よりそい支援連携室課長・医療ソーシャルワーカー） 山口万紀（ふらむはあとリハマネジメント綾部管理者・主任介護支援専門員） 【ファシリテーター】 川添チエミ、辰巳弥生	51



病院看護師のための認知症ケア講座

◆認知症対応力向上研修受講後の取組・成果に関するアンケート調査の実施

各年度、研修受講後の院内での取組や成果に関するアンケート調査を前年度の集合研修に特に参加者の多かった病院及び前年度に訪問研修を行った病院を対象に実施した。いずれの調査においても、受講前に比べて認知症の方への対応や理解が進み、認知症の方の入院受け入れや多職種連携の意識が高まっていることが確認できる結果となった。

◆病院看護師のための認知症ケア講座

病院において身体疾患を有する認知症患者への対応力の向上が求められている中、平成28年度診療報酬改定では「認知症ケア加算」が新設され、病院における認知症ケアの向上への取り組みが評価された。特に看護師は認知症ケアの要であり、認知症患者のアセスメントや看護方法等の知識等の習得により資質向上を図ることを目的として京都私立病院協会と京都府慢性期医療協会の共催により開催した。なお、本講座は厚生労働省から診療報酬の認知症ケア加算2の施設基準の該当研修として認められている。

2016(平成28)年度 (第1回)

開催日	場所	テーマ	講師	修了者
9月26日	メルパルク京都	認知症の原因疾患と病態・治療	澤田親男	188名 (75病院)
		入院中の認知症患者に対する看護に必要なアセスメントと援助技術 (演習含む)	辰巳弥生	
9月27日	メルパルク京都	コミュニケーション方法及び療養環境の調整方法 (演習含む)	山田亜由美	
		行動・心理症状 (BPSD)、せん妄の予防と対応法 (演習含む)	安里智洋 (京都府立医科大学附属病院・認知症看護認定看護師)	
		認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援	松岡照之	

2017(平成29)年度 (第2回)

開催日	場所	テーマ	講師	修了者
10月23日	からすま京都ホテル	認知症の原因疾患と病態・治療	澤田親男	168名 (73病院)
		入院中の認知症患者に対する看護に必要なアセスメントと援助技術 (演習含む)	辰巳弥生	



第3回病院看護師のための認知症ケア講座

開催日	場所	テーマ	講師	修了者
10月24日	からすま京都ホテル	コミュニケーション方法及び療養環境の調整方法（演習含む）	山田亜由美	168名 (73病院)
		行動・心理症状（BPSD）、せん妄の予防と対応法（演習含む）	安里智洋	
		認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援	松岡照之	

2018(平成30)年度（第3回）

開催日	場所	テーマ	講師	修了者
10月29日	からすま京都ホテル	京都府地域包括ケア構想の概要について①	京都府健康福祉部医療課	149名 (70病院)
		認知症の原因疾患と病態・治療	澤田親男	
		入院中の認知症患者に対する看護に必要なアセスメントと援助技術（演習含む）	仕明真理子（京都岡本記念病院・認知症看護認定看護師）	
10月30日	からすま京都ホテル	京都府地域包括ケア構想の概要について②	京都府健康福祉部医療課	
		コミュニケーション方法及び療養環境の調整方法（演習含む）	山田亜由美	
		行動・心理症状（BPSD）、せん妄の予防と対応法（演習含む）	辰巳弥生	
		認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援	松岡照之	

2019(令和元)年度（第4回）

開催日	場所	テーマ	講師	修了者
9月25日	からすま京都ホテル	京都府地域包括ケア構想の概要	京都府健康福祉部医療課	155名 (61病院)
		認知症の原因疾患と病態・治療	澤田親男	
		入院中の認知症患者に対する看護に必要なアセスメントと援助技術（演習含む）	井上桂子（京都岡本記念病院・認知症看護認定看護師）	



地域連携担当者教育研修

開催日	場所	テーマ	講師	修了者
9月26日	からすま京都ホテル	コミュニケーション方法及び療養環境の調整方法（演習含む）	山田亜由美	154名 (61病院)
		行動・心理症状（BPSD）、せん妄の予防と対応法（演習含む）	辰巳弥生	
		認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援	松岡照之	

病院地域包括ケアシステム強化事業

地域における病病、病診、医療・介護、多職種連携の強化や、医療・介護に関する様々な知識やスキルを持ち、幅広い視点で地域包括ケアを担うことのできる病院関係者を育成することを目的に、医療や介護の様々な現場で活躍する多職種による講義や、多施設・多職種で行う実践的なグループディスカッション等を盛り込んだ研修を実施している。研修は、病院や介護サービス事業所など様々な現場で従事した経験のある多職種で構成される検討委員会で企画・検討を行っている。

地域医療介護総合確保基金の対象事業として、2015（平成27）年度は、「在宅医療・介護人材育成事業」及び「在宅医療・介護連携体制支援事業」として実施し、2016（平成28）年度、2017（平成29）年度はより効果的に事業を実施するべく、両事業を統合して「病院在宅医療・介護体制強化事業」として実施したが、2018（平成30）年度からは、さらに地域包括ケアシステムの推進に寄与するべく、在宅医療・介護のみならずより広範囲の内容を取り扱い、「病院地域包括ケアシステム強化事業」に改称し、事業を実施している。

◆地域連携担当者教育研修

病院の地域連携室担当者が実際の業務を進める上で必要な知識・技術等について学び、病院の地域連携担当者の資質向上及び病院相互間の医療・介護連携体制のさらなる充実を図ることを目的として3日間シリーズの研修を前期（9～11月）と後期（1～3月）に、それぞれ同様の講師、テーマで開催した。研修の修了者に対して当協会より修了証を交付した。

※2015（平成27）年度は「在宅医療・介護連携体制支援事業」、2016（平成28）年度及び2017（平成29）年度は「病院在宅医療・介護体制強化事業」で実施。

2015（平成27）年度

前期 修了者／66名

1日目 9月4日 メルパルク京都

テーマ／「認知症」

講師／森 俊夫（京都府立洛南病院副院長）

2日目 10月14日 メルパルク京都

テーマ／「看取り」

講師／濱戸真都里（緩和ケア訪問看護ステーション架け橋管理者・看護師）

3日目 11月10日 メルパルク京都

テーマ／「在宅医療」

講師／近藤泰正（堀川病院理事長・医師）

後期 修了者／42名



在宅医療・介護にかかわる
病院連携懇談会

1日目 1月20日 2日目 2月16日

3日目 3月4日

※場所、テーマ、講師は前期と同じ

2016(平成28)年度

前期 修了者/44名

1日目 9月20日 メルパルク京都

テーマ/「かかりつけ医から見た地域連携・退院調整」

講師/北川 靖(北川内科医院院長)

2日目 10月25日 メルパルク京都

テーマ/「切れ目のない退院支援」※各職種の立場から講義

講師/①山本正美(京都岡本記念病院患者支援課長)

②大島恭子(武田病院在宅支援看護師長)

③濱戸真都里

3日目 11月11日 メルパルク京都

テーマ/「入退院時の困難事例への対応について」

講師/①松本恵生(京都市岩倉地域包括支援センター長)

②勝尾一史(西陣病院医療社会福祉課)

後期 修了者/42名

1日目 1月31日 2日目 2月14日

3日目 3月6日

※場所、テーマ、講師は前期と同じ

2017(平成29)年度

前期 修了者/40名

1日目 9月5日 メルパルク京都

テーマ/「かかりつけ医から見た地域連携・退院調整」

講師/北川 靖

2日目 10月3日 メルパルク京都

テーマ/「切れ目のない退院支援」

※病院ソーシャルワーカー、病院看護師、在宅ケアマネジャーの立場から

講師/①勝尾一史(京都岡本記念病院患者支援課主任)

②大島恭子(武田病院入退院支援室看護師長)

③川添チエミ(嵯峨野病院居宅介護支援事業所福王子在宅事業部在宅管理者)

3日目 11月20日 於:メルパルク京都 参加者/38名

テーマ/「ケースワーク(困難事例の対応等)」

講師/甲田由美子(京都民医連中央病院事務次長)

後期 参加者/24名

1日目 1月23日 2日目 2月6日

3日目 3月1日

※場所、テーマ、講師は前期と同じ

◆在宅医療・介護にかかわる病院連携懇談会

在宅医療・介護に関する各院での取り組み状況や課題を病院の地域連携担当者同士が情報共有・意見交換を行い、在宅医療・介護連携についての理解を深め、また互いの連携強化を図ることを目的とした研修である。同内容の研修を前期・後期の2回開催した。

※2015(平成27)年度の「在宅医療・介護連携体制支援事業」において実施。

前期 9月30日 メルパルク京都 参加者/33名



在宅医療・介護推進のための多職種連携研修会



在宅医療・介護従事者養成研修

テーマ／現場からの報告（急性期病院・慢性期病院の立場から）

講師／甲田由美子（京都民医連中央病院 地域医療連携課課長）

勝尾一史（西陣病院ソーシャルワーカー）

後期 1月27日 メルパルク京都 参加者／20名

◆在宅医療・介護推進のための多職種連携研修会

日頃より在宅医療・介護に取り組む病院の全職種を対象に、在宅医療・介護に関する基礎知識の再確認のための講義と、更なる資質向上のための事例検討からなる、3回シリーズの研修会を行った。

※2015(平成27)年度の「在宅医療・介護人材育成事業」において実施。

参加者／47名

①10月24日 京都府中小企業会館

テーマ／「地域包括ケアにおける医療・介護の展望～地域医療構想と次期診療報酬改定を見据えて～」

講師／池端幸彦（日本慢性期医療協会副会長・池端病院理事長）

②11月6日 メルパルク京都

テーマ／「地域包括ケアシステムへの転換～病院内から病院外へ視野を広げる体制～」

講師／高橋陽子（美原記念病院看護部長）

③1月25日 メルパルク京都

テーマ／「在宅医療・介護に関する総合的な事例検討（認知症高齢者の徘徊事例について等）」

講師（ファシリテーター）／在宅医療・介護人材育成事業検討委員

◆在宅医療・介護従事者養成研修

将来的に在宅医療・介護に取り組む病院の全職種を対象に、在宅医療・介護の基礎知識に関する総合的な講義及び各職種の立場からの講義と実践的な事例検討からなる、6回シリーズの研修会を行った。研修の修了者に対して当協会より修了証を交付した。

※2015(平成27)年度の「在宅医療・介護人材育成事業」において実施。

修了者／70名

①9月28日 メルパルク京都

テーマ／「地域包括ケアシステムについて」

講師／高木善史（京都地域包括ケア推進機構事務局）

②10月10日 登録会館

1) テーマ／「介護保険制度・介護サービスの実際」
講師／川添チエミ（嵯峨野病院在宅事業部長・主任介護支援専門員）

2) テーマ／「障害者福祉の制度概要」

講師／土屋健弘（京都市北部障害者地域生活支援センター「きらリンク」センター長）

③11月12日 メルパルク京都

1) テーマ／「在宅医療の現状」

講師／照沼秀也（いばらき診療所理事長・医師）

2) テーマ／「一人一人の生活を支える薬剤師～地域包括ケアと薬の視点から～」

講師／小林篤史（ゆう薬局在宅部門リーダー・薬剤師）

④12月2日 メルパルク京都

1) テーマ／「在宅医療・介護の基礎知識～看護師の立場から～」



在宅医療・介護人材育成研修

講師／秋山正子（白十字訪問看護ステーション統括所長・暮らしの保健室室長・看護師）

2) テーマ／「在宅医療・介護の基礎知識～栄養士の立場から～」

講師／樹山敏子（京都訪問栄養士ネット代表・管理栄養士）

⑤ 1月13日 メルパルク京都

1) テーマ／「在宅におけるリハビリテーション」

講師／田後裕之（第二岡本総合病院リハビリテーション科技師長・理学療法士）

2) テーマ／「訪問歯科診療・口腔ケアについて」

講師／武田吉治（京都府歯科医師会地域保健部次長・武田歯科医院院長・歯科医師）

⑥ 2月24日 登録会館

テーマ／「在宅医療・介護に関する総合的な事例検討（ターミナルケアについて等）」

講師（ファシリテーター）／在宅医療・介護人材育成事業検討委員

◆在宅医療・介護人材育成研修

日頃より在宅医療・介護に取り組んでいる、または将来的に取り組む可能性のある病院関係者（全職種）を対象に、在宅医療・介護に関する基礎的な内容の講義・実践的な事例検討からなる、6回シリーズの研修会を行った。研修の修了者に対して当協会より修了証を交付した。

※2016(平成28)年度と2017(平成29)年度の「病院在宅医療・介護体制強化事業」で実施。

2016(平成28)年度

修了者／41名

① 9月29日 メルパルク京都

テーマ／「地域包括ケアシステムについて」

講師／吉田万里子（京都地域包括ケア推進機構事務局次長）

② 10月3日 TKP四条烏丸カンファレンスセンター

1) テーマ／「介護保険制度・介護サービスの実際」

講師／川添チエミ（一般財団法人仁風会財団本部介護保険・企画・教育・研修担当部長）

2) テーマ／「障害者福祉の制度概要」

講師／土屋健弘

③ 11月19日 登録会館

1) テーマ／「在宅医療・介護の基礎知識～病院スタッフに伝えたいこと～」

講師／長尾和宏（長尾クリニック院長・医師）

2) テーマ／「京都府北部地域の多職種連携と薬剤師による在宅療養支援の実際」

講師／船戸一晴（ゆう薬局グループ丹後舞鶴・福知山エリアマネージャー・薬剤師）

④ 12月15日 メルパルク京都

1) テーマ／「訪問看護師の仕事の内容と役割を知って欲しい」

講師／西尾圭子（訪問看護ステーションにしてお管理者・看護師）

2) テーマ／「在宅医療・介護の基礎知識～栄養士の立場から～」

講師／樹山敏子

⑤ 1月25日 於：メルパルク京都

1) テーマ／「訪問歯科診療と多職種連携」

講師／武田吉治

2) テーマ／「在宅医療・介護の基礎知識～リハビリ専門職の立場から～」

講師／田後裕之

⑥2月6日 於：メルパルク京都

テーマ／①研修1～5日目までの総括

②岩倉地区徘徊模擬訓練実践報告

③(事例検討)入院により認知機能の低下が顕著になった高齢者をどう支えるか?～退院先について、揺れ動く本人・家族の意思決定プロセスを支える～

講師(ファシリテーター)／在宅医療・介護体制強化事業検討委員

2017(平成29)年度

修了者／42名

①9月29日 メルパルク京都

テーマ／「地域包括ケアシステムについて」

講師／吉田万里子

②10月11日 メルパルク京都

テーマ／「介護保険制度・介護サービスの実際」

講師／松本恵生

③11月25日 TKP四条烏丸カンファレンスセンター

1) テーマ／「住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために～永源寺の地域まるごとケア～」

講師／花戸貴司(東近江市永源寺診療所所長・医師)

2) テーマ／「在宅における薬剤師の役割と実際」

講師／澤田麻澄(吉川ゆう薬局・薬剤師)

④12月14日 メルパルク京都

1) テーマ／「在宅医療・介護の基礎知識 多職種協働による在宅療養支援の取り組み～訪問看護師の視点から～」

講師／濱戸真都里

2) テーマ／「在宅医療・介護の基礎知識～栄養士の立場から～」

講師／樹山敏子

⑤1月31日 メルパルク京都

1) テーマ／「在宅医療・介護の推進 多職種連携にむけて～リハビリ専門職の立場から～」

講師／田後裕之

2) テーマ／「訪問歯科診療と多職種連携」

講師／武田吉治(京都府歯科医師会地域保健部口腔サポート事業プロジェクトチームサブリーダー・武田歯科医院院長・歯科医師)

⑥2月14日 於：メルパルク京都

修了者／39名

内容／①研修1～5日目までの総括

②(事例検討)入院時より在宅の背景を捉え退院支援を考える。～どのような提案をできますか～

③精神疾患の特徴・治療方法・社会資源等の概要についての説明

講師(ファシリテーター)／病院在宅医療・介護体制強化事業検討委員

◆地域連携強化推進研修

病院の地域連携担当者等と、病院以外の介護保険施設・居宅サービス事業所等の関係者が一堂に会し、活発な意見交換等の実施により、地域包括ケアシステムの推進に向けた共通認識を深め、円滑な医療・介護連携及び病病・病診連携を図ることを目的に、3日間シリーズの標記研修を前期(9～11月)と後



地域連携強化推進研修

期（1～3月）に開催した。研修の修了者に対して当協会より修了証を交付した。

2018(平成30)年度

修了者／62名

1日目 9月28日 メルパルク京都

テーマ／「在宅・施設から病院への入院」

※病院看護師、病院ソーシャルワーカー、在宅ケアマネジャーの立場から

講師／①大島恭子（武田病院患者サポートセンター副センター長）

②矢田部信行

③川添チエミ

2日目 10月26日 登録会館

テーマ／「病院から在宅・施設への退院」

※病院看護師、病院ソーシャルワーカー、在宅ケアマネジャーの立場から

講師／①甲田由美子

②勝尾一史

③松本恵生（京都市岩倉地域包括支援センター主任介護支援専門員）

3日目 11月29日 メルパルク京都

テーマ／「認知症高齢者等の意思決定支援」

講師／長谷川美智子（京都民医連中央病院看護師長・老人看護専門看護師）

後期 修了者／35名

1日目 1月23日 2日目 2月18日

3日目 3月14日

※場所、テーマ、講師は前期と同じ

2019(令和元)年度

前期 修了者／31名

1日目 10月11日 登録会館

テーマ／「入退院時の医療・介護連携において

必要な基本的事項等について」

講師／①清水義博（京都岡本記念病院副院長）

②尾橋淳子（舞鶴市福祉部高齢者支援課）

2日目 11月7日 メルパルク京都

テーマ／「臨床倫理4分割法を用いたグループワーク等（退院時カンファレンスを模した実践的な内容等）」

講師／川島篤志（市立福知山市民病院総合内科医長）

3日目 12月23日 メルパルク京都

テーマ／「入退院時の連携に関し、自施設の状況や自らの職種の立場で行う取組等についてディスカッション」

講師（ファシリテーター）／病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員

後期 修了者／31名

1日目 1月24日 2日目 2月20日

3日目 3月30日

※テーマ、講師は前期と同じ。1日目はTKP四条烏丸カンファレンスセンター、2日目はメルパルク京都で開催。3日目は新型コロナウイルスの影響により中止。

◆医療・介護機能強化推進研修

様々な医療・介護提供体制等について把握し、幅広い視点で地域包括ケアを担うことのできる病院職員を育成し、病院における多職種連携強化や病床の機能分化の推進等に繋げることを目的に、病院や在宅等幅広い現場での勤務経験のある各職種の立場からの、地域包括ケアシステム及び病床機能分化の推進に資する内容の講義及びグループワークからな



医療・介護機能強化推進研修

る、6回シリーズの研修会を行った。研修の修了者に対して当協会より修了証を交付した。

2018(平成30)年度

修了者／45名

①9月13日 登録会館

テーマ／「地域包括ケアシステムの推進と病床機能分化」

講師／京都府健康福祉部医療課

②10月16日 TKP京都四条烏丸カンファレンスセンター

1) テーマ／「地域包括ケアシステムの推進、病床の機能分化に必要な病院の役割～医師の立場から～」

講師／北川 靖

2) テーマ／「くらしを支える安心安全な薬物治療のために」

講師／友沢明德（京都九条病院薬剤部長・薬剤師）

③11月19日 登録会館

1) テーマ／「慢性期病院における看護師特定行為研修修了者の役割」

講師／神野早紀子(博愛記念病院看護師長・特定行為研修修了看護師)

2) テーマ／「地域包括ケアシステムにおける管理栄養士の役割」

講師／佐伯美和（伏見岡本病院栄養管理科長・管理栄養士）

④12月14日 メルパルク京都

1) テーマ／「地域包括ケアシステムにおける歯科の関わりについて」

講師／宮垣有希（京都府立医科大学附属病院・歯科衛生士）

2) テーマ／「地域包括ケアシステムの推進、病床の機能分化における病院の役割～リハビリテーション職の立場から～」

講師／田後裕之（京都岡本記念病院診療技術部長・理学療法士）

⑤1月31日 メルパルク京都

1) テーマ／「住み慣れた地域で最期まで尊厳を保って暮らすために～病院とソーシャルワーカーの取り組み～」

講師／南本宜子（済生会京都府病院福祉相談室長・医療ソーシャルワーカー）

2) テーマ／「地域包括ケアシステムにおけるケアマネジャーの役割」

講師／川添チエミ

⑥2月25日 メルパルク京都

内容／①研修1～5日目までの総括

②事例検討（臨床倫理4分割法を用いて、ある患者の退院支援等について考える内容のグループワーク）

講師（ファシリテーター）／病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員

◆地域包括ケア推進人材育成研修

地域包括ケアの推進に向けて病院以外の各職種や関係機関が行っている取り組みを含めた様々な医療・介護提供体制等について、病院以外の関係者を交えた講義や実践的なグループディスカッション等を通じて理解し、医療・介護の幅広い知識・スキルをもって地域包括ケアシステムの推進により貢献できる病院職員を育成するための6回シリーズの研修を実施。研修の修了者に対して当協会より修了証を交付した。



地域包括ケア推進人材育成研修

2019(令和元)年度

修了者／80名

①10月28日 メルパルク京都

- 1) テーマ／「地域包括ケアシステムの推進について～京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）の概要～」

講師／京都府健康福祉部医療課

- 2) テーマ／「在宅療養あんしん病院登録システム等を活用した入退院支援の状況について」

講師／京都地域包括ケア推進機構事務局
高杉華晋（洛陽病院管理部地域医療連携室主任）

村上喜美恵（宇治病院法人連携部部長）

久須窪充仁（堀川病院地域医療連携室副室長）

天野志津子（堀川病院地域医療連携室退院支援看護師）

- 3) テーマ／「地域における入退院支援の現状・課題やシステム活用状況等の情報交換」

講師（ファシリテーター）／病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員
岩田義信（武田病院グループ）

②11月25日 登録会館

- 1) テーマ／「認知症患者等の意思決定支援について」

講師／長谷川美智子

- 2) テーマ／「アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）について」

講師／田中 誠（たなか往診クリニック

院長）

③12月19日 メルパルク京都

- テーマ／「地域包括ケアシステム等の推進に向けた取り組みについて（医療ソーシャルワーカーの立場から）」

講師／南本宜子

④1月30日 メルパルク京都

- 1) テーマ／「介護保険制度における施設・居住系サービス等の活用について」

講師／川添チエミ

- 2) テーマ／「精神疾患の特徴・治療方法・社会資源等について」

講師／矢田部信行

⑤2月6日 登録会館

- テーマ／「在宅復帰に向けて多職種でかわる家屋訪問等に関する事例検討」

講師（ファシリテーター）／病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員

⑥3月11日 登録会館

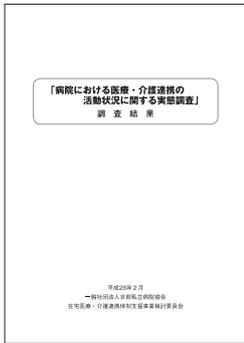
- テーマ／「地域の様々な医療・介護に関する社会資源の有効活用の事例検討」

講師（ファシリテーター）／病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員

※6回目は新型コロナウイルスの影響により中止。

◆「病院における医療・介護連携の活動状況に関する実態調査」報告書の発行

病院における医療・介護連携の実情や課題を把握し、本事業の今後の活動に資する基礎資料を得ることを目的として、平成26年度に実施した実態調査の結果を報告書としてまとめ、京都府下の病院及び各関係機関に配布した。



実態調査報告書表紙

※2015(平成27)年度の「在宅医療・介護連携体制支援事業」において実施。

発行部数／400部

配布先／京都府内病院175病院、各関係機関23
団体

◆事業実績

2018(平成30)年度対象施設 4施設

2019(令和元)年度対象施設 3施設

◆京都府内病院地域連携室窓口一覧名簿の運営

円滑な入退院時の調整や、病病、病診、医療・介護連携を強化するためのツールとして、2015(平成27)年度の「在宅医療・介護連携体制支援事業」で上記名簿閲覧サイトを設置して以降毎年更新し、継続して運営を行っている。

<https://www.khosp.or.jp/hospitals/users/>

地域連携型在宅医療支援病院事業

病院が訪問診療を行うことを目的として、院外関係者も含めた病診連携、病介連携を円滑に行うための多職種研修を実施した京都市以外に所在する会員病院(以下、市外会員病院)に対し、京都府がその研修に要する経費の一部を補助する「地域連携型在宅医療支援病院事業」を2018(平成30)年度に策定し、事業実施について当協会が受託している。

当事業では、2025(令和7)年に向けて、在宅医療の需要は「高齢化の進展」や「地域医療構想による病床の機能分化・連携」等により大きく増加する見込みであることから、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、市外会員病院における在宅医療の充実に向け、地域の専門職との連携体制の構築に向けて支援を行っている。

14 京都病院学会の開催

京都病院学会は、京都私立病院協会設立の翌年、1965（昭和40）年に学術研修事業の一環として第1回地方病院学会の名目で発足した。協会の黎明期において早くもこのような取り組みを開始したことは、画期的なことであると思われる。1977（昭和52）年の第13回からは京都府病院協会との共催となり、京都病院学会と改称されて今日に至っている。

本学会は、京都私立病院協会と京都府病院協会の会員病院、すなわち、京都府内のほぼ全ての病院が参加しており、病院の全職員が演題応募することができる。医師・看護師といった資格職はもちろんであるが、事務職等資格を持っていない職員も日頃の医療活動や研究の成果を発表することが出来る極めてユニークな学会である。また、各病院から派遣された役員、実行委員と協会の事務局員で、イベント会社等に委託せずに企画・運営を行っており、手作りの学会であることも大きな特徴である。

現在、日本の医療業界は、団塊ジュニアが高齢者となる2040年に向けて、よりいっそう充実が求められている一方で、人手不足が深刻な問題となっている。その困難を克服するために、多職種連携やチーム医療がよりいっそう重要となる中、病院の全職種が参加するこの学会の存在意義がますます高まってきている。

（副会長 岡田 純）

京都病院学会

京都病院学会は、学術研究の場として1965（昭和40）年に初めて開催されて以降、毎年その内容、規模ともに発展、拡大しながら回を重ねている。当協会と京都府病院協会との共催で6月に開催され、両会から選出された役員で構成する理事会、職能別に両会及び関係団体から派遣された委員で構成する実行委員会が企画・運営を担当している。学会前日・当日には両会から準備委員としてさらに多くの職種が運営を支えている。

この学会は、両会に加盟する病院の医療従事者が日常の医療活動のなかで臨床現場の研究成果や身近な問題なども取り上げて発表しあう場として、また、病院間、職種間の垣根を取り払って交流でき

る貴重な場として内外ともに高い評価を得ている。毎年、京都府・京都市・京都府医師会・京都府歯科医師会からも後援を受けている。

演題数、参加者はともに年々増加をたどり、第46回からは会場を京都府医師会館から池坊短期大学に移して開催している。

学会当日は各部門の演題発表のほか、学会のテーマについて各部門の発表者が一同に会する要望演題



特別講演
（池坊短期大学こころホール）



要望演題討論
（池坊短期大学こころホール）



基調講演特設会場（池坊短期大学）



一般演題発表会場（池坊短期大学）



一般演題発表会場（池坊短期大学）

の発表やシンポジウム、さらには専門家や著名人を招いて基調講演や特別講演が行っている。

第50回 2015(平成27)年

学会長／中嶋俊彰（済生会京都府病院）
基調講演「強い組織と優しい人間関係—みんなで元気になる交渉学の方法論」
講師／秋沢伸哉（立命館大学大学院経営管理研究科教授）
特別講演「これからの病院のブランド創り」
講師／首藤明敏（株式会社博報堂コンサルティング代表取締役）
参加者／2,150名

第51回 2016(平成28)年

学会長／武田隆久（医仁会武田総合病院）
基調講演「人口減少社会に向かう日本の医療福祉の現状と将来—特に京都府に焦点を当てて」
講師／高橋 泰（国際医療大学・医療福祉学部長）
特別講演「医療、介護亡国論は本当か？」
講師／三橋貴明（株式会社経世論研究所所長）
参加者／2,184名

第52回 2017(平成29)年

学会長／三木真司（三菱京都病院）
基調講演「アドバンス・ケア・プランニング～いのちの終わりについて話しあいをはじめ～」
講師／木澤義之（神戸大学医学部附属病院緩和支援治療科特命教授）
特別講演「病院から、暮らしの場へ～aging in

placeをかなえる医療のあり方を再考しよう～」

講師／宇都宮宏子（在宅ケア移行支援研究所宇都宮宏子オフィス代表）

参加者／2,547名

第53回 2018(平成30)年

学会長／富田哲也（富田病院）
基調講演「認知症に伴う精神症状への対応」
講師／澤田親男（北山病院院長・認知症サポート医）
特別講演「認知症への介入：IADLと生活習慣に着目して」
講師／木下彩栄（京都大学医学部人間健康科学科教授）
参加者／2,273名

第54回 2019(令和元年)

学会長／辰巳哲也（京都中部総合医療センター）
基調講演「長寿社会の課題と可能性」
講師／秋山弘子（東京大学名誉教授・一般社団法人高齢社会共創センターセンター長）
特別講演「京都府における地域医療構想と地域包括ケアの課題」
講師／松田晋哉（産業医科大学医学部公衆衛生学教授）
参加者／2,404名



15 教育・研修活動

急速な少子高齢化、および人口減少社会の進行に伴って、日本が直面する大きな課題の一つは「働く人材の不足」ではないでしょうか。医療・介護・福祉の現場においても、医師・看護師・薬剤師の他、多くの職種が協力して働いているのが現状です。一人でも多くの方に医療・介護・福祉の世界で活躍していただきたいと願うところではあります。直近でも医療・介護・福祉分野の就業者数は就労者全体の12~13%を占めており、今後の就労人口の減少と医療介護福祉の需要増大により、2040年には就労者の約19%が必要になると試算されています。こうした状況において、単純に人材を集めていくということは、中長期的な社会全体のバランスからみても現実的ではないと思われます。AIやロボットの利用など、技術革新とその導入も期待される場所ではありますが、一方でそれぞれの医療職が個々に技能を高め、かつ効率的に協働・連携することで、生産性を高めていく必要があるのではないのでしょうか。

京都私立病院協会では、会員病院に勤務するこれらの多くの職種の職員が、各自の専門職分野の仕事の質を高めることと同時に、少し視野を広げて、チームの一員としての自身の役割を認識し、まさに“ワンチーム”で現場を支えることのできる人材を育成していきたいと考えています。今後も引き続き、これまでの当協会の教育・研修活動を礎としながら、新たな視点も交えながら積極的な取り組みを進めてまいりたいと思います。

(副会長 石丸庸介)

教育研修基礎コース

当コースは会員医療機関の新入職員に対する接遇・対応能力の向上を目的に、1965（昭和40）年より開催している。医療に携わる者としての基本的知識と心得を修得し、一日も早く医療機関における組織人としての自覚を持つことを目的としたこの研修会も、現在では会員施設に定着し、毎年多数の参加を得ている。接遇・対応の基本を学ぶ講義に加え、参加者によるグループワークも盛り込まれ、実践的な技術の習得のほか、参加者同士のコミュニケーションが図れる内容となっており、また会員施設職員同士のつながりをつくるきっかけの場にもなっている。

毎年、京都市内では5月頃に、北部地区では6月頃に開催している。北部地区の開催においては、福知山医師会、舞鶴医師会の共催を得て、隔年で会場

を変え開催しており、当協会会員および医師会会員施設の新入職員を対象として開催している。

2015(平成27)年度

①京都市内開催

5月14日・5月22日 京都アスニー

講師／櫻井悦子（オムロンパーソネル株式会社・コミュニケーションコンサルタント）

②北部地区開催

6月20日 京都府立中丹勤労者福祉会館

講師／櫻井悦子

2016(平成28)年度

①京都市内開催

5月16日 登録会館・5月23日 メルパルク京都

講師／櫻井悦子

②北部地区開催

6月18日 舞鶴メディカルセンター



教育研修基礎コース（京都市内）



教育研修基礎コース（北部地区）

講師／櫻井悦子

2017(平成29)年度

①京都市内開催

5月19日 メルパルク京都・5月25日 登録会館

講師／櫻井悦子

②北部地区開催

6月17日 市民交流プラザふくちやま

講師／櫻井悦子

2018(平成30)年度

①京都市内開催

5月28日・5月30日 メルパルク京都

講師／櫻井悦子（研修オフィスSAKURA代表）

②北部地区開催

6月23日 舞鶴メディカルセンター

講師／櫻井悦子

2019(令和元)年度

①京都市内開催

5月16日・5月29日 メルパルク京都

講師／櫻井悦子

②北部地区開催

6月29日 市民交流プラザふくちやま

講師／櫻井悦子

深めるため、1泊2日を原則として実施している。研修カリキュラムは、プロジェクトチームの委員および外部講師による病院の日常業務に沿った具体的な講義を中心に、参加者同士の討議の時間に重点をおいた内容としており、毎回活発な討論が繰り広げられ充実した内容となっている。今後も病院を取り巻く医療の動向を熟知し、経営に貢献できる中堅幹部職員を育成する場として、本研修会への期待はさらに大きくなると思われる。

2015(平成27)年度

2月18日・19日 京都・烟河（亀岡市）

研修内容／①今後の医療情勢について ②財務諸表 ③グループワーク「病院を創ろう！」 ④コーチング流リーダーシップによる組織活性化 ⑤病院における労務管理

委員／中井洋一、山田正明、市場真澄、小嶋明彦、仲田昌司、井上博志、山口浩二、岡田周一（以上、事務長会）

外部講師／川渕孝一（東京医科歯科大学大学院教授）、畑埜義雄（和歌山県立医科大学名誉教授・畑埜クロスマネジメント代表）

2017(平成29)年度

2月15日・16日 京都・烟河（亀岡市）

研修内容／①病院経営者の基礎知識 ②財務諸表 ③グループワーク「病院を創ろう！」 ④組織活性化に必須なリーダーシップとフォロワーシップ ⑤病院における労務管理

委員／茨木孝二、山田正明、市場真澄、仲田昌司、福島伸之、小嶋明彦、山口浩二、中川正之（以上、事務長会）

中堅幹部職員研修

事務長会のメンバーで構成された中堅幹部職員研修会プロジェクトチームが企画立案し、病院内各部門の中堅幹部職員を対象に隔年2月に開催している。本研修会の中堅幹部としての資質の向上、病院経営に関する知識の充実、病院の経営方針に基づいた業務の遂行、部下の育成・指導というリーダーとしての自覚の促進を目的とし、また参加者相互の親睦を



中堅幹部職員研修会



中堅幹部職員研修会

外部講師／大道道大（社会医療法人大道会森之宮病院理事長・院長）、畑埜義雄

目的を設定の上、プログラムの見直しを行うことで、より充実した研修となっている。

2019(令和元)年度

2月20日・21日 京都・烟河（亀岡市）

研修内容／

委員／茨木孝二、山田正明、市場真澄、仲田昌司、中川正之、小嶋明彦、山口浩二、末廣健児（以上、事務長会）

外部講師／馬場武彦（社会医療法人ペガサス馬場記念病院理事長）、畑埜義雄

◆看護中間管理者研修

I（主任コース）・II（師長コース）

主任コースは4月から翌年2月までの計11回、師長コースは9月から翌年3月まで間で計9回開催している。9時30分から16時まで講義し、その後30分間グループ討議を行っている。

受講者全員に毎回レポートの提出を求めて、講義を振り返ると共に、より理解を深めるようにしている。また、このレポートから毎回1名を教育委員が選出し、京都私立病院報に掲載している。

主任コースでは最終回を研修成果発表会とし、自己の能力向上、今後の実践課題について受講生ひとりひとりが発表している。師長コースでは2013（平成25）年度より受講1年後に看護管理実践報告会を開催し自己の看護管理実践能力のレベルアップを図っている。

なお、2015（平成27）年度のみ研修名を「看護職員資質向上研修（主任コース）（師長コース）」として開催した。

◆看護中間管理者研修 I（主任コース）

※2015(平成27)年度のみ「看護職員資質向上研修（主任コース）」として開催

2015(平成27)年度 修了者／69名

第1回 4月24日

「中間管理者として知っておきたい看護の動向」

講師／長谷川寿子（看護部長会教育副委員長・京都博愛会病院看護部長）

看護卒後教育

看護部門における卒後教育は、看護部長会教育委員会で企画、運営されている。現在の活動としては、看護主任・臨床指導者を対象とした「看護中間管理者研修 I（主任コース）」、看護師長を対象とした「看護中間管理者研修 II（師長コース）」がある。その他、看護卒後教育の一環として、卒後3年目の看護職員対象コースと中堅看護師対象コースの「看護リーダーシップ研修」や准看護師を対象とした「准看護師研修」、看護補助者を対象とした「看護補助者研修」、新人看護師にシミュレーション研修を行う「看護新人研修」、アセスメントに焦点をあてた「看護過程研修」等があり、2015（平成27）年からは、新たに「看護研究研修」を企画し、全6回のシリーズ（2015年度・2017年度）及びクリティークを学ぶ単回研修を開催した。各研修とも毎年多くの参加を得て、大きな成果を挙げている。

各研修のテーマや講師の選定は、当委員会で毎年検討を行っている。毎年各研修プログラムに即した



看護中間管理者研修開講式



看護中間管理者研修修了式

「いのちへの問いかけ」

講師／西沢いづみ（生命倫理学・生物学講師）

第2回 5月29日

「看護管理概論～看護実践の組織化」

講師／矢田貴子（看護部長会教育委員長・堀川病院看護部長）

第3回 6月22日 「リフレクション」

講師／池西悦子（滋慶医療科学大学院大学教授）

第4回 7月28日

「コーチング・セルフサポートコーチング」

講師／清野健太郎（PureField代表）

第5回 8月6日 「看護研究」

講師／星野明子（京都府立医科大学大学院保健看護研究科看護学教授）

第6回 9月25日 「医療安全」

講師／有山真智子（京都桂病院医療安全管理室室長）

第7回 10月31日 「看護倫理①」

第8回 11月21日 「看護倫理②」

講師／真継和子（大阪医科大学看護学部准教授）

第9回 12月4日 「看護管理各論」

講師／林千鶴子（看護部長会部会長・京都桂病院看護部長）

第10回 1月9日 「ひし形活動理論」

講師／杉万俊夫（京都大学教授）

第11回 2月23日 「研修成果発表会」

2016(平成28)年度 修了者／87名

2017(平成29)年度 修了者／73名

2018(平成30)年度 修了者／44名

※以下前年度と異なる研修のみ記載

第1回 4月26日

「京都府地域包括ケア構想について」※前年度に加えて

説明／京都私立病院協会事務局

第10回 1月21日

「グループ・ダイナミックスの理論と方法～災害ボランティアの視点を交えて」※テーマ・講師を変更

講師／渥美公秀（大阪大学大学院人間科学研究科教授）

2019(令和元)年度 修了者／44名

◆看護中間管理者研修Ⅱ（師長コース）

※2015(平成27)年度のみ「看護職員資質向上研修（師長コース）」として開催

2015(平成27)年度 修了者／48名

第1回 9月9日

「中間管理者としての看護の動向」

講師／林 千鶴子

「看護管理概論」

講師／林 千冬（神戸市看護大学教授）

第2回 9月19日 「目標管理」

講師 小河陽子（看護部長会教育委員・京都きづ川病院看護部長）

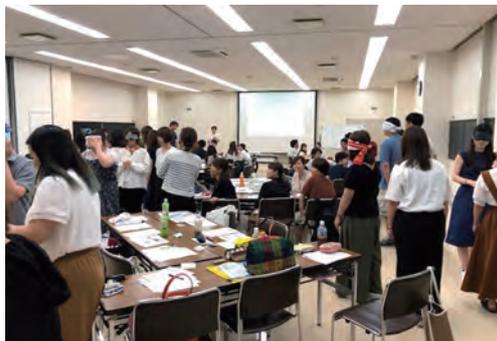
第3回 10月8日 「看護管理各論」

講師／中島美代子（看護部長会教育委員・西陣病院看護部長）

第4回 10月28日 「師長のリーダーシップ」

講師／大島敏子（NPO法人看護職キャリアサポート顧問）

第5回 11月28日 「看護サービス」



看護リーダーシップ研修（3年目限定）



看護リーダーシップ研修
（中堅コース）

講師／豊田久美子（京都看護大学学長）

第6回 12月18日 「医療情勢と医療運営」

講師／山田正明（堀川病院事務長）

第7回 1月19日 「医療安全」

講師／有山真智子

第8回 2月19日 「看護組織論」

講師／成田康子（兵庫県立がんセンター副
院長・看護部長）

第9回 3月8日 「看護倫理」

講師／矢田貴子

2016(平成28)年度 修了者／27名

2017(平成29)年度 修了者／37名

※以下前年度と異なる研修のみ記載

第1回 9月5日 「中間管理者としての看護
の動向」

※講師を変更

講師 矢田貴子

第2回 9月27日 「看護管理概論」

※講師を変更

講師 塚本美晴（看護部長会教育委員・医
仁会武田総合病院看護部長）

2018(平成30)年度 修了者／34名

※以下前年度と異なる研修のみ記載

第8回 10月11日 「看護組織論」

※講師を変更

講師 林 千鶴子（前京都桂病院看護部長）

2019(令和元)年度 修了者／未定

◆看護リーダーシップ研修

2015(平成27)年度

卒後3年目限定コース

6月10日・16日

講師／清野健太郎（Pure Field代表）

中堅コース

7月3日・8日

講師／立川義博（人材育成研究所所長）

2016(平成28)年度

卒後3年目限定コース

6月8日・10日

※前年度と講師同じ

中堅コース

7月7日・12日

講師／平川弘美（兵庫医科大学ささやま医
療センター看護部長）

2017(平成29)年度

卒後3年目限定コース

6月6日・19日

講師／平川弘美

中堅コース

7月6日・11日

講師／清野健太郎（Pure Field代表）

2018(平成30)年度

卒後3年目限定コース

6月12日・8月30日

講師／平川弘美（学校法人兵庫医科大学人
事部参与）

中堅コース

7月2日・11日（各日）

※前年度と講師同じ

2019(令和元)年度

卒後3年目限定コース

8月6日・8日

講師／平川弘美（前兵庫医科大学ささやま
医療センター看護部長）



准看護師研修



看護補助者研修

中堅コース

7月9日・11日（各日）

※前年度と講師同じ

※2018(平成30)年度、2019(令和元)年度のみ

「京都府地域包括ケア構想について」

説 明／京都私立病院協会事務局

老人看護専門看護師)

2019(令和元)年度

8月28日

「知っておきたい医療・看護の動向」

講 師／川上智子（社会医療法人岡本病院
総人事部シニアマネージャー）「認

知症のある高齢者への看護」

講 師／大塚恒子（一般財団法人仁明会精神
衛生研究所副所長）

◆准看護師研修

2015(平成27)年度

8月27日

「知っておきたい看護の動向」

講 師／長谷川寿子

「看護実践における倫理的問題を考えよう」

講 師／真継和子

2016(平成28)年度

8月5日

※前年度とテーマ・講師同じ

2017(平成29)年度

8月3日

「知っておきたい看護の動向」

講 師／川上智子（看護部長会教育委員会委
員・京都岡本記念病院看護部長）

「職場の人間関係をより良くするコミュニケ
ーション」

講 師／清野健太郎

2018(平成30)年度

8月23日

「知っておきたい医療・看護の動向」

※前年度と講師同じ

「認知症のある高齢者への看護～身体拘束を
はじめとした倫理的課題へのアプローチ～」

講 師／長谷川美智子(京都民医連中央病院・

◆看護補助者研修

2015(平成27)年度

4月22日

「接遇について」

講 師／立川義博（人材育成研究所所長）

9月28日

「接遇について」

講 師／張 琴（社会教育研究所所長）

「皮膚の健康のためにできるケア」

講 師／伊藤貢江（京都桂病院皮膚排泄ケア
認定看護師）

2016(平成28)年度

4月15日

※前年度9/28とテーマ・講師同じ

2017(平成29)年度

4月28日

「接遇について」

講 師／真澄八恵子（伏見桃山総合病院看護
部長）

「すぐに活用できる食事介助のコツ」

講 師／下條美佳（摂食嚥下障害看護認定看
護師）



看護新人研修



看護過程研修

9月7日

「接遇について」

講師／田中雅子（看護部長会教育委員会委員・川越病院看護部長）

「認知症を正しく理解する」

講師／仕明真理子（京都岡本記念病院・認知症看護認定看護師）

2018(平成30)年度

4月20日

9月14日

※前年度9/7とテーマ・講師同じ

「京都府地域包括ケア構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

※両日とも同じ

2019(令和元)年度

4月25日

「京都府地域包括ケア構想について」

説明／京都府健康福祉部医療課

「接遇について」

講師／塚本美晴（看護部長会教育委員会副委員長・医仁会武田総合病院看護部長）

「看護補助者が知っておきたい感染防止対策～患者さんを守る・自分を守る～」

講師／谷口文代（看護部長会教育委員会委員・京都桂病院看護部長・感染管理認定看護師）

9月11日

「京都府地域包括ケア構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

「接遇について」

講師／山崎真奈美（看護部長会教育委員会

委員・西京都病院看護部長）

「看護補助者が知っておきたい感染防止対策～患者さんを守る・自分を守る～」

※4/25日と講師同じ

◆看護新人研修(シミュレーション研修)

2015(平成27)年度 9月12日・26日

2016(平成28)年度 9月10日・24日

2017(平成29)年度 8月22日

2018(平成30)年度 9月1日

2019(令和元)年度 8月31日

※2018年度、2019年度のみ

「京都府地域包括ケア構想について」

説明／看護部長会教育委員等

◆看護過程研修(初級・応用編)

2015(平成27)年度

11月10日 初級編「看護過程（5つの段階）とSOAPを理解する」

講師／池西静江（Office Kyo-Shien代表）

11月27日 応用編「事例に基づき看護過程のプロセスを理解し、自己のアセスメント能力を向上させる」

※初級編と講師同じ

2016(平成28)年度

※前年度とテーマ・講師同じ

初級編 11月8日

応用編 11月27日

2017(平成29)年度

※前年度とテーマ・講師同じ

初級編 10月31日

応用編 11月30日



看護管理実践報告会



看護研究研修

2018(平成30)年度

初級編 10月25日

講師／阿形奈津子(看護部長会教育委員会委員・京都中央看護保健大学校看護学科長)

※前年度とテーマ同じ

応用編 11月30日

講師／谷本千亜紀(看護部長会教育委員会委員・京都保健衛生専門学校看護学科教務部長)

※前年度とテーマ同じ

2019(令和元)年度

初級編 10月18日

※前年度とテーマ・講師同じ

応用編 11月21日

「事例に基づき、看護診断を用いて看護過程のプロセスを理解し、自己のアセスメント能力を向上させる」

※前年度と講師同じ

※2018(平成30)年度、2019(令和元)年度のみ

「京都府地域包括ケア構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

◆看護管理実践報告会(フォローアップ研修)

2015(平成27)年度 3月11日

2016(平成28)年度 2月17日

2017(平成29)年度 2月28日

2018(平成30)年度 2月27日

2019(令和元)年度 2月27日

※2018(平成30)年度、2019(令和元)年度のみ

「京都府地域包括ケア構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

◆看護研究研修

2015(平成27)年度

講師／豊田久美子(京都看護大学学長)
盛永美保(京都看護大学准教授)

※第1回～第6回まで講師同じ

※第4回～第6回は2016年度に実施

第1回 10月10日 「看護研究の概要」

第2回 11月21日 「研究テーマをしばり、文献検索してみよう」

第3回 1月23日 「文献をクリティークし、研究計画書を作成してみよう」

第4回 2月27日 「研究計画書を完成させよう」

第5回 9月10日 「データを分析し、まとめてみよう」

第6回 11月26日 「研究を発表してみよう」

2016(平成28)年度

2月4日 「研究的視点を持つ」

講師／豊田久美子(京都看護大学学長)
澤井信江(京都看護大学准教授)

2017(平成29)年度

第1回 4/22、第2回 5/20、第3回 6/24、

第4回 7/22、第5回 1/13、第6回 2/24

講師／豊田久美子

福田里沙(京都看護大学講師)

※第1回～第6回まで2015年度とテーマ同じ

10月28日 「研究的視点を持つ」

講師／豊田久美子

澤井信江

2018(平成30)年度

10月28日 「看護研究に活かすクリティーク」



保健医療管理者養成講座入講式



保健医療管理者養成講座終講式

講師／豊田久美子

2019(令和元)年度

12月5日

※前年度と講師・テーマ同じ

※2018年度、2019年度のみ

「京都府地域包括ケア構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

学

経営(病院)管理／病院経営、病院組織、人事管理、
財務管理、経営分析、医療紛争、リスクマネジメント、
コーチング、医療物品管理、災害リスクマネジメント

ヘルスケア管理／医療管理(総論・各論)

建築・設備／医療施設の建築・設備、医療施設

特別講座／医療をめぐる諸問題(4講座程度実施)

保健医療管理者養成講座

病院管理の重責を担う管理職の経営・管理の技法の向上が強く求められるとともに、量的な充実も必要となってきている。その一方で、わが国では医療機関管理者の養成機関が少なく、特に働きながら学べる場が不足しているのが現実である。

当協会では、会員病院の職員を対象とした経営管理に必要な基礎知識の習得と実践に役立つ応用能力を養う教育を継続実施することを目的に運営委員会を設け、大学教授のほか各分野における専門家を講師に迎え、専門的・実践的な講座を実施している。講座を開講して27年目を迎えた2019(令和元)年度までに559名が修了の認定を受けている。また、認定証の授与式を当協会の創立記念式典の際に執り行っている。

また、本講座修了した保健医療管理士の組織「水士会」が1998年(平成10年)の10月に発足し、活動を展開している。

〈カリキュラム〉

基礎／医療経済学、医療経営学、保健医療関連法規、保健医療政策、介護保険制度、社会保障、社会福祉、医学(療)概論、情報管理、パソコン・統計

〈受講要綱〉

修業年限／1年 講義時間／水曜日(18:00~21:10)・土曜日(15:00~18:10)

応募資格／医療・福祉の経営・管理に関心のある者
出願書類／願書・推薦書

負担金／年間50,000円

※2015(平成27)年~2019(平成30)年は京都府地域医療介護総合確保基金の対象のため受講料は無料。

受講会場／京都保健衛生専門学校

※2015年度のみ7月~3月まで京都私立病院協会会議室

2015(平成27)年度

①第25期生入講式 4月11日 京都私立病院協会会議室 入講生24名

入講記念特別講座「人のことばづかいが9割」
講師：佐藤弘樹(ラジオパーソナリティー)

②保健医療管理士認定式 11月20日 京都ホテルオークラ

第24期生21名に保健医療管理士の認定証が授与。

③認定委員会 3月2日 第25期受講生23名の修了が認定。

- ④終講式 3月26日 ANAクラウンプラザホテル

2016(平成28)年度

- ①第26期生入講式 4月16日 京都私立病院協会会議室 入講生23名
入講記念特別講座「近代の申し子：テロリズム再考」
講師：柏岡富英（京都文教大学総合社会学部教授）

- ②保健医療管理士認定式 11月18日 リーガロイヤルホテル京都
第25期生22名に保健医療管理士の認定証を授与。

- ③認定委員会 3月1日 京都私立病院協会会議室
第26期受講生22名の修了が認定。

- ④終講式 3月25日 ANAクラウンプラザホテル

2017(平成29)年度

- ①第27期生入講式 4月15日 京都私立病院協会会議室 入講生24名
入講記念特別講座「アベノミクスの先へ」
講師：佐伯啓思（京都大学こころの未来研究センター特任教授）

- ②保健医療管理士認定式 11月17日 京都ホテルオークラ
第26期生21名に保健医療管理士の認定証を授与。

- ③認定委員会 3月7日 京都私立病院協会会議室
第27期受講生24名の修了を認定。

- ④終講式 3月24日 ANAクラウンプラザホ

テル京都

2018(平成30)年度

- ①第28期生入講式 4月14日 京都私立病院協会会議室 入講生24名
入講記念特別講座「日本経済の現状と課題」
講師：檜館孝寿（株式会社京都総合経済研究所取締役調査部長）

- ②保健医療管理士認定式 11月16日 ウェスティンホテル京都
第27期生23名に保健医療管理士の認定証を授与。

- ③認定委員会 3月6日 京都私立病院協会会議室
第28期受講生24名の修了を認定。

- ④終講式 3月23日 ANAクラウンプラザホテル京都

2019(令和元)年度

- ①第29期生入講式 4月13日 京都私立病院協会会議室 入講生24名
入講記念特別講座「京都府における地域医療の現状と課題～地域医療構想から見えるもの～」
講師：松村淳子（京都府健康福祉部部長）

- ②保健医療管理士認定式 11月15日 京都ホテルオークラ
第28期生23名に保健医療管理士の認定証を授与。

- ③認定委員会 3月4日 文書審議にて第29期受講生24名の修了を認定。

- ④終講式 3月28日 ANAクラウンプラザホテル京都

医師臨床研修・専門医制度

京都府全体の医師数は、全国でも高い水準にあるが、二次医療圏毎の医師数は京都・乙訓医療圏以外では全国平均を下回っている状況である。平成16年度から始まった新しい医師臨床研修制度の導入の影響などによる医師不足、中でも小児科・産科等特定診療科の医師不足や地域偏在が課題となっている。

京都府では、京都府医療対策協議会において医師不足・偏在問題に対する施策や方策、京都府地域医療支援センターでは医師の確保・定着に向けたキャリア形成支援等について協議が行われており、各審議会に当協会が参画し、民間病院における医師不足・偏在が解消されるよう意見・提言を行ってきた。

2018（平成30）年7月に成立した医療法及び医師法の一部改正に基づく医師偏在対策が動き出した。医師偏在指標は、これまで「人口10万対医師数」が指標として用いられたが、医療需要や将来の人口変化、地理的条件などを考慮した指標となった。新たな医師偏在指標により、全国の三次医療圏（都道府県）と335の二次医療圏の上位・下位のそれぞれ3分の1を医師多数区域・医師少数区域とした。これをもとに都道府県は医師確保計画及び外来医療計画を策定し、2020（令和2）年度から医師少数区域における医師確保に取り組むこととなった。京都府では、2019（令和元）年度から京都府医療対策協議会医師確保ワーキングチームで京都府保健医療計画に盛り込む医師確保計画・外来医療計画の策定に向けた協議が開始され、当協会もワーキングチームに参画し、京都府の実態に沿った医師偏在指数に基づいて医師確保の方向性や目標医師数が設定されるよう意見している。

また、同改正により、医師臨床研修制度に関しては、2020（令和2）年度から国が臨床研修病院の指定基準を策定し、都道府県が個別病院の指定や定員を設定することとなる。募集定員の倍率を下げるための定員上限の設定の見直しも行われる。京都府でも研修医の定員削減により、地域の民間病院の医師確保への影響が出ることをないよう京都府に意見している。

専門医制度については、乱立する専門医資格の認定基準を統一するため、2014（平成26）年5月に第三者機関である「日本専門医機構」が設立され、2018（平成30）年度から各学会と日本専門医機構が協働して養成プログラムを作成し、統一的な基準で認定する新専門医制度が開始された。しかし、専攻医は、研修指導医や設備が充実している都市部の病院等に集中し、医師の地域偏在を悪化させる懸念から、2020（令和2）年度の専攻医採用からは、大都市へのシーリングに変えて、都道府県別・診療科別の必要医師数をベースにした新たなシーリングの仕組みが導入されることとなる。新たなシーリングが実施されれば、京都府では多くの診療科がシーリング対象となり、府内の医師不足地域のみならず、府内の両大学が担っている他府県への医師派遣も困難になるとして、京都府知事及び京都府医療対策協議会から国に特段の配慮を要望している。

国は2040年の医療提供体制の構築に向けて、医師偏在対策、地域医療構想、医師・医療従事者の働き方改革を三位一体で推進していく方針であり、当協会としても医師確保・偏在対策は最重要課題の一つとして取り組んでいる。

16 病院経営に関する取り組み

少子高齢化、人口減少が進み、病院を取り巻く環境は大きく変わりつつあります。国や地方で団塊の世代が75歳以上を迎える2025年に対し得る医療提供体制の構築に向け病床機能分化・連携・在宅医療の推進等、地域医療構想の実現に向けた取り組みが進められています。解決しなければならない問題は山積しており、医療提供体制を大きく変える様々な改革も予定されています。

このような医療環境の中、京都私立病院協会では、会員病院の経営の一助として以下の各種補助金制度の紹介、斡旋などに取り組んでおります。

まず、1993年より施行された民間病院に対する国庫補助金制度については、政策に呼応する制度を新設、補助要件の変更等を必要性に応じて対応してまいりました。

また、2013年から開始となった京都府在宅療養あんしん病院支援事業にも当会が運営に寄与しており、京都方式とも呼ばれ全国的にも画期的な制度と評価を受け、在宅療養中の高齢者の支援のため、現在多数の会員病院に参画いただいております。

2年で終了することとなりましたが、2013年の「耐震改修促進法」改正に伴い、耐震化整備資金融資斡旋の必要性を鑑み、迅速に対応も致しております。

他にも京都府救急告示病院運転資金斡旋や職員向けのローン斡旋等、各病院が対応しきれない分野に対しても真摯に向き合い、各種制度を活用されることで医療従事者の安心と病院経営の安定化に少しでも寄与できるよう、これからも積極的に取り組んでまいります。

京都私立病院協会は、民間病院が会員となって組織している団体です。個々の病院だけでは取り組むことが困難なことを、会員病院の英知を結集して取り組み、病院全体の向上に日々努めております。

(副会長 藤澤明生)

民間病院に対する各種補助制度および融資制度

民間病院に対する国庫補助制度は、医療施設近代化施設整備事業を中心に、時代にあったタイムリーな政策に応じて新たな制度を設けたり、補助要件を変更したり、メニューもかなり多様化してきた。

当協会は常に会員病院のニーズに合致する制度はできるだけ獲得できるよう行政との連携強化を心がけた。

2015年(平成27年)

- 1 産科医等確保支援事業費：12病院 30,991千円
- 2 救急医療提供体制整備促進事業費補助金(救急

担当医師・看護師への研修補助)：

- 21病院 7,898千円
- 3 院内保育運営費補助金：46病院 186,264千円
- 4 救急救命士病院実習受入促進事業費補助金：9病院 6,408千円
- 5 小児救急医療体制強化支援事業費補助金：4病院 31,901千円
- 6 療養病床あんしん確保対策事業費(がんばる医療療養病床支援)：15病院 21,387千円
- 7 京都府在宅療養あんしん病院支援事業：136病院 41,771千円
- 8 未来へつなぐ安心医療提供体制調査事業(病院

- 経営計画策定事業)：9病院 12,315千円
- 9 医療施設耐震化推進事業費補助金：
2病院 1,163,936千円
- 10 災害時拠点強化緊急促進事業費補助金：
1病院 171,382千円
- 2016年(平成28年)
- 1 産科医等確保支援事業費：13病院 35,336千円
- 2 救急医療提供体制整備促進事業費補助金(救急担当医師・看護師への研修補助)：
23病院 8,029千円
- 3 院内保育運営費補助金：46病院 186,264千円
- 4 救急救命士病院実習受入促進事業費補助金：
11病院 5,129千円
- 5 小児救急医療体制強化支援事業費補助金：
4病院 32,079千円
- 6 療養病床あんしん確保対策事業費(がんばる医療療養病床支援)：10病院 15,233千円
- 7 京都府在宅療養あんしん病院支援事業：
115病院 33,830千円
- 8 医療施設耐震化推進事業費補助金：
1病院 240,074千円
- 9 在宅医療推進基盤整備事業：
14病院 12,204千円
- 10 小児・周産期医療体制充実費補助金：
7病院 131,116千円
- 2017年(平成29年)
- 1 産科医等確保支援事業費：12病院 35,530千円
- 2 救急医療提供体制整備促進事業費補助金(救急担当医師・看護師への研修補助)：
21病院 8,219千円
- 3 院内保育運営費補助金：41病院 154,100千円
- 4 救急救命士病院実習受入促進事業費補助金：
15病院 6,591千円
- 5 小児救急医療体制強化支援事業費補助金：
5病院 29,129千円
- 6 療養病床あんしん確保対策事業費(がんばる医療療養病床支援)：6病院 7,974千円
- 7 京都府在宅療養あんしん病院支援事業：
118病院 31,070千円
- 8 医療施設耐震化推進事業費補助金(耐震診断)：
1病院 2,000千円
- 9 在宅医療推進基盤整備事業：
22病院 21,437千円
- 10 京都府地域医療機能強化特別事業費補助金：
5病院 44,517千円
- 11 京都府訪問リハビリテーション等支援事業費補助金：1病院 141千円
- 12 医療施設等施設設備整備費補助金：
6病院 142,393千円
- 2018年(平成30年)
- 1 産科医等確保支援事業費：11病院 33,746千円
- 2 救急医療提供体制整備促進事業費補助金(救急担当医師・看護師への研修補助)：
22病院 7,272千円
- 3 院内保育運営費補助金：40病院 146,734千円
- 4 救急救命士病院実習受入促進事業費補助金：
14病院 5,859千円
- 5 小児救急医療体制強化支援事業費補助金：
4病院 29,264千円
- 6 療養病床あんしん確保対策事業費(がんばる医療療養病床支援)：2病院 2,310千円
- 7 京都府在宅療養あんしん病院支援事業：
115病院 15,140千円
- 8 在宅医療推進基盤整備事業：

34病院 33,897千円

9 京都府地域医療機能強化特別事業費補助金：

6病院 46,895千円

10 医療施設等施設設備整備費補助金：

8病院 254,062千円

2019年(令和元年)

◆職員ローン

病院職員向けローンとして京都中央信用金庫と締結し、当協会の会員施設職員に対し金利優遇があり、保証人が要らないため利用されている。

京都府救急告示病院等運転資金融資制度

京都府救急告示病院等運転資金融資制度は、府内の中小病院の救急告示および病院群輪番制参加病院などに対して、年末年始における要員確保などに必要な資金を融資する制度である。

現在では、融資限度額が8,000万円（1法人で複数病院を有する場合は1億2,000万円）、期間は3年以内（据置6ヶ月以内）、利率は2015（平成27）年度より年1.7%で実施されているが、信用保証協会による保証が必要であることから年々利用が減少している。

◆耐震化整備資金融資斡旋

京都府救急病院・社会福祉施設等耐震化設備資金融資制度として、府内の救急病院及び社会福祉施設に対して、施設の耐震・改修工事に要する資金を融資し、災害時の安心・安全の向上に資する目的で平成25年度より制度が創設された。

融資限度額が2億円（1法人・1個人病院）、期間は10年以内、利率は1.2%で利用を希望している会員に対し説明会を実施していたが、利用実績がないことにより、2015（平成27）年度で本制度終了となった。

17

病院管理に関する取り組み

病院管理に関する取り組みは、主に環境問題委員会と病院機能向上委員会で検討や対策がなされています。

まず、環境問題委員会では、禁煙推進などの院内環境問題や廃棄物処理、リサイクルなど、地球環境問題に至るまで幅広く意見交換を行い、検討や対策を行っております。

禁煙推進については、禁煙活動を通じて職員及び患者様の健康増進を図れるよう、すべての会員病院で推進してまいりました。

当協会でも、過去創立40周年事業で禁煙宣言・禁煙キャンペーンを主な周年事業として、喫煙者へ積極的に禁煙を呼びかけ、依存症からの脱却を支援する目的で宣言致しました。

2018年には受動喫煙を防止する「健康増進法」が改正され、2019年より病院等公共施設が屋内全面禁煙となり、2020年4月1日にはオリンピック開催に先立ち全ての施設で原則敷地内全面的に禁煙となります。

禁煙の効果に期待することは、時には禁煙を成功させるためのモチベーションにもなることでしょう。まずは禁煙の効果を知り、長く人生を楽しむためにもできる限り早い禁煙を切に願っております。

また、病院機能向上委員会では、会員病院の医療機能の質の向上を目指し、2016年以降、入院中の下部尿路機能障害の患者様に対して、多職種共同で排尿機能回復と在宅復帰後の療養生活の向上、介護者の負担を軽減するよう医師・看護師を対象とした「排尿機能回復のための治療とケア講座」等を開催し、病院関係者の資質向上を図ってまいりました。

この様に京都私立病院協会では、今後も医療にとどまらず社会課題に対し、会員施設が一致団結して病院医療の向上と社会の福祉増進に寄与するべく活動を行ってまいります。

(副会長 藤澤明生)

環境問題委員会

当委員会は2003（平成15）年に入院環境整備委員会と感染性廃棄物処理問題委員会が統合され、環境問題全般を広く取扱うことを目的に設置された。この間、院内環境問題委員会などへの名称変更を経て、現在は環境問題委員会の名称で活動を行っており、禁煙推進などの院内環境問題や廃棄物処理、リサイクルなど地球環境問題まで幅広く情報収集を行い、会員施設への情報提供に努めている。

特に、当協会の創立40周年記念事業の一つとして禁煙キャンペーンを開始して以来、積極的な禁煙活動を行っており、2016（平成28）年度には禁煙の取り組みに関するアンケート調査を実施し、このアンケート結果をもとに2017（平成29）年度に禁煙に関する研修会を実施した。また、会員施設における禁煙実施状況を把握するための調査を行い、敷地内および施設内禁煙を実施している会員施設については、協会ホームページ内の禁煙活動推進ページに施設名を掲載し、禁煙推進活動の周知・啓発を行うなど、



環境問題委員会研修会

会員施設における禁煙推進の取り組みを支援するための活動を行った。2019（令和元）年度においては、改正健康増進法の施行に伴い病院等の施設が原則敷地内禁煙となったことに伴い、会員施設の現状を把握すべく調査を行ったほか、当協会も加盟している京都禁煙推進研究会の各種事業への後援も継続しており、禁煙活動を通して職員および患者の健康増進を図れるよう取り組んでいる。

環境問題への対応については地球規模での課題となっている中、会員施設が環境活動に対して関心を持ち積極的に取り組んでいくことができるよう、今後も必要な事案を取り上げ、日常業務に資する幅広いテーマで研修会や調査・研究等を実施していく。

◆主な活動

2015(平成27)年度

- ・電力自由化と省エネに関する研修会の実施 9月29日

テーマ／「省エネ活動とその効果について」

講師／松尾 仁（中外テクノス株式会社東京支社地球エネルギー事業推進室室長）

テーマ「電力自由化と新電力について」

講師／片山史士（大阪ガス株式会社エネルギー事業部ビジネス開発部電力チームリーダー）

2016(平成28)年度

- ・禁煙の取り組みに関するアンケート調査の実施

2017(平成29)年度

- ・禁煙に関する研修会の実施 11月28日

基調講演

テーマ／「病院職員喫煙率0（ゼロ）を目指して」

講師／富士原正人（京都ルネス病院理事長・院長）

長）

事例報告

テーマ／「禁煙、喫煙対策に関する先進的な取り組みについて」

講師／藤本恵子（熊本機能病院看護部禁煙外来チーフナース）、稲本 望（済生会滋賀県病院健康管理センター長）

- ・禁煙実施状況調査の実施
- ・禁煙活動推進ページ（協会ホームページ内）の更新

2018(平成30)年度

- ・環境問題についての情報収集・情報交換及び会員施設に対する情報提供

2019(令和元)年度

- ・敷地内禁煙に関するアンケート調査の実施

病院機能向上委員会

会員病院の医療機能の質の向上を目指し1996(平成8)年に当委員会が設置された。

医療機能評価事業に関する会員への情報提供や随時問い合わせに対応しているほか、公益財団法人日本医療機能評価機構と連携を取りながら活動を行っている。

2016(平成28)年度以降は、入院中の下部尿路機能障害を有する方に対して多職種協働で排尿機能回復を図り、在宅復帰後の療養生活の向上、介護者の負担軽減に繋げるべく、医師・看護師を対象にした「排尿機能回復のための治療とケア講座」を毎年開催している。

2020(令和2)年3月現在、会員の病院機能評価認定施設は37となっている。



排尿機能回復のための治療とケア講座

◆主な活動

2016(平成28)年度

・平成28年度排尿機能回復のための治療とケア講座
11月7日・8日・9日

- テーマ／①「尿路機能障害の病態と診断」
②「尿路機能障害の治療」
③「尿路機能障害の予防とケア」
④「尿路留置カテーテルの抜去に向けた取り組み」
⑤「排尿ケアチームの役割と自立支援に向けた実践例（演習含む）」
⑥「排尿日誌による評価（演習含む）」
⑦「エコー（残尿測定器）を用いた残尿の測定の実際（演習含む）」
⑧「排尿ケアの事例検討（演習含む）」
⑨「排泄器具と排泄関連福祉用具の適切な使用方法（演習含む）」
⑩「排泄自立のためのリハビリテーション（骨盤底筋訓練含む）」
⑪「自己導尿の指導方法（演習含む）」

- 講師／①・②上田陽彦（賀茂病院院長）
③山田恭弘（田辺中央病院泌尿器科部長）
④・⑤上田朋宏（泌尿器科上田クリニック院長・NPO法人快適な排尿をめざす全国ネットの会理事長）
⑥・⑦坂田 薫（京都民医連中央病院副看護部長、皮膚・排泄ケア認定看護師）
⑧・⑨山口昌子（長浜赤十字病院看護師・NPO法人快適な排尿をめざす全国ネットの会理事）、山下和典（千春会病院リハビリテーション科主任・作業療法士）

⑩西村卓也（泉佐野優人会病院係長・理学療法士）

⑪加藤昌子（京都駅前武田透析クリニック看護師長、皮膚・排泄ケア認定看護師）

2017(平成29)年度

・平成29年度排尿機能回復のための治療とケア講座
10月27日・30日・31日

- テーマ／①「尿路機能障害の病態と診断」「尿路機能障害の治療」
②「尿路機能障害の予防とケア」
③「尿路留置カテーテルの抜去に向けた取り組み」「排尿ケアチームの役割と自立に向けた実践例（演習含む）」
④「排尿日誌による評価（演習含む）」「エコー（残尿測定器）を用いた残尿の測定の実際（演習含む）」
⑤「排尿ケアの事例検討（演習含む）」「排泄器具と排泄関連福祉用具の適切な使用方法（演習含む）」
⑥「排泄自立のためのリハビリテーション（骨盤底筋訓練等演習含む）」
⑦「自己導尿の指導方法（演習含む）」

- 講師／①上田陽彦
②山田恭弘
③上田朋宏
④坂田 薫
⑤山口昌子（訪問看護ステーションひまわり管理者）
山下和典（千春会病院リハビリテーション科主任・作業療法士）
⑥西村卓也（泉佐野優人会病院課長・理



排尿機能回復のための治療とケア講座

学療法士)

- ⑦加藤昌子 (京都駅前武田クリニック看護師長、皮膚・排泄ケア認定看護師)

・病院機能評価受審に関するアンケート調査の実施

2018(平成30)年度

・平成30年度排尿機能回復のための治療とケア講座

10月22日・23日・24日

テーマ／①「京都府地域包括ケア構想の概要について」

- ②「尿路機能障害の病態と診断」「尿路機能障害の治療」
- ③「尿路機能障害の予防とケア」
- ④「尿路留置カテーテルの抜去に向けた取り組み」「排尿ケアチームの役割と自立に向けた実践例 (演習含む)」
- ⑤「排尿日誌による評価 (演習含む)」「エコー (残尿測定器) を用いた残尿の測定の実際 (演習含む)」
- ⑥「排尿ケアの事例検討 (演習含む)」「排泄器具と排泄関連福祉用具の適切な使用方法 (演習含む)」
- ⑦「排泄自立のためのリハビリテーション (骨盤底筋訓練等演習含む)」
- ⑧「自己導尿の指導方法 (演習含む)」

講師／①京都府健康福祉部医療課

- ②上田陽彦
- ③山田恭弘
- ④上田朋宏
- ⑤布留川美帆子 (京都民医連中央病院皮膚・排泄ケア認定看護師)
- ⑥山口昌子
- 山下和典 (メディケア・リハビリ訪問

看護ステーション京都、作業療法士)

- ⑦西村卓也 (泉佐野優人会病院リハビリテーション科課長、理学療法士)

- ⑧加藤昌子

2019(令和元)年度

・令和元年度排尿機能回復のための治療とケア講座

11月28日・29日・30日

テーマ／①「京都府地域包括ケア構想の概要について」

- ②「尿路機能障害の病態と診断」「尿路機能障害の治療」
- ③「尿路機能障害の予防とケア」
- ④「尿路留置カテーテルの抜去に向けた取り組み」「排尿ケアチームの役割と自立に向けた実践例 (演習含む)」
- ⑤「排尿日誌による評価 (演習含む)」「エコー (残尿測定器) を用いた残尿の測定の実際 (演習含む)」
- ⑥「排尿ケアの事例検討 (演習含む)」「排泄器具と排泄関連福祉用具の適切な使用方法 (演習含む)」
- ⑦「排泄自立のためのリハビリテーション (排尿誘導、骨盤底筋訓練等演習含む)」
- ⑧「自己導尿の指導方法 (演習含む)」

講師／①京都府健康福祉部医療課

- ②上田陽彦
- ③朴 英寿(田辺中央病院泌尿器科部長)
- ④上田朋宏
- ⑤布留川美帆子
- ⑥山口昌子 (NPO法人快適な排尿をめざす全国ネットの会理事)

山下和典

⑦西村卓也（堺平成病院リハビリテーション部課長、理学療法士）

⑧加藤昌子

18 税制問題への取り組み

2019年10月より消費税が8%から10%に引き上げられました。前回の消費税引き上げ時に生じた補てん不足から、今回は5%までさかのぼり総合的に見直し、病院機能群ごとに不足なく補てんしたとされました。

しかし、補てん点数の算定根拠は明確にはされておらず、正しく検証はできません。やはり、個々の病院では、補てんされる消費税はバラツキが生じてしまい、保険点数での補てん対応は限界であると思われます。今後、私立病院協会は以前より掲げていた消費税原則課税を訴えていきます。また、私的病院に残された持分あり医療法人、すなわち経過措置型医療法人に対する税制の問題も含めて検討し、要望を行っていきたいと思います。

(副会長 小森直之)

税 制

医療機関に関わる税の問題で、とりわけ社会保険診療への消費税が非課税であることで生じている控除対象外消費税は、病院の経営を圧迫し、病院の建物の増改築・修繕、新たな医療機器や設備の導入を妨げ、病院医療の向上に大きな支障をきたしている。

2018（平成30）年7月の厚生労働省「医療機関等における消費税負担に関する分科会」では、消費増税（5%→8%）対応時の控除対象外消費税の診療報酬による補てん状況調査の集計に誤りがあり、当初100%以上補てんしたとされた病院全体の補てん率は85%となり、補てん不足に転じたことが公表され、多くの反響を巻き起こした。

こうした中、当協会では、消費税率10%への引き上げを迎えれば地域医療が崩壊するとの認識から、消費税率引き上げまでに仕入税額控除が可能で、かつ患者負担のない制度に改正するよう各方面への要望活動を続けた。診療報酬による補てんは個別の医療機関でばらつきもみられ、もはや限界とされてきたが、政府与党の平成31年度税制改正大綱に、診療報酬（基本診療料）による補填の精緻化と医療機関の設備投資への支援拡充の方向性が記されたことにより、診療報酬による補てんに変化は起こらないま

ま、2019（令和元）年10月より消費税率が10%に引き上げられた。

当協会では引き続き情報収集・分析を行うとともに、抜本的解決に向け中央病院団体や近畿の病院協会とも連携しながらこの問題に対応していくこととしている。

持ち分なし医療法人への移行による相続税・贈与税の猶予・免除については、2017（平成29）年9月末までの期限が、2020（令和2）年9月末まで3年間延長された。また、現行の認定要件に運営の適正要件が追加され認定要件が厳しくなった代わりに、持ち分なし移行時の贈与税非課税の要件では役員親族要件等が緩和され、非課税対象が広がった。

その他、保険診療に係る事業税非課税措置などについても地域医療の確保の観点から重要であり、当協会では医療機関における税の問題について引き続き情報収集や在り方の検討を行い、必要に応じて改善要望や対応を行っていくこととしている。

19 福利厚生活動

会員病院で働く職員の福利厚生活動として野球、バレーボール、フットサル、ゴルフの各大会を開催している。運動不足になりがちな病院職員の健康維持に役立つほか病院間の親睦と交流にも貢献している。どの大会も多くのチームが参加する大会となり準備運営に実行委員会を設置し、会員施設から派遣された実行委員が集まって計画実行している。病院対抗野球大会は私立病院協会創立以来毎年開催され2019（令和元）年までに第55回を開催した。病院対抗女子バレーボール大会も同じく第42回を開催した。フットサル大会は2006（平成18）年よりスタートした大会で第14回を開催したところである。どの大会も活気にあふれている。なお2009（平成21）年より毎年会員相互の親睦目的でゴルフコンペが行われていたが、2013（平成25）年より当協会の厚生事業となり参加者も増加した。毎年恒例の協会主催のスポーツイベントは4大会となった。これらの大会の運営費は京都府病院協同組合、株式会社公益社、株式会社セレマの協賛を得て大会が実施できている。

（副会長 富士原正人）

京都府知事杯争奪 病院対抗野球大会

京都私立病院協会の設立主旨の大きな柱のひとつに会員病院とそこで働く職員相互の親睦・福利厚生活動があげられる。その中で病院対抗野球大会は当協会が設立された翌年から開催され、まさに協会の歴史とともに歩んできたと言える。近年は健康志向の高まりによるスポーツ参加人口の増加等により、グラウンドの確保が課題となっている一方で、大会参加チーム数は減少しているため、今後さらに大会を盛り上げていけるよう役員・実行委員とともに検討を重ねている。大会の会場は、主に京都府みどりヶ丘グラウンド、京都府立山城総合運動公園（太陽が丘）グラウンド、京都市横大路グラウンド等を使用した。

第51回 2015（平成27）年 参加41チーム

優勝／北山病院A 準優勝／宇治武田病院

第三位／医仁会武田総合病院、宇治徳洲会病院

第52回 2016（平成28）年 参加33チーム

優勝／宇治おうばく病院

準優勝／蘇生会総合病院

第三位／醍醐病院、京都・綾部ルネス病院

第53回 2017（平成29）年 参加37チーム

優勝／京都岡本記念病院 準優勝／田辺中央病院

第三位／洛和会丸太町病院、西陣病院

第54回 2018（平成30）年 参加38チーム

優勝／醍醐病院 準優勝／北山病院

第三位／京都岡本記念病院、京都南病院

第55回 2019（令和元）年 参加35チーム

優勝／京都久野病院

準優勝／伏見桃山総合病院

第三位／いわくら病院、醍醐病院

京都府知事杯争奪 病院対抗バレーボール大会

（旧・病院対抗女子バレーボール大会）

京都私立病院協会の福利厚生活動のひとつであり、会員病院に勤務する職員を対象に開催されている。

大会は、実行委員会で開催内容の検討を行い、審判員をはじめ関係者各位の協力により毎年開催して



京都府知事杯争奪病院対抗野球大会



京都府知事杯争奪病院対抗
バレーボール大会



会長杯争奪病院対抗フットサル大会

おり、参加チーム同士のレベルの高い試合が展開され、盛り上がりを見せている。

近年は参加チーム数が減少傾向にあることから、なるべく多くのチームが参加できるよう実行委員会で大会の運営方法を検討した結果、これまで女子選手のみでの参加としていたルールを、第41回大会(2018年)より男子選手も参加可能とし、またそれに伴い、第42回大会(2019年)より大会名称を「病院対抗バレーボール大会」に改め開催している。

第38回 2015(平成27)年 参加 31チーム

優勝/宇治徳洲会病院

準優勝/洛和会音羽病院

第三位/宇治武田病院、京都大原記念病院

第39回 2016(平成28)年 参加 28チーム

優勝/洛和会音羽病院

準優勝/宇治徳洲会病院

第三位/足立病院、京都下鴨病院

第40回 2017(平成29)年 参加 27チーム

優勝/宇治徳洲会病院

準優勝/京都大原記念病院

第三位/洛和会音羽病院

第四位/亀岡病院

第41回 2018(平成30)年 参加 32チーム

優勝/京都下鴨病院

準優勝/洛和会音羽病院

第三位/がくさい病院、京都大原記念病院

第42回 2019(令和元)年 参加 31チーム

優勝/洛和会音羽病院

準優勝/京都・綾部ルネス病院

第三位/医仁会武田総合病院、亀岡病院

京都私立病院協会会長杯争奪 病院対抗フットサル大会

病院対抗フットサル大会は野球、バレーボール大会に次ぐ3番目の福利厚生事業として2006(平成18)年にスタートした。会場はサンガフットサルパーク(城陽市)のグラウンドを使用して、2日間の開催で実施している。毎回、多くのチームから安定した参加を得ており、会員に定着している。

第10回 2015(平成27)年 参加61チーム

優勝/共和病院 準優勝/京都岡本記念病院

第三位/蘇生会総合病院A

第11回 2016(平成28)年 参加51チーム

優勝/京都回生病院A 準優勝/共和病院

第三位/京都九条病院

第12回 2017(平成29)年 参加50チーム

優勝/京都九条病院

準優勝/蘇生会総合病院A

第三位/京都岡本記念病院A

第13回 2018(平成30)年 参加50チーム

優勝/共和病院 準優勝/京都桂病院

第三位/京都岡本記念病院

第14回 2019(令和元)年 参加40チーム

優勝/共和病院 準優勝/京都九条病院

第三位/京都桂病院A

京都私立病院協会会長杯争奪 会員親睦ゴルフコンペ

2009(平成21)年度より当協会全体会議翌日の恒例行事として開催することとなった会員相互の親睦を目的としたゴルフコンペは、2013(平成25)年度



会長杯争奪会員親睦ゴルフコンペ

からは当協会の厚生事業として正式に位置づけて開催している。ダブルペリア方式による競技で、各組に様々な会員施設の職員が入る組み合わせにより、会員施設間の一層の親睦を深めた。優勝から第3位までの表彰の他、ドラコン賞・ニアピン賞等の各賞も贈呈された。また、第2回より実行委員会を設置し、当協会役員・事務長会による委員構成で企画・運営を行っている。第4回からはチーム戦を新たに加えて開催している。

第3回

2015（平成27）年11月3日 参加40名（22病院）

優勝／浅井博文（園部丹医会病院）

準優勝／山田正明（堀川病院）

第三位／中井洋一（京都桂病院）

第4回

2016（平成28）年11月3日 参加37名（17施設）

優勝／笠次俊彦（園部丹医会病院）

準優勝／山田正明

第三位／村上 衛（京都府病院協同組合）

第5回

2017（平成29）年11月3日 参加34名（19施設）

優勝／茨木孝二（亀岡病院）

準優勝／村上 衛

第三位／山田正明

第6回

2018（平成30）年11月3日 参加36名（18施設）

優勝／加藤雅史（三菱京都病院）

準優勝／三牧三郎（洛西ニュータウン病院）

第三位／笠次敏彦（園部病院）

第7回

2019（令和元）年11月3日 参加53名（22施設）

優勝／増田成一（三菱京都病院）

準優勝／富士原正人（京都ルネス病院）

第三位／木村正彦（武田病院グループ）

* チーム戦の結果は省略

20 事務局体制

2015（平成27）年4月の当協会事務局体制は、津崎桂子事務局長、竹内誠課長、藤田直毅、神田悦子、山口峻平、臂谷亮輔、松本結佳の計7名の体制であった。関係団体の京都保健専門学校、京都府病院協同組合、京都府病院厚生年金基金、京都中央看護保健専門学校の職員をあわせ総勢90名ほどの体制で各団体の運営にあたった。それら5つの団体の全職員で組織している共済会「銀の会」、親睦会「銅の会」は各団体より職員を派遣し2年任期で共済会の役員を務め、各団体からの補助と職員の拠出金で運営されている。

当協会常勤職員の動向は、平成27年からの委託事業の増加に伴い、2015（平成27）年5月1日付けで石田昭子、9月1日付けで吾郷晋一の社会保険労務士の2名を採用。

翌年2016（平成28）年5月20日付けで石田昭子、8月31日付けで藤田直毅が退職し、同年10月21日付けで坂勇佑、11月21日付けで田中大貴を採用。2017（平成29）年1月20日付けで坂勇佑が退職し、同年4月1日付けで渋谷藍子を非常勤職員から常勤職員として採用。

非常勤職員の動向としては、2015（平成27）年4月では、長濱理恵、渋谷藍子、岡本泰江の3名体制であったが、2016（平成28）年3月末で岡本泰江が期間満了のため終了。2016（平成28）年4月21日付けで迫菜穂子を派遣職員として採用。2017（平成29）年3月31日付けで長濱理恵が退職し、同年4月に渋谷藍子を常勤職員に転換したため、新たに派遣職員として、2017（平成29）年3月16日付けで今西八重を採用。同年、迫菜穂子、今西八重が契約満了で終了したため、桐村志穂、島岡利佳、小寺真生を派遣職員として採用したが、短期での契約期間が満了したため終了。

2017（平成29）年10月2日付けで山本有希（旧姓中村）を派遣職員として採用し、2018（平成30）年1月24日付けで河梨加を派遣職員として採用したが短期での契約期間が満了したため終了。2018（平成30）年4月2日付けで飴谷かおりを派遣職員として採用。

2020（令和2）年の4月の当協会事務局体制は、津崎桂子事務局長、竹内誠課長、神田悦子、山口峻平、臂谷亮輔、松本結佳、吾郷晋一、田中大貴、渋谷藍子の常勤職員9名及び山本有希、飴谷かおりの派遣職員2名のあわせて11名の職員体制で事務局業務にあたった。

各関係団体の役員には私病協の執行部からの役員派遣を行うとともに、各団体の事務

局責任者が私病協理事会に出席するなど相互の業務の理解が深まるよう運営が行われている。またそれぞれの事務局責任者が頻回に会議を持つなど互いに連携し、協力関係を保ちながら組織運営を行ってきた。

5団体の職員の賃金や労働条件については、2005（平成17）年度より人事評価制度を活用した新しい賃金制度へ移行し、各団体の業務の違いによる制約はあるが、基本的には共通体系で運用されており、関係団体間の人事交流をより円滑に行うべく就業規則等の統一も図った。

事務局責任者による会議では、新たに法改正のあった育児・介護休業規程については全面的な見直しを行うとともに、退職金規程、賞与規程の一部改定、就業規則の一部改定ならびに非常勤職員就業規則の整備を行うなど、関係団体が密接に連携しあい各団体相互に円滑な運営を行ってきた。



事務局



新型コロナウイルスの影響により中止・延期となった研修会等の催し（2020（令和2）年）

※会議は省略

- 2月25日 京都府看護職つながりネット第91回セミナー「職業感染対策～働く環境、どこが危ない？～・交流会
- 26日 薬剤師部会施設見学（株式会社ユヤマ）
- 29日 保健医療管理者養成講座「地域保健管理」
- 3月2日 看護中間管理者研修Ⅱ（師長コース）第10回
医療安全対策研修会「チームトレーニングの結果を現場で出そう－HOW TO BE TeamSTEPS－」
- 4日 保健医療管理者養成講座「京都府保健医療計画」
保健医療管理者養成講座「京都府保健医療政策」
- 5日 介護保険委員会研修会「身体拘束の廃止に向けて」
感染症対策委員会研修会「褥瘡治療～傷が治る仕組みと軟膏の使い方～」
- 6日 第84回放射線技師部会講演会「放射線診療機器線量の記録の義務化について」
令和元年度第2回近畿病院団体連合会事務長会
- 7日 保健医療管理者養成講座「総括」
病院認知症対応力向上事業 訪問研修フォローアップ（中丹圏域の病院）
- 8日 これからの社会保障を考えるセミナー・Part3・事務長会研修会「令和2年度診療報酬改定について」
- 11日 京都府看護職つながりネット第92回セミナー「はじめてのアンガーマネジメント」・交流会
病院地域包括ケアシステム強化事業 地域包括ケア推進人材育成研修（6日目）
- 12日 きょうと薬剤師サポートネット第46回キャリア支援セミナー「疑義照会について」・交流会
- 14日 病院認知症対応力向上事業 認知症対応に関わる医療・介護連携強化研修（南部地区・山城南圏域）
- 16日 介護保険委員会研修会「介護医療院（及び介護療養型医療施設）の人員・設備・運営基準・介護報酬について～実地指導結果を踏まえて～」
- 27日 これからの社会保障を考えるセミナー・Part4「令和2年度診療報酬改定への対応について」
- 30日 病院地域包括ケアシステム強化事業 地域連携強化推進研修（後期3日目）



本校は昭和39年4月堀川高等看護学院として設立され2019年55周年となった。長い歴史の中でレギュラーコースの看護師を1,402人、臨床検査技師を2,611人、臨床工学技士を405人輩出してきた。また、2009年に進学コースを閉科したが卒業生は1,974人おり、現在は各施設の管理職として活躍している。京都私立病院協会の全面的なバックアップの基、伝統と実績のある学校として学校運営を行ってきた。今後、新たな発展のため「選ばれる学校作り」を目標として、学内の在校生の満足度向上を目指し、チーム医療セミナー、基礎学力向上のための取り組み、就職ガイダンス、学生相談室の充実、サークル支援などに取り組み、また地域への貢献として市民公開講座を行っている。高校卒業時、専門学校への入学者は15.9%程度で減少傾向にある。現在、大学生の就職率が上昇傾向にあり、大学卒業後の受験生が減少している。高校生も毎年減少傾向にあり受験生確保は大きな課題である。

◎ 学校法人役員

平成27年3月5日から平成29年5月31日まで10期、11期の役員となる。理事長は武田隆久理事、学校長は、有蘭直樹、平成29年6月1日より富田哲也理事が第6代理事長に就任した。平成31年3月5日から2021年3月4日までが12期役員である。2019年6月1日より黒岩敏彦先生が校長に就任した。

学校法人役員・評議員の改選（2019.6）

理事長	富田 哲也（富田病院）
理事代理	清水鴻一郎（京都伏見しみず病院）
理事（校長）	黒岩 敏彦
理事	岡田 純 （脳神経リハビリ北大路病院）
理事	小森 直之（なぎ辻病院）
理事	近藤 泰正（堀川病院）
理事長	武田 隆久（武田病院）

理事	藤澤 明生（賀茂病院）
理事	佐藤眞喜子 （京都保健衛生専門学校）
監事	吉川 順介（吉川病院）
監事	高松 晃司（京都成蹊法律事務所）

◎設備の更新について

設備の更新について順次実施している。

平成27年は北館の耐震工事を行った。工事期間は平成27年7月2日から平成28年2月29日までの長期間の工事であった。文部科学省の補助金対象となった。平成28年度は全館照明器具をLEDに交換と同時に天井改修工事を行った。平成29年度は学生の教室の建具を全面改修した。平成30年度は南館トイレ改修工事を行い、全館洋式トイレとなった。また給水管漏水工事を行い、漏水箇所補修工事により水道使用量の減少につながった。2019年度は北館ブロック塀解体、アルミフェンスへの改修工事と南館外壁改修工事を行った。

◎学生募集活動について

高校生卒業生数は平成27年（2015）は1,068,989人で平成31年（2019）は1,056,847人となっている。

文部科学省の高校生の進学調査は平成30年3月専門学校への進学者は169,058人15.9%で、5年前平成26年3月の進学者は178,735人17.0%であった。そのような中でできるだけ受験生を多く集めて良い人材を入学させるよう努力している。ただ第二臨床検査学科と臨床工学技士専攻科は定員が満たず苦しい入試となっている。看護学科三年課程は指定校を2019年度に4校増やし12校、臨床検査学科は2019年に20校を増やし現在128校が指定校となっている。

◎崇城大学生物生命学部応用生命学科（熊本県）との連携校について

崇城大学より本校臨床工学技士専攻科との指定校推薦の連携校について提案があり、平成27年に連携教育協力協定を締結した。推薦枠は5名から10名までで崇城大学4年生と本校とのダブルスクールで学ぶこととなる。初回の平成28年度生は3人の学生が

入学し、その後5人から7人程度の入学生がある。

◎チーム医療セミナーへの取組

平成27年度よりチーム医療について取り組んでいる。本校の特徴として複数の学科があることが上げられる。各学科の学生は体育祭や学校祭などを通して交流している。学科間の交流があることを学校の特徴として積極的に取り組んでいる。27年度のテーマは心音聴取や心エコーなど、毎年色々なテーマで実施している。参加者は20人から30人である。

◎各学科の実習病院追加について

看護学科三年課程は120人の学生を、臨床検査学科は第一臨床と第二臨床の学生の臨地実習を組んでいくに当たり、実習病院の追加申請をした。看護学科三年課程は新たに京都回生病院と京都民医連中央病院を、2019年度は十條武田リハビリテーション病院を申請する。

臨床検査学科は平成29年度に18施設を追加申請した。現在病院37施設、検査センター5施設、健診施設2施設となっている。臨床工学技士専攻科は、奈良県の天理よろづ相談所病院を追加した。

◎高等教育の修学支援制度について

2020年4月より高等教育の修学支援制度がスタートする。その対象校となるためにそれぞれの書類を作成し京都府文教課に提出した。2019年9月20日に高等教育の支援制度の対象校が文部科学省のホームページにアップされた。本校は対象校となった。それによって2020年4月入学生より入学金と授業料の減免と日本学生支援機構給付型奨学金が受けられるようになる。支援対象校となるために学校関係者評価委員会が必要となり、学校関係者評価委員会規程を作成し、選出基準に従いメンバーを選出した。

■ 京都府病院協同組合



近年は、日本各地で局地的な豪雨や洪水、非常に勢力の強い台風、震度の強い地震に猛暑日の頻発など日本各地で多くの自然災害が発生し、多くの方々が被災し、また、対応に追われる組合員施設の皆様も多かったことと存じます。このような状況下で防災意識が高まる中、ライフラインの大役を担う医療業界は、いまだ経済環境が厳しく、なかなか好転する機会が見出せない状況です。当組合の購買事業も、例外ではなく苦戦を強いられ、一進一退の状態が続いております。しかしながら、レンタル及び保険事業は好調を維持し事業全体としては概ね順調に推移しています。特に、レンタル事業については、利用施設が着実に増加し、ご利用額が1億円を超える年度もありました。これも偏に組合員各位のご支援とご協力によるものと感謝致します。今後ともより良い協同組合運営を目指して邁進してまいります。

また、2018年には創立50周年を迎え、恒例の病院協同組合まつりも約5000人の参加者を迎え、大盛況のなか無事終了いたしました。

◎ 5年間の主な動き

- 2015（平成27）年5月 医療安全講習会
於：京都府医師会館
- 10月 医療系廃棄物中間処分場・最終処分場見学会（京都私立病院協会事務長会共催）
光アスコン・大阪湾広域臨海環境整備センター
- 2016（平成28）年3月 医療安全講習会
於：京都府医師会館
- 5月 第49回通常総会開催
於：ANAクラウンプラザホテル京都
- 10月 医療系廃棄物中間処分場・最終処分場見学会（京都私立病院協会事務長会共催）
光アスコン・大阪湾広域臨海環境整備センター

2017（平成29）年 2月	医療安全講習会 於：京都ルネス病院	2019（平成31）年 1月	第1回医療安全講習会 於：京都府医師会館
5月	第50回通常総会開催 於：京都プライトンホテル	3月	第2回医療安全講習会 於：京都府医師会館
10月	医療系廃棄物中間処分場・ 最終処分場見学会（京都私 立病院協会事務長会共催） 光アスコン・大阪湾広域臨 海環境整備センター	5月	第52回通常総会開催 於：リーガロイヤルホテル 京都
12月	第1回医療安全講習会 於：京都府医師会館	（令和元）年10月	医療系廃棄物中間処分場・ 最終処分場見学会（京都私 立病院協会事務長会共催） 光アスコン・大阪湾広域臨 海環境整備センター
2018（平成30）年 3月	第2回医療安全講習会 於：京都府医師会館	11月	第1回医療安全講習会 於：京都ルネス病院
5月	第51回通常総会開催 於：京都ホテルオークラ	2020（令和2）年 2月	ケーエムケエー経営セミ ナー 於：京都府医師会館
8月	創立50周年記念事業「病院 協同組合まつり」 於：リーガロイヤルホテル 京都	3月	組合員数 132



“ゆとりある老後”と
“業界の発展”は
共通の願い！
基金加入で
『ゆとり』をプラス！

京都府病院厚生年金基金は、一般社団法人京都私立病院協会を設立母体として昭和55年11月1日に設立されました。当基金は、平成28年9月1日付で厚生労働大臣より認可をいただき、厚生年金基金制度を代行返上・確定給付企業年金制度へ移行し、京都府病院企業年金基金となりました。

当基金は、253億円の年金資産を保有し、制度移行以来、健全な財政状況を維持しております。

現在、退職後の生活を安定したものとするには、公的年金だけでなく企業年金の存在が欠かせない状況となっております。役職員一同、引き続き全力で職務を遂行すると共に、セーフティな年金資産運用により安定した基金運営を目指して参ります。

🕒 5年間の主な出来事

2015（平成27）年10月 代議員会にて、確定給付企業年金制度の総幹事受託会社を株式会社りそな銀行に決定

2016（平成28）年6月 代議員会にて、確定給付企業年金制度の規約を承認
代行返上・確定給付企業年金制度への移行を申請

9月 代行返上・確定給付企業年金制度へ移行（京都府病院企業年金基金）

第1回代議員会にて、第1期役員・代議員が決定

2017（平成29）年3月 初回の財政決算において、年金資産が256億円、別途積立金（剰余金の累計）が50億円に

2018（平成30）年9月 第6回代議員会にて、第2期役員・代議員が決定

2019（平成31）年3月 平成30年度財政決算において、年金資産が258億円、別途積立金（剰余金の累計）が61億円に

🕒 役員・代議員の改選（任期2年）

2016（平成28）年9月 第1期

理事長 清水鴻一郎（医療法人清水会）

理事長代理 富士原正人（医療法人福富士会）

2018（平成30）年9月 第2期

理事長 清水鴻一郎（医療法人清水会）

理事長代理 富士原正人（医療法人福富士会）

🕒 事業結果（2019年度末）

実施事業所数 71事業所

加入者数 16,165人
(男子 4,511人、女子 11,654人)

年金受給者数 4,537人

年金資産（時価）253億円

■ (専)京都中央看護保健大学校

一步先を歩む看護師養成施設をめざして



◎ 大学校のあゆみ

学校法人京都中央看護師養成事業団が運営する(専)京都中央看護保健大学校は、開校以来37年目を迎え、2019年(平成31年)3月までに2,287人の卒業生を送り出した。

2012年(平成24年)4月に校名を(専)京都中央看護保健大学校(以下、「大学校」という。)に変更し、2013年(平成25年)4月からは、高い実践力を持った看護師を一般社団法人京都私立病院協会(以下、「私病協」という。)加盟の各病院に送り出すことを願って、大学と同じ教育年限を4年とする看護学科と、保健の知識を持つ看護師の育成をめざす看護保健学科(統合カリキュラム)の2学科を設置し、運営している。

2015年(平成27年)3月には、大学校が看護・保健に関わる公的な教育機関であることの責務として災害発生時においても社会的貢献が必要であることから、京都市と妊産婦等福祉避難所の協定を締結した。京都市と共催した2回の設置・運用訓練においては、教員、学生が災害看護教育の一環として参加し、不測の事態に備え理解を深めた。

2018年(平成30年)2月、開校35周年、大学校として5年が経過した節目として、平澤泰介学校長の指導、監修のもと、創立35周年記念誌「三十五年のあゆみ」を発刊(前回は創立20周年記念誌)した。京都府知事、京都市長、私病協会長、京都府医師会長をはじめ、多くの医療、大学校関係者、卒業生等からのお祝いのメッセージとともに、これまでの大学校の歴史に関わる多くの資料を掲載し、足跡として後世に伝えることとした。

◎ 学生の確保

少子化により18歳人口が減少の一途という現状と大学への進学指向の高まり等もあり、年度変動があるものの大学校の入学試験受験者は減少傾向にある。

受験生の減少を少しでも食い止めるため、高等学校訪問(府内73校、近隣府県13校)、オープンキャンパス(8回)、学校説明会への参加、主要駅(近鉄京都駅、地下鉄十条駅)での看板広告、地下鉄の車両広告等を行い、4年の看護教育、充実した奨学制度に加え、近鉄、地下鉄、JR、市バスの4wayアクセスである利便性等を強調した広報活動を行っている。



講堂



図書館



東館

また、入学試験は、指定校推薦入試、公募推薦入試（社会人自己推薦を含む）等を11月から2月までの4か月間で5回実施し、受験生や高等学校等の要望やニーズを反映した工夫を行い、優秀な学生の確保に努めている。

◎ 大学校のこれから

日本の医療を取り巻く状況は変化し続けているが、看護教育も例外ではなく、京都府内の看護系大学が9校となったことにより、大学校も大きな影響を受けている。しかし、大学校が長年積み重ねてきた実績と経験を踏まえ、教育内容のさらなる向上と府内トップクラスの国家試験合格率の維持に努めるとともに、卒後継続教育の充実や卒業生との連携、離職防止の一助となるような取組等を進めている。

今後も引き続き、高い実践力を待つ卒業生を私病協加盟病院へ送り出すことが大学校の使命である。そのためには、学歴、年齢など多様化する学生に対して、日々進歩する医療、看護技術を踏まえて大学校は教育にあたらなくてはならないが、私病協加盟病院の協力もいただき、また、臨地実習施設としての提供と指導をお願いしながら、病院が期待される質の高い、地域医療を担う教育を進めるとともに、看護に係る教育研修等を実施し、情報を発信する看護職者養成施設としての機能を果たしていかなくてはならない。

◎ 5年間の主な出来事

2015年（平成27年）

3月 29期生卒業（73人）

3月 災害発生時の妊産婦等福祉避難所の協定を京都市と締結

4月 33期生入学（86人）

11月 北館空調設備の改修工事

2016年（平成28年）

1月 妊産婦等福祉避難所設置・運用訓練を京都市と共催（京都市内初開催）

3月 30期生卒業（77人）

4月 学則（休業日、入学検定料等）の変更

4月 34期生入学（88人）

9月 京都府による看護師等養成所に係る指導調査

2017年（平成29年）

3月 31期生卒業（80人）

4月 35期生入学（84人）

9月 妊産婦等福祉避難所設置・運用訓練を京都市と共催（南区防災訓練）

2018年（平成30年）

2月 創立35周年記念誌「三十五年のあゆみ」を発売

3月 第32期生卒業（72人）

4月 第36期生入学（82人）

8月 トイレ改修工事（全ての洋式化）

2019年（令和元年）

3月 33期生卒業（83人）

4月 37期生入学（84人）

9月 東館の耐震診断を開始（～令和2年3月）

年 表

年次	協会のおゆみ	医療界と社会の主なできごと
2015 (平成27)	<p>4月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府地域医療介護総合確保基金事業の各種事業を開始 ・きょうと薬剤師サポートネット(薬剤師復職支援・病院薬剤師養成)を開始 ・医師事務作業補助者の養成を開始 <p>5月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人として第2期役員体制が発足(会長清水鴻一郎) <p>6月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第50回京都病院学会を開催 ・井川一枝氏(医療法人三幸会看護アドバイザー)が精神科看護業務功労者厚生労働大臣表彰を受賞 <p>9月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清水幸夫氏(医療法人清仁会会長)が救急医療功労者厚生労働大臣表彰を受賞 ・都倉隆氏(都倉病院理事長)が産科医療功労者厚生労働大臣表彰を受賞 <p>10月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度京都府予算編成に際し、山田啓二京都府知事に要望 ・平成28年度京都市予算編成に際し、門川大作京都市長に要望 <p>11月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創立51周年記念式典を開催 ・平成28年度診療報酬改定に係る要望書を全日本病院協会会長及び日本医療法人協会会長に提出 	<p>4月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護報酬改定(▲2.27%) ・医療保険制度改革法案(持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律案)が成立 <p>6月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省が2025年に向けた介護人材にかかる需給推計(確定値)を公表 <p>8月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一定以上所得者の負担割合を1割から2割に引き上げるなど介護保険制度における費用負担が見直し <p>9月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第7次改正医療法が施行(地域医療連携推進法人制度の創設、医療法人制度の見直し等) <p>10月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3次安倍晋三第1次改造内閣が発足、塩崎恭久厚生労働大臣が留任 ・医療事故調査制度が施行 ・特定行為に係る看護師の研修制度が創設 ・一億総活躍国民会議が設置
2016 (平成28)	<p>2月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「針刺し後のHIV感染防止体制整備マニュアル(夜間・休日等)」の改定に関し、山田啓二京都府知事に要望 ・京都市域リハビリテーション協力病院支援事業等に関し、京都府健康福祉部長に意見・要望 <p>3月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡田純氏(脳神経リハビリ北大路病院理事長)が公衆衛生事業功労者一般財団法人日本公衆衛生協会会長表彰を受賞 ・抗菌薬適正使用マニュアル(2016年3月版)を発行 <p>4月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者認知症対応力向上研修事業(訪問研修)を京都市から受託実施 <p>6月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第51回京都病院学会を開催 <p>7月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーション帳票マニュアルの2016年度改訂版を発行 <p>10月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度京都府予算編成に際し、山田啓二京都府知事に要望 <p>11月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創立52周年記念式典を開催 ・平成29年度京都市予算編成に際し、門川大作京都市長に要望 <p>12月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都大学医学部附属病院iPS等臨床試験センターの設置に対し、山田啓二京都府知事に意見 	<p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国がん登録が施行 <p>4月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療報酬改定(全体▲0.84%) ・患者中出療養制度が開始 ・女性活躍推進法が施行 ・熊本地震が発生、震度7を記録、医療機関も被災 <p>8月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3次安倍第2次改造内閣が発足、塩崎恭久厚生労働大臣が留任 <p>10月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B型肝炎ワクチンが定期予防接種に導入
2017 (平成29)	<p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都いきいき働く医療機関認定制度を開始 ・水道施設維持負担金制度に関し、門川大作京都市長に要望 <p>2月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清水鴻一郎会長(京都市リハビリテーション病院理事長)が公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰を受賞 ・栄養管理帳票マニュアル(2016年度版)を発行 	

年次	協会のあゆみ	医療界と社会の主なできごと
2017 (平成29)	<p>5月 ・一般社団法人として第3期役員体制が発足（会長清水鴻一郎）</p> <p>6月 ・河端一也幹事（新河端病院理事長）がご逝去 ・第52回京都病院学会を開催</p> <p>7月 ・平成29年度近畿病院団体連合会委員会の幹事として第1回目を開催。山田啓二全国知事会会長・京都府知事が特別講演</p> <p>8月 ・平成30年度診療報酬改定に係る要望に対する意見書を全日本病院協会会長、日本医療法人協会会長に提出</p> <p>10月 ・平成30年度介護報酬改定に関する要望を厚生労働省医務技監、老健局長、老健局老人保健課長に提出 ・平成30京都府予算編成に際し、山田啓二京都府知事に要望 ・平成30年度京都市予算編成に際し、門川大作京都市長に要望</p> <p>11月 ・創立53周年記念式典を開催 ・林千鶴子氏（京都桂病院看護部長）が優良看護職員厚生労働大臣表彰を受賞</p>	<p>3月 ・改正道路交通法が施行。75歳以上の高齢者の運転免許更新時の認知機能検査を強化、認知症の恐れありの判定で医師による診断を受けること等を義務化 ・京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）が策定</p> <p>4月 ・介護報酬改定（臨時・介護人材処遇改善+1.14%）</p> <p>5月 ・介護医療院の創設、介護療養病床の廃止を2024年3月末まで延期、一定以上所得者の介護サービス利用者負担を3割に引き上げる等の改正介護保険法が成立</p> <p>8月 ・第3次安倍晋三第3次改造内閣が発足、加藤勝信厚生労働大臣が就任</p> <p>10月 ・入院時生活療養費の生活療養標準負担額の見直し</p> <p>11月 ・第4次安倍内閣が発足、加藤勝信厚生労働大臣が再任 ・厚生労働省社会保障審議会医療部会で療養病床の看護配置基準の経過措置を2024年3月末まで延長を了承</p>
2018 (平成30)	<p>2月 ・平成29年度近畿病院団体連合会委員会の幹事として第2回目を開催。医師の働き方改革に関する要望書を採択し、加藤勝信厚生労働大臣と四病院団体協議会に提出（3月） ・菅知行理事（愛生会山科病院理事長）が公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰を受賞</p> <p>4月 ・地域連携型在宅医療支援病院事業を開始</p> <p>5月 ・第6回通常総会で会員に「私立介護医療院」を加える定款変更を可決</p> <p>6月 ・第53回京都病院学会を開催</p>	<p>2月 ・厚生労働省が「医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取組」を公表</p> <p>3月 ・きょうと健やか21（第3次・2018～2023年度）が策定 ・京都府保健医療計画（2018～2023年度）が策定 ・京都府がん対策推進計画（2018～2023年度）が策定 ・京都府歯と口の健康づくり基本計画（2018～2023年度）が策定 ・京都府高齢者健康福祉計画（2018～2020年度）が策定 ・京都府障害福祉計画及び京都府障害児福祉計画（2018～2020年度）が策定 ・京都府中期的な医療費の推移に関する見通し（医療費適正化計画）（2018～2023年度）が策定 ・京都市民長寿すこやかプラン（2018～2020年度）が策定</p> <p>4月 ・診療報酬・介護報酬同時改定（診療報酬全体▲0.9%、介護報酬全体+0.54%） ・国民健康保険の財政運営の責任主体が都道府県へ</p> <p>6月 ・特定機能病院のガバナンス強化、持ち分なし医療法人への移行計画の認定制度延長、医療に関する広告規制の見直し等、第8次医療法改正が</p>

年次	協会のあゆみ	医療界と社会の主なできごと
2018 (平成30)	<p>8月 ・放射線技師部会誌（第10号）を発行</p> <p>9月 ・清水聡幹事（新京都南病院理事長・院長）が救急医療功労者厚生労働大臣表彰を受賞 ・伴千秋氏（医仁会武田総合病院産婦人科部長）が産科医療功労者厚生労働大臣表彰を受賞 ・平成30年度近畿病院団体連合会事務長会の幹事として第1回目を開催。 ・リハビリテーション帳票マニュアルの2018年度改訂版を発行</p> <p>10月 ・2019年度京都府予算編成に際し、西脇隆俊京都府知事に要望 ・2019年度京都市予算編成に際し、門川大作京都市長に要望</p> <p>11月 ・岡本豊洋元副会長（社会医療法人岡本病院（財団）会長）が叙勲（瑞宝双光章） ・創立54周年記念式典を開催</p>	<p>施行 ・時間外労働の限度時間を原則として「月45時間、年360時間」とする方針などを盛り込んだ働き方改革関連法案が可決、成立</p> <p>8月 ・一定以上所得者の介護サービス利用者負担を3割に引き上げ</p> <p>10月 ・生活保護の医療扶助における後発医薬品の使用原則化が施行 ・第4次安倍晋三第1次改造内閣が発足、根本匠厚生労働大臣が就任</p>
2019 (平成31) (令和元)	<p>2月 ・武田隆久副会長（医仁会武田総合病院理事長）が公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰を受賞</p> <p>3月 ・平成30年度近畿病院団体連合会事務長会の幹事として第2回目を開催。京都府立医科大学永守記念最先端がん治療研究センターを見学</p> <p>5月 ・一般社団法人として第4期役員体制が発足（会長清水鴻一郎）</p> <p>6月 ・第54回京都病院学会を開催</p> <p>9月 ・抗菌薬適正使用マニュアル（2019年9月版）を発行 ・創立55周年記念事業としてオーストリア・オランダ医療・介護事情視察を実施</p> <p>10月 ・清水鴻一郎会長・西脇隆俊京都府知事・柳本あまね選手（車いすバスケットボール日本代表・京都在住）による創立55周年記念座談会を開催 ・創立55周年記念事業「中学生向け次代の医療の担い手育成事業」で、映画「ありがとうの重さ～チームで守るいのちと健康～」を完成</p> <p>11月 ・映画「ありがとうの重さ～チームで守るいのちと健康～」を京都府内全中学校に寄贈 ・創立55周年記念病院対抗ボウリング大会を京都市域（11月）と北部地区（12月）で開催 ・創立55周年記念式典を開催</p> <p>12月 ・創立55周年記念事業「中学生向け次代の医療の担い手育成事業」の一環として、京都市立中京中学校への特別授業を実施</p>	<p>5月 ・「平成」から「令和」へ改元</p> <p>9月 ・第4次安倍晋三第2次改造内閣が発足、加藤勝信厚生労働大臣が再任</p> <p>10月 ・診療報酬改定（全体▲0.07%）（消費税対応分+0.88%） ・介護報酬改定（消費税対応分+0.39%） ・消費税率が8%から10%に引き上げ</p> <p>11月 ・中国湖北省武漢市で新型コロナウイルス（COVID-19）の発生が確認される</p>
2020 (令和2)	<p>1月 ・城陽市立西城陽中学校への特別授業を実施 ・京都市立九条中学校への特別授業を実施</p> <p>2月 ・富田哲也副会長（富田病院理事長）が公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰を受賞 ・宮津市立宮津中学校への特別授業を実施</p> <p>3月 ・医療安全対策マニュアル（2020年3月一部改訂版）を発行 ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うマスク等の供給に関し、西脇隆俊京都府知事、門川大作京都市長に緊急要望 ・要支援・要介護認定調査を行う訪問調査員へのマスクの提供に関し、京都市長に緊急要望 ・創立55周年記念誌を発行</p>	<p>1月 ・日本国内で新型コロナウイルスの感染者が初めて確認される</p> <p>3月 ・世界保健機関（WHO）が新型コロナウイルスのパンデミックを宣言</p>

京都私立病院協会 役員の変遷と業務分担

2015(平成27)年～2016(平成28)年度		2017(平成29)年～2018(平成30)年度	
会 長	清水鴻一郎(京都リハビリテーション病院)	会 長	清水鴻一郎(京都リハビリテーション病院)
副会長	久野成人(久野病院) 富士原正人(京都ルネス病院) 武田隆久(武田病院グループ) 富田哲也(富田病院) 岡田 純(脳神経リハビリ北大路病院) 小森直之(なぎ辻病院)	副会長	久野成人(京都久野病院) 富士原正人(京都ルネス病院) 武田隆久(武田病院グループ) 富田哲也(富田病院) 岡田 純(脳神経リハビリ北大路病院) 小森直之(なぎ辻病院)(理事～2017.5 2017.6～) 石丸庸介(田辺中央病院)(理事～2017.5 2017.6～) 藤澤明生(賀茂病院)(理事～2017.5 2017.6～)
理 事	中井洋一(京都桂病院) 畑 典男(長岡病院)(2015.6～) 石丸庸介(田辺中央病院)(幹事～2015.5 2015.6～) 藤澤明生(賀茂病院)(幹事～2015.5 2015.6～)	理 事	中井洋一(京都桂病院)(～2017.5) 畑 典男(長岡病院) 近藤泰正(堀川病院)(幹事～2017.5 2017.6～) 菅 知行(愛生会山科病院)(幹事～2017.05 2017.6～) 茨木孝二(亀岡病院)(2017.6～)
幹 事	河端一也(新河端病院) 菅 知行(愛生会山科病院) 近藤泰正(堀川病院) 清水 聡(京都南病院) 清水 聡(京都南西病院) 明石 純(明石病院)(2015.6～) 市場真澄(いわくら病院)(2015.6～) 清水史記(シミズ病院)(2015.6～) 水落美知明(第二岡本総合病院)(2015.6～)	幹 事	河端一也(新河端病院)(～2017.5) 清水 聡(京都南病院) 清水 聡(京都南西病院) 清水史記(シミズ病院) 明石 純(明石病院) 市場真澄(いわくら病院) 真鍋由美(八幡中央病院)(2017.6～) 吉川拓宏(吉川病院)(2017.6～) 水落美知明(京都岡本記念病院)(～2017.05) 仲田昌司(三菱京都病院)(2017.6～)
監 事	大槻秋司(亀岡病院) 清水 紘(嵯峨野病院) 真鍋克次郎(八幡中央病院) 高松晃司(京都成蹊法律事務所)	監 事	大槻秋司(亀岡病院) 清水 紘(嵯峨野病院) 真鍋克次郎(八幡中央病院)(～2017.05) 高松晃司(京都成蹊法律事務所)
<p>(政策委員会)清水鴻 久野 富士原 武田 富田 岡田 小森 石丸 藤澤 (渉外・交渉)清水鴻 久野 富士原 武田 (総務部)◎久野 ○武田 地区別組織/京都市域一久野 北部地区一富士原 南部地区一石丸 職種・職務別組織/事務長会一中井 水落 市場(2015.6～) 看護部長会一石丸 藤澤 薬剤師部会一畑 放射線技師部会一菅 臨床検査部会一清水聡 臨床工学技士部会一中井 栄養士部会一畑 リハビリテーション部会一岡田 河端 メディウムセンター事業運営委員会/中井 畑 水落 近畿病院団体連合会/委員会一清水鴻 久野 富士原 武田 富田 岡田 事務長会一中井 水落 市場 四病院団体協議会/武田 小森 (地域医療部)◎武田 ○富田 地域医療構想検討委員会/清水鴻 久野 富士原 武田 富田 岡田 小森 石丸 藤澤 救急医療検討委員会/武田隆 富士原 河端 菅 二次病院群輪番制/京都市域一河端 山城北一石丸 感染症対策委員会/清水聡 清水 史記 医療安全対策委員会/小森 武田 在宅療養あんしん病院登録システム/久野 富士原 府民リハビリテーション啓発支援事業検討委員会/富士原 武田 岡田 河端 病院認知症対応力向上事業/武田 富田 近藤 畑 看護人材早期復帰支援事業検討委員会/富士原 武田 明石 看護職確保プロジェクトチーム/明石 京都府医療勤務環境改善支援センター/清水鴻 石丸 清水聡 清水史 医療労務管理支援事業/清水鴻 石丸 清水聡 清水史 医療従事者勤務環境改善体制整備事業/武田 中井 医療従事者確保強化事業/明石 畑 看護職員資質向上事業(～2016.3)/石丸 藤澤 看護職員離職防止定着・確保事業(～2016.3)/石丸 藤澤 看護補助者資質向上・確保事業(～2016.3)/石丸 藤澤 在宅医療・介護人材育成事業(～2016.3)/久野 近藤 在宅医療・介護連携体制支援事業(～2016.3)/久野 近藤 病院在宅医療・介護体制強化事業(2016.4～)/久野 近藤 (保険部)◎富士原 ○久野 診療報酬委員会/富士原 中井 介護保険委員会/久野 清水聡 近藤(2015.6～) 介護サービス第三者評価事業/久野 清水聡 近藤(2015.6～) 京都市新規介護認定調査事業/久野 清水聡 近藤(2015.6～) (学術研修部)◎岡田 ○石丸 京都病院学会理事会/富士原 武田 富田 岡田 近藤 清水聡 石丸 藤澤(2015.12～) 看護卒後教育/石丸 藤澤 幹部教育(中堅幹部職員研修)/中井 市場 初級教育(教育研修基礎コース)/清水聡 菅 富士原 保健医療管理者養成講座運営委員会/岡田 清水史 医師臨床研修/武田 清水聡 (経営管理部)◎富士原 ○小森 ○藤澤 環境問題委員会/藤澤 市場 病院機能向上委員会/富士原 武田 税制・補助金/小森 武田 (厚生部)◎富田 ○岡田 京都私立病院報編集委員会/近藤 野球大会実行委員会/市場 バレーボール大会実行委員会/岡田 フットサル大会実行委員会/富田 会員親睦ゴルフコンペ/富士原 茨木</p>		<p>(政策委員会)清水鴻 久野 富士原 武田 富田 岡田 小森 石丸 藤澤 (渉外・交渉)清水鴻 久野 富士原 武田 (総務部)◎久野 ○石丸 地区別組織/京都市域一久野 北部地区一富士原 南部地区一石丸 職種・職務別組織/事務長会一茨木 市場 仲田 看護部長会一石丸 藤澤 薬剤師部会一畑 放射線技師部会一菅 臨床検査部会一清水聡 臨床工学技士部会一吉川 栄養士部会一畑 リハビリテーション部会一岡田 部会連携会議(2018.6～)一清水鴻 久野 富士原 武田 富田 岡田 小森 石丸 藤澤 メディウムセンター事業運営委員会/畑 市場 仲田 近畿病院団体連合会/委員会一清水鴻 久野 富士原 武田 富田 岡田 小森 石丸 藤澤 事務長会一茨木 市場 仲田 四病院団体協議会/武田 小森 (地域医療部)◎武田 ○富田 地域医療構想検討委員会/清水鴻 久野 富士原 武田 富田 岡田 小森 石丸 藤澤 救急医療検討委員会/武田 富士原 菅 二次病院群輪番制/京都市域一菅 山城北一石丸 感染症対策委員会/清水聡 清水史 医療安全対策委員会/小森 武田 在宅療養あんしん病院登録システム/久野 富士原 府民リハビリテーション啓発支援事業検討委員会/富士原 武田 岡田 病院認知症対応力向上事業/武田 富田 近藤 畑 看護人材早期復帰支援事業検討委員会/富士原 武田 茨木 看護職確保プロジェクトチーム/茨木 京都府医療勤務環境改善支援センター/清水鴻 石丸 清水聡 清水史 真鍋 医療労務管理支援事業/清水鴻 石丸 清水聡 清水史 真鍋 医療従事者勤務環境改善体制整備事業/武田 仲田 医療従事者確保強化事業/畑 茨木 病院在宅医療・介護体制強化事業(～2018.3)/久野 近藤 病院地域包括ケアシステム強化事業(2018.4～)/久野 近藤 地域連携型在宅医療支援病院事業(2018.4～)/武田 石丸 (保険部)◎富士原 ○久野 診療報酬委員会/富士原 仲田 介護保険委員会/久野 清水聡 近藤 茨木 介護サービス第三者評価事業/久野 清水聡 近藤 京都市新規介護認定調査事業/久野 清水聡 近藤 (学術研修部)◎岡田 ○藤澤 京都病院学会理事会/清水鴻(2018.12～) 富田 岡田 小森 石丸 藤澤 近藤 清水聡 看護卒後教育/石丸 藤澤 幹部教育(中堅幹部職員研修)/茨木 市場 初級教育(教育研修基礎コース)/清水聡 真鍋 富士原 保健医療管理者養成講座運営委員会/岡田 吉川 医師臨床研修/武田 清水聡 (経営管理部)◎富士原 ○小森 ○藤澤 環境問題委員会/藤澤 市場 明石 病院機能向上委員会/富士原 武田 税制・補助金/小森 武田 (厚生部)◎富田 ○富士原 京都私立病院報編集委員会/近藤 野球大会実行委員会/市場 バレーボール大会実行委員会/真鍋 フットサル大会実行委員会/富田 会員親睦ゴルフコンペ/富士原 茨木</p>	

2019(令和元)年度

会 長	清水鴻一郎(京都市リハビリテーション病院)
副会長	久野成人(京都久野病院) 富士原正人(京都ルネス病院) 武田隆久(武田病院グループ) 富田哲也(富田病院) 岡田 純(脳神経リハビリ北大路病院) 小森直之(なぎ辻病院) 石丸庸介(田辺中央病院) 藤澤明生(賀茂病院)
理 事	畑 典男(長岡病院) 近藤泰正(堀川病院) 菅 知行(愛生会山科病院) 茨木孝二(亀岡病院)
幹 事	清水 聡(京都南病院) 清水 聡(京都南西病院) 清水史記(シミズ病院) 明石 純(明石病院) 市場真澄(いわくら病院) 真鍋由美(八幡中央病院) 仲田昌司(三菱京都病院) 吉川拓宏(吉川病院)(~2019.5) 武田敏也(京都武田病院)(2019.6~)
監 事	大槻秋司(亀岡病院) 清水 紘(嵯峨野病院) 高松晃司(京都成蹊法律事務所)
	<p>〈政策委員会〉清水鴻 久野 富士原 武田隆 富田 岡田 小森 石丸 藤澤</p> <p>〈渉外・交渉〉清水鴻 久野 富士原 武田隆</p> <p>〈総務部〉◎武田隆 ○小森 地区別組織/京都市域—武田隆 北部地区—富士原 南部地区—石丸 職種・職務別組織/事務長会—茨木 市場 仲田 看護部長会—石丸 藤澤 薬剤師部会—畑 放射線技師部会—菅 臨床検査部会—武田敏 臨床工学技士部会—武田敏 栄養士部会—畑 リハビリテーション部会—岡田 部会連携会議—明石 茨木 メディワークセンター事業運営委員会/畑 市場 仲田 近畿病院団体連合会/委員会—清水鴻 久野 富士原 武田隆 富田 岡田 小森 石丸 藤澤 事務長会—茨木 市場 仲田 四病院団体協議会/武田隆 小森</p> <p>〈地域医療部〉◎武田隆 ○富田 地域医療構想検討委員会/清水鴻 久野 富士原 武田隆 富田 岡田 小森 石丸 藤澤 救急医療検討委員会/武田隆 富士原 清水聡 清水史 二次病院群輪番制/京都市域—清水史 山城北—石丸 感染症対策委員会/清水聡 清水史 医療安全対策委員会/小森 武田隆 医療事故調査制度/富士原 小森 在宅療養あんしん病院登録システム/久野 富士原 府民リハビリテーション啓発支援事業検討委員会 富士原 武田隆 岡田 病院認知症対応力向上事業/武田隆 富田 近藤 畑 看護人材早期復帰支援事業検討委員会/富士原 武田隆 茨木 看護職確保プロジェクトチーム/茨木 離職看護師能力再開発事業/石丸 藤澤 京都府医療勤務環境改善支援センター/清水鴻 石丸 清水聡 清水史 真鍋 医療労務管理支援事業/清水鴻 石丸 清水聡 清水史 真鍋 医療従事者キャリア向上事業/清水鴻 久野 富士原 武田隆 富田 岡田 小森 石丸 藤澤 医療従事者勤務環境改善体制整備事業/武田隆 仲田 医療従事者確保強化事業/畑 茨木 病院地域包括ケアシステム強化事業/久野 近藤 地域連携型在宅医療支援病院事業/石丸 武田隆 富士原</p> <p>〈保険部〉◎久野 ○富士原 診療報酬委員会/富士原 仲田 介護保険委員会/久野 清水聡 近藤 茨木 介護サービス第三者評価事業/久野 清水聡 近藤 京都市新規介護認定調査事業/久野 清水聡 近藤</p> <p>〈学術研修部〉◎岡田 ○石丸 京都病院学会理事会/清水鴻 岡田 小森 石丸 藤澤 近藤 清水聡 看護卒後教育/石丸 藤澤 幹部教育(中堅幹部職員研修)/茨木 市場 初級教育(教育研修基礎コース)/清水聡 真鍋 菅 富士原 保健医療管理者養成講座運営委員会/岡田 清水史 真鍋 医師臨床研修/武田隆 清水聡</p> <p>〈経営管理部〉◎藤澤 環境問題委員会/藤澤 市場 明石 病院機能向上委員会/富士原 武田隆 明石 税制・補助金/小森 武田隆 明石</p> <p>〈厚生部〉◎富士原 京都私立病院報編集委員会/近藤 野球大会実行委員会/市場 バレーボール大会実行委員会/真鍋 フットサル大会実行委員会/武田敏 会員親睦ゴルフコンペ/富士原 茨木</p>

関連諸機関・団体への推薦／派遣委員

委員会等の名称	2015(平成27年)
【京都府関係】	
京都府医療審議会・法人部会	清水鴻一郎
京都府医療審議会計画部会	—
京都府医療審議会地域医療構想策定部会	清水鴻一郎
京都府医療審議会病床機能区分検討ワーキング	—
京都市域地域医療構想調整会議	清水鴻一郎・久野成人・武田隆久
京都府医療対策協議会	清水鴻一郎
京都府医療対策協議会(山城医療圏代表)	—
京都府医療対策協議会部会医師確保ワーキングチーム	—
京都府地域医療支援センター運営会議	清水 聡
新たな専門医の仕組みに関する説明会	武田隆久
北部地域看護師確保のあり方懇談会	富士原正人
京都府北部地域看護師確保対策協議会	—
京都府看護師等確保対策推進協議会	—
京都府立看護学校あり方懇話会委員	富士原正人
京都地域包括ケア推進機構理事会	清水鴻一郎
京都地域包括ケアシステム推進プラン検討委員会	久野成人
在宅療養あんしんプロジェクト会議	久野成人・富士原正人
在宅療養あんしん病院登録システム運営委員会	—
認知症総合対策プロジェクト全体会(医療・ケア連携部会)(～2016年 サポート医連絡会)	武田隆久
京都市オレンジプラン改定検討ワーキング	—
新・京都市オレンジプラン推進ワーキング	—
2025年を見据えた看取り対策協議会	久野成人
看取り期の死亡診断・検案時における連携促進ワーキング	—
京都府高齢者サービス総合調整推進会議	久野成人
介護医療院に係る基準条例に関する意見交換会	—
多職種による在宅療養支援部会	—
京都府国民健康保険運営協議会	—
「死因究明等推進協議会」設置に係る調整会議	—
死因究明等推進協議会(仮称)設置に係る調整会議	—
京都府死因究明等推進協議会	—
京都府救急医療懇談会	武田隆久
京都府高度救急業務推進協議会	武田隆久
救急要請および在宅医療に対応した救急体制の構築に係る検討会	—
京都府周産期医療協議会	石丸庸介
京都府周産期母子医療センター全体会議	石丸庸介
京都府南部精神科救急医療システム連絡調整会議	武田隆久
京都府北部精神科救急医療システム連絡調整会議	—
精神科救急医療連携強化会議	武田隆久
京都府災害拠点病院等連絡協議会	武田隆久
京都府災害時要配慮者避難支援センター幹事会	武田隆久
京滋ドクターヘリ運航調整委員会	武田隆久
ドクターヘリ症例検討部会	—
外国人患者受入体制モデル構築事業調整会議	—
10連休の医療提供体制の把握に関する打合せ会議	—
京都府地域リハビリテーション連携推進会議	岡田 純
京都府リハビリテーション部会(総合リハビリテーション推進プラン検討会)	岡田 純
京都府リハビリテーション部会(地域リハビリテーション連携推進会議)	—
京都府リハビリテーション教育センター運営委員会	岡田 純
京都府がん対策推進協議会(2019～がん登録部会)	富士原正人
京都府がん対策推進府民会議情報提供充実対策部会	富士原正人
京都府がん医療戦略推進会議	富士原正人
京都府がん医療戦略推進会議地域連携部会	富士原正人
地域医療機関がん対応力向上システム検討会議	富士原正人
京都府肝炎対策協議会	富士原正人
京都府糖尿病重症化予防戦略会議	—
京都府新型インフルエンザ等対策専門家会議	清水 聡
京都府インフルエンザワクチン等確保検討会	清水 聡
ワクチン関係意見交換会	清水 聡
新型インフルエンザ対策協力医療機関連携会議	清水 聡
エイズ治療拠点病院等連絡会議	清水 聡
京都府蚊媒介性感染症対策連絡会議	清水 聡
京都府中東呼吸器症候群(MERS)対策連絡会議	清水 聡
京都府ワクチン等確保検討会	—
京都府難病医療連絡協議会	富田哲也
明日の京都づくり府民会議	富田哲也
きょうと地域創生府民会議	—

2016(平成28年)	2017(平成29年)	2018(平成30年)	2019(令和元年)
清水鴻一郎	清水鴻一郎	清水鴻一郎	清水鴻一郎
—	清水鴻一郎	清水鴻一郎	清水鴻一郎
清水鴻一郎	清水鴻一郎	—	—
—	—	富士原正人、武田隆久、石丸庸介	富士原正人、武田隆久、石丸庸介
清水鴻一郎・久野成人・武田隆久	清水鴻一郎・久野成人・武田隆久	清水鴻一郎・久野成人・武田隆久	清水鴻一郎・久野成人・武田隆久
清水鴻一郎	清水鴻一郎	清水鴻一郎	清水鴻一郎
—	—	—	石丸庸介
—	久野成人	久野成人	武田隆久
清水 聡	清水 聡	清水 聡	清水 聡
武田隆久	—	—	—
—	—	—	—
富士原正人	—	—	—
—	石丸庸介	石丸庸介	石丸庸介
—	—	—	—
清水鴻一郎	清水鴻一郎	清水鴻一郎	清水鴻一郎
久野成人	久野成人	久野成人	久野成人
久野成人・富士原正人	久野成人・富士原正人	久野成人・富士原正人	—
—	—	—	久野成人・富士原正人
武田隆久	武田隆久	武田隆久	武田隆久
清水 聡	清水 聡	—	—
—	—	清水 聡	清水 聡
久野成人	久野成人	久野成人	久野成人
久野成人	久野成人	久野成人	久野成人
久野成人	久野成人	久野成人	久野成人
—	—	久野成人	—
—	—	久野成人	—
—	清水鴻一郎	—	久野成人
清水 聡	—	—	清水鴻一郎
—	武田隆久	—	—
—	—	—	—
武田隆久	武田隆久	富士原正人	武田隆久
武田隆久	武田隆久	武田隆久	武田隆久
—	—	—	武田隆久
石丸庸介	石丸庸介	石丸庸介	石丸庸介
石丸庸介	石丸庸介	石丸庸介	石丸庸介
武田隆久	武田隆久	武田隆久	武田隆久
—	武田隆久	武田隆久	武田隆久
武田隆久	武田隆久	武田隆久	武田隆久
武田隆久	武田隆久	武田隆久	武田隆久
武田隆久	武田隆久	武田隆久	武田隆久
武田隆久	武田隆久	武田隆久	武田隆久
—	—	武田隆久	武田隆久
—	—	清水 聡	清水 聡
—	—	津崎桂子	—
岡田 純	岡田 純	岡田 純	岡田 純
岡田 純	—	—	—
—	岡田 純	岡田 純	岡田 純
岡田 純	岡田 純	岡田 純	岡田 純
富士原正人	富士原正人	富士原正人	富士原正人
富士原正人	富士原正人	富士原正人	富士原正人
富士原正人	富士原正人	富士原正人	富士原正人
富士原正人	富士原正人	富士原正人	富士原正人
富士原正人	富士原正人	富士原正人	富士原正人
富士原正人	富士原正人	富士原正人	富士原正人
富士原正人	富士原正人	富士原正人	富士原正人
富士原正人	富士原正人	富士原正人	富士原正人
—	藤澤明生	藤澤明生	藤澤明生
清水 聡	清水 聡	清水 聡	清水 聡
清水 聡	—	—	—
—	—	—	—
清水 聡	清水 聡	清水 聡	清水 聡
清水 聡	清水 聡	清水 聡	清水 聡
清水 聡	清水 聡	清水 聡	清水 聡
清水 聡	清水 聡	清水 聡	清水 聡
富田哲也	富田哲也	富田哲也	富田哲也
—	—	—	—
富田哲也	富田哲也	富田哲也	富田哲也

関連諸機関・団体への推薦／派遣委員

委員会等の名称	2015(平成27年)
京都府省エネ・節電対策連絡調整会議、(2017年～)健康福祉部関係団体連絡調整会議	中井洋一
下水熟民間利用促進ネットワーク会議	中井洋一
今夏の節電対策に係る健康福祉関係団体連絡調整会議	事務局
京都府在宅療養児支援体制検討委員会	石丸庸介
京都府在宅療養児支援連携事業検討委員会	—
京都府要保護児童対策地域協議会	石丸庸介
京都府要保護児童対策地域協議会情報共有体制検討ワーキンググループ	石丸庸介
京都府慢性疾患児童等地域支援協議会	—
(2017年のみ) 京都小児慢性疾患児童等地域支援協議会	—
京都少子化対策総合戦略会議	清水鴻一郎
こども・子育て緊急支援プラン検討委員会	清水鴻一郎
こども健康情報管理システムの構築に係る協議会	石丸庸介
地域での子育て支援の仕組みづくりワーキンググループ	石丸庸介
母子対策ワーキンググループ	石丸庸介
京都府少子化対策府民会議	—
京都府先天性代謝異常等検査検討委員会	石丸庸介
病児・病後児保育事業の広域利用に係る検討会	—
京都府子育て支援医療助成制度あり方検討会議	—
京都府病児・病後児保育事業検討会	—
京都府産後ケア事業の広域利用に係る検討会	—
京都府立医科大学附属北部医療センター北京都安心医療拠点整備検討委員会	清水鴻一郎
京都府立看護学校整備基本構想策定業務に係る意見聴取会議	津崎桂子
京都府ナースセンター運営会議	富士原正人
京都歯と口の健康づくり推進協議会(～2016年) 京都8020運動推進協議会	富田哲也
京都府自殺対策推進協議会	武田隆久
健康情報拠点薬局設置推進事業意見交換会	武田隆久
患者のための薬局ビジョン推進事業に係る意見交換会	—
後発医薬品安心使用促進に係る意見交換会	—
あんしん安全服薬環境基盤整備事業に係る意見交換会	—
新基金活用プロジェクト会議	武田隆久
新基金活用プロジェクトICT推進チーム	武田隆久
新基金活用プロジェクト多職種連携による研修推進チーム	久野成人
京都府地域医療介護総合確保基金事業(医療分)検討会議	—
配偶者等からの暴力に関するネットワーク京都会議(代表者会議)	石丸庸介
医療情報共有化京都モデル整備事業介護システム導入説明会	武田隆久
第4次京都府雇用創出・就業支援計画推進会議	津崎桂子
きょうと婚活支援ネットワーク会議	—
京都府婚活マスター	—
京都府就業支援・人材確保計画検討会議	—
京都府就業支援・人材確保計画推進会議	—
ステキ女子のからだメンテプロジェクト応援団体会議	津崎桂子
平成31年度京都地域包括ケア推進機構プロジェクト推進業務に係る意見聴取	—
【京都市関係】	
地方独立行政法人京都市立病院機構評価委員会	清水鴻一郎
京都市安心救急ネット京都推進会議	清水鴻一郎
京都市救急救命士に関する懇話会	武田隆久
救急要請に係る検討会	—
救急要請及び在宅医療に対応した救急体制の構築に係る検討会	—
京都市・乙訓メディカルコントロール協議会	京都市／武田隆久・菅知行 乙訓／河端一也
緊急度判定プロトコル専門部会	—
京都市急病診療所運営委員会	菅知行
京都市健康づくり協会	藤澤明生
京都市新型インフルエンザ等対策有識者会議	清水 聡
京都市HIV 感染症対策専門委員会	清水 聡
京都市中東呼吸器症候群(MERS)対策連絡会議	清水 聡
BEMS 普及コンソーシアム京都	中井洋一
健康長寿のまち・京都 市民会議準備会総会	清水鴻一郎
健康長寿のまち・京都 市民会議総会	—
京都市介護認定審査会	稲岡秀陽(京都九条)・坂田芳明(愛生会山科)・豊川茂(金井)・牧野荒太郎(愛寿会同仁)・窓場勝之(京都博愛会)

2016(平成28年)	2017(平成29年)	2018(平成30年)	2019(令和元年)
中井洋一	中井洋一(～2017年5月)	茨木孝二	茨木孝二
中井洋一	茨木孝二(6月～)	市場真澄	市場真澄
事務局	中井洋一(～2017年5月)	—	—
石丸庸介	市場真澄(6月～)	石丸庸介	石丸庸介
—	—	—	—
石丸庸介	石丸庸介	石丸庸介	石丸庸介
石丸庸介	石丸庸介	石丸庸介	石丸庸介
石丸庸介	石丸庸介	石丸庸介	石丸庸介
清水鴻一郎	清水鴻一郎	清水鴻一郎	清水鴻一郎
清水鴻一郎	—	—	—
石丸庸介	石丸庸介	—	—
石丸庸介	石丸庸介	石丸庸介	石丸庸介
石丸庸介	石丸庸介	石丸庸介	石丸庸介
石丸庸介	石丸庸介	石丸庸介	石丸庸介
—	—	石丸庸介	—
—	—	武田隆久	武田隆久
—	—	石丸庸介	石丸庸介
—	—	石丸庸介	石丸庸介
清水鴻一郎	—	石丸庸介	—
津崎桂子	—	—	—
富士原正人	—	—	—
富田哲也	富田哲也	富田哲也	富田哲也
武田隆久	武田隆久	武田隆久	武田隆久
武田隆久	武田隆久	武田隆久	武田隆久
武田隆久	武田隆久	武田隆久	武田隆久
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
—	清水鴻一郎	清水鴻一郎	清水鴻一郎
石丸庸介	石丸庸介	石丸庸介	石丸庸介
武田隆久	—	—	—
津崎桂子	—	—	—
—	石丸庸介	石丸庸介	石丸庸介
—	津崎桂子	津崎桂子	津崎桂子
—	津崎桂子	—	—
津崎桂子	津崎桂子	津崎桂子	津崎桂子
—	—	津崎桂子	津崎桂子
—	—	津崎桂子	津崎桂子
清水鴻一郎	清水鴻一郎	清水鴻一郎	清水鴻一郎
清水鴻一郎	清水鴻一郎	清水鴻一郎	清水鴻一郎
武田隆久	武田隆久	武田隆久	武田隆久
—	—	武田隆久	—
—	—	—	武田隆久
京都市／武田隆久・菅知行	京都市／武田隆久・菅知行	京都市／武田隆久・菅知行	武田隆久・清水史記
乙訓／河端一也	乙訓／河端一也(～2017年5月)	乙訓／河端博也	—
—	—	—	富士原正人
菅知行	菅知行	菅知行	菅知行
藤澤明生	藤澤明生	藤澤明生	藤澤明生
清水 聡	清水 聡	清水 聡	清水 聡
清水 聡	清水 聡	清水 聡	清水 聡
清水 聡	—	—	—
中井洋一・市場真澄	—	—	—
清水鴻一郎	—	—	—
—	富田哲也	富田哲也	—
—	—	—	富田哲也
稲岡秀陽・坂田芳明・豊川茂・牧野	稲岡秀陽・坂田芳明・豊川茂・牧野	稲岡秀陽・坂田芳明・豊川茂・牧野	稲岡秀陽・坂田芳明・豊川茂・牧野
荒太郎・窓場勝之	荒太郎・野中崇大(京都桂)	荒太郎・野中崇大	荒太郎・野中崇大・上山さゆみ(京 都リハビリテーション病院)・大島 恭子(武田病院)・岩田義信(武田病 院)・永野裕子(吉川病院)・小澤拓 也(伏見桃山総合病院)

関連諸機関・団体への推薦／派遣委員

委員会等の名称	2015(平成27年)
【京都府医師会関係】	
京都府医療推進協議会(代表者会議・実行委員)	武田隆久
救急委員会	富士原正人・武田隆久・河端一也
救急・災害委員会	—
京都府交通事故医療連絡協議会	武田隆久・河端一也
学術・生涯教育委員会	近藤泰正
京都府医療事故調査等支援団体連絡会議	—
京都府医療事故調査等支援団体連絡協議会解剖・Ai支援検討小委員会	—
京都府医療事故調査等支援団体連絡協議会院内事故調査支援小委員会	—
京都府医療事故調査等支援団体連絡協議会相談体制小委員会	—
京都府医療事故調査等支援団体連絡協議会研修小委員会	—
医療安全対策委員会	武田隆久
医療事故対策処理室(外科領域)	富士原正人
医療事故対策処理室(整形外科領域)	勝見泰和(宇治武田)
臨床研修のあり方に関する検討委員会	清水 聡
京都府臨床研修指定病院協議会	清水 聡
感染症対策委員会	清水 聡
地域ケア委員会	—
京都府リハビリテーション連絡協議会(地域連携バス運営会議・(2017年)作業部会)	岡田 純
社会保険研究委員会	岡田 純
【京都府内医療・介護・福祉関係機関】	
京都府ナースセンター運営会議	—
京都府ナースセンター事業運営委員会	—
公益社団法人京都府介護支援専門員会	久野成人
公益財団法人日本医療機能評価機構事業推進協議会	富士原正人・武田隆久
京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構理事会	久野成人
京都府国民健康保険団体連合会介護給付費審査会(医療部会)	清水 聡
(2016年～京都府国民健康保険団体連合会介護給付費等審査委員会医療部会)	清水 紘
京都府国民健康保険団体連合会介護サービス苦情処理委員会	—
きょうと介護・福祉ジョブネット幹事会	明石 純
社会を明るくする運動京都府推進委員会	富田哲也
タバコフリー京都タバコ対策部会・医療・介護連携部会	富士原正人
京都府歯科医師会地域保健推進プロジェクトチーム会議	武田隆久
医療介護ものづくり等ネットワーク会議	—
京都栄養医療専門学校教育課程編成委員	茨木孝二(亀岡)
近畿地域の医療機関における電波利用推進協議会	—
京都労働局雇用均等行政推進員	津崎桂子
第79回日本公衆衛生学会総会2020実行委員会	—
【中央病院団体関係】	
日本病院会常任理事	武田隆久
日本病院会代議員	久野成人・清水 紘
全日本病院協会理事	清水 紘
全日本病院協会京都府支部長	清水 紘
全日本病院協会京都府副支部長	久野成人・小森直之
日本医療法人協会副会長	小森直之
日本医療法人協会理事	富士原正人
日本医療法人協会京都支部長	武田隆久

2016(平成28年)	2017(平成29年)	2018(平成30年)	2019(令和元年)
武田隆久 富士原正人・武田隆久・河端一也 — 武田隆久・河端一也 近藤泰正 清水鴻一郎 富士原正人 武田隆久 久野成人 富田哲也 武田隆久 富士原正人 勝見泰和(十条武田リハビリテー ション) 清水 聡 清水 聡 清水 聡 — 岡田 純 — — — 久野成人 — 久野成人 清水 聡 久野成人 明石 純 富田哲也 富士原正人 武田隆久 — 茨木孝二 — — — 武田隆久 久野成人・清水 紘 清水 紘 清水 紘 久野成人・小森直之 小森直之 富士原正人 武田隆久	武田隆久 富士原正人・武田隆久・河端一也(～ 2017.5) — 武田隆久・河端一也(～2017.5) 近藤泰正 清水鴻一郎 富士原正人 武田隆久 久野成人 富田哲也 武田隆久 富士原正人 勝見泰和 清水 聡 清水 聡 清水 聡 — 岡田 純 — 石丸庸介 — 久野成人 — 久野成人 清水 聡 久野成人 明石 純(～2017.5)、茨木孝二 (2017.6～) 富田哲也(～2017.5)、藤澤明生 (2017.6～) 富士原正人 武田隆久 岡田 純 茨木孝二(～2017.3)、仲田昌司 (2017.8～) 茨木孝二(2017.9～) — — 武田隆久 久野成人・清水 紘 清水 紘 清水 紘 久野成人・小森直之 小森直之 富士原正人 武田隆久	武田隆久 富士原正人・武田隆久・菅 知行 — — 武田隆久 近藤泰正 清水鴻一郎 富士原正人 武田隆久 久野成人 富田哲也 武田隆久 富士原正人 勝見泰和 清水 聡 清水 聡 清水 聡 — 岡田 純 — 石丸庸介 — 久野成人 — 久野成人 清水 聡 久野成人 茨木孝二 富田哲也 富士原正人 武田隆久 — 仲田昌司 茨木孝二 — — 武田隆久 久野成人・清水 紘 清水 紘 清水 紘 久野成人・小森直之 小森直之 富士原正人 武田隆久	武田隆久 — 富士原正人、武田隆久、菅 知行(～ 2019.6)、清水史記(2019.7～) 武田隆久 近藤泰正 — 富士原正人 武田隆久 久野成人 富田哲也 武田隆久 富士原正人 勝見泰和 清水 聡 清水 聡 清水 聡 久野成人 岡田 純 — — 石丸庸介 久野成人 — 久野成人 清水 聡 久野成人 茨木孝二 富田哲也 富士原正人 武田隆久 — 茨木孝二 — — 清水鴻一郎 — 武田隆久 清水鴻一郎・久野成人 清水鴻一郎 清水鴻一郎 小森直之・石丸庸介 小森直之 富士原正人 武田隆久

各委員会委員名簿 (2015~2020)

◎=部長または委員長、○=副委員長、()内は所属する施設名

※当事者のみによる会合等は除外しました。前掲の業務分担で確認してください。

●事務長会常任委員会 (部会別)

15・16年度 ◎中井洋一(京都桂)【教育・研修部会】○山田正明(堀川) ○宝輪克博(武田病院グループ本部) 井上博志(洛和会音羽 15.6~16.5) 内尾孝経(新河端 15.6~16.6) 内田 寛(京都民医連中央 ~15.9) 岡田周一(京都きづ川) 仲田昌司(三菱京都) 廣瀬良太(洛和会丸太町 16.6~) 藤井本龍弘(桃仁会16.6~) 見野和子(久野 ~16.5) 山口政美(宇治おうばく 16.6~)【総務・企画部会】○白井秀朗(富田) ○水落美知明(第二岡本総合) 浅田 淳(長岡) 小嶋明彦(もみじヶ丘) 北庄司和之(なぎ辻) 小中宏三(洛西ニュータウン) 西海和成(京都九条) 山原麻季(薬師山 16.6~) 吉田恭博(比叡 ~16.5)【調査・研究部会】○茨木孝二(亀岡) ○市場真澄(いわくら) 荒木朝実(賀茂) 金岩孝也(京都民医連中央 16.6~) 中川正之(なごみの里) 福島伸之(ほうゆう) 林起予則(新京都南 ~16.6) 山口浩二(京都ルネス) 渡辺高志(金井 ~15.5)

17年度・18年度 ◎茨木孝二(亀岡) ◎中井洋一(京都桂 ~17.5)【教育・研修部会】○山田正明(堀川) ○宝輪克博(武田病院グループ本部) 荒井達雄(シミズ 18.6~) 小中宏三(洛西ニュータウン ~18.5) 末廣健児(田辺中央 17.6~) 西海和成(京都九条) 廣瀬良太(洛和会ヘルスケアシステム本部) 藤井本龍弘(桃仁会) 山口政美(宇治おうばく)【総務・企画部会】○白井秀朗(富田 ~18.5) ○仲田昌司(三菱京都) 浅田 淳(長岡) 池内研二(学研都市 17.6~) 小嶋明彦(もみじヶ丘) 北庄司和之(なぎ辻) 坂本裕里(相馬 18.6~) 山原麻季(薬師山)【調査・研究部会】○市場真澄(いわくら) ○福島伸之(ほうゆう ~18.5) ○中川正之(なごみの里) 荒木朝実(賀茂) 金岩孝也(京都民医連中央) 齊藤史雄(京都南) 篠田浩之(京都桂 17.6~) 古田智史(京都博愛会18.6~) 山口浩二(京都ルネス)

19年度 ◎茨木孝二(亀岡)【教育・研修部会】○山田正明(堀川) ○宝輪克博(医仁会武田総合) 荒井達雄(シミズ) 海藻 達(京都回生19.6~)

末廣健児(田辺中央) 西海和成(京都九条) 廣瀬良太(洛和会音羽) 藤井本龍弘(桃仁会) 山口政美(宇治おうばく ~19.5)【総務・企画部会】○仲田昌司(三菱京都) ○金岩孝也(京都民医連中央) 浅田 淳(長岡) 池内研二(学研都市) 小嶋明彦(もみじヶ丘) 北庄司和之(なぎ辻 ~19.5) 黒田正博(京都リハビリテーション 19.6~) 坂本裕里(相馬) 山原麻季(薬師山 ~19.5)【調査・研究部会】○市場真澄(いわくら) ○中川正之(なごみの里) 荒木朝実(賀茂 ~19.5) 齊藤史雄(京都南) 篠田浩之(京都桂) 寺田克己(京都武田19.6~) 古田智史(京都博愛会) 山口浩二(京都ルネス)

●看護部長会

15・16年度【総務委員会】◎林千鶴子(京都桂) 須川裕子(西京) 大山清美(大島) 矢田貴子(堀川) 長谷川寿子(京都博愛会) 真澄八恵子(伏見桃山総合) 南京子(新京都南)【教育委員会】◎矢田貴子(堀川) ○真澄八恵子(伏見桃山総合) ○長谷川寿子(京都博愛会) 須川裕子(西京) 海老成子(金井) 塚本美晴(宇治武田) 中島美代子(西陣) 梅村道代(日本バプテスト) 川上智子(第二岡本総合) 田中雅子(川越) 小河陽子(京都きづ川) 渡邊江身子(中央看護) 外山絹子(保健衛生)【福利厚生委員会】◎大山清美(大島) ○南 京子(新京都南) 小松美幸(医仁会武田総合~16.5) 原田聡美(京都八幡) 桐畑宏子(西山) 澤井利子(共和~15.6) 稲田祐美子(がくさい 15.6~) 松田保子(伏見岡本 16.6~) 畑田宏美(洛西ニュータウン 16.6~)

17・18年度【総務委員会】◎矢田貴子(堀川) 林千鶴子(京都桂 ~18.3) 長谷川寿子(京都博愛会) 南京子(新京都南) 塚本美晴(医仁会武田総合) 中島美代子(西陣) 原田聡美(京都八幡 17.6~17.9) 稲田祐美子(がくさい 17.11~)【教育委員会】◎長谷川寿子(京都博愛会) ○塚本美晴(医仁会武田総合) ○中島美代子(西陣) 林千鶴子(京都桂 ~18.3) 梅村道代(日本バプテスト ~18.3) 川上智子(京都岡本記念) 田中雅子(川越) 小河陽子(京都きづ川) 木村克美(蘇生会総合) 春日かほる(田辺記念) 浦野貴

子(洛西シミズ 18.4~) 山崎真奈美(西京都 18.4~) 谷口文代(京都桂 18.4~) 堤 恵子(京都南 18.5~) 阿形奈津子(中央看護) 谷本千亜紀(保健衛生) 【福利厚生委員会】◎南 京子(新京都南) ○原田聡美(京都八幡~ 17.9) ○稲田祐美子(がくさい 17.11~) 大山清美(大島) 桐畑宏子(西山) 松田保子(伏見岡本) 畑田宏美(洛西ニュータウン) 井上早苗(京都武田 17.10~)

19年度 【総務委員会】◎矢田貴子(堀川) 長谷川寿子(京都博愛会) 南京子(新京都南) 塚本美晴(医仁会武田総合) 中島美代子(西陣) 松田保子(伏見岡本) 【教育委員会】◎長谷川寿子(京都博愛会) ○塚本美晴(医仁会武田総合~ 19.5) ○中島美代子(西陣) ○小河陽子(京都きづ川) 田中雅子(川越) 木村克美(蘇生会総合~19.5) 春日かほる(田辺記念) 浦野貴子(洛西シミズ) 山崎真奈美(西京都) 谷口文代(京都桂) 堤 恵子(京都南) 上山さゆみ(京都リハビリテーション 19.4~) 福島朋樹(新河端 19.6~) 正美津恵(京都久野 19.6~) 阿形奈津子(中央看護) 谷本千亜紀(保健衛生) 【福利厚生委員会】◎南 京子(新京都南) ○松田保子(伏見岡本) 大山清美(大島~19.5) 桐畑宏子(西山) 畑田宏美(洛西ニュータウン) 井上早苗(京都武田) 高橋鈴子(相馬 19.4~) 木村克美(蘇生会総合 19.6~)

●薬剤師部会運営委員会

15・16年度 ◎友沢明德(京都九条) ○橋元誠(三菱京都) 浅野育子(京都民医連第二中央 15.6~) 伊東仁恵(蘇生会総合 15.9~) 大津山裕美子(洛和会音羽リハビリテーション 15.6~) 佐藤和生(日本パプテスト 15.9~) 白波瀬芳美(新河端) 妻谷多美代(宇治徳洲会~ 15.5) 沼田多重(西山病院) 益野秀樹(久野) 馬瀬久宜(医仁会武田) 守谷まさ子(綾部ルネス)

17・18年度 ◎友沢明德(京都九条) ○橋元誠(三菱京都) 浅野育子(京都民医連第二中央) 伊東仁恵(蘇生会総合~17.5) 大津山裕美子(洛和会ヘルスケアシステム本部) 佐藤和生(日本パプテスト) 白波瀬芳美(新河端~17.4) 中井

登代美(がくさい 18.5~) 中山太一(蘇生会総合 17.6~) 沼田多重(西山病院) 益野秀樹(京都久野) 馬瀬久宜(医仁会武田) 守谷まさ子(綾部ルネス)

19年度 ◎友沢明德(京都九条) ○橋元 誠(三菱京都) 浅野育子(京都民医連あすかい) 大津山裕美子(洛和会音羽) 佐藤和生(日本パプテスト) 中井登代美(がくさい) 中山太一(蘇生会総合) 沼田多重(西山病院) 益野秀樹(京都久野) 馬瀬久宜(医仁会武田) 守谷まさ子(綾部ルネス)

●放射線技師部会

15・16年度 ◎渡里 弘(京都九条) ○嶋 耕二(宇治徳洲会) ○小池義雄(蘇生会総合) 井上幹也(三菱京都) 岩崎和幸(十条武田リハビリテーション) 永田哲朗(新河端) 茶谷和真(田辺中央) 菊元力也(洛和会音羽) 金山靖人(京都博愛会)

17・18年度 ◎渡里 弘(京都九条) ○嶋 耕二(宇治徳洲会) ○小池義雄(蘇生会総合) 井上幹也(三菱京都) 岩崎和幸(十条武田リハビリテーション) 永田哲朗(新河端) 茶谷和真(田辺中央) 菊元力也(洛和会音羽) 金山靖人(京都博愛会~17.5) 太田和志(富田 17.6~)

19年度 ◎渡里 弘(京都九条) ○嶋 耕二(宇治徳洲会) ○小池義雄(蘇生会総合) 永田哲朗(新河端) 茶谷和真(田辺中央) 菊元力也(洛和会音羽) 太田和志(富田) 内田昌宏(三菱京都) 川越 聡(武田)

●臨床検査部会

15・16年度 ◎山口俊朗(京都民医連中央) ○西村和司(武田) ○林 雅弘(相馬) 飴本久子(京都保健衛生専門学校) 牛尾敏夫(愛生会山科) 江口光徳(宇治徳洲会 19.6~) 荻野和大(三菱京都) 小泉善厚(堀川病院) 真田佳典(京都九条~17.5)

17・18年度 ◎山口俊朗(京都民医連中央) ○西村和司(武田) ○林 雅弘(相馬~17.5) ○荻野和大(三菱京都 17.6~18.7) ○江口光徳(宇治徳洲会 18.8~) 飴本久子(京都保健衛生専門学校~17.5) 牛尾敏夫(愛生会山科~18.11)

江口光徳(～18.7) 荻野和夫(～17.5) 小澤優(京都保健衛生専門学校 17.6～) 小泉善厚(堀川病院) 深澤武志(相馬病院 17.6～) 増田哲也(愛生会山科 19.1～) 山田宣幸(三菱京都 18.9～) 19年度 ◎山口俊朗(京都民医連中央) ○西村和司(武田) ○江口光徳(宇治徳洲会) 小澤優(京都保健衛生専門学校) 小泉善厚(堀川病院 ～19.5) 下田浩史(堀川病院 19.5～) 深澤武志(相馬病院) 増田哲也(愛生会山科) 山田宣幸(三菱京都)

●臨床工学技士部会

15・16年度 ◎福山和男(京都民医連中央) ○井上 武(医仁会武田総合) 酒井徳昭(京都岡本記念) 光村 勝(西陣) 仲田昌司(三菱京都) 太田雅文(宇治徳洲会 15.6～) 神田貴庸(洛和会音羽 15.6～) 泉田洋志(京都保健衛生専門学校 15.6～)

17・18年度 ◎酒井徳昭(京都岡本記念 ～18.10) ○太田雅文(宇治徳洲会) ◎井上 武(医仁会武田総合 18.11～) 泉田洋志(京都保健衛生専門学校) 神田貴庸(洛和会音羽 ～18.7) 澤田正二(西陣病院) 藤井 耕(京都民医連第二中央) 垣谷圭佑(洛和会音羽記念 18.8～)

19年度 ◎井上 武(医仁会武田総合) ○太田雅文(宇治徳洲会) 泉田洋志(京都保健衛生専門学校) 澤田正二(西陣病院) 藤井 耕(京都民医連あすかい) 垣谷圭佑(洛和会音羽記念)

●栄養士部会運営委員会

15・16年度 ◎赤尾 志(宇治徳洲会) ○平石まつえ(向日回生) 熊田久美(なぎ辻) 佐伯美和(第一岡本) 佐々木由美(洛和会音羽) 堤仁勢(十条武田リハビリテーション ～15.5) 福島由理(宇治おうばく) 松木さなえ(嵯峨野) 森田秀之(武田 15.7～)

17・18年度 ◎赤尾 志(宇治徳洲会) ○松木さなえ(嵯峨野 ～19.1) 熊田久美(なぎ辻) 佐伯美和(伏見岡本) 佐々木由美(洛和会音羽) 平石まつえ(向日回生 ～17.5) 福島由理(宇治おうばく) 森田秀之(武田)

19年度 ◎佐伯美和(伏見岡本) ○佐々木由美(洛和会音羽) 赤尾 志(宇治徳洲会) 熊田久

美(なぎ辻) 杉本篤子(京都民医連中央 19.6～) 福島由理(宇治おうばく) 森田秀之(武田)

●リハビリテーション部会運営委員会

15・16年度 ◎大塚 晃(武田病院グループ)

○橋本幸典(京都大原記念) ○織田泰匡(田辺中央) 秋本喜英(医仁会武田) 植村健吾(シミズ) 尾谷雅章(京都きづ川) 岸本紀和(がくさい) 田後裕之(第二岡本総合) 中田千代志(堀川) 西村ひろみ(洛和会音羽) 山本佐知子(京都南)

17・18年度 ◎大塚 晃(武田病院グループ ～17.5) ◎西村ひろみ(洛和会音羽リハビリテーション 17.6～) ○織田泰匡(田辺中央) ○橋本幸典(京都大原記念 ～17.5) ○田後裕之(京都岡本記念 17.6～) 秋本喜英(医仁会武田) 荒木美奈子(京都民医連中央 18.7～) 植村健吾(シミズ ～17.5) 大嶋孝司(京都リハビリテーション 17.6～) 大塚 晃(17.6～) 尾谷雅章(京都きづ川) 岸本紀和(がくさい ～17.5) 田後裕之(～17.5) 田村 篤(洛西シミズ 17.6～) 中田千代志(堀川病院 ～17.5) 西村ひろみ(～17.5) 橋本幸典(17.6～) 山本佐知子(京都南)

19年度 ◎西村ひろみ(洛和会音羽リハビリテーション ～19.12) ◎田村 篤(洛西シミズ 20.1～) ○織田泰匡(田辺中央) ○田後裕之(京都岡本記念) 秋本喜英(医仁会武田) 荒木美奈子(京都民医連中央) 大嶋孝司(京都リハビリテーション) 大塚 晃(武田病院グループ ～19.5) 大藪誠士(洛和会丸太町) 尾谷雅章(京都きづ川) 田村 篤(～19.12) 橋本幸典(京都大原記念) 山本佐知子(京都南)

●府民リハビリテーション啓発支援事業検討委員会

15年度 富士原正人 武田隆久 岡田 純 河端一也(以上、担当副会長・幹事) 大塚 晃 織田泰匡 植村健吾 田後裕之(以上、リハビリテーション部会派遣)

16年度 富士原正人 武田隆久 岡田 純 河端一也(以上、担当副会長・幹事) 大塚 晃 織田泰匡 植村健吾 田後裕之(以上、リハビリテーション部会派遣)

17年度 富士原正人 武田隆久 岡田 純 河端

一也(～17.5)(以上、担当副会長・幹事) 西村ひろみ 織田泰匡 田後裕之 大塚 晃(以上、リハビリテーション部会派遣)

18年度 富士原正人 武田隆久 岡田 純(以上、担当副会長) 西村ひろみ 織田泰匡 田後裕之 大塚 晃(以上、リハビリテーション部会派遣)

19年度 富士原正人 武田隆久 岡田 純(以上、担当副会長) 西村ひろみ(～19.12) 田村 篤(20.1～) 織田泰匡 田後裕之 山本佐知子(以上、リハビリテーション部会派遣)

●私病報編集委員会

15・16年度 ◎近藤泰正(担当幹事) 白井秀朗 荒木朝実(以上、事務長会派遣) 中澤美知子 松本旗江(以上、看護部長会派遣)

17・18年度 ◎近藤泰正(担当理事) 白井秀朗(～18.4) 荒木朝実 藤井本達弘(18.5～)(以上、事務長会派遣) 中澤美知子 松本旗江(～17.12、18.2～)(以上、看護部長会派遣)

19年度 ◎近藤泰正(担当理事) 荒木朝実(～19.4) 藤井本達弘 浅田淳(19.5～)(以上、事務長会派遣) 中澤美知子 松本旗江(以上、看護部長会派遣)

●看護人材確保支援事業検討委員会

15・16年度 ◎富士原正人 武田隆久 明石 純(以上、担当副会長・幹事) 内田 寛(事務長会派遣 ～15.9) 山口政美(事務長会派遣 16.6～) 吉田乃里子(武田病院グループ) 井川玲子(京都大原記念) 田中誠一(医療法人三幸会) 夜久慎也(医療法人清仁会) 京都府健康福祉部医療課

17・18年度 ◎富士原正人 武田隆久 明石 純(～17.5) 茨木孝二(17.6～)(以上、担当副会長・理事・幹事) 山口政美(事務長会派遣) 吉田乃里子(武田病院グループ ～18.3) 山本美紀(武田 18.4～) 植村ひかる(田辺中央) 北村周士(医療法人三幸会) 田中和也(医療法人清仁会) 京都府健康福祉部医療課

19年度 ◎富士原正人 武田隆久 茨木孝二(以上、担当副会長・理事) 海藻 達(事務長会派遣) 植村ひかる(田辺中央) 山本美紀(武田) 北村周士(医療法人三幸会) 田中和也(医療法人清

仁会) 京都府健康福祉部医療課

●きょうと介護・福祉ジョブネット看護職確保プロジェクトチーム

15年度 明石 純(担当幹事) 中森哲二(京都府老人福祉施設協議会) 相坂利香(京都市老人福祉施設協議会) 松本よしえ(京都府介護老人保健施設協会) 廣幡頭一(京都知的障害者福祉施設協議会) 足立隆司(京都府社会福祉協議会) 安井邦子(京都府看護協会) 榎野圭太(京都府訪問看護ステーション協議会) 野々垣治幸(ハローワーク京都西陣) 京都府健康福祉部医療課 京都府健康福祉部介護・地域福祉課

16年度 明石 純(担当幹事) 中森哲二(京都府老人福祉施設協議会) 相坂利香(京都市老人福祉施設協議会) 松本よしえ(京都府介護老人保健施設協会) 廣幡頭一(京都知的障害者福祉施設協議会) 西澤直記(京都府社会福祉協議会) 安井邦子(京都府看護協会) 加藤小津恵(京都府訪問看護ステーション協議会) 高木敏樹(ハローワーク京都西陣) 京都府健康福祉部医療課 京都府健康福祉部介護・地域福祉課

17年度 茨木孝二(担当理事) 中森哲二(京都府老人福祉施設協議会) 相坂利香(京都市老人福祉施設協議会) 本城達也(京都府介護老人保健施設協会) 廣幡頭一(京都知的障害者福祉施設協議会) 西澤直記(京都府社会福祉協議会) 安井邦子(京都府看護協会) 加藤小津恵(京都府訪問看護ステーション協議会) 高木敏樹(ハローワーク京都西陣) 京都府健康福祉部医療課 京都府健康福祉部介護・地域福祉課

18年度 茨木孝二(担当理事) 中森哲二(京都府老人福祉施設協議会) 相坂利香(京都市老人福祉施設協議会) 橋本明子(京都府介護老人保健施設協会) 廣幡頭一(京都知的障害者福祉施設協議会) 小瀬泰之(京都府社会福祉協議会) 林 千鶴子(京都府看護協会) 加藤小津恵(京都府訪問看護ステーション協議会) 高木敏樹(ハローワーク京都西陣) 京都府健康福祉部医療課 京都府健康福祉部介護・地域福祉課

19年度 茨木孝二(担当理事) 松下智子(京都府老人福祉施設協議会) 吉田知壽留(京都市老

人福祉施設協議会) 小崎辰也(京都府介護老人保健施設協会) 廣幡顕一(京都知的障害者福祉施設協議会) 野々口義也(京都府社会福祉協議会) 林 千鶴子(京都府看護協会) 山本かおり(京都府訪問看護ステーション協議会) 中原理恵(ハローワーク京都西陣) 京都府健康福祉部医療課 京都府健康福祉部介護・地域福祉課

●病院認知症対応力向上事業検討委員会

15年度 委員/◎武田隆久 富田哲也 畑 典男 近藤泰正(以上、担当副会長・理事) 澤田親男(北山) 成本 迅(京都府立医科大学) 辰巳弥生(宇治おうばく) 杉森悟子(長岡) 梅原久活(宇治おうばく) 川添チエミ(嵯峨野病院居宅介護支援事業所) 保田美幸(いわくら) オブザーバー/京都地域包括ケア推進機構(京都府高齢者支援課)

16年度 委員/◎武田隆久 富田哲也 畑 典男 近藤泰正(以上、担当副会長・理事) 澤田親男(北山) 松岡照之(京都府立医科大学) 西村伊三男(川越) 西村幸秀(杉本医院からすまメンタルクリニック) 辰巳弥生(宇治おうばく) 山田亜由美(京都民医連中央) 杉森悟子(長岡) 梅原久活(宇治おうばく) 川添チエミ(嵯峨野病院居宅介護支援事業所) 保田美幸(いわくら) オブザーバー/京都地域包括ケア推進機構(京都府高齢者支援課)、京都市長寿福祉課

17年度 委員/◎武田隆久 富田哲也 畑 典男 近藤泰正(以上、担当副会長・理事) 澤田親男(北山) 松岡照之(京都府立医科大学) 西村伊三男(川越) 西村幸秀(杉本医院からすまメンタルクリニック) 辰巳弥生(宇治おうばく) 山田亜由美(京都民医連中央) 杉森悟子(長岡) 梅原久活(宇治おうばく) 川添チエミ(一般財団法人仁風会) 矢田部信行(いわくら) オブザーバー/京都地域包括ケア推進機構(京都府高齢者支援課)、京都市健康長寿のまち・京都推進室

18年度 委員/◎武田隆久 富田哲也 畑 典男 近藤泰正(以上、担当副会長・理事) 澤田親男(北山) 松岡照之(京都府立医科大学) 西村伊三男(川越) 西村幸秀(京都九条) 辰巳弥生(宇治おうばく) 山田亜由美(京都民医連中央) 山出

健博(長岡) 竹内嘉代(宇治おうばく) 川添チエミ(一般財団法人仁風会) 矢田部信行(いわくら) オブザーバー/京都地域包括ケア推進機構(京都府高齢者支援課)、京都市健康長寿のまち・京都推進室

19年度 委員/◎武田隆久 富田哲也 畑 典男 近藤泰正(以上、担当副会長・理事) 澤田親男(北山) 松岡照之(京都府立医科大学) 西村伊三男(川越) 西村幸秀(京都九条) 辰巳弥生(宇治おうばく) 山田亜由美(京都民医連中央) 山出健博(長岡) 竹内嘉代(宇治おうばく) 川添チエミ(一般財団法人仁風会) 矢田部信行(いわくら) オブザーバー/京都地域包括ケア推進機構(京都府高齢者支援課)、京都市健康長寿のまち・京都推進室

●診療報酬委員会

15・16年度 ◎富士原正人 ○中井洋一(以上、担当副会長・理事) 岡田周一 吉田恭博(~16.5) 金岩孝也(16.6~)(以上、事務長会派遣) 須川裕子(看護部長会派遣) 伊東仁恵(~16.9) 橋元 誠(16.10~)(以上、薬剤師部会派遣)

17・18年度 ◎富士原正人 ○中井洋一(~17.5) ○仲田昌司(17.6~)(以上、担当副会長・理事・幹事) 金岩孝也 岡田周一(~17.5) 篠田浩之(17.6~)(以上、事務長会派遣) 須川裕子(~18.5) 福島朋樹(18.6~)(以上、看護部長会派遣) 橋元 誠(薬剤師部会派遣)

19年度 ◎富士原正人 ○仲田昌司(以上、担当副会長・幹事) 篠田浩之 金岩孝也(~19.5) 寺田克己(19.6~)(以上、事務長会派遣) 福島朋樹(看護部長会派遣) 橋元 誠(薬剤師部会派遣)

●介護保険委員会

15・16年度 ◎久野成人 ○近藤泰正(15.6~) ○清水聰(以上、担当副会長・理事・幹事) 茨木孝二 中川正之(以上、事務長会派遣) 石田満(愛寿会同仁~15.11) 長谷川寿子 門 真由美(以上、看護部長会派遣) 川添チエミ(嵯峨野病院居宅介護支援事業所) 木下大作(長岡) 松本恵生(京都市岩倉地域包括支援センター) 湯浅由美(西陣) 澤井八千代(第二久野~15.5)

長谷川智恵子 (第二久野 15.6~) オブザーバー
／京都府 京都市 京都府医師会 清水 紘 (嵯
峨野)

17・18年度 ◎久野成人 ○近藤泰正 ○清水聰
茨木孝二 (以上、担当副会長・理事・幹事) 中
川正之 齊藤史雄 (~17.6) (以上、事務長会派遣)
長谷川寿子 門 真由美 (以上、看護部長会派遣)
川添チエミ (一般財団法人仁風会) 木下大作 (長
岡) 松本恵生 (京都市岩倉地域包括支援センタ
ー) 湯浅由美 (西陣) 長谷川智恵子 (京都久野)
オブザーバー／京都府 京都市 京都府医師会
清水 紘 (嵯峨野)

19年度 ◎久野成人 ○近藤泰正 ○清水聰 茨
木孝二 (以上、担当副会長・理事・幹事) 中川
正之 齊藤史雄 長谷川寿子 門 真由美 (以上、
看護部長会派遣) 川添チエミ (一般財団法人仁
風会) 木下大作 (長岡) 松本恵生 (京都市岩倉
地域包括支援センター) 湯浅由美 (西陣) 長
谷川智恵子 (京都久野) オブザーバー／京都府
京都市 京都府医師会 清水 紘 (嵯峨野)

●介護サービス第三者評価

評価調査者／阿南幸子 (医療法人清水会居宅介護
支援事業所) 泉 佐和 (田辺中央) 五十棲吉之
(亀岡シミズ) 磯部眞理子 (公益社団法人信和会)
稲岡秀陽 (医療法人同仁会) 岩澤京子 (嵯峨野病
院居宅介護支援事業所) 檜原 良 川添チエミ
(訪問介護事業所さかの) 岸 純子 (オレンジデ
イサービスセンターヴィラ鳳凰) 北 昌城 (介
護老人保健施設桃山) 小崎未貴 (田辺中央) 兒
玉邦子 (服部医院) 小寺 勝 (京都認知症総合
センター) 小中宏三 (洛西シミズ) 古矢野弘久
(介護老人保健施設やすらぎ苑) 柴田節子 高月
孝之 (久御山南) 瀧本稚子 (千春会介護複合施
設東向日) 竹田ひろ子 (特別養護老人ホームや
すらぎの杜) 坪田美也子 (介護老人保健施設西
の京) 永野裕子 (吉川) 野原陽子 (居宅介護支
援事業所よりそい) 長谷川寿子 (京都博愛会)
濱頭香里 (京都南) 福井良太 (グループホーム
ヴィラ鳳凰) 藤居一洋 (丹後中央) 藤原啓行 (グ
ループホーム鳳凰檜島) 星 綾子 (総合ケアス
テーションわかば) 増田 典 松本恵生 (京都

市内岩倉地域包括支援センター) 松本みちる (木
津屋橋武田) 村上喜美恵 (宇治) 夜久 慎也
山岡由佳 (特別養護老人ホームヴィラ鳳凰) 山崎
諭 (三条小川デイサービスセンター) 山下史子
(特別養護老人ホームヴィラ鳳凰) 評価審査委員
／中野かつら (特別養護老人ホームサンフラワー
ガーデン) 渡邊善次 (特別養護老人ホーム加茂
の里)

●地域医療構想検討委員会

15~19年度 ◎清水鴻一郎 久野成人 富士原正
人 武田隆久 富田哲也 岡田 純 小森直之
石丸庸介 藤澤明生

●救急医療検討委員会

15・16年度 ◎武田隆久 ○富士原正人 河端一
也 菅 知行 (以上、担当副会長・幹事) 安田
冬彦 (洛和会音羽) 小中宏三 西海和成 (以上、
事務長会派遣) 南 京子 大山清美 (以上、看
護部長会派遣)

17・18年度 ◎武田隆久 ○富士原正人 河端一
也 菅 知行 (以上、担当副会長・理事・幹事)
安田冬彦 (洛和会音羽) 西海和成 末廣健児 (以
上、事務長会派遣) 南 京子 大山清美 (以上、
看護部長会派遣)

19年度 ◎武田隆久 ○富士原正人 清水 聡
清水史記 (以上、担当副会長・幹事) 安田冬彦 (洛
和会音羽) 西海和成 末廣健児 (以上、事務長
会派遣) 南 京子 大山清美 (以上、看護部長
会派遣)

●感染症対策委員会

15・16年度 ◎清水 聡 ○清水史記 (15.6~) (以
上、担当幹事) 土井章一 (京都桂) 甲斐純子 (蘇
生会総合)、出雲幸美 (~16.6) 村田つる代 (16.7~)
真澄八恵子 (以上、看護部長会派遣) 黒田久子 (臨
床検査部会派遣)

17・18年度 ◎清水 聡 ○清水史記 (以上、担
当幹事) 土井章一 (京都桂 ~17.3) 山田 豊
(京都民医連中央 17.4~) 甲斐純子 (蘇生会総合
~17.3) 村田つる代 永野裕子 (以上、看護部
長会派遣) 深澤武志 (臨床検査部会派遣) 植村
陽子 (三菱京都)

19年度 ◎清水 聡 ○清水史記 (以上、担当幹

事) 山田 豊 (京都民医連中央) 浅野育子 (薬剤師部会派遣) 永野裕子 谷口文代 (以上、看護部長会派遣) 深澤武志 (臨床検査部会派遣) 植村陽子 (三菱京都)

●医療安全対策委員会

15・16年度 ◎小森直之 武田隆久 (以上、担当理事・副会長) 林起予則 (~16.6) 仲田昌司 齋藤忠雄 (16.10~) (以上、事務長会派遣) 川上智子 (以上、看護部長会派遣) 益野秀樹 (以上、薬剤師部会派遣) 渡里 弘 (以上、放射線技師部会派遣) 牛尾敏夫 (以上、臨床検査部会派遣) 植村健吾 (以上、リハビリテーション部会派遣) 佐伯美和 (以上、栄養士部会派遣) 光村勝也 (以上、臨床工学技士部会派遣)

17・18年度 ◎小森直之 武田隆久 (以上、担当副会長) 小中宏三 (~18.4) 池内研二 坂本裕里 (18.5~) (以上、事務長会派遣) 川上智子 (以上、看護部長会派遣) 益野秀樹 (以上、薬剤師部会派遣) 渡里 弘 (以上、放射線技師部会派遣) 牛尾敏夫 (~18.11) 増田哲也 (18.12~) (以上、臨床検査部会派遣) 尾谷雅章 (以上、リハビリテーション部会派遣) 佐伯美和 (以上、栄養士部会派遣) 藤井 耕 (以上、臨床工学技士部会派遣)

19年度 ◎小森直之 武田隆久 (以上、担当副会長) 坂本裕里 黒田正博 (以上、事務長会派遣) 坂田 薫 (以上、看護部長会派遣) 益野秀樹 (以上、薬剤師部会派遣) 渡里 弘 (以上、放射線技師部会派遣) 増田哲也 (以上、臨床検査部会派遣) 尾谷雅章 (以上、リハビリテーション部会派遣) 赤尾 志 (以上、栄養士部会派遣) 藤井 耕 (以上、臨床工学技士部会派遣)

●保健医療管理者養成講座運営委員会

15・16年度 ◎岡田 純 (脳神経リハビリ北大路) 清水史記 (シミズ) 浅田 淳 (~15.5) 西海和成 (~15.5) 北庄司一之 (15.6~) (以上、事務長会派遣) 西岡和子 (~15.5) 木村克美 (15.6~) (以上、看護部長会派遣) 今井隆久 山田剛 (以上、保健医療管理士会) 佐藤眞喜子 (京都保健衛生専門学校事務局長) 津崎桂子 (京都私立病院協会事務局長)

17・18年度 ◎岡田 純 (脳神経リハビリ北大路) 吉川拓宏 (吉川) 北庄司一之 (以上、事務長会派遣) 木村克美 (以上、看護部長会派遣) 今井隆久 山田剛 (以上、保健医療管理士会) 佐藤眞喜子 (京都保健衛生専門学校事務局長) 津崎桂子 (京都私立病院協会事務局長)

19年度 ◎岡田 純 (脳神経リハビリ北大路) 清水史記 (シミズ) 真鍋由美 (八幡中央) 北庄司一之 (~19.5) 池内研二 (19.6~) (以上、事務長会派遣) 木村克美 (以上、看護部長会派遣) 今井隆久 山田剛 (以上、保健医療管理士会) 佐藤眞喜子 (京都保健衛生専門学校事務局長) 津崎桂子 (京都私立病院協会事務局長)

●京都病院学会

第50回 (2015年) 【学会長】中嶋俊彰 (済生会京都府) 【副学会長】三木真司 (三菱京都) 武田隆久 (医仁会武田総合) 【実行委員長】依田建吾 (京都第一赤十字) 【副実行委員】富田哲也 (富田) 【理事】山下俊幸 (京都府立洛南) 日下部虎夫 (京都第二赤十字) 辰巳哲也 (京都中部総合医療) 岡田 純 (脳神経リハビリ北大路) 岡本豊洋 (京都岡本記念 ~15.5) 石丸庸介 (田辺中央) 近藤泰正 (堀川) 清水 聡 (京都南) 【監事】野口雅滋 (京都桂) 富士原正人 (京都ルネス) 【実行委員】西畑慎二 (済生会京都府) 三輪篤志 (武田) 林 千鶴子 (京都桂) 川上智子 (京都岡本記念) 真壁五月 (済生会京都府) 小野典子 (三菱京都) 小林啓治 (武田病院グループ) 中西昭人 (愛寿会同仁) 藤崎 智 (京都民医連中央) 明石有加 (洛和会音羽記念) 清水英都子 (武田) 新井 喬 (宇治徳洲会) 依岡 徹 (京都市身体障害者リハビリテーション) 岡島規至 (京都桂) 岸本紀和 (がくさい) 外山絹子 (京都保健衛生専門学校) 多田俊介 (京都中央看護専門学校) 池田 恵 (京都中央看護保健大学校)

第51回 (2016年) 【学会長】武田隆久 (医仁会武田総合) 【副学会長】富田哲也 (富田) 三木真司 (三菱京都) 【実行委員長】岡田 純 (脳神経リハビリ北大路) 【副実行委員】辰巳哲也 (京都中部総合医療) 【理事】石丸庸介 (田辺中央) 藤澤明生 (賀茂) 近藤泰正 (堀川) 清水 聡 (京

都南) 山下俊幸(京都府立洛南) 香川恵造(市立福知山市民) 森本泰介(京都市立) 宮野前健(南京都) 【監事】富士原正人(京都ルネス) 中村直登(済生会京都府) 【実行委員】小林啓治(武田病院グループ) 荻野和大(三菱京都) 川上智子(京都岡本記念) 南 京子(新京都南) 小野典子(三菱京都) 桑迫直子(京都中部総合医療) 岩田義信(武田病院グループ) 重元萌子(京都通信) 井上和子(京都桂) 椋田祐二(洛和会丸太町) 園田和子(医仁会武田総合) 新井喬(宇治徳洲会) 中本隆幸(京都きづ川) 田中正子(京都府リハビリテーション支援センター) 西田奈都美(京都市児童福祉センター) 外山絹子(京都保健衛生専門学校) 多田俊介(京都中央看護専門学校) 齋間博子(京都中央看護保健大学校)

第52回(2017年)【学会長】三木真司(三菱京都) 【副学会長】森本泰介(京都市立) 富田哲也(富田) 【実行委員長】辰巳哲也(京都中部総合医療) 【副実行委員】藤澤明生(賀茂) 【理事】香川恵造(市立福知山市民) 宮野前 健(南京都) 山下俊幸(京都府立洛南) 石丸庸介(田辺中央) 岡田 純(脳神経リハビリ北大路) 小森直之(なぎ辻) 近藤泰正(堀川) 清水 聡(京都南) 【監事】中村直登(済生会京都府) 武田隆久(医仁会武田総合) 【実行委員】荻野和大(三菱京都) 伴 卓浩(富田) 川上智子(京都岡本記念) 小野典子(三菱京都) 桑迫直子(京都中部総合医療) 南 京子(新京都南) 小河陽子(京都きづ川) 小林啓治(武田病院グループ) 表 忍(三菱京都) 西村和司(武田) 沢原友美(三菱京都) 四方達二(京都南) 新井 喬(宇治徳洲会) 中本隆幸(京都きづ川) 田中正子(京都府リハビリテーション支援センター) 久保陽介(京都桂) 池田美晶(京都保健衛生専門学校) 中前雅美(京都中央看護専門学校) 小山 淳(京都中央看護保健大学校)

第53回(2018年)【学会長】富田哲也(富田) 【副学会長】岡田 純(脳神経リハビリ北大路) 辰巳哲也(京都中部総合医療) 【実行委員長】藤澤明生(賀茂) 【副実行委員】山下俊幸(京都府立

洛南) 【理事】小森直之(なぎ辻) 石丸庸介(田辺中央) 近藤泰正(堀川) 清水 聡(京都南) 池田栄人(京都第一赤十字) 小林 裕(京都第二赤十字) 若園吉裕(京都桂) 尼川龍一(日本バプテスト) 【監事】武田隆久(医仁会武田総合) 宮野前 健(南京都) 【実行委員】伴 卓浩(富田) 山口紀幸(京都中部総合医療) 小河陽子(京都きづ川) 門 真由美(京都回生) 桑迫直子(京都中部総合医療) 松尾孝子(京都府立洛南) 村田淑子(富田) 伴 具也(洛和会音羽) 佐藤晴久(洛和会東寺南) 太田雅文(宇治徳洲会) 四方達二(京都南) 新井 喬(宇治徳洲会) 中本隆幸(京都きづ川) 梅原久活(宇治おうばく) 久保陽介(京都桂) 内田洋子(京都保健衛生専門学校) 中前雅美(京都中央看護専門学校) 松田真帆(京都中央看護保健大学校)

第54回(2019年)【学会長】辰巳哲也(京都中部総合医療) 【副学会長】山下俊幸(京都府立洛南) 清水鴻一郎(京都リハビリテーション) 【実行委員長】池田栄人(京都第一赤十字) 【副実行委員】藤澤明生(賀茂) 【理事】若園吉裕(京都桂) 尼川龍一(日本バプテスト) 島崎千尋(京都鞍馬口医療) 岡田 純(脳神経リハビリ北大路) 小森直之(なぎ辻) 石丸庸介(田辺中央) 近藤泰正(堀川) 清水 聡(京都南) 【監事】小林裕(京都第二赤十字) 富田哲也(富田) 【実行委員】野中 平(京都中部総合医療) 外川敬介(京都リハビリテーション) 川勝智子(京都中部総合医療) 田中由美子(京都第一赤十字) 南 京子(新京都南) 植村ひかる(田辺中央) 平井久美子(京都中部総合医療) 濱名麻衣子(京都市民医連あすかい) 増田哲也(愛生会山科) 太田雅文(宇治徳洲会) 四方達二(京都南) 新井 喬(宇治徳洲会) 井上直人(京都医療) 梅原久活(宇治おうばく) 岸本紀和(十条武田リハビリテーション) 大井ゆかり(京都保健衛生専門学校) 小西靖志(京都中央看護専門学校) 上山みゆき(京都中央看護保健大学校)

●環境問題委員会

15・16年度 ◎藤澤明生 市場真澄(以上、担当副会長・幹事) 内尾孝経(~16.6) 藤井本龍弘

(16.6~)(以上、事務長会派遣) 高橋鈴子 矢田貴子(以上、看護部長会派遣) 茶谷和真(放射線技師部会派遣) 西村和司(臨床検査部会派遣) 平石まつえ(栄養士部会派遣)

17・18年度 ◎藤澤明生 明石 純(17.6~) 市場真澄(以上、担当副会長・幹事) 藤井本龍弘(~18.5) 山原麻季(18.6~)(以上、事務長会派遣) 高橋鈴子 矢田貴子(以上、看護部長会派遣) 茶谷和真(放射線技師部会派遣) 江口光徳(18.8~)(臨床検査部会派遣) 熊田久美(17.6~)(栄養士部会派遣)

19年度 ◎藤澤明生 明石 純 市場真澄(以上、担当副会長・幹事) 金岩孝也(19.6~)(事務長会派遣) 高橋鈴子 矢田貴子(以上、看護部長会派遣) 茶谷和真(放射線技師部会派遣) 江口光徳(臨床検査部会派遣) 福島由理(19.6~)(栄養士部会派遣)

●病院機能向上委員会

15・16年度 富士原正人 武田隆久(以上、担当副会長) 浅田 淳 井上博志(~16.5) 廣瀬良太(16.6~)(以上、事務長会派遣) 水嶋由紀(武田病院グループ) 齋藤文代(宇治徳洲会)(以上、看護部長会派遣)

17・18年度 富士原正人 武田隆久(以上、担当副会長) 浅田 淳 廣瀬良太(以上、事務長会派遣) 齋藤文代(宇治徳洲会) 山本薫里(武田病院グループ)(以上、看護部長会派遣)

19年度 富士原正人 武田隆久(以上、担当副会長) 廣瀬良太(事務長会派遣) 齋藤文代(宇治徳洲会) 山本薫里(武田病院グループ)(以上、看護部長会派遣)

●医療従事者確保強化事業検討委員会

15・16年度 ◎畑 典男 明石 純(以上、担当理事・幹事) 浅野育子 大津山裕美子 佐藤和生 沼田多重(以上、薬剤師部会派遣)

17・18年度 ◎畑 典男 茨木孝二(以上、担当理事) 浅野育子 大津山裕美子 佐藤和生 沼田多重(以上、薬剤師部会派遣)

19年度 ◎畑 典男 茨木孝二(以上、担当理事) 浅野育子 大津山裕美子 佐藤和生 沼田多重(以上、薬剤師部会派遣)

●京都府医療勤務環境改善支援センター運営委員会 (*はオブザーバー)

15年度 清水鴻一郎 石丸庸介 清水 聡 清水史記(以上、担当会長・副会長・幹事) 山田正明 福島伸之(以上、事務長会派遣) 小野典子 高橋鈴子(以上、看護部長会派遣) 馬瀬久宜(薬剤師部会派遣) 滋岡嘉弘(勤務環境改善推進員) 山本 博(京都府健康福祉部医療課副課長)* 松尾治樹(京都府健康福祉部医療課副主査)*

16年度 清水鴻一郎 石丸庸介 清水 聡 清水史記(以上、担当会長・副会長・幹事) 山田正明 福島伸之(以上、事務長会派遣) 小野典子 高橋鈴子(以上、看護部長会派遣) 馬瀬久宜(薬剤師部会派遣) 滋岡嘉弘(勤務環境改善推進員) 山本 博(京都府健康福祉部医療課副課長)* 松尾治樹(京都府健康福祉部医療課副主査)* 高江洲洋子(京都労働局雇用環境・均等室雇用環境改善・均等推進指導官)*

17年度 清水鴻一郎 石丸庸介 清水 聡 清水史記 真鍋由美(17.6~)(以上、担当会長・副会長・幹事) 山田正明 福島伸之(以上、事務長会派遣) 小野典子 高橋鈴子(以上、看護部長会派遣) 馬瀬久宜(薬剤師部会派遣) 滋岡嘉弘(勤務環境改善推進員) 松尾治樹(京都府健康福祉部医療課副課長)* 山口さやか(京都府健康福祉部医療課副主査)* 高江洲洋子(京都労働局雇用環境・均等室雇用環境改善・均等推進指導官)*

18年度 清水鴻一郎 石丸庸介 清水 聡 清水史記 真鍋由美(以上、担当会長・副会長・幹事) 山田正明 福島伸之(~18.5) 古田智史(18.6~)(以上、事務長会派遣) 小野典子(~18.5) 高橋鈴子 寺才元泰代(18.6~)(以上、看護部長会派遣) 馬瀬久宜(薬剤師部会派遣) 滋岡嘉弘(勤務環境改善推進員) 松尾治樹(京都府健康福祉部医療課副課長)* 藤川いづみ(京都府健康福祉部医療課主査)* 山中広嗣(京都労働局雇用環境・均等室室長補佐)*

19年度 清水鴻一郎 石丸庸介 清水 聡 清水史典 真鍋由美(以上、担当会長・副会長・幹事) 山田正明 古田智史(以上、事務長会派遣) 高

橋鈴子 寺才元泰代 (以上、看護部長会派遣)
馬瀬久宜 (薬剤師部会派遣) 滋岡嘉弘 (勤務環境改善推進員) 松尾治樹 (京都府健康福祉部医療課主幹兼係長) * 緒林侑祐 (京都府健康福祉部医療課副主査) * 山中広嗣 (京都労働局雇用環境・均等室室長補佐) *

●医師事務作業補助者研修検討委員会 (*は運営協力委員)

15年度 武田隆久 (担当副会長) 須貝和則 (国立国際医療研究センター診療情報管理室室長) 大槻憲吾 (相澤病院がん集中治療センターがん登録・統計調査課課長) 佐合茂樹 (木沢記念病院事務長) 高橋勇二 (浜松市リハビリテーション病院副院長) 中山和則 (筑波メディカルセンター病院事務部長) 横堀由喜子 (日本病院会学術部通信教育課部長) * 西川幸一 (日本病院会学術部通信教育課主査) * 星野匡賢 (日本病院会学術部通信教育課主査) * 金原龍太郎 (日本病院会学術部通信教育課) *

●医師事務作業補助者研修運営委員会

15年度 中井洋一 水落美知明 (以上、担当理事・幹事) 宝輪克博 井上博志 仲田昌司 福島伸之 (以上、事務長会派遣)

16年度 中井洋一 水落美知明 (以上、担当理事・幹事) 宝輪克博 仲田昌司 福島伸之 (以上、事務長会派遣)

17年度 武田隆久 (17.6~) 中井洋一 (~17.5) 水落美知明 (~17.5) 仲田昌司 (17.6~) (以上、担当副会長・理事・幹事) 宝輪克博 福島伸之 廣瀬良太 (17.6~) 西海和成 (17.6~) (以上、事務長会派遣)

18年度 武田隆久 仲田昌司 (以上、担当副会長・幹事) 宝輪克博 福島伸之 (~18.5) 廣瀬良太 西海和成 荒井達雄 (18.6~) (以上、事務長会派遣)

19年度 武田隆久 仲田昌司 (以上、担当副会長・幹事) 宝輪克博 廣瀬良太 西海和成 荒井達雄 (以上、事務長会派遣)

●病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員会 (在宅医療・介護連携体制支援事業、在宅医療・介護人材育成事業、病院在宅医療・介護体制強化

事業検討委員会を含む)

15年度 ※在宅医療・介護連携体制支援事業及び在宅医療・介護人材育成事業検討委員会 委員/◎久野成人 近藤泰正 (以上、担当副会長・理事) 川添チエミ (嵯峨野) 甲田由美子 (京都民医連中央) 勝尾一史 (西陣) 松本恵生 (京都市岩倉地域包括支援センター) 日沖義治 (京都博愛会) 竹内千裕 (久野) 山本正美 (第二岡本総合)

16年度 ※病院在宅医療・介護体制強化事業検討委員会 委員/◎久野成人 近藤泰正 (以上、担当副会長・理事) 川添チエミ (一般財団法人仁風会) 甲田由美子 (京都民医連中央) 勝尾一史 (西陣) 松本恵生 (京都市岩倉地域包括支援センター) 日沖義治 (京都博愛会) 山本正美 (京都岡本記念) 宮田宜典 (久野) 大島恭子 (武田)

17年度 ※病院在宅医療・介護体制強化事業検討委員会 委員/◎久野成人 近藤泰正 (以上、担当副会長・理事) 川添チエミ (一般財団法人仁風会) 甲田由美子 (京都民医連中央) 勝尾一史 (京都岡本記念) 松本恵生 (京都市岩倉地域包括支援センター) 日沖義治 (京都博愛会) 大島恭子 (武田) 矢田部信行 (いわくら) 長尾和人 (京都久野)

18年度 委員/◎久野成人 近藤泰正 (以上、担当副会長・理事) 川添チエミ (嵯峨野病院居宅介護支援事業所) 甲田由美子 (京都民医連中央) 勝尾一史 (京都岡本記念) 松本恵生 (京都市岩倉地域包括支援センター) 日沖義治 (京都博愛会) 大島恭子 (武田) 矢田部信行 (いわくら) 長尾和人 (京都久野)

19年度 委員/◎久野成人 近藤泰正 (以上、担当副会長・理事) 川添チエミ (嵯峨野病院居宅介護支援事業所) 甲田由美子 (京都民医連中央) 勝尾一史 (京都岡本記念) 松本恵生 (京都市岩倉地域包括支援センター) 日沖義治 (京都博愛会) 大島恭子 (武田) 矢田部信行 (いわくら) 柴田拓哉 (京都久野)

●病院対抗野球大会実行委員会

15年度 ◎北本雄大 (洛和会音羽記念) ○加茂有紀浩 (いわくら) 柳澤紀明 (三菱京都) 辻野敏則 (京都南) 福武弘之 (京都桂) 小越一則 (京

各委員会委員名簿 (2015~2020)

◎=部長または委員長、○=副委員長、()内は所属する施設名

都九条)

16年度 ◎加茂有紀浩(いわくら) ○三好彰久(京都きづ川) 北本雄大(洛和会音羽記念) 松下和彦(医仁会武田総合) 江口光徳(宇治徳洲会) 湯浅範之(長岡)

17年度 ◎江口光徳(宇治徳洲会) ○加茂有紀浩(いわくら) 三好彰久(京都きづ川) 北本雄大(洛和会音羽記念) 松下和彦(医仁会武田総合) 湯浅範之(長岡)

18年度 ◎松下和彦(医仁会武田総合) ○小峠貴也(京都岡本記念) 江口光徳(宇治徳洲会) 加茂有紀浩(いわくら) 北本雄大(洛和会音羽記念) 湯浅範之(長岡)

19年度 ◎西野優也(京都岡本記念) ○加茂有紀浩(いわくら) 松下和彦(医仁会武田総合) 江口光徳(宇治徳洲会) 北本雄大(洛和会音羽記念) 湯浅範之(長岡)

●病院対抗バレーボール大会(旧・病院対抗女子バレーボール大会) 実行委員会

15年度 ◎鶴ノ口友紀(宇治武田) 木村恭子(京都下鴨) 江川大地(京都大原記念) 岡田英子(医仁会武田総合) 松下 翔(京都きづ川)

16年度 ◎松下 翔(京都きづ川) 木村恭子(京都下鴨) 江川大地(京都大原記念) 岡田英子(医仁会武田総合) 鶴ノ口友紀(宇治武田)

17年度 ◎安東寧浩(宇治徳洲会) 江川大地(京都大原記念) 岡田英子(医仁会武田総合) 松下翔(京都きづ川) 田中久美子(洛和会音羽)

18年度 ◎田中久美子(洛和会音羽) 江川大地(京都大原記念) 安東寧浩(宇治徳洲会) 岡田英子(医仁会武田総合) 松下 翔(京都きづ川)

19年度 ◎吉岡喜代美(京都武田) 江川大地(京都大原記念) 安東寧浩(宇治徳洲会) 岡田英子(医仁会武田総合) 塩谷智子(新河端)

●病院対抗フットサル大会実行委員会

15年度 ◎松浦健太郎(京都回生) 中林俊晴(西陣) 大木達雄(医仁会武田総合) 井口 聡(蘇生会総合)

16年度 ◎大木達雄(武田病院グループ) 中林俊晴(西陣) 松浦健太郎(京都回生) 篠田康輔(蘇生会総合)

17年度 ◎大木達雄(武田病院グループ) 中林俊晴(西陣) 篠田康輔(蘇生会総合) 鷺見俊亮(京都回生) 永島敬記(京都岡本記念)

18年度 ◎永島敬記(京都岡本記念) 大木達雄(武田病院グループ) 中林俊晴(西陣) 鷺見俊亮(京都回生) 渡辺皐太(蘇生会総合)

19年度 ◎柏原 謙(京都桂) 大木達雄(武田病院グループ) 中林俊晴(西陣) 鷺見俊亮(京都回生) 渡辺皐太(蘇生会総合)

●会員親睦ゴルフコンペ実行委員会

15年度 ◎富士原正人(以上、担当副会長) 茨木孝二 宝輪克博 山田正明(以上、事務長会派遣)

16年度 ◎富士原正人 茨木孝二 宝輪克博 山田正明 村上 衛(京都府病院協同組合)

17年度 ◎富士原正人 茨木孝二(担当理事) 宝輪克博 山田正明 村上 衛

18年度 ◎富士原正人 茨木孝二 宝輪克博 山田正明 村上 衛

19年度 ◎富士原正人 茨木孝二 山田正明 村上 衛

京都私立病院協会・創立55周年記念誌 2015 - 2019年度

2020年3月31日発行

発行者 一般社団法人 京都私立病院協会
〒600-8411 京都市下京区烏丸通四条下ル水銀屋町620番地 COCON烏丸8階
TEL(075)354-8838 FAX(075)354-8802 <http://www.khosp.or.jp>

制作 株式会社ティ・プラス
〒604-8457 京都市中京区西ノ京馬代町6-16
TEL(075)462-7889 FAX(075)464-3923 <https://tplus-group.co.jp>